取扱説明書の見かた

本書の構成は次のとおりです。

●巻頭には

安全に正しくご使用いただくために
本製品を安全に正しくご使用いただくために、守っていただきたいことを説明しています。必ずお読みください。

子機をご使用になる際はご注意ください
コードレス子機をご使用になる際の注意事項を説明しています。

本機の特長
本製品の持っている便利な機能について、その特長をわかりやすく示しています。

目　次

●本文の構成

本頁右の一覧をご覧ください。

■本文中の記号

●ご注意
本機の操作や設定を行う際にご注意いただきたいことを説明しています。

●こんなときは
本機の操作や設定を行う際に、「こんなときはどうしよう」と思われることについて、補足的に説明しています。

●巻末には

操作早わかりガイド

機能設定／登録早見表

索　引

ご使用の前に
本製品をご使用になる前に、まず確認していただきたいことを示しています。

設　置
本製品の組み立てや接続のしかた、必要な設定などについて説明しています。また、お買い上げ時の本製品の動作のしかたについて説明しています。

電　話
電話のかけかた／受けかたや、いろいろな使いかたなどについて説明しています。

ファクス／コピー
コピーのしかたや、ファクスの送信や受信のしかたなどについて説明しています。

留守番
留守番電話やおやすみモードの使いかたについて説明しています。

ハンドスキャナ
ハンドスキャナを使ったコピーやファクスの送信のしかたについて説明しています。

α-ALPHA5
DDI（第二電電）のα-ALPHA5（アルファファイブ）の利用について説明しています。

α-Eメール
DDI（第二電電）のα-Eメールサービスについて説明しています。

ナンバー・ディスプレイ
NTT東日本またはNTT西日本のナンバー・ディスプレイの利用について説明しています。

キャッチホン／Fネット／ダイヤルイン
NTT東日本またはNTT西日本のキャッチホンとFネット、ダイヤルインサービスの利用について説明しています。

こんなときは
原稿や記録紙がつまったときの対処方法や、記録紙の交換方法などについて説明しています。また、いろいろな疑問などについてQ&A形式で説明しています。

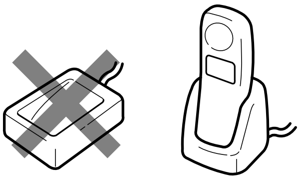
! 安全に正しくご使用いただくために－必ずお読みください－

設置についてのご注意

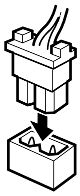
⚠危険

●付属の充電器以外を使用しないでください。火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

禁止



●電池はコネクタの向きを間違えないように機器内に挿入してください。間違えると、電池の破壊・液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

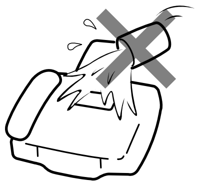


向きを正しく

⚠警告

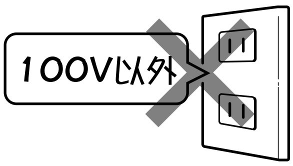
●本機に水が入ったりしないように、またぬらさないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。

水ぬれ禁止

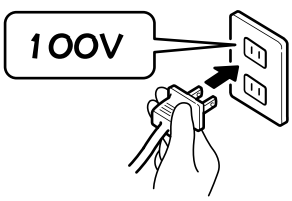


●AC 100Vの家庭用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止

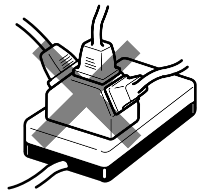


●電源プラグはAC 100Vコンセントに差し込んでください。やむを得ず、同じコンセントに他の電気製品の電源プラグを差し込む場合は、電流値の合計がコンセントの最大値を超えないようにしてください。火災の原因となります。

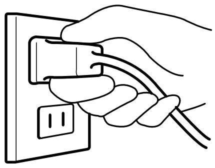


●本体の電源コードはたこ足配線にしないでください。たこ足配線にすると、テーブルタップ等が過熱・劣化し、火災の原因となります。

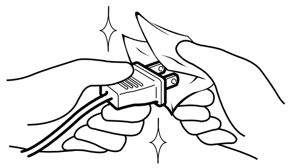
禁止



●電源プラグおよび子機充電器用ACアダプタはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。



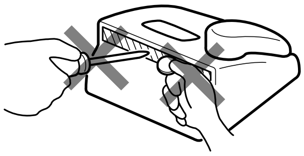
●電源プラグおよび子機充電器用ACアダプタの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよく拭いてください。火災の原因となります。



⚠警告

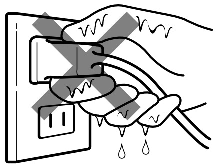
●開口部から内部に金属類を差し込んだり、落としたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

禁止



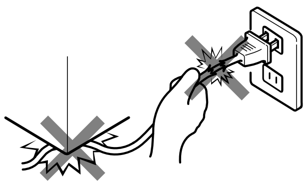
●ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。

ぬれ手禁止



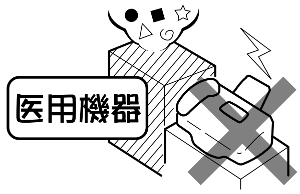
●電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものをのせたり、加熱されたり、ひっぱったりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止



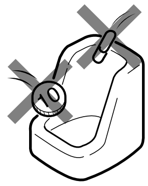
●病院内などで使用される場合には、医用電気機器に電波による影響を与えることも考えられますので、医用電気機器の近く(例えば、手術室や集中治療室内など)ではご使用にならないでください。

禁止



●充電器にコインなどの金属物を乗せないでください。発熱・やけどの原因となります。

禁止



●電池パックのコードはショートさせないように注意してください。

⚠注意

●湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。アース線が取り付けられるところは次の部分です。

- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- 接地工事(D種)が行われている接地端子

次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。

- ガス管、電話専用アース線、避雷針、水道管や蛇口

必ずアース線を接続せよ

●子機を壁掛け用に取り付ける場合は機器の重みにより落下しないよう、堅固に取り付け、設置してください。けがの原因となることがあります。

●調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。

禁止

●ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

●振動、衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

禁止

●電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となります。

禁止

●電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

⚠注意

●直射日光の当たるところや温度が高いところに置かないでください。
- 内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 変色の原因となります。
- コピーやファクスの記録のかすれの原因となります。

禁止

●移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認の上行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

●湿気やほこりの多い場所に置かないでください。漏電して、火災や感電の原因となります。

禁止

●ファクスを受信すると自動的に記録紙を排出します。装置の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。

禁止

●漆等、高温で変色する可能性のある材質の台の上には置かないでください。変色の原因となります。

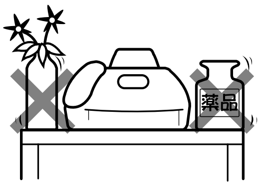
禁止

使用する際のご注意

⚠警告

●本機の上や近くに、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などが入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

禁止



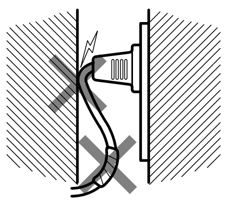
●本機で指定されていない電池は使用しないでください。電池の破壊、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。

禁止



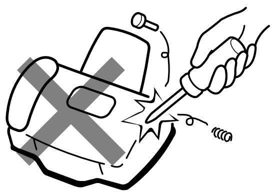
●電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。

禁止



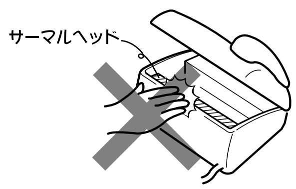
●本機、充電器、および子機充電器用ACアダプタを分解、改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

分解禁止



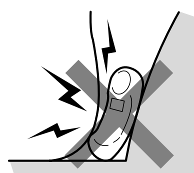
●本体内部のサーマルヘッドとその周辺は高温になっています。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。内部の点検、修理はご購入店またはNECサービスステーションにご依頼ください。

高温注意



●子機をねじったり、重い物をのせたり、ポケットに入れたまま椅子などに強く押しつけたりして圧迫しないでください。子機が破損し、火災・けが・やけどの原因となることがあります。

禁止



⚠注意

●本機のアンテナを誤って目にささないようにしてください。

●電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて、点検、掃除をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。

●旅行などで長期間本機をご使用にならないときは安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグをコンセントから抜け

●記録紙交換などで開閉部を閉めるとき、指挟み、指のけがにご注意ください。

指をはさまれないよう注意

●ゴキブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。

●通信やコピー中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。

禁止

●極端に暑い場所（35℃以上）や寒い場所（5℃以下）では使用しないでください。誤動作・故障の原因となります。

禁止

●落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

禁止

●ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないでください。ガラスが破損してけがをしたり、故障の原因となります。

禁止

●親機または子機のモニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳に負担となる場合があります。

禁止

もしもこんなときは

⚠警告

●万一、内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜け

●万一、異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。特に小さなお子さまのいるご家庭ではご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜け

●万一、本機を落としたりカバーを破損した場合や、電源コードが傷んだ場合（芯線の露出、断線など）は電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入店またはNECサービスステーションにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因となります。

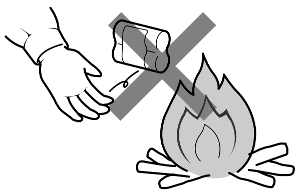
電源プラグをコンセントから抜け

●万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店またはNECサービスステーションに修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

電源プラグをコンセントから抜け

●電池を廃棄する場合は火中に投げ入れないでください。爆発して火災・やけどの原因となることがあります。

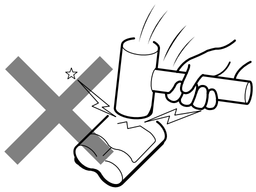
破裂注意



⚠警告

●電池パックは、水や火の中に入れたり、加熱や分解をしたりしないでください。

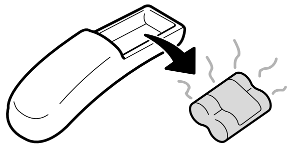
禁 止



●電池パックから液もれしたり異臭がしたりするときは、ただちに火気より遠ざけてください。

●万一、電池パックが液もれして、液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水でよく洗ったのち、ただちに医師の治療を受けてください。目に障害を与える恐れがあります。また、もれた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。

●電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し使用を中止してください。



⚠注意

●お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

電源プラグをコンセントから抜け

●水滴がついた場合は、乾いた布で拭き取ってください。

●雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。

禁 止

！ 子機をご使用になる際はご注意ください

子機の通話範囲について

●子機を親機から離しすぎると、通話できなくなったり子機の呼出ベルが鳴らなくなったりします。使用できるのは、親機と子機の間にさえぎるものがない場合で100m程度です。

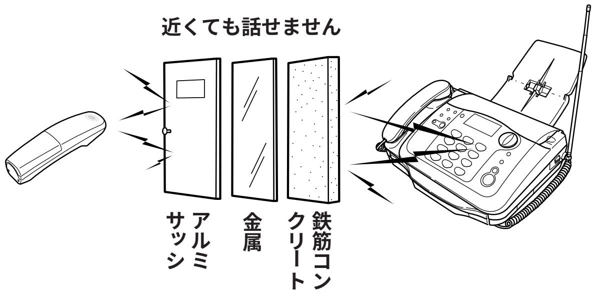


●建物内などは、親機と子機の間に何もさえぎるものがなくても電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

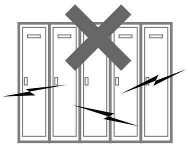
●建物内の異なる階層（上下）や屋外を経由するときは通話できないことがあります。

●親機のアンテナはまっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

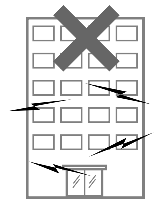
●親機との間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシ等の障害物がある場合は、電波が届きません。



●次のような場合は、電波の届く距離が短くなります。



・金属製家具の近くなど



・マンションなど鉄筋コンクリートの壁で仕切られていたり金属製のドアの内と外のように障害物があるとき

子機使用上のご注意

●**コードレス子機は電波を使っているため、特殊な装置により盗聴される恐れがあります。大切な話は親機の受話器を使用するなど、注意してお使いください。**

●親機からの電波が届かない場所では、電話がかかってきた時に子機の呼出ベルは鳴りません。また、子機で電話をかけることはできません。内線通話等により、あらかじめ子機が使用できる範囲をお確かめください。

●通話中に「ピーッ、ピーッ…」という音がした時は、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のままでいると約5秒後に親機側で保留になります。さらに1分経過すると回線が切断されます。

●通話中に「ピッピッピッ…」という音がした時は、電池の充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると約3分後に回線が切断されます。

●近隣でコードレス電話機をお使いの方がいる場合、まれに誤動作する場合があります。つながらない、通話の途中で切れた等の場合は、いったん切って、もう一度かけなおしてください。

●次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
- ビジネスホン、モデム、パソコン、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
- 携帯電話、PHSの本体、ポケットベル、充電器、およびACアダプタ
- テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
- 自動車、オートバイ、ネオンサインなど

●車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。

●ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。

●自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」した時など、雑音が入ることがあります。

●**ぬれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。**本製品の子機には防水機能がありません。故障の原因となります。

本機の特長

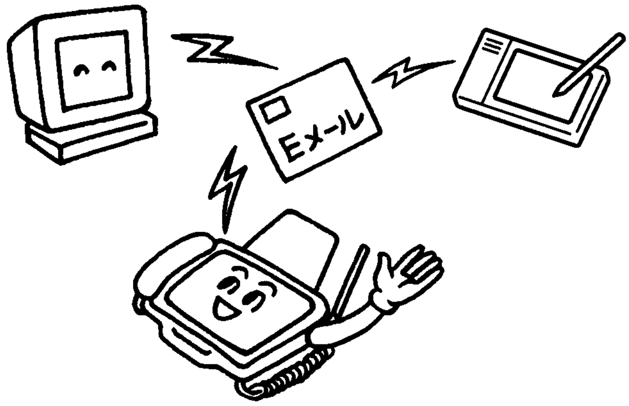
わかりやすい大型漢字表示

表示を従来の「カナ英字」から、見やすく操作もわかりやすい大型の「漢字」にしました。
例えば、らくらく電話帳（→P.36）の名前も漢字で登録できるので、今までは「スズ゛キマサユキ」とちょっとわかりにくかった表示も「鈴木正幸」と実際の電話帳のように一目でわかります。
また、ナンバー・ディスプレイ（→P.118）に加入すれば、らくらく電話帳に登録された相手の名前が漢字で表示されるため、とてもわかりやすくなります。



E メールのやりとりも OK

DDIの「α-Eメール」サービス（→P.103）に加入すると、パソコンや携帯端末等で使用されるEメール（電子メール）を送受信することができます。もちろん、漢字も使用できるので、パソコンがなくてもEメールでのやりとりができます。
※DDI（第二電電）との契約が必要です。



メロディ付き快速ハンドスキャナでコピー／ファクス送信

「ハンドスキャナでコピーする」（→P.87）
「ハンドスキャナで送信する」（→P.88）
新聞や雑誌の気になる情報、友達のノートだってハンドスキャナを使えば簡単にコピーがとれます。読み取った内容を、そのままファクスで送ることもできます。



おトクな回線を自動で選ぶ（α-ALPHA5）

「α-ALPHA5について」（→P.90）
相手の場所、曜日、時間帯を自動判定して、NTT東日本またはNTT西日本の市外回線とDDIからおトクな回線を自動的に選びます。
また、α-NEWS中の「えらんでメロディ」を利用すれば、センターにある曲の中からお好きなメロディ（1曲）を取り込み、着信メロディとして使うことができます。その他、生活に役立つ情報を簡単な操作で取り出せるα-NEWS、郵便番号を本機に登録すれば地域の公共施設の電話番号が自動的に登録されるα-DIALなどのサービスを利用することができます。
※DDI（第二電電）へのα-ALPHA5のお申し込みが必要です。



相手を確認できる ナンバー・ディスプレイ対応

「ナンバー・ディスプレイについて」(→P.118)
かけてきた相手の電話番号や名前をディスプレイに表示します。
この電話番号を利用して、その相手に電話を簡単にかけられるなど、さまざまな便利な機能を使うことができます。
また、キャッチホンの相手の電話番号や名前をディスプレイに表示することもできます。(ナンバー・ディスプレイとは別にNTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。(有料))
※NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です(有料)。



いつもの相手は電話帳に登録 (らくらく電話帳)

「らくらく電話帳」(→P.36)
親機や子機の電話帳によくかける相手の名前と電話番号を登録すれば、簡単な操作で電話がかけられます。名前を漢字で登録できるので、かける相手が一目でわかります。
また、親機に登録した電話帳は、「全て」または「1件ごと」に子機に転送することができます。(→P.42)



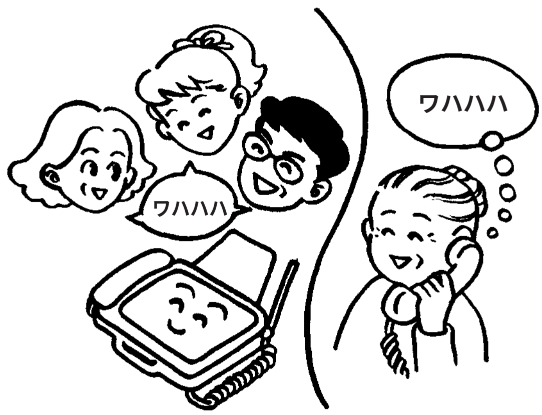
使いやすいスリムな※漢字表示子機

小型・軽量化を実現しながら、100件まで登録できる電話帳が子機にもついています。子機にも漢字が表示されるのでとても便利。バックライト付きのディスプレイに表示される相手先名と電話番号を確認しながらダイヤルできます。暗い場所でも使いやすいダイヤルライトもついています。
※当社従来(speax43/52シリーズ)比、容積約67%、質量約82%を実現。



受話器を持たずに みんなでおしゃべり

「ワイワイトーク(ハンズフリー通話)」(→P.45)
「どうしても手が離せない」、「田舎のおばあちゃんと家族そろっておしゃべりしたい」。そんなとき、ワイワイトークを使えば受話器を置いたままみんなで話ができます。



目　次

留守番

ハンドスキャナ

α-ALPHA5

α-Eメール

ナンバー・ディスプレイ

キャッチホン/Fネット/ダイヤルイン

こんなときは

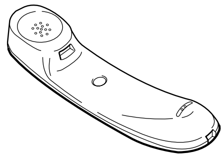
箱の中身をご確認ください

箱を開けたら次のものがすべてそろっているか確認してください。不足していた場合はご購入店にご連絡ください。

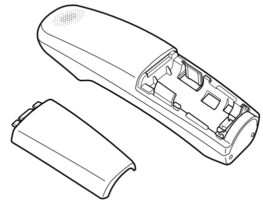
●親機（本体）　1台



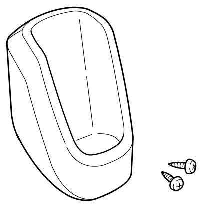
●受話器　1個



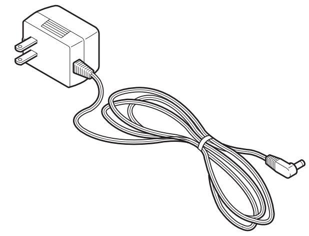
●子機　1台
（電池カバー付き）



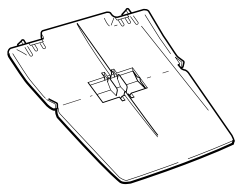
●子機充電器　1台
（壁掛け用ネジ2本付き）



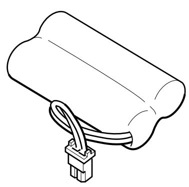
●子機充電器用ACアダプタ　1個



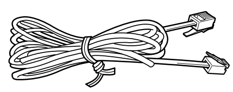
●記録紙スタッカ　1個



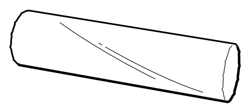
●電池パック　1個
（子機用）



●電話回線接続コード
1本（2 m）



●記録紙　1巻
（B4サイズ10 m）



- DDI（第二電電）α-ALPHA5・α-Eメールご利用申込書：1式
- 取扱説明書（本書）：1冊
- 保証書：1枚

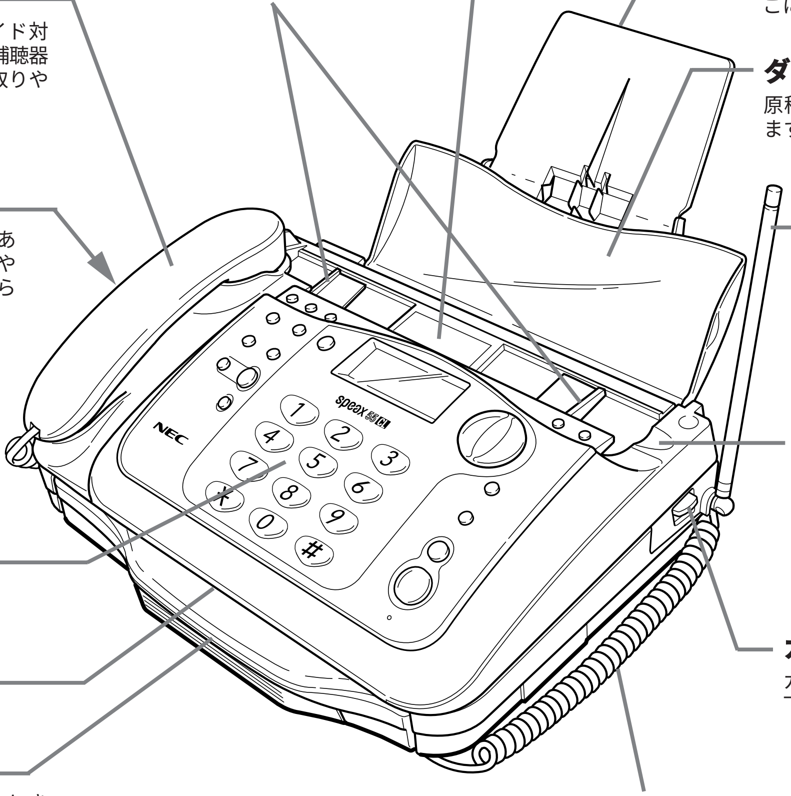
保証書について

保証書は、販売店で所定の事項を記入いたしますので、必ず保証期間、ご購入店名、記載事項を確認の上、大切に保管してください。

各部の名称

全体（正面）

組み立てたあとを示しています。



受話器
補聴器対応（ヒヤリングエイド対応）で、誘導コイルタイプの補聴器をお使いの方に通話が聞き取りやすい構造になっています。

モニタスピーカ
左側面にモニタスピーカがあります。ハンズフリー通話や用件を再生すると、ここから聞こえます。
また、この部分の穴は親機内部の温度上昇を防ぐための放熱穴として機能します。壁などから充分（20cm以上）離してください。

操作パネル
（表示部に保護用のシートが付いています。）

原稿排出口

ハンドスキャナ
手前に引くと外れます。戻すときは押し込みます。

原稿セットガイド
原稿の幅に合わせます。

原稿挿入口

記録紙スタッカ
コピーや受信した文書は、ここに重ねられます。

ダストカバー
原稿をセットするときに開けます。

アンテナ

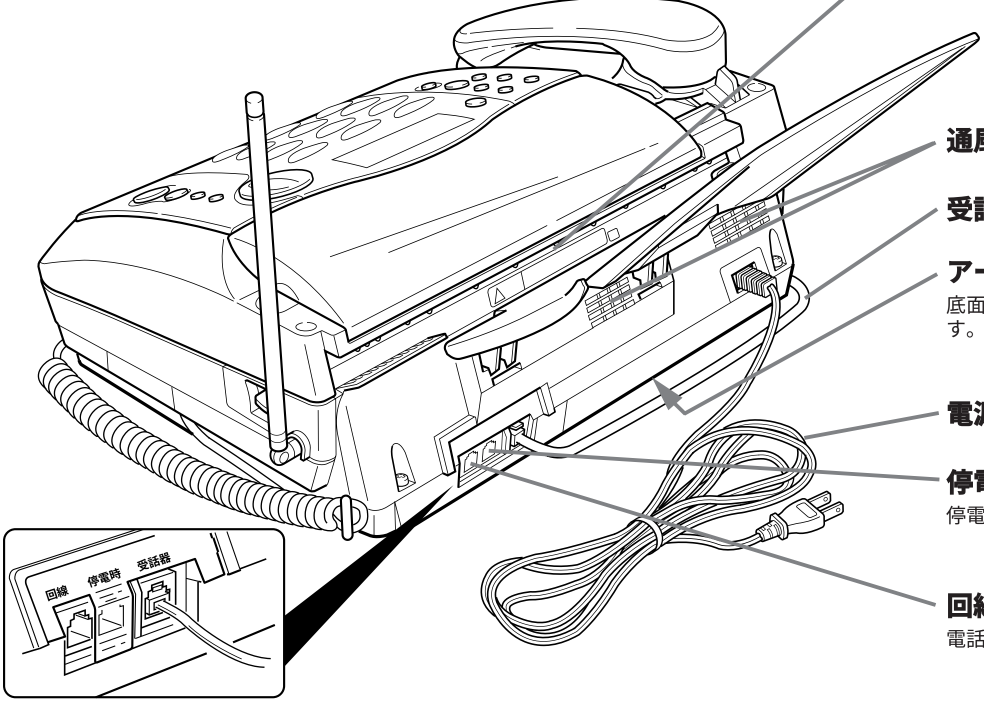
ダストカバーを開けるときに、このへこみを利用します。

カバー開レバー
カバーを開けるとき、下に押します。

ハンドスキャナ用コード

全体（背面）

組み立てたあとを示しています。



記録紙排出口

通風孔

受話器用コード

アース端子
底面にアース端子（銀色）があります。

電源コード

停電時用電話機端子
停電時用電話機を接続できます。

回線端子
電話回線を接続します。

操作パネル

▶ 再生
用件を再生するときなどに使用します。

音量
ベル音量、受話音量、ワイワイトーク音量、モニタスピーカ音量を調整するときなどに使用します。

画質
画質モードを設定するときに使用します。

α5／α-Eメール
α-ALPHA5機能や、Eメールを送受信するときに使用します。

α-ALPHA5ランプ
α-ALPHA5機能が利用できるときは緑色、利用できないときは赤色に点灯します。

ディスプレイ
漢字等の全角は10文字(半角は20文字)×3行まで表示できる文字表示部(上3段)と、動作状態をお知らせするピクト表示部(下段)があります。バックライト付きです。



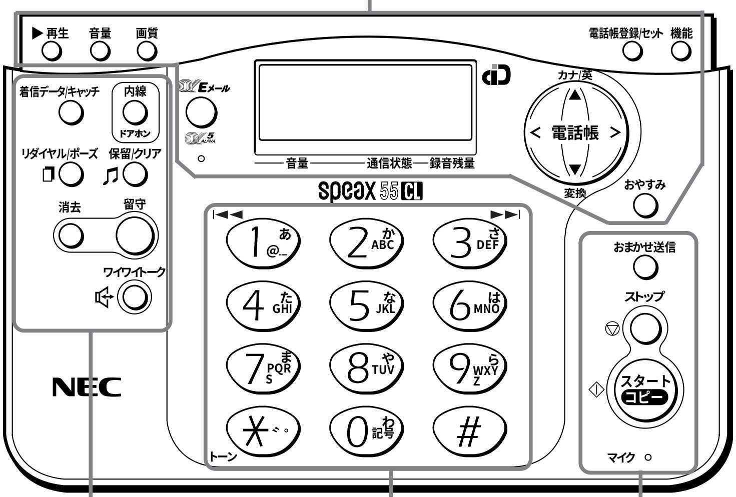
(ピクトは全点灯時を表わしています)

電話帳登録／セット
電話帳の登録や各種の設定時に使用します。

機能
各種の登録や設定時に使用します。

電話帳(▲／▼／<／>／ｶﾅ/英／変換)
電話帳で電話をかけたり、電話帳に登録されている相手先を選ぶときなどに使用します。
各種の設定時には、ディスプレイのカーソルを左右に移動させます。
文字入力時には、文字種の選択、漢字変換に使用します。

おやすみ
電話がかかってきた時に点滅します。おやすみモードに設定するときなどに使用します。



着信データ／キャッチ
かかってきた相手の電話番号を表示させたり、電話をかけるときなどに使用します。
キャッチホンが入った時に使用します。

内線／ドアホン
子機との内線通話や、ドアホン通話などに使用します。

リダイヤル／ポーズ
最後にかけた相手にもう一度かけるときに使用します。
ポーズを入れるときに使用します。

保留／クリア
電話を保留するときなどに使用します。
各種の登録時、入力内容を消去するときに使用します。

消去
用件を消去するときに使用します。

留守
留守設定にするときなどに使用します。

ワイワイトーク
受話器を持たずに電話するときに使用します。

おまかせ送信
おまかせ送信時に使用します。

ストップ
送信やコピーを途中でやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに使用します。
セットした原稿を排出するときに使用します。

スタート／コピー
ファクスの送信や受信時、コピー時などに使用します。

マイク
ワイワイトークで通話するときに使用します。
応答メッセージを録音するときに使用します。

ダイヤルボタン
ダイヤルするときなどに使用します。

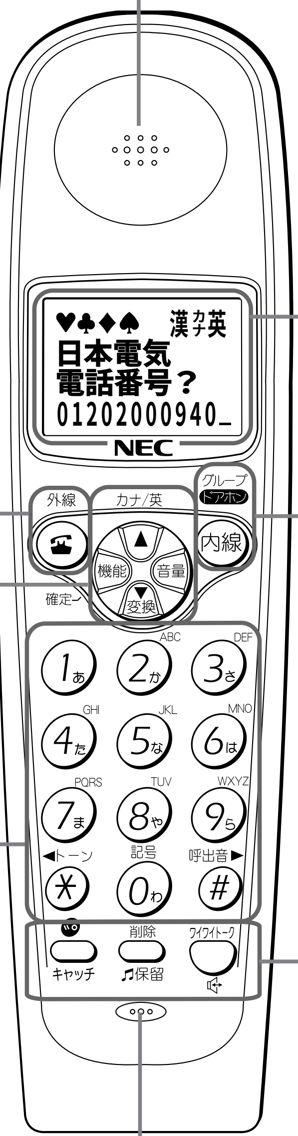
|◀◀（1）
再生中の用件をもう一度聞くときや、ひとつ前の用件を聞くときに使用します。

▶▶|（3）
再生中の用件の次の用件を再生するときに使用します。

トーン(＊)
ダイヤル回線を使用の場合、トーン(プッシュ)信号を送出したいときに使用します。

子機(正面)

受話口



外線
電話をかけるときや受けるとき、通話を終了するときなどに使用します。

マルチファンクションボタン
各種機能の登録や設定、受話音量を調整するとき、電話帳を使って電話をかけるとき、漢字変換を行うときなどに使用します。

ダイヤルボタン
ダイヤルするときなどに使用します。

◀トーン(＊)
ダイヤル回線を使用の場合、トーン(プッシュ)信号を送出するときやカーソル移動、キータッチトーンのON/OFFに使用します。

呼出音 ▶(#)
ベル音量をON/OFFするときやカーソル移動に使用します。

子機ディスプレイ
漢字等の全角は6文字(半角は12文字)×3行までと、ピクトを表示できるディスプレイです。
待機中には「内線2」「内線3」などのように内線番号を表示します。
また、ベルやキータッチトーンをOFFに設定しているときは「ベルOFF」「タッチトーンOFF」「タッチ&ベルOFF」を表示します。

グループ/ドアホン/内線
内線通話やドアホン通話、電話帳のグループを選ぶときなどに使用します。

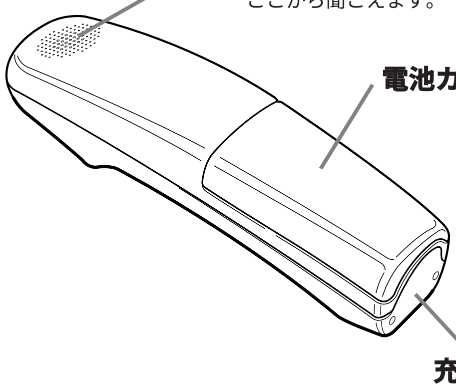
キャッチ
キャッチホンが入ったときに使用します。

削除/保留
電話番号や文字の入力を間違えたときに使用します。
電話を保留するときに使用します。

ワイワイトーク
子機を持たずに電話するときなどに使用します。

送話口(マイク)

子機(背面)

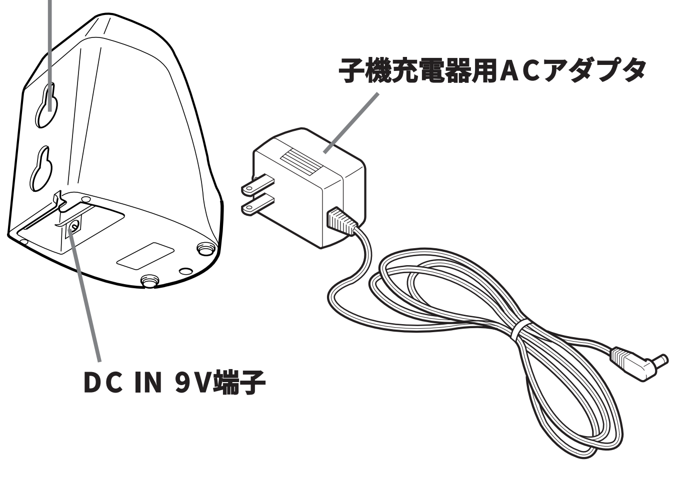


スピーカ
ワイワイトーク中の相手の声がここから聞こえます。

電池カバー

充電部

子機充電器



壁掛け用の穴

子機充電器用ACアダプタ

DC IN 9V端子

ピクト表示の見かた

親機のピクト表示



録音残量表示

	録音時の残り時間を示します。
(点滅)	録音ができないとき(用件が30件または残りの録音時間が20秒以内のとき)を示します。

※ メモリ代行受信(→P.67)したデータや受信したα-Eメール(→P.109)が残っていると録音できる時間は短くなります。

通信状態

	待機中や機能選択時は、2羽のハトが表示されています。
(交互)	通話中は、1羽ずつ交互に表示されます。
(点滅)	自動ダイヤル中やオートリダイヤル待ちのときに点滅します。
(交互)	ファクス通信中は、1羽ずつ交互に表示されます。
(点滅)	おまかせ送信またはハンドスキャナ送信で、原稿を蓄積中に点滅します。
	ファクス通信が正常に終了すると約5秒間点滅し、外線通話、通信、コピーをするまで点灯します。
	ファクス通信が異常終了した時に約5秒間点滅し、外線通話、通信、コピーをするまで点灯します。 原稿蓄積中にメモリフルになった時、10秒間点滅し、外線通話、通信、コピーをするまで点灯します。

音量表示(親機使用時)

	メッセージ出力時のスピーカ音量を示します。
	通話時の受話音量を示します。
	ワイワイトーク時のスピーカ音量を示します。
	ベル音量を示します。

※1. バックライトは、機能選択中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約3秒で消灯します。
※2. バックライトの点灯が約5時間続いたときは、ディスプレイ保護のため消灯します。

子機のピクト表示

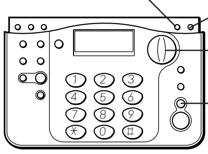


♥♣♦♠	ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、グループ登録した相手から電話がかかってきたときに、登録したグループのマーク(ハート、クローバー、ダイヤ、スペードのいずれか)が表示されます。
漢カナ英	電話帳に文字を入力するときに、入力モードにより漢、カナ、英が表示されます。

知っておきたいこと

設定操作について

本機の設定や登録は、ディスプレイに表示されるメニューから目的の項目を選択して行います。
まずメインメニューから選択し、更に各設定項目を選択して設定を行います。詳しい手順は各設定のページで説明しますが、基本的なメニュー選択の手順をご理解ください。



1 ダストカバーを開きます。

2 [機能] を押します。

● ディスプレイに設定／登録のメインメニューが表示されます。

リストプリント
受信設定
設定モード

実際の表示は文字が点滅します。（以下同じ）

3 [カナ/英 電話帳 変換] の▲または▼を押して目的のメニュー項目を選択します。

リストプリント
受信設定
設定モード

● 点滅表示されている項目が現在選択されている項目です。
● この例では、受信設定が選択されています。
● [▲]または[▼]を繰り返して押すと、メニュー項目が上下にスクロールします。

4 [電話帳登録/セット] を押します。

● ディスプレイに手順3で選択したメニューの設定項目が表示されます。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

5 [カナ/英 電話帳 変換] の▲または▼を押して目的の設定項目を選択します。

6 [電話帳登録/セット] を押します。

● 右例は、「無鳴動着信」を選択した場合の表示例です。

無鳴動着信
○　×

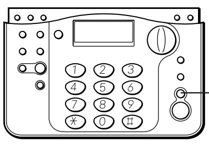
以降は選択した項目の設定操作になります。
（[ストップ] を押せば手順を終了できます。）

● 設定や登録を行う操作の途中で、約90秒以上何も操作をしないと、待機状態に戻ります。

操作を間違えたとき

途中で操作や設定がわからなくなった場合や操作を間違えた場合は、次の操作をしてからもう一度やりなおしてください。

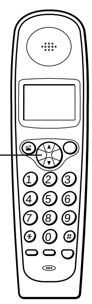
親機の場合



[ストップ] を押します。

● 操作／設定がキャンセルされ、待機状態またはひとつ前の状態に戻ります。

子機の場合



ひとつ前の手順に戻りたいときは [機能] を2秒以上押し続けます。

● ピッという音がして、ディスプレイがひとつ前の状態に戻ります。（留守番リモート（→P.77）時はこの操作はできません。）

すべての操作をやり直すときは、充電器に戻します。

● 充電器に置いている場合は、いったん充電器からとり、充電器に戻してください。子機が待機状態に戻ります。

自分の電話番号の通知・非通知について

NTT東日本またはNTT西日本のナンバー・ディスプレイを利用している相手に自分の電話番号を通知する、しない、それぞれの場合は、電話をかけるときに次のようにダイヤルしてください。

	「通話ごと非通知」を契約している場合	「回線ごと非通知」を契約している場合
相手に番号を通知する	普通にダイヤルします。	相手の番号の前に「186」をつけてダイヤルします。
相手に番号を通知しない	相手の番号の前に「184」をつけてダイヤルします。	普通にダイヤルします。

● ナンバー・ディスプレイの「通話ごと非通知」「回線ごと非通知」についてはNTT東日本またはNTT西日本の窓口等にお問い合わせください。（問い合わせ先→P.118）
● 電話番号を「通知」して電話した場合、電話勧誘など思わぬ使い方をされることがあります。

通話時間表示について

親機、子機のディスプレイには、通話時間が表示されます。

親機の表示

10月 1日（金） 12:00
用件 0件
通話時間 0分35秒

子機の表示

0'15

● 親機の場合はダイヤル後約10秒経つと、子機の場合は充電器からとると、相手が出ないときでも通話時間が表示されます。親機では、相手が出ると0秒から表示しなおされます。
● 通話時間は目安としてご利用ください。
● 受話器や子機を戻してからも、約5秒間通話時間が表示されます。
● 通話時間が59分59秒を超えたときは、0分00秒から表示されます。

はじめにご確認ください

本機を組立・接続するまでの全体の流れを示します。まず、作業前の確認を行ってください。

ステップ1　作業前に確認します

- **設置スペースを確認してください。→本ページ右**
- **電話コンセントのタイプを確認してください。→本ページ右**
- **電話回線の配線状況を確認してください。**
  - ブランチ接続（並列接続）はしないでください →本ページ右
- **次の機器と接続するときは、参照ページもご確認ください。**
  - パソコンやモデムと接続する →P.146
  - ISDNターミナルアダプタ（TA）と接続する →P.146
  - ドアホンを接続する →P.143

ステップ2　組立と接続

- **受話器を取り付けます。→P.21**
- **子機へ電池を取り付け、充電器を準備します。→P.21、P.22**
- **記録紙スタッカを取り付けます。→P.23**
- **電源を接続します。→P.23**
- **記録紙をセットし、記録紙サイズを設定します。→P.24**
- **時刻をセットします。→P.24**
- **電話回線に接続します。→P.25**
- **子機を増設します。（必要に応じて）→P.25**

ステップ3　必ず設定してください

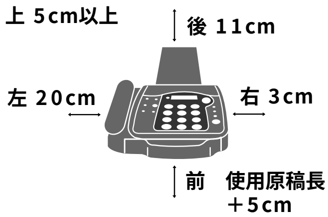
- **ナンバー・ディスプレイの設定を確認します。→P.26**
- **回線種別を設定します。→P.27**

ステップ4　必要に応じて設定してください

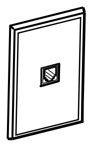
- **自分の電話番号を登録します。→P.28**
- **自分の名前（発信元）を登録します。→P.29**

設置スペース

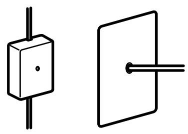
- 親機（本体）は壁に掛けて使うことはできません。
- 子機（の充電器）は壁掛けできます。
- 本機の操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うために、図のスペースを確保してください。なお、本機は水平な所に設置してください。正常に動作しないことがあります。



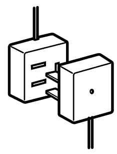
電話コンセント



モジュラ式のとき
そのまま接続できます。



直接配線のとき（ネジ止め式）
NTT東日本またはNTT西日本の窓口等にご相談ください。接続工事には、工事担任者資格が必要です。

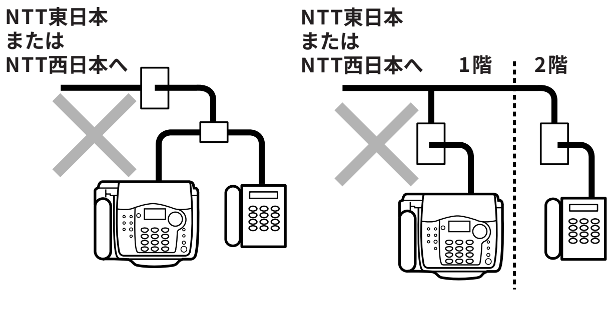


3ピンプラグ式のとき
市販のモジュラ付の電話キャップをお買い求めください。

ブランチ接続はしないでください

ブランチ接続（並列接続）をすると、次のような支障があり正常に動作できなくなります。

- ファクスを送ったり受けたりしているときに、並列接続されている電話機の受話器を上げるとファクスの画像に異常が起きます。
- 電話がかかってきた時、並列接続されている電話機のベルが途中で鳴り止んだり、相手がファクスのとき受信できない場合があります。

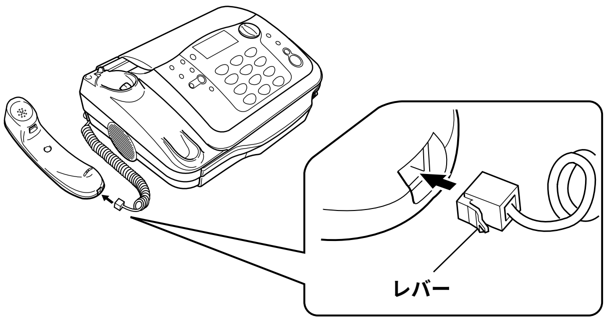


組立と接続

各部の取り付け

受話器の取り付け

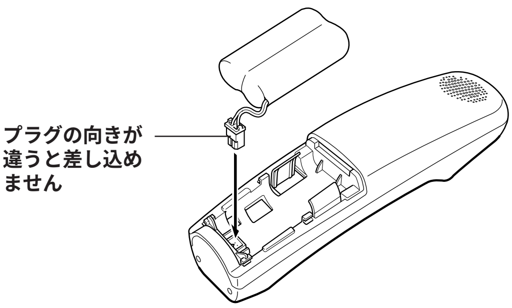
受話器に受話器用コードを接続します。
カチッと音がするまで差し込んでください。（抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。）



子機の電池パックの取り付け

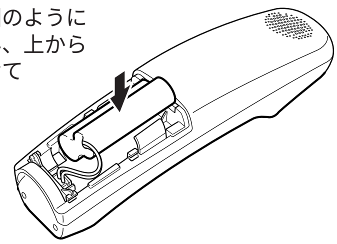
> **⚠注意**
> ●**電池パックの取り付けは充電器に置いたままでは行わないでください。故障の原因となります。**

1　電池パックのプラグを差し込みます。

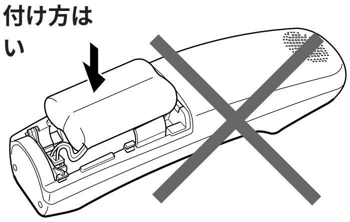


2　電池パックを取り付けます。

- 電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。
- 電池パックを図のように斜めに差し込み、上から押して取り付けてください。



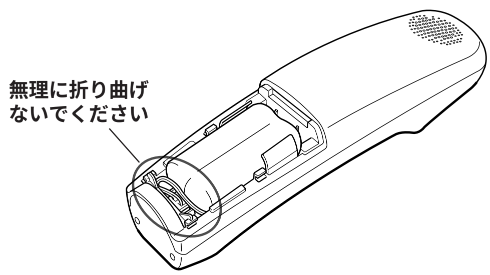
次のような取り付け方はしないでください



> **⚠注意**
> ●**電池パックを上から無理に押し込まないでください。取り付け先のツメが壊れる原因となります。**

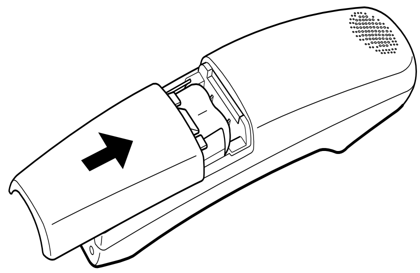
3　コードを収納します。

- コードを無理に折り曲げないように注意してください。



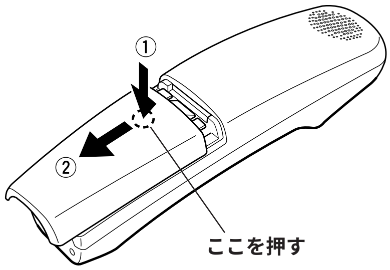
4　電池カバーを取り付けます。

- 電池カバーを子機の溝に合わせて奥に押し込み、取り付けてください。



> **⚠注意**
> ●**電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線・故障の原因となります。**

電池カバーを外すには
電池カバーを下に押しながら手前に引くと外れます。

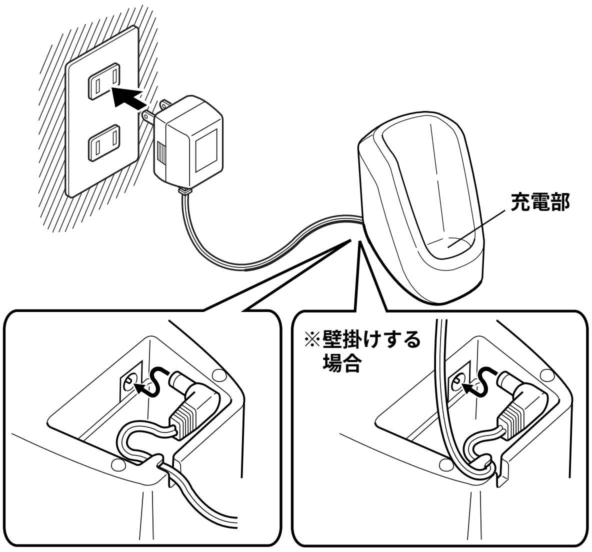


本装置のプラスチック部分には、光の具合によってキズに見える箇所がありますが、これはプラスチックの製作過程で生じるもので、構造上および機能上の問題はありません。安心してお使いください。

子機充電器の取り付け

充電器に子機充電器用ACアダプタを取り付けて、電源コンセントに差し込みます。

- テレビやステレオなどと同じコンセントに子機充電器用ACアダプタをつなぐと雑音の原因となることがあります。別のコンセントを使うか、充電器を離してください。
- 子機充電器用ACアダプタは、いつも電気がきているコンセントに接続してください。
  充電中に電気が切れたり、子機充電器用ACアダプタをコンセントから抜くと、[外線]ボタンが点灯して、回線がつながったまま(話中の状態)になることがあります。このときは[外線]ボタンを押して[外線]ボタンを消灯してください。回線が切れます。



コードは上図のようにしっかり固定してください。

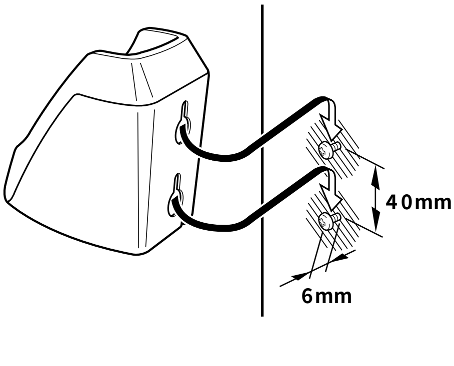
⚠注意

- **コードを収納する際は無理に折り曲げないでください。コードが傷つき、断線・故障の原因となります。**
- **ぬれた手で子機充電器用ACアダプタを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となります。**
- **子機充電器用ACアダプタ、充電器および子機をぬらしたり、水が入らないようにしてください。火災・感電・故障の原因となります。**

子機充電器を壁掛けする場合

1 付属のネジ2本を壁などに取り付け、ネジの頭を6mm程度出したままにします。

2 充電器の壁掛け用穴をネジに引っかけて下に少し引きます。

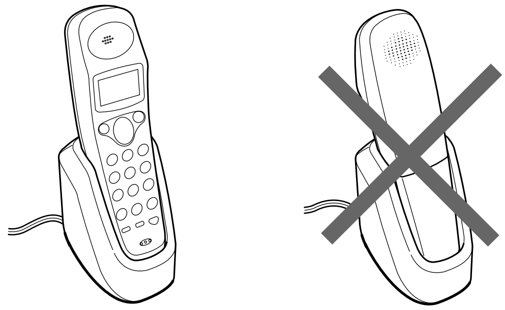


子機の充電

充電器に子機を置きます。

- 充電端子のない無接点充電方式を採用しています。
- [外線]ボタンと[内線]ボタンが赤色に点灯します。
- お買い上げいただいたときは充電されていません。はじめてお使いになる際に、電池パックが十分に充電されていないと次のような現象が見られますが、故障ではありません。
  - ・コードレス子機を使おうとすると「ピーッ、ピピッ」という音がして電話が切れる。

  このような場合、しばらくの間充電していただくと通常の動作に戻ります。
  なお、はじめてお使いになるときには9時間以上充電されることをお勧めします。
- 充電が完了しても充電器に置いているあいだは[外線]ボタンと[内線]ボタンは赤色に点灯しますが、過充電になることはありません。
- 子機は常に操作面を前向きに置いて充電してください。



⚠注意

- **充電器の充電部は常にきれいにしておいてください。金属物やゴミなどが付着していると発熱、やけど、充電不良の原因となります。**

- 子機の操作面を後ろ向きに置くと次のような支障があります。
  - ・正しく充電されない
  - ・充電器から子機をとったとき、すぐ通話できない
- **子機の使用可能時間(フル充電時)**
  - ・連続通話時:約7時間
  - ・連続待受時:約200時間
- 充電してもすぐに電池がなくなって通話ができないようになったら電池パックの交換が必要です。(交換時期は通常の使用で約2年です。)
- 子機を使用しないときは、なるべく充電器の上に置いて充電をしてください。

⚠注意

- **付属の充電器および子機充電器用ACアダプタ(AD910A)以外を使用しないでください。火災・けがや周囲を汚染する原因となることがあります。**

!

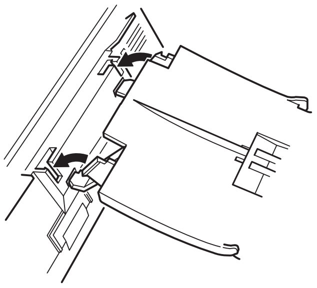
- **子機を次のような状態で放置すると、電池パックが劣化により使えなくなる場合があります。**
  - **・旅行などでしばらくの間子機を使用しないため、充電器の電源コードをコンセントから抜いておいた、あるいは子機を充電器から外しておいた**
  - **・引っ越しなどで子機を充電することができない**

  このような場合には、子機の電池パックのコネクタを抜いて保管してください。

記録紙スタッカの取り付け

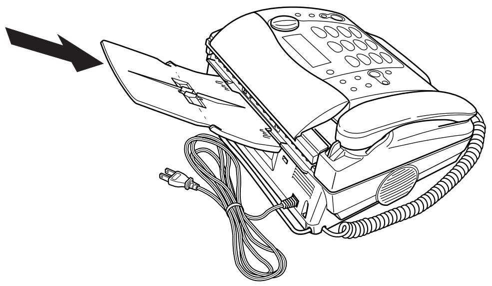
1 記録紙スタッカを本機背面の穴に合わせます。

● 記録紙スタッカの下側の位置決めを本機の穴に合わせたあと、上側のフックを本機の穴に合わせます。



2 記録紙スタッカを本機に押し込みます。

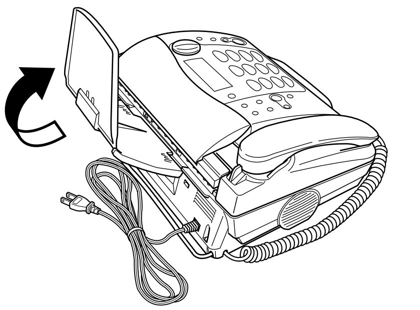
● 記録紙スタッカの根本を持って、固定されるまで押し込みます。



記録紙スタッカを外すときは
記録紙スタッカの根本を押し下げて外してください。

記録紙スタッカを折り曲げて使用できます

● 固定位置（垂直）まで記録紙スタッカを折り曲げます。
装置後方の設置スペースを削減することができます。

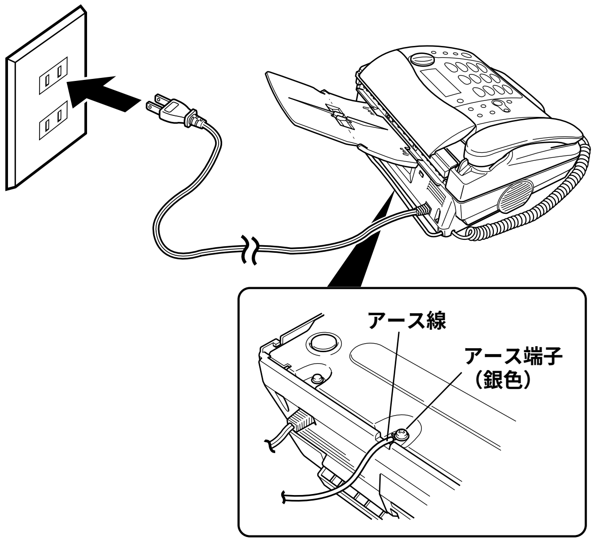


● 記録紙スタッカを折り曲げて使用した場合
- 記録紙が記録紙スタッカ上から落下することがあります。
- 記録紙スタッカ上に記録紙をためすぎると、記録紙づまりの原因となります。排出された記録紙は、まめに取り除いてください。
- コピー時にセットできる原稿は5枚までとなります。

電源の接続

電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

ディスプレイに「カバー／記録紙確認」と表示されます。



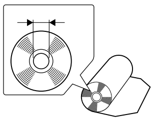
⚠注意

● 湿気の多い場所で使用する場合はアース接続をしてください。底面にアース端子（銀色）があります。アース線は付属していませんのでご用意ください。

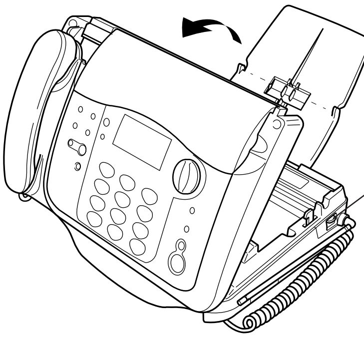
記録紙のセットとかんたん時刻セット

● 記録紙は付属品を使用するか、または巻き芯内径が1インチ（25.4mm）のものを使用してください。
● 記録紙をセットしたあとは、本機に内蔵されている時計を設定します（かんたん時刻セット）。この時計はファクス送信時刻を相手の記録紙にプリントしたり、留守番電話で用件を録音した時刻を記録したりするときに使用されます。

巻き芯内径

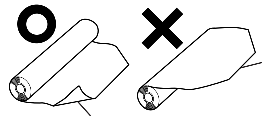


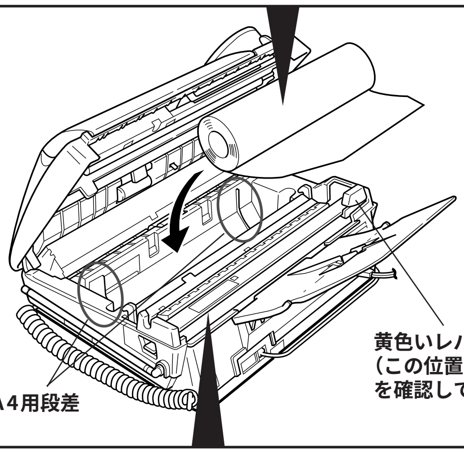
1 カバー開レバーを押してカバーを開けます。



2 記録紙を入れます。

● A4サイズのときは段差の中に入れてください。





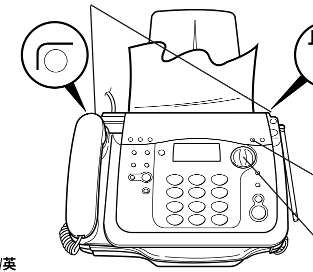
⚠注意

● 手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。
● サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。





3 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。



4 （カナ/英・電話帳・変換）の<または>を押して記録紙のサイズを選びます。

記録紙は？ B4 ＜ A4

（B4を選択したときの表示）

5 （電話帳登録/セット）を押します。

● 約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

記録紙サイズ B4にしました
▼
しばらくお待ち下さい
▼
時刻設定します セットを押して下さい

6 （電話帳登録/セット）を押します。

● 文字の下にある線のことをカーソルと呼びます。カーソルは選択されている項目や文字が入力される位置を示します。

時刻設定 '99年01月01日00:00 完了はセットを押す

カーソル

7 年月日、時刻を入力します。

● 1文字入力するごとにカーソルが移動します。
・ 年　：西暦下2桁
・ 月日：1〜9は頭に「0」を付けてください。
・ 時刻：24時間制。1〜9は頭に「0」を付けてください。

例）1999年10月1日12：00にする場合
「99 10 01 12 00」と入力します。

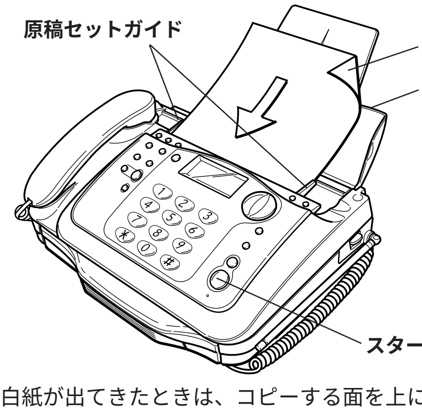
● [<]または[>]でカーソルを移動できます。

8 （電話帳登録/セット）を押します。

セッティングの確認

セッティングが正しくできたか確認するため、コピーをしてみましょう。

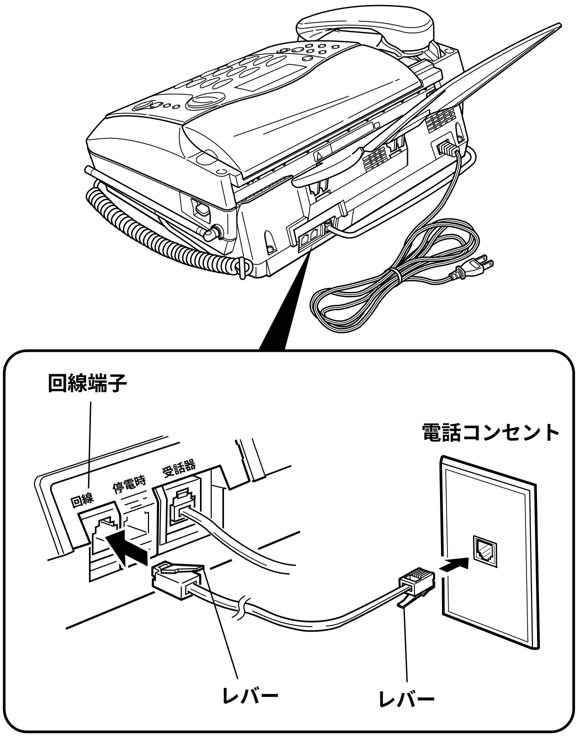
① ダストカバーを開けます。
② 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。
③ コピーする面を下に向けて原稿を軽く差し込みます。自動的に約3cm引き込まれます。
④ [スタート／コピー]ボタンを2回押します。
コピーが終ると「ピー」という音がします。



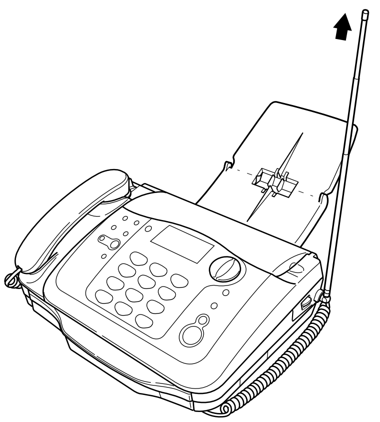
● 白紙が出てきたときは、コピーする面を上に向けてセットしたか、または記録紙の向きが逆です。
● 原稿や記録紙がつまったときは、P.134、P.135をご覧ください。

電話回線の接続

付属の電話回線接続コードの片方を本機背面の回線端子に、もう片方を電話コンセントに接続します。
カチッと音がするまで差し込んでください。
（抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。）



接続したら、アンテナを立ててのばしてください。



子機の増設

別売の子機を増設できます。子機を増設すると、親機から子機を指定して呼び出したり、子機から子機へ外線を転送したりすることができます。

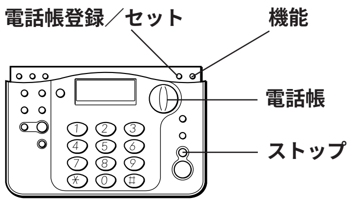
- **増設できる子機の型名**
  speax-ZK8（白、漢字表示）
  speax-ZK7（白、カナ表示）
  speax-ZK7H（グレー、カナ表示）
- **増設できる台数**
  最大3台まで。（付属の子機と合わせて、合計で4台になります。）
- **お買い求めは**
  本機をお買い上げいただいた販売店でお買い求めください。
- **識別番号の登録**
  増設する子機を使用する前には、子機への識別番号（IDコード）の登録が必要です。登録には、増設する子機と親機（本体）が必要です。親機を販売店にお持ちください。詳しくは販売店にお問い合せください。

! ●子機間で内線通話をすることはできません。

必ず設定してください

ナンバー・ディスプレイの設定

ナンバー・ディスプレイとは、かけてきた相手の電話番号をディスプレイに表示するNTT東日本またはNTT西日本のサービスのことです。
お客様がNTT東日本またはNTT西日本とナンバー・ディスプレイの契約をされているかどうかに従って、本機を「ナンバー・ディスプレイを利用する」、あるいは「利用しない」のいずれかに設定します。



1 機能 **を押します。**

リストプリント
受信設定
設定モード

2 カナ/英 電話帳 変換 **の▼を5回押します。**

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット **を押します。**

ナンバーディスプレイ
○ ×

カーソル

4 カナ/英 電話帳 変換 **の＜または＞を押してカーソルを移動します。**

○×：ナンバー・ディスプレイを利用する
○×：ナンバー・ディスプレイを利用しない

5 電話帳登録/セット **を押します。**

- 「ナンバー・ディスプレイを利用する」と設定した場合は、続いてナンバー・ディスプレイの各設定（→P.124）ができます。（設定をここで終了する場合は、［ストップ］ボタンを押してください。）
- 「ナンバー・ディスプレイを利用しない」と設定した場合は、「設定しました」と表示され、手順が終了します。

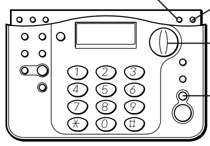
!

- **お買い上げ時には、「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定されています。**
- **ナンバー・ディスプレイを契約している場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定してください。設定しないと電話が受けられなくなります。**
- **ダイヤルインサービスを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合は、必ず「ナンバー・ディスプレイを利用しない」に設定してください。設定しないとダイヤルインサービスが利用できなくなります。**
- **モデムダイヤルインサービスを契約し、ナンバー・ディスプレイを契約していない場合は「ナンバー・ディスプレイを利用する」（お買い上げ時の設定）のままお使いください。**

回線種別の手動設定

お使いの電話回線種別（プッシュ回線とダイヤル回線）を手動で設定します。

- 回線種別が分からないときは自動で設定することもできます。（→P.28）
  ただし、ISDNターミナルアダプタに本機を接続する場合は自動設定はできません。手動で設定してください。
- お買い上げいただいたときは、「ダイヤル回線（20pps）」に設定されています。プッシュ回線の場合は必ず設定してください。



1 機能 を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を2回押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セット を押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 カナ/英 電話帳 変換 の▼を5回押します。

ファクスかんたん受信
保留メロディ
回線種別

5 電話帳登録/セット を押します。

回線種別
回線種別 20P
<>で選択

6 カナ/英 電話帳 変換 **の＜または＞を押して回線種別を選びます。**

20P ：ダイヤル回線（20pps）
10P ：ダイヤル回線（10pps）
PB ：プッシュ回線

- ISDNターミナルアダプタに本機を接続する場合は、「PB」に設定してください。

7 電話帳登録/セット を押します。

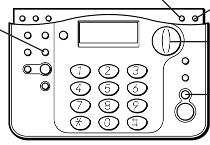
設定しました

8 ストップ を押します。

時刻セット（再設定のとき）

本機に内蔵されている時計を再設定します。

- 次のような場合に、時刻の再設定をしてください。
  - 電源接続後、「かんたん時刻セット」をしないで、［ストップ］ボタンを押した場合
  - 時刻がずれてきた場合（時計の精度は平均月差±60秒以内）



1 機能 を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を3回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット を押します。

自分の電話番号
発信元
おやすみタイマ切替

4 カナ/英 電話帳 変換 の▼を6回押します。

時刻設定
電話帳転送

5 電話帳登録/セット を押します。

時刻設定
'99 年 10 月 01 日 12:00
完了はセットを押す

カーソル

6 年月日、時刻を入力します。

- 1文字入力するごとにカーソルが移動します。
  - 年 ： 西暦下2桁
  - 月日 ： 1～9は頭に「0」を付けてください。
  - 時刻 ： 24時間制。1～9は頭に「0」を付けてください。

  例）1999年10月1日12：00にする場合
  「99 10 01 12 00」と入力します。
- ［＜］または［＞］でカーソルを移動できます。

7 電話帳登録/セット を押します。

設定しました

8 ストップ を押します。

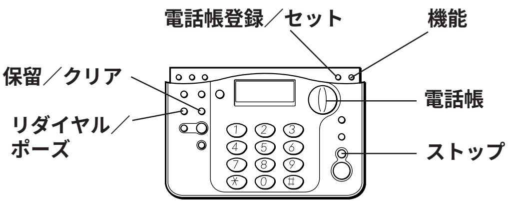
？
- **修正したいとき…**［保留／クリア］ボタンを押して入力しなおしてください。
- **途中で設定をやめるとき…**［ストップ］ボタンを押してください。

必要に応じて設定してください

回線種別を自動設定する（自分の電話番号の登録）

**自分の電話番号を登録すると、回線種別の自動選択機能が働き、自動で回線種別の設定ができます。
ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示させたり、通信管理レポートなどに表示させたりすることができます。（相手機種によっては表示されないことがあります。）**

- 「回線種別の自動選択」機能は、登録した電話番号に自動的にダイヤルする（ビジートーンが返ってくる）ことによって回線種別を設定する機能です。間違って電話番号を登録すると、その電話番号に電話をかけてしまいますのでご注意ください。
- 自分の電話番号を登録したくない場合は、回線種別の手動設定を必ず行ってください。（→P.27）
- ここで登録した電話番号は発信元記録（→P.29）の設定を「発信元をプリントさせる」に設定しても、相手の記録紙にはプリントされません。
- ISDNターミナルアダプタに本機を接続する場合は、自動で設定することはできません。手動で設定してください。（→P.27）



1 機能 を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を3回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット を押します。

自分の電話番号
発信元
おやすみタイマ切替

4 電話帳登録/セット を押します。

自分の電話番号
_

5 自分の電話番号を入力します。

- 市外局番から入力してください（最大20桁）。
［✱］、［#］は入力できません。空白を入力するときは、［リダイヤル／ポーズ］ボタンを押してください。

6 電話帳登録/セット を押します。

- 「電話回線確認」と表示され、『回線を接続してください』というメッセージが流れた場合は、電話回線接続コードの接続を確認してください。

電話回線　確認中
▲ 交互に表示 ▼
しばらくお待ち下さい
▼
設定しました

手順6で『回線種別の自動設定はできませんでした。ご自分で設定してください』というメッセージが流れ、ディスプレイに「回線設定して下さい」と表示されたときは…
次の手順で設定してください。

1 電話回線接続コードの接続を確認します。

- 正しく接続されていなかった場合は接続をしなおし、［ストップ］ボタンを押してから登録をやりなおしてください。

2 正しく接続されていた場合は、 電話帳登録/セット **を押します。**

3 カナ/英 電話帳 変換 **の＜または＞を押して回線種別を選びます。**

回線種別
回線種別 20P
＜＞で選択

20P ：ダイヤル回線（20pps）
10P ：ダイヤル回線（10pps）
PB　：プッシュ回線

- ISDNターミナルアダプタに本機を接続する場合は、「PB」に設定してください。

4 電話帳登録/セット を押します。

設定しました

自分の電話番号を消去するとき

左と同じ手順を行い、手順5で［保留／クリア］ボタンを押してください。

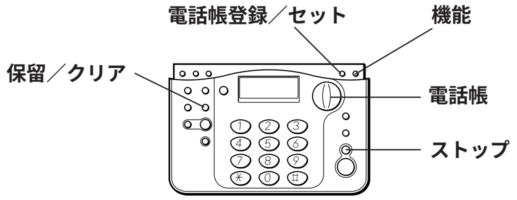
?
- **手順5で番号を間違えたとき…**［保留／クリア］ボタンを押して入力しなおしてください。
- **途中で登録をやめるとき…**［ストップ］ボタンを押してください。
- **引っ越しなどで電話番号が変わったとき…**登録しなおしてください。

発信元を相手の記録紙にプリントさせる

ファクスを送ったときに、相手の記録紙の各ページの最上部に発信元(自分の名前等)を自動的にプリントさせることができます。発信元をプリントさせると、相手側は、どこからのファクスなのかを容易に知ることができます。
発信元をプリントさせるには、発信元の登録と発信元記録(発信元をプリントさせる／させない)の設定が必要です。

- お買い上げいただいたときは、「発信元記録をする」(発信元をプリントさせる)に設定されています。ただし、プリントされる発信元は何も登録されていません。
- 発信元に登録できる文字は全角(漢字、かな、カタカナ、数字、アルファベット、記号)で、最大40文字(空白を含む)です。

発信元(自分の名前等)を登録する



1 機能 を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

2 電話帳 の▼を3回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット を押します。

自分の電話番号
発信元
おやすみタイマ切替

4 電話帳 の▼を押します。

自分の電話番号
発信元
おやすみタイマ切替

5 電話帳登録/セット を押します。

_
\>
かな

入力モードエリア
入力文字、漢字候補表示エリア
確定エリア

6 登録する名前を入力します。

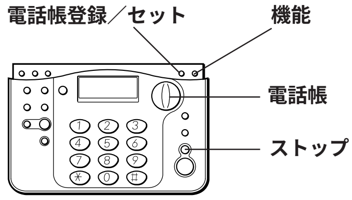
- 次ページの表に従って文字を入力します。
- 「かな」(漢字)、「カナ」、「英数字」の3つの入力モードを使って入力できます。
- ディスプレイの表示が文字を入力する状態に変わります。
- 入力が確定した文字は、確定エリアに表示されます。

7 電話帳登録/セット を押します。

設定しました

8 ストップ を押します。

発信元をプリントさせる／させないを設定する



1 機能 を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

2 電話帳 の▼を2回押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セット を押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 電話帳 の▼を押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

5 電話帳登録/セット を押します。

発信元記録
○ ×
カーソル

6 電話帳 の＜または＞を押してカーソルを移動します。

○×：発信元をプリントさせる
○×：発信元をプリントさせない

7 電話帳登録/セット を押します。

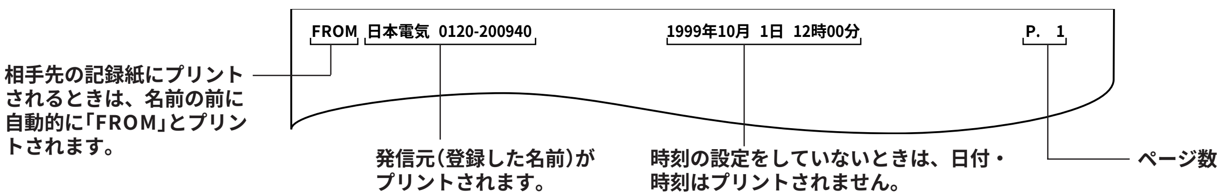
設定しました

8 ストップ を押します。

?

- **発信元を削除／変更するとき**…登録と同じ手順を行い、手順6で[保留／クリア]ボタンを押すと、1文字ずつ消去できます。変更時は名前を入力しなおします。
- **自分の電話番号もプリントさせたいとき**…名前と一緒に電話番号を発信元に登録してください。「回線種別を自動設定する」(→前ページ)で登録した電話番号は、「発信元をプリントさせる」に設定しても相手の記録紙にプリントされません。

相手先でのプリント例



文字入力のしかた（親機）

●入力モードの切り替え

[カナ／英]ボタン（電話帳の▲）を押すごとに、「かな」、「カナ」、「英数字」に切り替わります。現在の入力モードは、入力モードエリアに表示されます。

かな入力		カナ入力		英数入力
> かな	⇨	> カナ	⇨	> 英数字

（英数入力 → かな入力に戻る）

●文字入力表

ダイヤルボタン／押す回数	1 (あ @._)	2 (か ABC)	3 (さ DEF)	4 (た GHI)	5 (な JKL)	6 (は MNO)	7 (ま PQRS)	8 (や TUV)	9 (ら WXYZ)	0 (わ 記号)	＊ (゛゜)
1回	あ ア 1	か カ A	さ サ D	た タ G	な ナ J	は ハ M	ま マ P	や ヤ T	ら ラ W	わ ワ 0	゛ ゛
2回	い イ ー	き キ B	し シ E	ち チ H	に ニ K	ひ ヒ N	み ミ Q	ゆ ユ U	り リ X	を ヲ ※2	゜ ゜
3回	う ウ .※1	く ク C	す ス F	つ ツ I	ぬ ヌ L	ふ フ O	む ム R	よ ヨ V	る ル Y	ん ン (	
4回	え エ &	け ケ 2	せ セ 3	て テ 4	ね ネ 5	へ へ 6	め メ S	ゃ ャ 8	れ レ Z	。 。)	
5回	お オ	こ コ	そ ソ	と ト	の ノ	ほ ホ	も モ 7	ゅ ュ	ろ ロ 9	、 、 '	
6回	ぁ ァ			っ ッ				ょ ョ		- - ＊	
7回	ぃ ィ									#	
8回	ぅ ゥ										
9回	ぇ ェ										
10回	ぉ ォ										

※1：ピリオド
※2：スペース（空白）

注1 「か」「き」のように同じ行の文字を続けて入力するときは、「か」を入力した後に[▷]を押してから次の文字を入力します。「あ」「か」のように異なる行の文字を入力するときは、「あ」を入力したあとに[▷]を押さなくても次の文字が入力できます。
注2 「が」「ぱ」のように濁点や半濁点が付く文字を入力するときは、まず「か」や「は」を入力し、次に[＊]を押します。
注3 「ヴ」「う゛」は入力できません。

か カ A
- 英数字モードのとき（A）
- カナモードのとき（カ）
- かなモードのとき（か）

●漢字変換のしかた

① 「かな」入力モードで読みを入力します。

>ゆき
かな

② [変換]ボタン（電話帳の▼）を押します。

>行
かな　1/ 26

- 読みに対応した漢字が1文字表示されます。
- 読みに対応した全漢字の候補数と、現在表示中の漢字の候補番号が表示されます。
- 該当する漢字がない場合は変換されません。

③ 目的の漢字が表示されるまで、[▼]または[▲]を数回押します。

④ [電話帳登録／セット]ボタンを押します。

幸_
>
かな

- 確定した漢字が、最上行に表示されます。

⑤ 手順①～④を繰り返し、名前を入力します。

入力例：鈴木正幸

① [3]を3回押して[電話帳]の[▷]を押します。
>す_
かな

② [3]を3回押します。
>すす
かな

③ [＊]を押します。
>すず
かな

④ [2]を2回押します。
>すずき
かな

⑤ [変換]（▼）を押します。
>鈴木
かな　1/ 4

⑥ [電話帳登録／セット]ボタンを押します。
鈴木_
>
かな

⑦ [7]を押します。
鈴木
>ま
かな

⑧ [3]を押します。
鈴木
>まさ
かな

⑨ [8]を2回押します。
鈴木
>まさゆ
かな

⑩ [2]を2回押します。
鈴木
>まさゆき
かな

⑪ [変換]（▼）を押します。
鈴木
>正幸
かな　1/ 18

⑫ [電話帳登録／セット]ボタンを押します。
鈴木正幸_
>
かな

? ●文字入力を間違えたとき…[◁]または[▷]でカーソルを移動し、[保留／クリア]ボタンを押すと、カーソル位置の文字が削除されます。続いて文字入力を行うと、カーソル位置の前に文字が挿入されます。

! ●親機と子機では、使用している変換用の辞書が異なるため、文字によっては、親機で変換できても子機では変換できない（またはその逆の）場合があります。

電話やファクスが入るとspeaxはこう動きます

お買い上げいただいたときの状態では、speaxに電話やファクスがかかってくると次のように動作をします（ファクス／電話自動切替）。

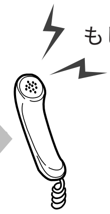
- 留守設定、おやすみモードに設定したときは、動作が異なります。（→P.73、P.82）
- 電話モードやファクス専用モードに設定することもできます。（→P.69、P.70）
- 着信ベルの回数、呼出ベルの回数は変えることができます。（→P.68）

着信ベルが6回鳴ります。



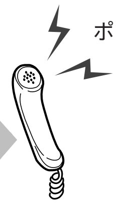
その間に電話にでると．．．

もしもし...



- 相手が電話なら通話できます。

ポー・ポー・ポー...（または無音）



- 「ポー・ポー・ポー...」という音が聞こえたら、ファクスです。
  『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れたら受話器（子機）を戻してください。自動的にファクスを受信します。
  ［ファクスかんたん受信］（→P.70）
- 無音だったら、ファクスかも知れません。
  ［スタート／コピー］ボタン（子機では［グループ／ドアホン／内線］ボタンを押してから［6］）を押してみてください。

ベルが6回鳴っても電話に出なかった場合、回線を自動的に接続します。
［ファクス／電話自動切替機能］

! 電話に出なくてもここから相手に通話料金がかかります。

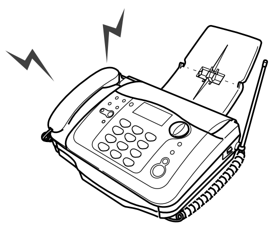
相手がファクスのとき

自動的に受信します。



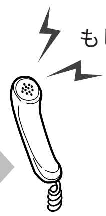
相手が電話のとき

引き続き呼出ベルが10回鳴ります。



! 相手には呼出音（トゥルルル）が少し変わって聞こえます。

もしもし...

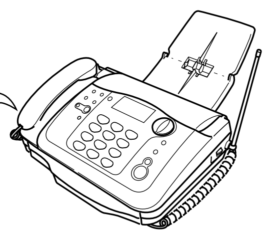


- 電話に出れば通話できます。

信号音の間に相手がファクスの送信操作をすると．．．

呼出ベルが10回鳴っても電話に出なかった場合、メッセージと信号音を送出して自動的に電話を切ります。

ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は、恐れ入りますがのちほどおかけなおしください。

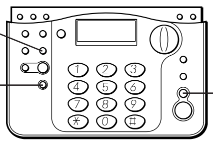


その後「ピーヒョロヒョロ...」と信号音を30〜40秒間送出します。

電話をかける

親機で電話をかける

●子機を使用中のとき(「内線2　使用中」と表示中)やプリント中のときは、電話をかけることができません。



1 受話器をとります。

● [ワイワイトーク]ボタンを押してかけることもできます。(→P.45)
●「ツー」という音が聞こえます。

2 相手先の番号をダイヤルします。

`0120200940_`

3 話をします。

● 音量を調整できます。(→P.55)

4 話が終わったら受話器を戻します。

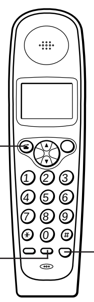
親機の確認ダイヤル

番号を確認してからかけたいときは、上の手順1、手順2の順番を反対(手順2→手順1)にして操作します。

? ●**確認ダイヤルで電話番号を押し間違えたとき…**[保留／クリア]ボタンまたは[ストップ]ボタンを押してからかけ直します。

子機で電話をかける

●親機を使用中(電話中、コピー中等)のときは使用できません。電話をかけようとすると、「ピーピーピー」という音がします。



1 充電器からとります。(充電器に置いていないときは 外線 を押します。)

● すべてのダイヤルボタンと[外線]ボタンが点灯します。(点灯しない場合は再度[外線]ボタンを押してください。)
●「ツー」という音が聞こえます。

2 相手先の番号をダイヤルします。

```
0 ’08
0120200940
```

● ダイヤルした番号の表示は5秒後に消えます。

3 話をします。

● 音量を調整できます。(→P.55)

4 話が終わったら充電器に戻します。(または 外線 を押します。)

● [外線]ボタンを押した場合は、[外線]ボタンが消灯します。
● 充電器に戻す際は、操作面を前向きに置いてください。

子機の確認ダイヤル

番号を確認してからかけることもできます。

1 充電器からとり、外線 が点灯するのを確認した後、外線 を押します。

● [外線]ボタンが消灯します。
● 子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進みます。

2 相手先の番号をダイヤルします。

3 外線 を押します。

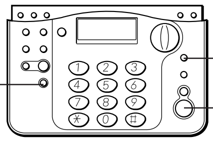
● ダイヤルした番号の表示は5秒後に消えます。
● [外線]ボタンを押すかわりに[ワイワイトーク]ボタンを押すとワイワイトークで電話をかけることができます。(→P.45)

! **●受話音量を大きくすると、音が割れたり、反響音が大きくなることがあります。このような場合は、受話音量をご確認いただき、通常は受話音量「標準」でお使いください。「大」の設定は、「標準」の設定で音が小さい場合にお使いください。(→P.55)**
●周囲音が大きいとき、それらの音が受話口から聞こえ、相手の声が聞きとりにくくなる場合があります。適度な受話音量に調整してください。(→P.55)

? ●**確認ダイヤルで電話番号を押し間違えたとき…**[削除／保留]ボタンを押すごとに、１文字取り消すことができます。

電話を受ける

親機で電話を受ける



1 ベルが鳴ります。

着信中

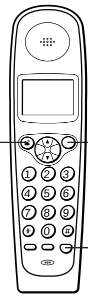
● [おやすみ]ボタンが点滅します。

2 受話器をとります。

通話時間 0分05秒

3 話が終わったら受話器を戻します。

子機で電話を受ける



1 ベルが鳴ります。

ﾍﾞﾙ 着信

● [外線]ボタンと[ワイワイトーク]ボタンが点滅します。
● 親機より少し遅れて鳴り始めます。

2 充電器からとります。(充電器に置いていないときは(外線)を押します。)

● 子機をとると[外線]ボタンが点灯し、親機に「内線2　使用中」と表示されます。

3 話が終わったら充電器に戻します。(または(外線)を押します。)

● [外線]ボタンを押した場合は、[外線]ボタンが消灯します。
● 充電器に戻す際は、操作面を前向きに置いてください。

?

● **親機の受話器(または子機)を置いたまま電話に出たいとき…**[ワイワイトーク]ボタンを押してください。(→P.45)
● **ベルの音を調整したいとき…**P.55をご覧ください。
● **ベルの音を変えたいとき…**着信ベルの音色を変えることができます。ベルのかわりにメロディを流すこともできます。(→P.56)
● **キャッチホンの呼出音が聞こえたとき…**P.129をご覧ください。

ポー・ポー・ポー…という音が聞こえるとき／無音のとき

● **受話器(または子機)をとったら「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえるときは、相手がファクス送信しています。**
・お買い上げいただいたときの状態(ファクスかんたん受信(→P.70)を「する」と設定した状態)では、続いて『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。メッセージが聞こえたら、受話器(子機)を戻してください。
・ファクスかんたん受信を「しない」と設定したときは、メッセージは流れません。[スタート／コピー]ボタンを押して受話器を戻してください。子機の場合は[グループ／ドアホン／内線]ボタンを押してから[6]を押してください。

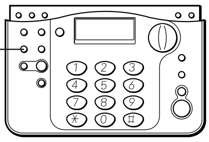
● **受話器(または子機)をとったら無音のときは、相手がファクスかもしれません。**
[スタート／コピー]ボタン(子機では[グループ／ドアホン／内線]ボタンを押してから[6])を押してみてください。(相手が旧型のファクスやコンビニエンスストアなどのファクスの場合、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえない場合があります。)

同じ相手にもう一度かける（リダイヤル）

最後にかけた相手には、ボタンひとつでかけなおすことができます。話中だった相手にもう一度かけなおすときなどにご利用ください。

親機でリダイヤルする

● リダイヤルできる桁数は40桁までです。



1 受話器をとります。

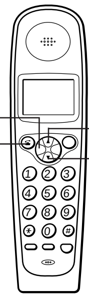
2 [リダイヤル/ポーズ] を押します。

0120200940 ダイヤル中

● 最後にかけた相手には、ファクスを送った相手も含まれます。この中には、相手が話中などでファクスを送れなかった場合も含まれますのでご注意ください。
● 子機で電話をかけた相手に、親機でリダイヤルすることはできません。

子機でリダイヤルする

● リダイヤルできる桁数は32桁までです。



1 充電器からとります。
● [外線]ボタンが点灯します。
● 子機を充電器に置いていないとき（[外線]ボタンが消灯して待機中のとき）は、手順2へ進みます。

2 [▲] を押し、「リダイヤル」を選びます。

ﾘﾀﾞｲﾔﾙ 0120200940

● 最後にかけた相手の電話番号が表示されます。

3 [外線] を押します。

子機のリダイヤルクリア

子機で最後にかけた番号は、次の手順で消すことができます。

1 [機能] を押します。

2 [▼変換]（または [▲]）を押し、「電話帳　消去」を選びます。

電話帳　消去 現在　6件

3 [機能] を押します。

日本電気 0120200940

4 [▲]（または [▼変換]）を押し、「リダイヤル　消去」を選びます。

ﾘﾀﾞｲﾔﾙ　消去

● すでに消去済みの場合、「リダイヤル　消去」は表示されません。

5 [機能] を押します。

消去しますか

● 消去確認のメッセージが表示されます。
● 消去をやめたいときは、[▲]／[▼]を押し、「中止しますか」と表示されたところで[機能]ボタンを押します。

6 [機能] を押します。

消去しました

● 最後にかけた電話番号が消去されます。

● 親機で電話をかけたり、ファクスを送ったりした相手に、子機でリダイヤルすることはできません。

トーン信号に切り替える（ダイヤル回線の場合）

ダイヤル回線を使用している場合でもトーン信号（プッシュ信号「ピッポッパ」）によって、ポケベルへメッセージを送ったり、テレホンサービス、ファクス情報サービスの利用などができます。

● プッシュ回線をご利用の場合には、この操作は必要ありません。

親機の場合

1　電話をかけます。

2　[＊トーン]を押します。

● 以後はダイヤルボタンを押すとプッシュ信号が送出されます。

3　用件が済んだら電話を切ります。

● 電話を切ると自動的にダイヤル信号に戻ります。

子機の場合

1　電話をかけます。

2　[◀トーン ＊]を押します。

● 以後はダイヤルボタンを押すとプッシュ信号が送出されます。

3　用件が済んだら電話を切ります。

● 電話を切ると自動的にダイヤル信号に戻ります。

らくらく電話帳

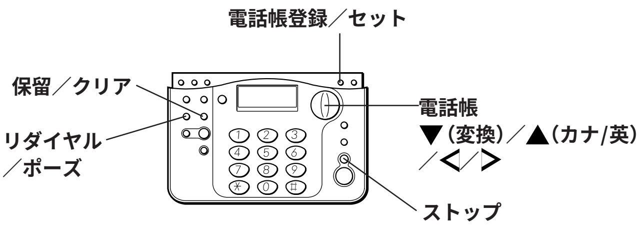
電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておくと、電話をかけるとき、ディスプレイで相手先名を選んでかけることができます。

親機の電話帳に登録する

- 相手先名には、漢字が使用できます。
- 登録した内容は電話番号リストで確認できます。(→P.141)
- 親機の電話帳の内容は、子機に転送することができます。

● 登録内容

- 登録件数：200件
- 相手先名：最大10文字(かな、漢字、カタカナ、英数字)
- 読み仮名：最大12文字(カタカナ、英数字)
- 電話番号：最大32桁



1 電話帳登録/セット を押します。

登録：名前？
>
かな

2 相手先の名前を入力します。

_
>
かな

入力モードエリア
入力文字、漢字候補
表示エリア
確定エリア

- 次ページの表に従って文字を入力します。
- 「かな」(漢字)、「カナ」、「英数字」の3つの入力モードを使って入力できます。
- ディスプレイの表示が文字を入力する状態に変わります。
- 入力が確定した文字は、確定エリアに表示されます。
- 名前を入力しなかった場合は、手順3で[電話帳登録／セット]ボタンを押した後、手順6へ進みます。

3 電話帳登録/セット を押します。

読み仮名：？
スズ゛キマサユキ
カナ

- 「カナ」入力モードとなり、入力文字表示エリアに漢字変換時に入力した「読み」がカタカナで表示されます。

4 読み仮名を確認します。

読み仮名：？
スズ゛キマサユキ
カナ

- 読み仮名を修正することもできます。そのときは、[<]または[>]を押して、修正したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
- 「カナ」、「英数字」の2つの入力モードを使って入力できます。
- [保留／クリア]ボタンを押すと、カーソルのある文字が1文字クリアされます。
- 読み仮名を修正しないときは、手順5へ進んでください。

5 電話帳登録/セット を押します。

鈴木正幸
電話：？

6 相手先の電話番号を入力します。

鈴木正幸
0312345678_

- ダイヤルボタンを押して入力します。

7 電話帳登録/セット を押します。

鈴木正幸
0312345678
登録しました

▼

登録：名前？
>
かな

- 続けて登録するときは、手順2から繰り返します。

8 登録を終了するときは ストップ を押します。

?
- **途中で登録をやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。
- **ディスプレイに「電話帳がいっぱいです」と表示されたとき…**電話帳に200件の相手先が登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。(→P.38)
- **ナンバー・ディスプレイの機能を利用するとき…**同一市内の番号でも市外局番から登録してください。また、その際、＊、＃、－(ポーズ)は入力しないでください。

国際電話を利用するとき

- 国際電話を利用するときは、手順6で国際電話番号を入力した後、[リダイヤル／ポーズ]ボタンを2回押してから(表示は「－－」)、残りの電話番号を入力してください。[リダイヤル／ポーズ]ボタンを押すと1回約3秒のポーズが入ります。
  例：001－－1[相手先の番号]

文字入力のしかた(親機)

●入力モードの切り替え

[カナ／英]ボタン(電話帳の▲)を押すごとに、「かな」、「カナ」、「英数字」に切り替わります。現在の入力モードは、入力モードエリアに表示されます。

かな入力 → カナ入力 → 英数入力 →(かな入力へ戻る)

かな入力	カナ入力	英数入力
>_ かな	>_ カナ	>_ 英数字

●文字入力表

ダイヤルボタン／押す回数	1 あ @._	2 か ABC	3 さ DEF	4 た GHI	5 な JKL	6 は MNO	7 ま PQRS	8 や TUV	9 ら WXYZ	0 わ 記号	* ゛゜
1回	あ ア 1	か カ A	さ サ D	た タ G	な ナ J	は ハ M	ま マ P	や ヤ T	ら ラ W	わ ワ 0	゛ ゛
2回	い イ ー	き キ B	し シ E	ち チ H	に ニ K	ひ ヒ N	み ミ Q	ゆ ユ U	り リ X	を ヲ ※2	゜ ゜
3回	う ウ .※1	く ク C	す ス F	つ ツ I	ぬ ヌ L	ふ フ O	む ム R	よ ヨ V	る ル Y	ん ン (	
4回	え エ &	け ケ 2	せ セ 3	て テ 4	ね ネ 5	へ ヘ 6	め メ S	ゃ ャ 8	れ レ Z	。 。)	
5回	お オ	こ コ	そ ソ	と ト	の ノ	ほ ホ	も モ 7	ゅ ュ	ろ ロ 9	、 、 '	
6回	ぁ ァ			っ ッ				ょ ョ		- - *	
7回	ぃ ィ									#	
8回	ぅ ゥ										
9回	ぇ ェ										
10回	ぉ ォ										

※1：ピリオド
※2：スペース(空白)

注1 「か」「き」のように同じ行の文字を続けて入力するときは、「か」を入力した後に[▷]を押してから次の文字を入力します。「あ」「か」のように異なる行の文字を入力するときは、「あ」を入力したあとに[▷]を押さなくても次の文字が入力できます。

注2 「が」「ぱ」のように濁点や半濁点が付く文字を入力するときは、まず「か」や「は」を入力し、次に[⁎]を押します。

注3 「ヴ」「ゔ」は入力できません。

か カ A
- A：英数字モードのとき
- カ：カナモードのとき
- か：かなモードのとき

●漢字変換のしかた

①「かな」入力モードで読みを入力します。

> >ゆき
> かな

② [変換]ボタン(電話帳の▼)を押します。

> >行
> かな　1/ 26

- 読みに対応した漢字が1文字表示されます。
- 読みに対応した全漢字の候補数と、現在表示中の漢字の候補番号が表示されます。
- 該当する漢字がない場合は変換されません。

③ 目的の漢字が表示されるまで、[▼]または[▲]を数回押します。

④ [電話帳登録／セット]ボタンを押します。

> 幸_
> >
> かな

- 確定した漢字が、最上行に表示されます。

⑤ 手順①～④を繰り返し、名前を入力します。

入力例：鈴木正幸

① [3]を3回押して[電話帳]の[▷]を押します。

> >す_
> かな

② [3]を3回押します。

> >すす
> かな

③ [⁎]を押します。

> >すず
> かな

④ [2]を2回押します。

> >すずき
> かな

⑤ [変換](▼)を押します。

> >鈴木
> かな　1/ 4

⑥ [電話帳登録／セット]ボタンを押します。

> 鈴木_
> >
> かな

⑦ [7]を押します。

> 鈴木
> >ま
> かな

⑧ [3]を押します。

> 鈴木
> >まさ
> かな

⑨ [8]を2回押します。

> 鈴木
> >まさゆ
> かな

⑩ [2]を2回押します。

> 鈴木
> >まさゆき
> かな

⑪ [変換](▼)を押します。

> 鈴木
> >正幸
> かな　1/ 18

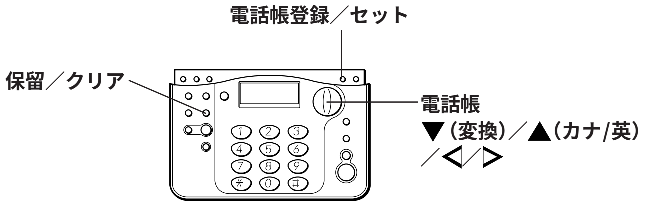
⑫ [電話帳登録／セット]ボタンを押します。

> 鈴木正幸_
> >
> かな

? ●文字入力を間違えたとき…[◁]または[▷]でカーソルを移動し、[保留／クリア]ボタンを押すと、カーソル位置の文字が削除されます。続いて文字入力を行うと、カーソル位置の前に文字が挿入されます。

! ●親機と子機では、使用している変換用の辞書が異なるため、文字によっては、親機で変換できても子機では変換できない(またはその逆の)場合があります。

親機の電話帳の登録を変更／消去する



1 [カナ/英 ＜電話帳＞ 変換] **の▼または▲を押して変更／消去したい相手先名を選びます。**

鈴木正幸
0312345678
▲▼で選択

- 登録されている相手先名が表示されます。(表示される順番は、読み仮名で、空白＋文字→数字→カナ(50音順)→アルファベット→記号→名前を登録していない電話番号の順です。)
- ダイヤルボタンを押して、相手先を素早く探すことができます。(→P.43)
- 相手先を早送りしたいときは、[▼]または[▲]を押し続けてください。

2 [電話帳登録/セット] **を押します。**

鈴木正幸
0312345678
消去＜　変更

3 [カナ/英 ＜電話帳＞ 変換] **の＜または＞を押して「＞変更」または「消去＜」を選びます。**

変更する

4 [電話帳登録/セット] **を押します。**

鈴木正幸
＞
かな

5 名前を変更します。

- [＜]または[＞]を押して、変更したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
- [保留／クリア]ボタンを押すと、カーソルのある文字が1文字クリアされます。
- 名前を変更しないときは、手順6へ進んでください。

6 [電話帳登録/セット] **を押します。**

読み仮名：？
スズ゛キマサユキ
カナ

7 読み仮名を変更します。

- [＜]または[＞]を押して、変更したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
- [保留／クリア]ボタンを押すと、カーソルのある文字が1文字クリアされます。
- 読み仮名を変更しないときは、手順8へ進んでください。

8 [電話帳登録/セット] **を押します。**

鈴木正幸
0312345678

9 電話番号を変更します。

- [＜]または[＞]を押して、変更したい番号の下にカーソルを移動させ、新しい番号を入力します。
- [保留／クリア]ボタンを押すと、入力中の全ての数字がクリアされます。
- 電話番号を変更しないときは、手順10へ進んでください。

10 [電話帳登録/セット] **を押します。**

変更しました

消去する

4 [電話帳登録/セット] **を押します。**

消去＜　取り消し

- 消去をやめる場合、[＜]または[＞]を押して「＞取り消し」を選び、[電話帳登録／セット]ボタンを押します。(手順1へ戻ります。)

5 [電話帳登録/セット] **を押します。**

消去しました

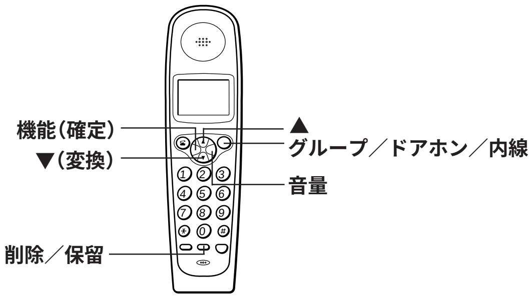
子機の電話帳に登録する

子機の電話帳に相手の名前と電話番号を登録しておくと、電話をかけるとき、ディスプレイで相手先名を選んでかけることができます。また、グループを選んで登録すれば、より早く相手先を探すことができます。

- 相手先名には、漢字が使用できます。
- 各ボタンは60秒以内に操作してください。
  60秒以上何もしないと「ピーピーピー」という音がして登録が中断されます。
- **登録内容**

・登録件数：100件
・相手先名：最大6文字(かな、漢字、カタカナ、英数字)
・読み仮名：最大12文字(カタカナ、英数字)
・電話番号：最大16桁

- **グループについて**
  子機の電話帳では相手先を4種類のグループ(♥♣♦♠)に分けて登録することができます。グループ登録をしておくと、電話帳を使って電話をかけるときにグループで呼び出すことができるので便利です。
  例： ♥…親しい友人　　♣…家族、親戚
  　　♦…会社関係　　♠…公共施設



1 [機能] **を押します。**

電話帳　登録
残り 100件

2 [機能] **を押します。**

- 名前が入力できる状態になります。
- このまま30秒何もしないと、「機能ボタンを押して下さい」と表示されます。

漢
名前？
＞_
かな

入力モードエリア
入力文字、漢字候補表示エリア
確定エリア

3 相手先の名前を入力します。

- 次ページの表に従って文字を入力します。
- 「かな」(漢字)、「カナ」、「英数字」の3つの入力モードを使って入力できます。
- 入力が確定した文字は、確定エリアに表示されます。
- 名前を入力しなかった場合は、手順4で[機能]ボタンを押した後、手順7へ進みます。

漢
鈴木正幸_
＞
かな

カーソル(点滅)

4 [機能] **を押します。**

- 「カナ」入力モードとなり、入力文字表示エリアに漢字変換時に入力した「読み」がカタカナで表示されます。

ｶﾅ
読み仮名？
ｽｽﾞｷﾏｻﾕｷ
ｶﾅ

文字とカーソルが交互に点滅

5 読み仮名を確認します。

- 読み仮名を修正することもできます。そのときは、[✱]または[#]を押して、修正したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
- 「カナ」、「英数字」の2つの入力モードを使って入力できます。
- [削除／保留]ボタンを押すと、カーソルのある文字が一文字クリアされます。(カーソルが右端の文字の右側にある場合は、右端の文字がクリアされます。)
- 読み仮名を修正しないときは、手順6へ進んでください。

ｶﾅ
読み仮名？
ｽｽﾞｷﾏｻﾕｷ
ｶﾅ

6 [機能] **を押します。**

鈴木正幸
電話番号？
_

カーソル(点滅)

7 相手先の電話番号を市外局番から入力します。

- ダイヤルボタンを押して入力します。
- 12桁を超えたときはスクロール表示されます。
- グループ登録を行わない場合は手順9へ進みます。
- ポーズを入れる場合は[音量]ボタンを押します。
- 入力を間違えたときは、[削除／保留]ボタンを押して入力しなおしてください。([削除／保留]ボタンを2秒以上押すと番号が一度に消えます。)

鈴木正幸
電話番号？
0312345678_

8 [グループ／ドアホン／内線] **を押して、グループを選びます。**

- [グループ／ドアホン／内線]ボタンを押すごとに選べます。

♥→♣→♦→♠→ なし

♥
鈴木正幸
電話番号？
0312345678_

9 [機能] **を押します。**

- 登録した名前と残り件数(あと何件登録できるか)が表示されます。

鈴木正幸
登録しました
残り　99件

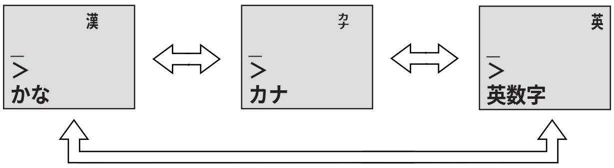
?

- **通話中に電話帳へ登録したいとき…**通話中に別の友人の電話番号を聞いたときなど、子機を持ったまま同じ手順で電話帳へ登録することができます。
- **ひとつ前の手順に戻りたいとき…**操作中に[機能]ボタンを2秒以上押し続けると、ディスプレイがひとつ前の状態に戻ります。
- **ディスプレイに「登録不可」と表示されたとき…**電話帳に100件の相手先が登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。(→P.41)
- **途中で登録をやめるとき…**充電器に戻してください。充電器に置いたまま操作している場合は、いったん子機を充電器からとり、充電器に戻してください。
- **ナンバー・ディスプレイの機能を利用するとき…**同一市内の番号でも市外局番から登録してください。また、その際、✱、＃、－(ポーズ)は入力しないでください。

文字入力のしかた(子機)

●入力モードの切り替え

[▲]または[▼]のどちらかを押すごとに、「かな」、「カナ」、「英数字」に切り替わります。現在の入力モードは、入力モードエリアに表示されます。



●文字入力表

ボタン／押す回数	1あ	2かABC	3さDEF	4たGHI	5なJKL	6はMNO	7まPQRS	8やTUV	9らWXYZ	0わ記号	キャッチ
1回	あ ア 1	か カ A	さ サ D	た タ G	な ナ J	は ハ M	ま マ P	や ヤ T	ら ラ W	わ ワ 0	゛ ゛
2回	い イ	き キ B	し シ E	ち チ H	に ニ K	ひ ヒ N	み ミ Q	ゆ ユ U	り リ X	を ヲ ー	゜ ゜
3回	う ウ	く ク C	す ス F	つ ツ I	ぬ ヌ L	ふ フ O	む ム R	よ ヨ V	る ル Y	ん ン .	
4回	え エ	け ケ 2	せ セ 3	て テ 4	ね ネ 5	へ ヘ 6	め メ S	ゃ ャ 8	れ レ Z	。 。 (	
5回	お オ	こ コ	そ ソ	と ト	の ノ	ほ ホ	も モ 7	ゅ ュ	ろ ロ 9	、 、)	
6回	ぁ ァ			っ ッ				ょ ョ		ー ー ・	
7回	ぃ ィ									※1 ※1 ,	
8回	ぅ ゥ									*	
9回	ぇ ェ									#	
10回	ぉ ォ									&	
11回										※1	

※1：スペース(空白)

か カ A
- か：かなモードのとき
- カ：カナモードのとき
- A：英数字モードのとき

注1 カーソルを左に移動するときは[*]、右に移動するときは[#]を押します。
注2 「か」「き」のように同じ行の文字を続けて入力するときは、「か」を入力した後に[#]を押してから次の文字を入力します。「あ」「か」のように異なる行の文字を入力するときは、[#]を押さなくても次の文字が入力できます。
注3 「が」「ぱ」のように濁点や半濁点が付く文字を入力するときは、まず「か」や「は」を入力し、次に[キャッチ]ボタンを押します。(「ヴ」「う゛」は入力できません。)
注4 名前入力時に入力した「。」「、」は読み仮名では「．」になります。
読み仮名修正時に入力した「。」は「．」に、「、」は「，」になります。

●漢字変換のしかた

① 「かな」入力モードで読みを入力します。

確定エリアのカーソル
■
>まさ
かな

② [変換]([▼])ボタンを押します。
- 読みに対応した漢字が表示されます。
- 読みに対応した全漢字の候補数と、現在表示中の漢字の候補番号が表示されます。
- 該当する漢字がない場合は変換されません。

■
>マサ
かな 001/010

③ 目的の漢字が表示されるまで、[▼]または[▲]を数回押します。

④ [確定]([機能])ボタンを押します。
- 確定した漢字が、最上行に表示されます。

正_
>
かな

⑤ 手順①～④を繰り返し、名前を入力します。

入力例：鈴木正幸

① [3]を3回押して[#]を押します。

■
>す_
かな

② [3]を3回押します。

>すす
かな

③ [キャッチ]ボタンを押します。

>すず
かな

④ [2]を2回押します。

>すずき
かな

⑤ [変換](▼)を押します。

>鈴木
かな 001/004

⑥ [確定]([機能])ボタンを押します。

鈴木__
>
かな

⑦ [7]を押します。

鈴木■
>ま
かな

⑧ [3]を押します。

鈴木■
>まさ
かな

⑨ [8]を2回押します。

鈴木■
>まさゆ
かな

⑩ [2]を2回押します。

鈴木■
>まさゆき
かな

⑪ [変換](▼)を押します。

鈴木■
>正幸
かな 001/031

⑫ [確定]([機能])ボタンを押します。

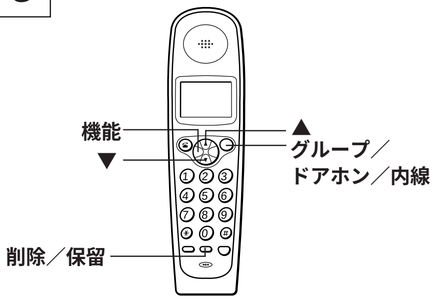
鈴木正幸__
>
かな

? ● **名前や電話番号の入力を間違えたとき…**[削除／保留]ボタンを押して入力しなおしてください。(名前入力時は[*]、[#]を押せばカーソルが移動します。)
[削除／保留]ボタンを2秒以上押すと、名前または電話番号の1行が一度に消えます。

! ● **親機と子機では、使用している変換用の辞書が異なるため、文字によっては、親機で変換できても子機では変換できない(またはその逆の)場合があります。**

子機の電話帳の登録を変更／消去する

変更する



1 [機能]**を押します。**

電話帳　登録
残り　85件

2 [変換]**を押して「電話帳　変更」を選びます。**

電話帳　変更
現在　15件

- 電話帳に何も登録されていないときは表示されません。

3 [機能]**を押します。**

♥
阿部太郎
0312341234

- 電話帳の先頭の相手先が表示されます。

4 [▲]**または**[変換]**を押して変更したい相手先名を選びます。**

♥
鈴木正幸
0312345678

- 登録されている相手先名が表示されます。（表示される順番は、読み仮名で、空白＋文字→数字→カナ（50音順）→アルファベット→記号→名前を登録していない電話番号の順です。）
- ダイヤルボタンを押して、相手先を素早く探すことができます。（→P.43）
  例）「鈴木正幸」を探すときは、[3（さ）]を押してください。
  この検索は読み仮名がカナで登録された名前のみで、アルファベット等で登録された名前は検索できません。
- 相手先を早送りしたい場合は、[▲]または[▼]を押し続けてください。

5 [機能]**を押します。**

文字とカーソルが交互に点滅

♥　漢
鈴木正幸
>
かな

6 **名前を変更します。**

♥　漢
鈴木正広_
>
かな

- [✱]または[#]を押して、変更したい文字の下にカーソルを移動させ、文字を入力します。
- [削除／保留]ボタンを押すとカーソルの位置の文字がクリアされます。
- [削除／保留]ボタンを2秒以上押すと、すべての文字が消えます。
- 名前を変更しないときは、手順7へ進んでください。

7 [機能]**を押します。**

文字とカーソルが交互に点滅

♥　ｶﾅ
読み仮名？
ｽｽﾞｷﾏｻﾕｷﾋﾛ
ｶﾅ

8 **読み仮名を変更します。**

♥
読み仮名？
ｽｽﾞｷﾏｻﾋﾛ_
ｶﾅ

- [✱]または[#]を押して、修正したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
- [削除／保留]ボタンを押すと、カーソルのある文字が一文字クリアされます。
- [削除／保留]ボタンを2秒以上押すと、全ての文字が消えます。
- 読み仮名を変更しないときは手順9へ進んでください。

9 [機能]**を押します。**

♥
鈴木正広
電話番号？
0312345678_

カーソル（点滅）

10 **電話番号を変更します。**

♥
鈴木正広
電話番号？
0323456789_

- [削除／保留]ボタンを押して、番号を入れなおします。
- [削除／保留]ボタンを2秒以上押すと、すべての番号が消えます。
- 番号を変更しないときは手順11へ、グループを変更しないときは手順12へ進んでください。

11 [グループ／ドアホン／内線]**を押して、グループを変更します。**

♠
鈴木正広
電話番号？
0323456789_

- [グループ／ドアホン／内線]ボタンを押すごとにグループが選べます。（→P.39）
- グループを変更しないときは手順12へ進んでください。

12 [機能]**を押します。**

鈴木正広
変更しました
現在　15件

- 変更した名前と現在の登録件数が表示されます。

消去する

1 [機能]**を押します。**

電話帳　登録
残り　85件

2 [変換]**（または**[▲]**）を押して「電話帳　消去」を選びます。**

電話帳　消去
現在　15件

3 [機能]**を押します。**

阿部太郎
0312341234

- 電話帳の先頭の相手先が表示されます。

4 [▲]**または**[変換]**を押して消去したい相手先名を選びます。**

鈴木正幸
0312345678

- 登録されている相手先名が表示されます。（表示される順番は、読み仮名で、空白＋文字→数字→カナ（50音順）→アルファベット→記号→名前を登録していない電話番号の順です。）
- ダイヤルボタンを押して、相手先を素早く探すことができます。（→P.43）
  例）「鈴木正幸」を探すときは、[3（さ）]を押してください。
  この検索は読み仮名がカナで登録された名前のみで、アルファベット等で登録された名前は検索できません。
- 相手先を早送りしたい場合は、[▲]または[▼]を押し続けてください。

5 [機能]**を押します。**

鈴木正幸
消去しますか

- 表示されていた電話番号が消え、確認のメッセージが表示されます。

6 [機能]**を押します。**

消去しました
現在　14件

?
- **電話帳の内容をすべて一度に消去するとき…**手順4で[▲]または[▼]を押し「電話帳全消去」を選び、[機能]ボタンを押します。
  確認のメッセージが表示されたら再度[機能]ボタンを押せば消去されます。
- **消去をやめたいとき…**手順5で[▲]または[▼]を押し「中止しますか」を選び、[機能]ボタンを押します。

親機の電話帳を子機に転送する

- 転送した内容は、子機の電話帳に追加されます。
- 電話帳を一度に転送すること(一斉転送)も、1件ずつ転送すること(個別転送)もできます。
- 子機にも同じ相手先名、読み仮名、電話番号が登録されている場合は転送されません。(いずれかが異なれば転送されます。ただし、相手先名は先頭の6文字が同じであれば、同じ相手先とみなされます。)
- 相手先名は6文字まで転送され、残りは切り捨てられます。
- 17桁以上の電話番号が登録されている場合は転送されません。

表示例

電話帳転送
正常終了しました
10件 転送できません

- 子機の電話帳がすでに100件登録済みの場合は転送されません。また、子機の登録数が100件になったところで、転送は終了します。

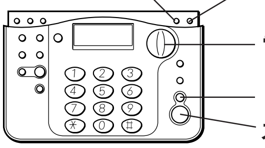
表示例

内線2
電話帳がいっぱいです
10件 転送できません

- 転送中に着信があった場合や、エラーが発生したときはそこで転送を終了します。

表示例

電話帳転送
異常終了しました
10件 転送できません



1 [機能]を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

2 [カナ/英 電話帳 変換]の▼を3回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 [電話帳登録/セット]を押します。

自分の電話番号
発信元
おやすみタイマ切替

4 [カナ/英 電話帳 変換]の▼を7回押します。

時刻設定
電話帳転送

5 [電話帳登録/セット]を押します。

転送方法

一斉＜　個別

すべての登録を一度に転送するとき(一斉転送)

6 [カナ/英 電話帳 変換]の＜または＞を押して「一斉＜」を選びます。

7 [電話帳登録/セット]を押します。

- 増設子機を使用している場合は、[＜]または[＞]を押して転送先の子機の内線番号を選びます。

転送内線番号
内線2
＜＞で選択

8 [電話帳登録/セット]を押します。

転送を開始します
スタートを
押して下さい

9 [スタート コピー]を押します。

- 転送件数／登録件数が数字で表示されます。

内線2
電話帳転送中
1/45件

▼

電話帳転送
正常終了しました

一件ずつ転送するとき(個別転送)

6 [カナ/英 電話帳 変換]の＜または＞を押して「＞個別」を選びます。

7 [電話帳登録/セット]を押します。

- 増設子機を使用している場合は、[＜]または[＞]を押して転送先の子機の内線番号を選びます。

転送内線番号
内線2
＜＞で選択

8 [電話帳登録/セット]を押します。

日本電気
0120200940
▲▼で選択

9 [カナ/英 電話帳 変換]の▼または▲を押して転送したい相手先を選択します。

- 相手先を素早く探すこともできます。(→P.43)

10 [電話帳登録/セット]を押します。

転送を開始します
スタートを
押して下さい

11 [スタート コピー]を押します。

- 他の登録も転送したいときは、手順9に戻って転送を繰り返します。

内線2
電話帳転送中

▼

電話帳転送
正常終了しました

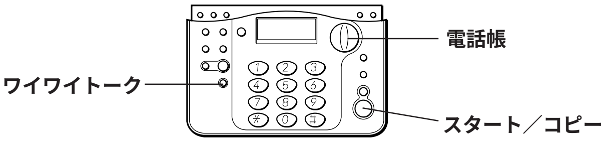
▼

日本電気
0120200940
▲▼で選択

12 個別転送を終了するときは[ストップ]を押します。

!
- **転送中、相手の子機には「電話帳転送中」と表示され、使用できません。**
- **個別転送を繰り返し行う場合、その間相手の子機の表示は「電話帳転送中」のままとなります。(親機に「正常終了しました」と表示されれば、転送を続けて行うことができます。)**

親機で電話帳を使って電話をかける



1 

の▼ または▲を押して相手先を選びます。

日本電気
0120200940

- 登録されている相手先名が表示されます。（表示される順番は、読み仮名で、空白＋文字→数字→カナ（５０音順）→アルファベット→記号→名前を登録していない電話番号の順です。）
- ダイヤルボタンを押して、相手先を素早く探すことができます。（→本ページ右）
  例）「日本電気」を探すときは、［5（な）］を押してください。
- 相手先を早送りしたい場合は、［▼］または［▲］を押し続けてください。

2 受話器をとります。

日本電気
0120200940
ダイヤル中

- ダイヤルが始まります。

3 話が終わったら受話器を戻します。

!

- **親機で子機の電話帳は使えません。また、子機で親機の電話帳は使えません。**
- **手順1の前に受話器をとっても電話をかけることはできます。この場合は相手先を選んだ後［スタート／コピー］ボタンを押します。［スタート／コピー］ボタンを押すまでにかかる時間によっては電話をかけることができなくなる場合があります。**

?

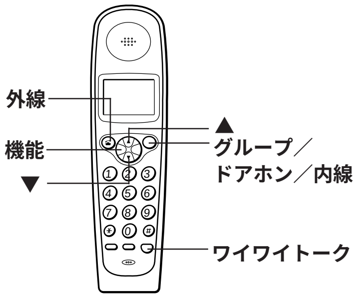
- **ワイワイトークで話したいとき…**受話器をとるかわりに［ワイワイトーク］ボタンを押します。

相手先を素早く探すには

- ディスプレイに相手先名が表示されているときにダイヤルボタンを押すと、ボタンに割り当てられている読み仮名の行の先頭に飛ぶことができます。
  （例：［3（さ）］を押すと「佐藤」）
- また、ダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先名が順番に表示されます。（親機のみ）
  （例：［3（さ）］を押すたびに「佐藤」「進籐」「鈴木」…）
- 該当する行に相手先名が登録されていないときは、相手が表示されません。
- 相手先名が表示されている状態から［▼］または［▲］を押すと、電話帳に登録されている相手先名の、読み仮名の順番（カナ→アルファベット→記号）で表示されます。
- 相手先が表示されている状態から頭文字が記号の相手先を探す場合は［0］を押し、その後［▼］を押してください。
- 相手先を早送りしたい場合は、［▼］または［▲］を押し続けてください。

ご使用の前に
設置
電話
ファクス／コピー
留守番
ハンドスキャナ
α・ALPHA5
α・Eメール
ナンバー・ディスプレイ
キャッチホン／Fネット／ダイヤルイン
こんなときは

子機で電話帳を使って電話をかける



相手先を50音順に探してかける

1 充電器からとり、[外線]が点灯するのを確認した後、[外線]を押します。
- [外線]ボタンが消灯します。
- 子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進みます。

2 [▲]または[▼変換]を押して相手先を選びます。

日本電気
0120200940

3 [外線]を押します。
- ダイヤルが始まります。

0 '02
0120200940

4 話が終わったら充電器に戻します。（または[外線]を押します。）

相手先をグループで探してかける

1 充電器からとり、[外線]が点灯するのを確認した後、[外線]を押します。
- [外線]ボタンが消灯します。
- 子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進みます。

2 [機能]を押します。

電話帳　登録

3 [グループ／ドアホン／内線]を押して、グループを選びます。

♠
日本電気
0120200940_

- [グループ／ドアホン／内線]ボタンを押すごとに選べます。
- 選んだグループの先頭の相手先が表示されます。

♥→♣→♦→♠→♥♣♦♠（すべて）→♥

4 [▲]または[▼変換]を押して相手先を選びます。

♠
日本電気
0120200940

5 [外線]を押します。
- ダイヤルが始まります。

0 '02
0120200940

6 話が終わったら充電器に戻します。（または[外線]を押します。）

相手先を素早く探してかける

1 充電器からとり、[外線]が点灯するのを確認した後、[外線]を押します。
- [外線]ボタンが消灯します。
- 子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進みます。

2 [機能]を押します。

電話帳　登録

3 相手先の頭文字の行のダイヤルボタンを押します。

阿部太郎
0312345678

- 押したボタンに割り当てられているカナの行の先頭に登録されている相手先が表示されます。
  （例：[1（あ）]を押すと「阿部」）
  この検索は読み仮名がカナで登録された名前のみで、アルファベット等で登録された名前は検索できません。

4 [▲]または[▼変換]を押して相手先を選びます。

♥
植松篤史
0387654321

5 [外線]を押します。
- ダイヤルが始まります。

0 '02
0387654321

6 話が終わったら充電器に戻します。（または[外線]を押します。）

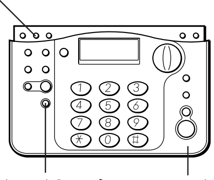
？
- **相手先を早送りしたいとき…**[▼]または[▲]を押し続けてください。
- **ワイワイトークで話したいとき…**かけたい相手先を表示させてから、[外線]ボタンの代わりに[ワイワイトーク]ボタンを押します。

ワイワイトーク（ハンズフリー通話）

受話器や子機を持たずに電話ができます。両手がふさがっているときや、みんなで話をしたいときに便利です。子機の場合、ダイヤルしたあとは子機を立てて使うこともできます。
ワイワイトークは周囲の雑音がない静かな場所で行ってください。

親機の受話器を持たずに話をする

相手の声は左側面にあるモニタスピーカから聞こえます。モニタスピーカをふさがないように壁などから20cm以上離して設置してください。



1 ワイワイトーク を押します。
● [ワイワイトーク]ボタンが点灯します。

2 相手先の番号をダイヤルします。

`0120200940_`

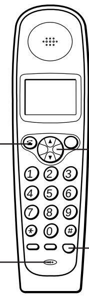
3 マイクに向かって話をします。

`通話時間 0分05秒`

● マイクから約50cm以内の範囲でお話しください。

4 話が終わったら ワイワイトーク を押します。
● [ワイワイトーク]ボタンが消灯します。

子機を持たずに話をする



1 ワイワイトーク を押します。
● [ワイワイトーク]ボタンと[外線]ボタンが点灯します。
● 充電器に置いてあるときは[ワイワイトーク]ボタンのかわりに[外線]ボタンを押すこともできます。

2 相手先の番号をダイヤルします。

`0'08`
`0120200940`

● ダイヤルした番号の表示は5秒後に消えます。

3 送話口に向かって話をします。

`0'14`

● 送話口から約50cm以内の範囲でお話しください。

4 話が終わったら 外線 を押します。（または充電器に戻します。）
● [ワイワイトーク]ボタンが消灯します。
● 充電器に戻す際は、操作面を前向きに置いてください。

!
● **話し始めた時や相手が話している間、または周囲の雑音が大きいときは、相手に声が聞こえにくくなります。このようなときは、マイク（子機の場合は送話口）に近づいて話をしてください。**
● **次のようなときは異常音（ハウリング音）が起こりやすくなります。ご注意ください。**
- **ワイワイトーク中のモニタスピーカ音量を大きくしすぎたとき**
- **モニタスピーカやマイクに手などを近づけたとき**
- **反響音が大きい所に設置したとき**
- **相手から音声以外の信号（保留音やトーン信号等）が入ってきたとき**

?
● **ワイワイトーク中に受話器での（または子機を持った）通話に切り替えたいとき…**受話器をとってください。子機の場合は[ワイワイトーク]ボタンを押してください。充電器に置いてあるときは、充電器からとると切り替わります。
● **受話器での（または子機を持った）通話中にワイワイトークに切り替えたいとき…**[ワイワイトーク]ボタンを押してから受話器を戻してください。子機の場合は[ワイワイトーク]ボタンを押してください。
● **スピーカの音量を調整したいとき…**[音量]ボタンを押してください。（→P.55）子機の場合は、モニタスピーカ音量の設定を「標準」でご使用ください。モニタスピーカ音量を「大」にすると、音が割れたり、歪んだりすることがあります。

異常音が発生したとき

ワイワイトーク中に会話以外の「ピー」、「キー」等の異常音（ハウリング音）が聞こえたときや、スピーカの音量が不安定になったときは次のようにしてください。

● **親機の場合**
- [音量]ボタンを押してスピーカの音量を小さくする
- 受話器をとって、受話器での通話に切り替える

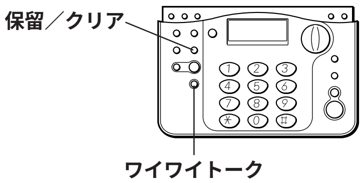
● **子機の場合**
- [音量]ボタンを押してワイワイトーク音量を「標準」にする
- [ワイワイトーク]ボタンを押して、子機を持って話す

保留する

話をしている途中で相手に待っていてほしいときなどに、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手に聞こえません。

● メロディ音（保留メロディ）は、2つの中から選ぶことができます。（→P.56）

親機で保留する



1 通話中です。

2 保留/クリア を押します。

保留中　♪♪

● メロディ音が流れます。
● 受話器を戻しても電話は切れません。

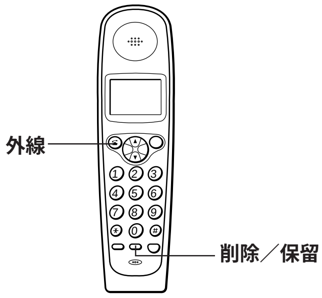
3 もう一度話をするときは 保留/クリア を押します。

● 受話器を戻していたときは、受話器をとるだけで話ができます。

4 話が終わったら受話器を戻します。

● ワイワイトークのときは[ワイワイトーク]ボタンを押してください。

子機で保留する



1 通話中です。

2 削除/保留 を押します。

1’00
保留

● メロディ音が流れます。
● 充電器に戻しても電話は切れません。
● 保留中は[外線]ボタンが点滅します。

3 もう一度話をするときは 削除/保留 を押します。

● 充電器に戻していたときは、充電器からとるだけで話ができます。

4 話が終わったら受話器に戻します。（または 外線 を押します。）

親機で保留のあと子機で話をするとき

1 保留中です。

保留中　♪♪

2 親機の受話器を戻します。

● 戻していたときは次の手順3へ進んでください。

3 子機を充電器からとります。（充電器に置いていないときは 外線 を押します。）

● 子機で話ができます。

子機で保留のあと親機で話をするとき

1 保留中です。

1’15
保留

2 子機を充電器に戻すか 外線 を押します。

● 親機の保留になります。

3 親機の受話器をとります。

● 親機で話ができます。

● 10分以上保留にしたままでいると電話は切れます。
● 内線通話は保留できません。

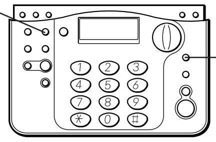
転送する

外からの電話(「外線」と呼びます)を親機から子機、または子機から親機へ転送できます。

● **内線番号について**
親機や子機には内線番号が割り当てられています。転送する時にダイヤルします。
・親機：1
・付属の子機(内線2)：2
・増設子機(1台目ー内線3)：3
・増設子機(2台目ー内線4)：4
・増設子機(3台目ー内線5)：5
● 増設子機(別売)使用の場合は、子機から他の子機へ転送できます。

親機から子機へ転送する

転送する側



1 受話器で外線と通話中です。

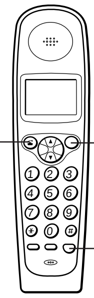
2 [内線／ドアホン] [2] を押します。 【内線2 を呼出中】
● [おやすみ]ボタンが点滅します。
● 外線が保留になり、相手にはメロディ音が流れます。

3 呼出音が止まったらメッセージを言います。 【ボイスコール中♪♪】
●「ボイスコールしない」と設定した場合(→P.57)は手順4に進んでください。

4 子機が出たら外線を転送することを伝えます。 【内線2 と通話中♪♪】

5 受話器を戻します。 【内線2 使用中】

転送される側



1 ベルが2〜3回鳴ります。 【内線 着信】
● [グループ／ドアホン／内線]ボタンと[ワイワイトーク]ボタンが点滅します。
● ベルが鳴り終わると自動的に着信します。
●「ボイスコールしない」に設定しているときは手順3の操作をするまでベルが鳴り続けます。

2 メッセージがスピーカから聞こえます。 【ボイスコール】
● そのままでもワイワイトークで親機と話ができます。
● [グループ／ドアホン／内線]ボタンが点灯に変わります。

3 充電器からとります。(充電器に置いていないときは [グループ／ドアホン／内線] を押します。) 【内線】

4 親機と話をします。

5 外線と話をします。
● 転送する側が受話器を戻すと、外線と話ができます。
● [グループ／ドアホン／内線]ボタンが消灯し、[外線]ボタンが点灯します。

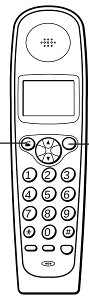
? ● **子機側が出ないとき…**[内線／ドアホン]ボタンを押すともう一度外線と話ができます。
● **一人で転送したいとき…**保留し、受話器を戻してから子機で出てください。(→P.46)

増設子機(別売)使用の場合

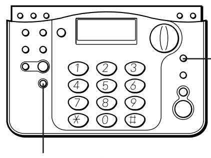
● 手順2では次のボタンを押してください。
・子機(内線2)呼出：[内線／ドアホン][2]
・子機(内線3)呼出：[内線／ドアホン][3]
・子機(内線4)呼出：[内線／ドアホン][4]
・子機(内線5)呼出：[内線／ドアホン][5]
・子機一斉呼出：　[内線／ドアホン][✱]
● 子機一斉呼出ではボイスコールはできません。
● 子機間では話はできません。また、三者通話もできません。

子機から親機へ転送する

転送する側



転送される側



転送する側

1 外線と通話中です。

2 [グループ／ドアホン／内線] [1あ] を押します。

0'15
内線　　呼出

- [外線]ボタンと[グループ／ドアホン／内線]ボタンが点滅します。
- 外線が保留になり、相手にはメロディ音が流れます。

3 呼出音が止まったらメッセージを言います。

0'20
内線

- 「ボイスコールしない」と設定した場合は手順4に進んでください。

4 親機が出たら外線を転送することを伝えます。

5 充電器に戻します。（または [外線] を押します。）

転送される側

1 ベルが2〜3回鳴ります。

内線2　から着信中
▼
ボイスコール中♪♪

- [おやすみ]ボタンが点滅します。
- ベルが鳴り終わると自動的に着信します。
- 「ボイスコールしない」に設定しているときは手順3の操作をするまでベルが鳴り続けます。

2 メッセージがスピーカから聞こえます。

- [ワイワイトーク]ボタンが点滅します。
- ワイワイトークで子機と話ができます。

3 受話器をとります。

内線2　と通話中♪♪

4 子機と話をします。

5 外線と話をします。

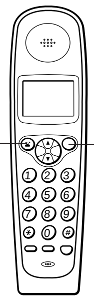
- 転送する側が充電器に戻すか、[外線]ボタンを押すと、外線と話ができます。

?
- **親機が出ないとき…**[グループ／ドアホン／内線]ボタンを押すともう一度外線と話ができます。
- **一人で転送したいとき…**保留し、子機の[外線]ボタンを押すか充電器に戻してから親機で出てください。（→P.46）

子機から他の子機へ転送する（子機を増設した場合）

転送する側から一方的に最大20秒間メッセージを伝えることができます。（20秒過ぎると自動的に外線が転送されます。）
子機から他の子機へ転送する場合、ボイスコールや子機間での話はできません。

転送する側



1 外線と通話中です。

2 次のボタンを押します。

0'15
内線　呼出

・子機（内線2）：［グループ／ドアホン／内線］［2］
・子機（内線3）：［グループ／ドアホン／内線］［3］
・子機（内線4）：［グループ／ドアホン／内線］［4］
・子機（内線5）：［グループ／ドアホン／内線］［5］
・一斉（親機と他のすべての子機）：［グループ／ドアホン／内線］［＊（◀トーン）］

● ［外線］ボタンと［グループ／ドアホン／内線］ボタンが点滅します。
● 外線が保留になり、相手にはメロディ音が流れます。

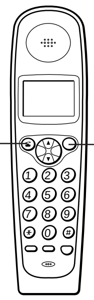
3 子機が出て呼出音が止まったらメッセージを伝えます。

0'20
内線

● ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが点灯します。
● 子機と話はできません。こちらから一方的に最大20秒間メッセージを伝えることができます。（20秒過ぎると自動的に外線が転送されます。）

4 充電器に戻します。（または［外線］を押します。）

転送される側



1 ベルが鳴ります。

内線　着信

● ［外線］ボタン、［グループ／ドアホン／内線］ボタン、［ワイワイトーク］ボタンが点滅します。

2 充電器からとります。（充電器に置いていないときは［グループ／ドアホン／内線］を押します。）

内線

● ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが点灯に変わります。

3 メッセージを聞きます。

● 子機と話はできません。

4 外線と話をします。

● 転送する側が充電器に戻すか、［外線］ボタンを押すと、外線と話ができます。
● ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが消灯し、［外線］ボタンが点灯に変わります。

? ● **子機が出ないとき…**［グループ／ドアホン／内線］ボタンを押すともう一度外線と話ができます。

● **一人で転送したいとき…**保留し、子機の［外線］ボタンを押すか充電器に戻してから別の子機で出てください。（→P.46）

親機と子機で通話する（内線通話）

親機と子機で話ができます。親機と子機を別々の部屋に置いている場合、別の部屋にいる人と話をするときや呼び出すときに便利です。

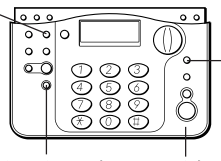
- 親機や子機を呼び出す時に、ベルを2～3回鳴らしたあと自動的に着信させ、スピーカから音声で呼び出すことができます。**（ボイスコール）**
- ボイスコールしないように設定することができます。（→P.57）
- 外線で使用中のときは内線通話をすることはできません。
- 内線を呼出中に外線（外からの電話）がかかってくると、内線の呼出を中止して外線のベルが鳴ります。
  内線通話中に外線から電話がかかってくると、内線通話は切れ、外線のベルが鳴ります。
- 内線通話時は保留できません。
- **内線ベルの鳴りかた**

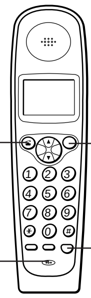
ピピッ ピピッ	（無音）	ピピッ ピピッ	（無音）	ピピッ ピピッ	（無音）	ピピッ ピピッ
1秒	1秒	1秒	1秒	1秒	1秒	1秒

- **内線番号について**
  親機や子機には内線番号が割り当てられています。呼び出す時にダイヤルします。
  - 親機：1
  - 付属の子機（内線2）：2
  - 増設子機（1台目－内線3）：3
  - 増設子機（2台目－内線4）：4
  - 増設子機（3台目－内線5）：5
- 子機同士で内線通話することはできません。また、三者通話はできません。
- 親機（または子機）がワイワイトークで内線通話をしているときに、親機と子機が近すぎると、「ピー」、「キー」等の異常音（ハウリング音）がすることがあります。このようなときは、子機を親機から離してください。

親機から子機を呼ぶ

ボイスコールをする設定のとき（お買い上げ時）





親機

1 **［内線／ドアホン］［2］を押します。** （表示：内線2　を呼出中）
● ［おやすみ］ボタンが点滅します。

2 **呼出音が止まったらマイクに向かってメッセージを言います。** （表示：ボイスコール中）
● ［ワイワイトーク］ボタンが点灯します。
● 受話器をとって言うこともできます。

3 **相手が出たら話をします。**
● 子機が［グループ／ドアホン／内線］ボタンまたは［ワイワイトーク］ボタンを押すか、充電器からとると、表示が「内線2と通話中」に変わります。

4 **話が終わったら［ワイワイトーク］を押します。（または受話器を戻します。）**

子機

1 **ベルが2～3回鳴ります。** （表示：内線　着信）
● ［グループ／ドアホン／内線］ボタンと［ワイワイトーク］ボタンが点滅します。
● ベルが2～3回鳴ると自動的に着信します。

2 **メッセージがスピーカから聞こえます。** （表示：ボイスコール）
● ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが点灯に変わります。

3 **送話口に向って話をします。**
● 子機を耳にあてて話をするときは、［グループ／ドアホン／内線］ボタンを押してください。充電器に置いてあるときは充電器からとり、耳にあててお話しください。（表示が「内線」に変わります。）

4 **子機をとって話をしていたときは、［グループ／ドアホン／内線］を押します。（または充電器に戻します。）**
● ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが消灯します。

ボイスコールをしない設定のとき

親機

1 **［内線／ドアホン］［2］を押します。** （表示：内線2　を呼出中）
● ［おやすみ］ボタンが点滅します。

2 **相手が出たらマイクに向かって話をします。** （表示：内線2　と通話中）
● ［ワイワイトーク］ボタンが点灯します。
● 受話器をとって話すこともできます。

3 **話が終わったら［ワイワイトーク］を押します。（または受話器を戻します。）**

子機

1 **ベルが鳴ります。** （表示：内線　着信）
● ［グループ／ドアホン／内線］ボタンと［ワイワイトーク］ボタンが点滅します。

2 **充電器からとります。（充電器に置いていないときは［グループ／ドアホン／内線］を押します。）** （表示：内線）
● ［ワイワイトーク］ボタンを押して出ることもできます。
● ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが点灯に変わります。

3 **話をします。**

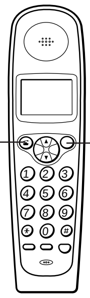
4 **話が終わったら充電器に戻します。（または［グループ／ドアホン／内線］を押します。）**
● ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが消灯します。

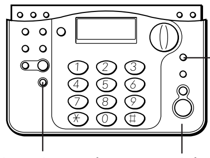
増設子機（別売）使用の場合

● 子機を呼び出すとき（手順1）は、次のボタンを押してください。
・子機（内線2）呼出：［内線／ドアホン］［2］
・子機（内線3）呼出：［内線／ドアホン］［3］
・子機（内線4）呼出：［内線／ドアホン］［4］
・子機（内線5）呼出：［内線／ドアホン］［5］
・子機一斉呼出：　［内線／ドアホン］［＊］
● 子機一斉呼出ではボイスコールはできません。
● 子機間では話はできません。また、三者通話もできません。

子機から親機を呼ぶ

ボイスコールをする設定のとき（お買い上げ時）





1 充電器からとり、外線 が点灯するのを確認後、外線 を押します。

- ［外線］ボタンが消灯します。
- 子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進んでください。

2 グループ ドアホン 内線 1あ を押します。　内線　呼出

- ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが点滅します。
- 充電器に置いたまま［グループ／ドアホン／内線］［1］を押すとワイワイトークで話ができます。

1 ベルが2～3回鳴ります。　内線2　から着信中 ▼ ボイスコール中

- ［おやすみ］ボタンが点滅します。

3 呼出音が止まったら話をしてください。

- ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが点灯に変わります。

2 メッセージがスピーカから聞こえます。マイクに向かって話をしてください。

- ［ワイワイトーク］ボタンが点滅します。
- 受話器をとって話すこともできます。

4 話が終わったら充電器に戻します。（または グループ ドアホン 内線 を押します。）

- ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが消灯します。

3 受話器で話をしていたときは、受話器を戻します。

ボイスコールをしない設定のとき

1 充電器からとり、外線 が点灯するのを確認後、外線 を押します。

- ［外線］ボタンが消灯します。
- 子機を充電器に置いていないときは、手順2へ進んでください。

2 グループ ドアホン 内線 1あ を押します。　内線　呼出

- ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが点滅します。
- 充電器に置いたまま［グループ／ドアホン／内線］［1］を押すとワイワイトークで話ができます。

1 ベルが鳴ります。　内線2　から着信中

- ［おやすみ］ボタンが点滅します。

3 相手が出たら話をします。　内線

- ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが点灯に変わります。

2 受話器をとって話をします。　内線2　と通話中

- ［ワイワイトーク］ボタンを押して出ることもできます。

4 話が終わったら充電器に戻します。（または グループ ドアホン 内線 を押します。）

- ［グループ／ドアホン／内線］ボタンが消灯します。

3 受話器を戻します。

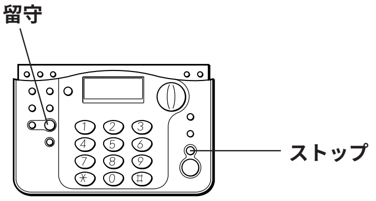
通話録音

通話中の会話を録音する

親機の受話器または子機で通話中に、会話を録音することができます。注文受付けやインタビューなど、通話中にちょっとメモを取りたいときなどにご利用ください。録音した用件を相手に聞かせることもできます。

- 録音できる時間は最大20分です。ただし、通話録音するメモリと、留守番電話の自分で録音した応答メッセージや用件、受信した文書を記憶するメモリは同じものです。そのためメモリ内に用件や受信文書が残っていると録音できる時間が少なくなります。また、留守番電話の用件と合わせて合計が20分を超えない限り最大30件録音できます。
- 通話録音1件は留守番電話の用件1件分としてカウントされます。

親機の場合



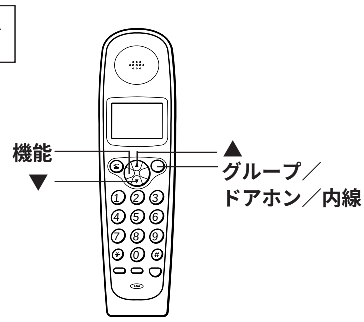
1 受話器で通話中です。

2 [留守]を押します。　　通話録音中

- 「ピー」という音がして、録音を開始します。相手にも「ピー」という音が流れます。

3 録音を終了するときは[ストップ]を押します。

子機の場合



1 子機をとって通話中です。

2 [機能]を押します。　　電話帳　登録

3 [▲]を押して「リモコン　操作」を選びます。　　リモコン　操作

4 [機能]を押します。　　リモコン　中 通話録音 5

5 [5]を押します。

- または[▲]／[▼]を押して「通話録音　5」を選び、[機能]ボタンを押します。
- 「ピー」という音がして、録音を開始します。相手にも「ピー」という音が流れます。

6 録音を終了するときは[#]を押します。　　リモコン　中 用件停止 #

- または[▲]／[▼]を押して「用件停止　#」を選び、[機能]ボタンを押します。

7 リモコンを終了するときは[内線]を押します。（または[＊]を押します。）　　1'35

- または[▲]／[▼]を押して「リモコン終了 ＊」を選び、[機能]ボタンを押します。

!
- **ワイワイトークで通話中は、通話録音できません。**
- **内線通話は通話録音できません。**
- **留守番電話の用件が30件録音されているときや、残りの録音時間が約20秒以内のときは通話録音できません。**
- **通話録音中は保留できません。保留するときは、通話録音を終了させてください。**

?
- **メモリがいっぱいになったとき…**『メモリがいっぱいです』というメッセージが流れ、親機のディスプレイに「メモリがいっぱいです」と表示されます。録音は中断されます。

通話録音した内容を聞く

通話録音した内容は、留守番電話の用件の場合と同じ操作で再生したり、消去したりできます。（→P.75、P.77）

● 留守番電話の用件が録音されていれば、録音された順に用件や通話録音内容が再生されます。

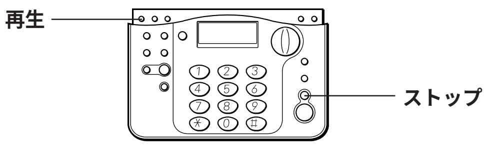
通話録音した内容だけを再生する操作はありません。

留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる

親機の受話器または子機で通話中に、留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を再生して、相手に聞かせることができます。

● ワイワイトークで通話中は操作できません。

親機の場合



1 受話器で通話中です。

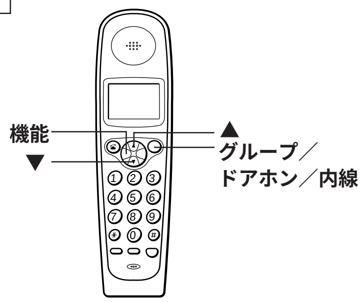
2 [▶再生]を押します。

● 録音内容が再生されます。
● 再生中のボタン操作については、P.75をご覧ください。

用件再生
▼
再生中　1/ 1

3 再生を終了するときは[ストップ]を押します。

子機の場合



1 子機をとって通話中です。

2 [機能]を押します。

電話帳　登録

3 [▲]を押して「リモコン　操作」を選びます。

ﾘﾓｺﾝ　操作

4 [機能]を押します。

ﾘﾓｺﾝ　中
通話録音 5

5 [2ABC]を押します。

ﾘﾓｺﾝ　中
用件再生 2

● または[▲]／[▼]を押して「用件再生　2」を選び、[機能]ボタンを押します。
● 録音内容が再生されます。
● 再生中のボタン操作については、P.77をご覧ください。

6 再生を終了するときは[#呼出音▶]を押します。

ﾘﾓｺﾝ　中
用件停止 #

● または[▲]／[▼]を押して「用件停止　#」を選び、[機能]ボタンを押します。

7 リモコンを終了するときは[内線]を押します。（または[＊◀トーン]を押します。）

1'35

● または[▲]／[▼]を押して「リモコン終了 ＊」を選び、[機能]ボタンを押します。

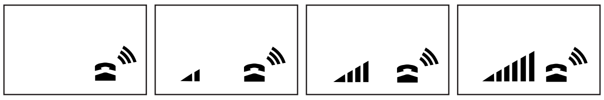
音量調整

親機の音量を調整する

ダストカバー内の[音量]ボタンを押して調整します。

● ベル音量

待機中(電話とファクスのどちらも使用していない状態)に[音量]ボタンを押します。

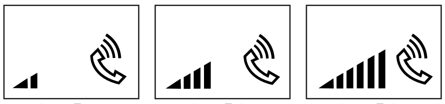


音量「切」　音量「小」　音量「中」　音量「大」

> **!** ●「切」に設定したときは次のようになります。
> ・外線のベル：鳴らない
> ・内線のベル：鳴らない
> ・ドアホンのベル：鳴る

● 受話音量

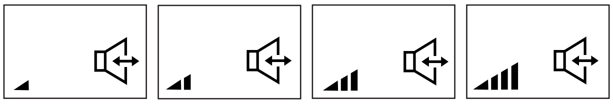
受話器で通話中に[音量]ボタンを押します。



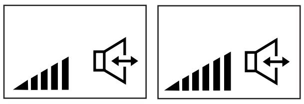
音量「小」　音量「中」　音量「大」

● ワイワイトーク音量

ワイワイトーク中に[音量]ボタンを押します。スピーカの音量を調整できます。



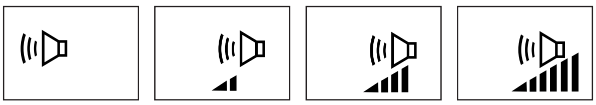
音量1　音量2　音量3　音量4



音量5　音量6

● モニタスピーカ音量、留守番電話の再生音量

用件再生中などに[音量]ボタンを押します。



音量「切」　音量「小」　音量「中」　音量「大」

子機の音量を調整する

● 受話音量

1 **充電器からとります。(充電器に置いていないときは[外線]を押します。)**

2 **[音量]を押します。**

標準 [受話　音量 ▮▮▮▮] ⟷ [受話　音量 ▮▮▮▮▮▮▮▮▮] 大

●[音量]ボタンを押す度に、標準⟷大と切り替わります。

3 **充電器に戻します。(または[外線]を押します。)**

> **?** ●**通話中に受話音量を調整したいとき…**子機をとって通話中の場合は、[音量]ボタンを押す(手順2)だけで調整できます。
> ●**音量を「大」にしても相手の声が小さくて聞き取りにくいとき…**受話音量を全体的に大きくすることができます。(→P.58)

● ワイワイトーク音量

ワイワイトークで通話中に調整します。(標準／大)

1 **[音量]を押します。**

標準 [ｽﾋﾟｰｶ　音量 ▮▮▮▮] ⟷ [ｽﾋﾟｰｶ　音量 ▮▮▮▮▮▮▮▮▮] 大

●[音量]ボタンを押す度に、標準⟷大と切り替わります。

● ベルのON／OFF

待機中に設定します。ベル音は鳴る(ON)／鳴らない(OFF)のいずれかに設定できます。

1 **[#](呼出音▶)を2秒以上押します。**

[ﾍﾞﾙ OFF]

●「ピー」という音が鳴り、呼び出し音が鳴らない設定になります。
●待機中のディスプレイに「ベル　OFF」と表示されます。

2 **鳴るように設定したい場合は、もう一度[#](呼出音▶)を2秒以上押します。**

[ﾍﾞﾙ ON]

●「ピッ」という音が鳴り、呼び出し音が鳴る設定になります。

> **!** ●「OFF」に設定したときは次のようになります。
> ・外線のベル：鳴らない
> ・内線のベル：鳴る
> ・ドアホンのベル：鳴る
> ●ベルの設定とキータッチトーンの設定(→P.58)を同時に「OFF」にしている場合、待機中のディスプレイに「タッチ＆ベル　OFF」と表示されます。

いろいろな設定を変えて使う

ベルの音色／メロディを変える

着信ベルの音色を変えることができます。ベルのかわりにメロディを流すこともできます。親機のベル音を変えると、子機のベル音も変わります。

- α-ALPHA5サービスをご利用の場合は、メロディを取り込んで鳴らすこともできます。
- **お買い上げのとき…**「ベル(標準)」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英・電話帳・変換の▼を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セットを押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 カナ/英・電話帳・変換の▼を5回押します。

呼出ベル回数
ファクス専用
ベル音・メロディ

5 電話帳登録/セットを押します。

ベル音・メロディ
1.ベル（標準）
<>で選択

6 カナ/英・電話帳・変換の<または>を押して選びます。

1. ベル(標準)：通常のベル音
2. ベル(鳴り分け)：「標準」とは違う音
3. アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
4. 春
5. トルコ行進曲
6. (えらんでメロディで取り込んだ曲)(→P.98)

- [音量]ボタンを押すと、表示されているベルやメロディを聞くことができます。この時[音量]ボタンを押して音量を調整できます。(→P.55)
- ベルやメロディは5秒間鳴りますが、[ストップ]ボタンを押せば音は止ります。
- α-ALPHA5サービスにより着信メロディを取り込んでいないときは6.(えらんでメロディで取り込んだ曲)は表示されません。

7 電話帳登録/セットを押します。

設定しました

8 ストップを押します。

?
- **着信ベルを確認するとき…**設定終了後、親機の[音量]ボタンを押すとベルの音色／メロディを確認することができます。子機の[音量]ボタンを押してもメロディの確認はできません。

保留メロディを変える

電話を保留した時に相手に流すメロディ音を選ぶことができます。

- 保留メロディは「聖者の行進」と「茶色の小瓶」の2種類です。
- **お買い上げのとき…**「聖者の行進」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英・電話帳・変換の▼を2回押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セットを押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 カナ/英・電話帳・変換の▼を4回押します。

ファクスかんたん受信
保留メロディ
回線種別

5 電話帳登録/セットを押します。

保留メロディ
聖者の行進
<>で選択

6 カナ/英・電話帳・変換の<または>を押して選びます。

- 「聖者の行進」または「茶色の小瓶」

7 電話帳登録/セットを押します。

設定しました

8 ストップを押します。

?
- **設定した保留メロディを確認するとき…**手順8の後[ワイワイトーク]ボタンを押し、[保留／クリア]ボタンを押すとメロディが流れます。確認後[保留／クリア]ボタンを押すとメロディが止まり、[ワイワイトーク]ボタンを押すと確認が終わります。

ボイスコールを設定する

転送や内線通話のときに、親機や子機を音声で呼び出す(ボイスコール)かどうかを設定できます。

● **お買い上げのとき…**「ボイスコールする」に設定されています。「ボイスコールしない」に設定すると、電話に出るまでベルが鳴り続けます。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英 電話帳 変換の▼を2回押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セットを押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 カナ/英 電話帳 変換の▼を8回押します。

Fネット
ドアホン接続
ボイスコール

5 電話帳登録/セットを押します。

ボイスコール
○ ×

6 カナ/英 電話帳 変換の<または>を押してカーソルを移動します。

○×:ボイスコールする
○×:ボイスコールしない

7 電話帳登録/セットを押します。

設定しました

8 ストップを押します。

子機のベルを優先して鳴らす

電話がかかってきた時に親機より先に子機だけベルを5回鳴らすことができます(子機優先着信)。ベルが5回鳴ってもだれも電話に出ないときは、あらかじめ設定してある動作をします。

● 次の場合、優先着信の設定は解除されます。
・着信があった場合(内線やドアホンを含む。電話に出なくても解除されます。)
・子機で電話をかけた場合(内線およびリモコン操作を含む)
・親機の電話帳を子機に転送した場合

子機の待機中に操作します。

1 機能を押します。

電話帳　登録

2 ▲(または 変換▼)を押して「優先着信」を選びます。

優先着信

3 機能を押します。

着信予約中

●「ピー」と鳴り、ディスプレイに「着信予約中」と表示され、優先着信が設定されます。

● 解除するときは、もう一度手順1～3を行います。「着信予約中」の表示が消え、優先着信が解除されます。

!
● 子機のベル音量を「OFF」に設定していると、優先着信の設定をしてもベルが鳴りません。
● 増設子機(別売)使用の場合は、1台の子機だけ設定できます。
● 優先着信を設定している子機のベルだけが鳴っているときでも、ベルが鳴っていない親機や他の子機で電話に出ることができます。

子機の送話音量を全体的に大きくする

相手側でこちら側の子機の声が聞こえにくいときは、送話音量を「大きい」に設定すると、相手側で聞き取りやすくなります。（親機で操作します。）

● **お買い上げのとき…**「標準」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、機能を押します。**

2 **カナ/英 電話帳 変換の▼を2回押します。**

リストプリント
受信設定
設定モード

3 **電話帳登録/セットを押します。**

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 **カナ/英 電話帳 変換の▼を10回押します。**

子機の受話音量
子機の送話音量
省エネルギー

5 **電話帳登録/セットを押します。**

子機の送話音量
標準
<>で選択

6 **カナ/英 電話帳 変換の＜または＞を押して選びます。**

標準：　標準の送話音量
大きい：　標準よりも大きい送話音量

7 **電話帳登録/セットを押します。**

設定しました

8 **ストップを押します。**

● **この設定ではワイワイトーク時および内線通話時の音量は変更されません。**

子機の受話音量を全体的に大きくする

子機の受話音量を全体的に大きめにしたいときは、受話音量を「大きい」に設定します。（親機で操作します。）

● **お買い上げのとき…**「標準」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、機能を押します。**

2 **カナ/英 電話帳 変換の▼を2回押します。**

リストプリント
受信設定
設定モード

3 **電話帳登録/セットを押します。**

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 **カナ/英 電話帳 変換の▼を9回押します。**

子機の受話音量
子機の送話音量
省エネルギー

5 **電話帳登録/セットを押します。**

子機の受話音量
標準
<>で選択

6 **カナ/英 電話帳 変換の＜または＞を押して選びます。**

標準：　標準の受話音量
大きい：　標準よりも大きい受話音量

7 **電話帳登録/セットを押します。**

設定しました

8 **ストップを押します。**

● **この設定ではワイワイトーク時および内線通話時の音量は変更されません。**

子機のキータッチトーンを設定する

ボタンを押したときに「ピッ」と鳴る音をキータッチトーンといいます。ボタン操作が確実に行えていることがこの音で確認できますが、子機ではこのキータッチトーンを鳴らないように設定することができます。

子機の待機中に操作します。

◀トーン ＊を2秒以上押します。

● 「ピー」という音がして、キータッチトーンが鳴らないように設定されます。
● 待機中のディスプレイに「タッチトーン OFF」と表示されます。

ﾀｯﾁﾄｰﾝ OFF

● キータッチトーンを鳴るように設定するときは、もう一度[＊]を2秒以上押します。「ピッ」という音がして、キータッチトーンが鳴るように設定されます。

ﾀｯﾁﾄｰﾝ ON

● **キータッチトーンを「OFF」に設定すると、エラーを知らせる音や設定終了を知らせる音も鳴らなくなります。（ただし、ベルのON/OFFを設定したときの音は鳴ります。）(→P.55)**
● **ベルの設定とキータッチトーンの設定を同時に「OFF」にしている場合、待機中のディスプレイに「タッチ＆ベル　OFF」と表示されます。**

ファクス／コピーの前に

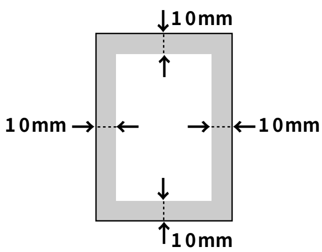
読み取りできる原稿とできない原稿

●読み取りできる原稿のサイズおよび厚さ
1枚だけセットする場合と複数枚セットする場合では、読み取れる原稿の長さと厚さが異なります。

	1枚だけセットする場合（幅×長さ）	複数枚セットする場合（幅×長さ）
最　大	257×1000mm	257×364 mm（B4サイズ）
最　小	128×128 mm	128×128 mm
厚　さ	0.05～0.15 mm	0.065～0.10mm

＊このページの紙の厚さは約0.09mmです。

●読み取りできる範囲
原稿の縁から10mm以内の範囲にある文字などは、読み取れない場合があります（■の部分）。

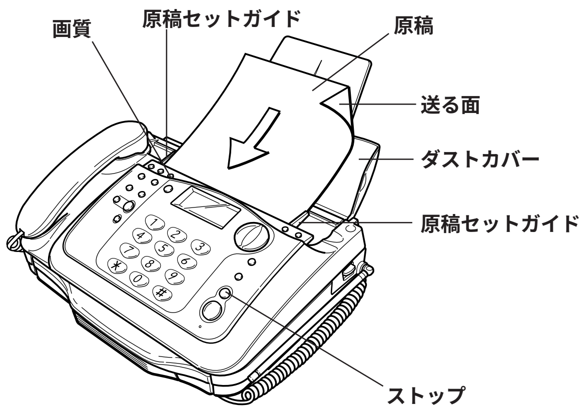


●そのままでは読み取れない原稿
次のような原稿は、普通紙に複写機でコピーするか、ハンドスキャナ（→P.85）または別売のキャリアシート（→P.154）を使って送信／コピーしてください。

読み取れない原稿	複写機でコピーした原稿	ハンドスキャナ	キャリアシート
フィルムやトレーシングペーパーのような透明なもの	○	○＊	○
破れたり、しわが入ったり、丸まった紙	○	○	○
感圧紙、感熱紙、裏カーボン紙などの化学処理した紙	○	○	○
小さすぎる紙（128×128 mm未満）	○	○＊	○
薄すぎる紙（0.05 mm未満）	○	○＊	○
厚すぎる紙（0.15 mmを超える）	○	○	×
ノリやテープで貼り合わせた紙	○	×	×

＊白い紙などの上に原稿を置いて読み取ってください。

原稿セットのしかた



1 ダストカバーを開けます。

2 原稿の幅に原稿セットガイドを合わせます。
- 複数枚のときは先端と幅をそろえてください。
- 一度にセットできる原稿枚数（同じ紙質・大きさの場合）
  ・ファクスのとき：15枚まで
  ・コピーのとき：　10枚まで（記録紙スタッカを折り曲げて使用時は5枚まで）

3 送る面を下に向けて、原稿を軽く差し込みます。

ふつう
画質モード

- 自動的に約3cm引き込まれます。
- 複数枚セットしたときは一番下の原稿が引き込まれます。
- ディスプレイに画質モードが表示されます。画質モードは、［画質］ボタンで変えられます。（→次ページ）

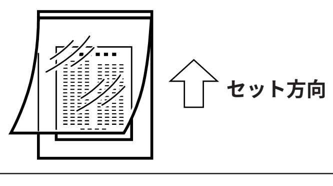
!
- **原稿セットガイドは原稿の幅にきちっと合わせてください。合わせないと原稿が斜めに入ったり、つまったりする原因となります。**
- **幅や厚さが異なる原稿をいっしょにセットしないでください。原稿がつまったり、送信もれが出たりする原因となります。**
- **クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。故障の原因となります。**
- **インクや修正液、ノリなどが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。**
- **16枚以上送りたいときは、何回かに分けて送信してください。途中で原稿を追加しないでください。**

セットした原稿を取り除きたいときは

- ［ストップ］ボタンを押すと、原稿が排出されます。
  原稿は無理に引き抜かないでください。原稿読み取り部に傷がつく原因となります。

キャリアシートを使うときは

- キャリアシート（別売→P.154）は2枚以上同時にセットすることはできません。一枚ずつ送信／コピーしてください。



写真や小さい文字の原稿のとき（画質モード）

文字が小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿でも、鮮明に送ったりコピーをとったりすることができます。送信やコピーの前に画質モードを設定してください。

画質モードの決めかた

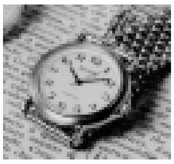
下の例の文字の大きさをめやすに、画質モードを決めてください。

ふつう：**文字がこのくらいの大き**

小さい：**文字がこのくらいの大きさのとき**

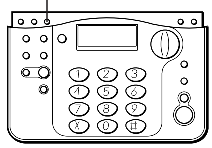
細かい：文字がこのくらいの大きさのとき

写真：写真のとき（64階調ハーフトーン）



● お買い上げいただいたときは「ふつう」に設定されています。

画質モードの選びかた



1 原稿をセットします。

● ディスプレイに画質モードが表示されます。

ふつう

画質モード

2 画質を押して選びます。

● ボタンを押すごとにディスプレイの表示が変わります。

ふつう → 小さい → 細かい → 写真 → ふつう

● 原稿をセットしていない状態で[画質]ボタンを押したときは、2秒以内にボタンを押して選んでください。2秒を過ぎると時刻表示になり、最後に表示されていた画質モードになります。

● 「細かい」、「写真」に設定すると、「ふつう」や「小さい」に比べ送信に時間がかかります。原稿の内容に合わせた設定をしてください。

● 色地の原稿を「細かい」、「写真」で送ると、送信時間が極端に長くなることがあります。色地の原稿を送るときは、「ふつう」または「小さい」に設定してください。

● 黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿では送信に時間がかかります。

● 「細かい」に設定した場合、相手機種によっては「小さい」で送信することがあります。

● 「写真」に設定した場合、原稿によっては原稿の白い部分にゴマ模様の記録が出る場合があります。その場合には、読み取り濃度を「うすく読み取る」または「よりうすく読み取る」に設定してください。**（→次ページ）**

● コピーのときは、「小さい」、「細かい」、「写真」の中から選んでください。「ふつう」に設定しても「小さい」でコピーされます。

● **写真や濃淡のある原稿を送信するときやコピーするとき…**「写真」に設定してください。よりきれいに送信やコピーができます。

色がついた原稿や文字がうすい原稿のとき（読み取り濃度）

キャリアシート（別売→P.154）を使うときや用紙に色がついているとき、原稿の文字がうすいときなどは、相手が読みやすいように読み取り濃度を調整することができます。

● 送信やコピーの前に設定してください。

● **お買い上げのとき…**「普通で読み取る」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を2回押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セットを押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 電話帳登録/セットを押します。

読み取り濃度
■■■
読み取り濃度

5 カナ/英 電話帳 変換 の＜または＞を押して選びます。

■□□□□： よりうすく読み取る（濃い原稿）

■■□□□： うすく読み取る（色地原稿や新聞）

■■■□□： 普通で読み取る（コピーや黒ペン書き原稿）

■■■■□： 濃く読み取る（鉛筆書き原稿やキャリアシート使用時）

■■■■■： より濃く読み取る（うすい原稿）

6 電話帳登録/セットを押します。

設定しました

7 ストップを押します。

● 設定した状態は次に変更するまで変わりません。送信やコピーが終わったら「普通（■■■□□）」に設定を戻してください。
● 次のような原稿は鮮明に読み取れないことがあります。
・ 青色のサインペンやボールペンなどで書かれた原稿（ブルーブラック、紺色に近い青は問題ありません。）
・ うすい鉛筆、蛍光マーカーで書かれた原稿
● 赤は黒と同様に鮮明に読み取れます。（赤色地に黒で書かれた原稿は真っ黒になってしまいます。）

● **読み取りの具合を確認したいとき…**コピーをとって確認してください。

海外へファクスを送るとき

海外にファクスを送るときは、「海外通信する」に設定すると、海外へ送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。

● **お買い上げのときは…**「海外通信しない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を2回押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セットを押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 カナ/英 電話帳 変換 の▼を2回押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

5 電話帳登録/セットを押します。

海外通信
○ ×
カーソル

6 カナ/英 電話帳 変換 の＜または＞を押してカーソルを移動します。

○×：海外通信する
○×：海外通信しない

7 電話帳登録/セットを押します。

設定しました

8 ストップを押します。

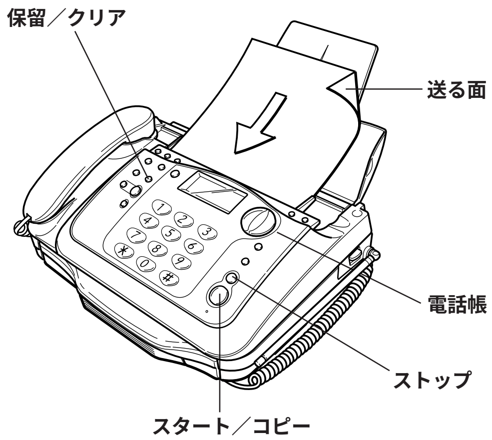
● 海外通信の設定は、ファクスを受信するときは関係ありません。
● 海外へ送信完了後は、「海外通信しない」に戻してください。
● 国際ダイヤル通話を利用して海外にファクスを送る場合、国際電話番号（001、0061、0041など）をダイヤルしたあと国番号と相手先電話番号をダイヤルしても、話中になり通信できないことがあります。このようなときは、国際電話番号のあとに[リダイヤル／ポーズ]ボタンを2、3回押し（約6秒～9秒のポーズが入ります）、それから残りの電話番号をダイヤルしてください。それでも通信できない場合は、受話器をとって回線の接続具合を確認しながらダイヤルしてください。
例：001－－1[相手先の番号]

ファクスを送る

ファクスを自動で送る(自動送信)

相手先と話をしないで直接ファクスを送ることができます。相手先がファクス専用のときやファクス/電話自動切替になっているときなどに便利です。

- 受話器やワイワイトークで相手と話してからファクスを送る場合は、手動送信してください。(→次ページ)
- 相手機がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると、自動的にA4サイズに縮小して送信されます。



1 原稿をセットします。(→P.59)

ふつう

画質モード

- 画質モードが表示されます。(→P.60)

2 相手先の番号をダイヤルします。

0120200940_

- 受話器を置いたままダイヤルします。
- リダイヤルも使えます。
- 電話帳を使って相手先を選ぶこともできます。(→右記)

3 [スタート/コピー]を押します。

- 送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

0120200940 ダイヤル中
▼
送信中
▼
送信中 P01 (枚数)
▼
通信終了

電話帳で送るときは

相手先が電話帳に登録されていると、簡単な操作でファクスを送ることができます。

- あらかじめ登録が必要です。(→P.36)

手順2のときに、[電話帳]の▼または▲を押して相手先を選びます。

- 登録されている相手先名が表示されます。(表示される順番は、読み仮名で、空白+文字→数字→カナ(50音順)→アルファベット→記号→名前を登録していない電話番号の順です。)
- 相手先を素早く探すことができます。(→P.43)
  例)「日本電気」を探すときは、[5(な)]を押してください。
- 相手先を早送りしたい場合は、[▼]または[▲]を押し続けてください。

!

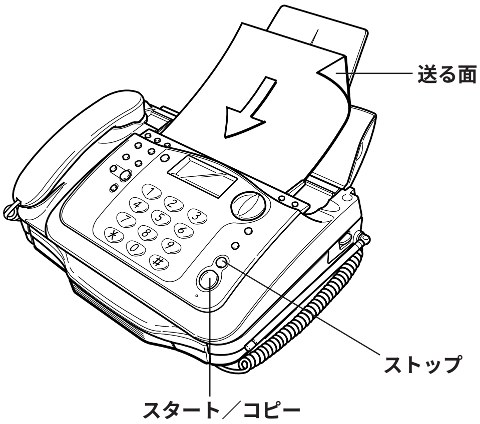
- **原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。**
- **通信中はディスプレイに相手先の名前(電話帳に登録した名前)や電話番号が表示されます。ディスプレイには名前は全角10文字、番号は20桁まで表示されます。(番号を20桁以上登録してある場合は、最後の20桁が表示されます。)**

?

- **相手が話中のとき…**ディスプレイに「再発呼待ち1回目」と表示されたときは、相手先が話中です。この場合、1分間隔で5回まで自動的にかけなおします**(オートリダイヤル)**。そのままお待ちください。5回かけなおしても送信できないときは不達レポートがプリントされます(→P.64)。送信をやめるときは[ストップ]ボタンを押して原稿を排出してください。
- **番号を間違えたとき…**[保留/クリア]ボタンを押して最初からダイヤルしなおしてください。
- **途中で送信をやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。もう一度押すと原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。
- **写真や小さい文字の原稿、色がついた原稿などを送る場合…**画質モードや読み取り濃度を設定してください。(→P.60、P.61)

相手と話してから送る(手動送信)

相手先と話をしてからファクスを送ることができます。相手先が手動受信の場合や相手先のファクス信号音(ピーヒョロヒョロ)を確認してから送信するときに便利です。



1 原稿をセットします。(→P.59)

● 画質モードが表示されます。(→P.60)

ふつう

画質モード

2 受話器をとって電話をかけ、話をします。

● ワイワイトークでかけることもできます。
● 子機でかけた場合も、親機による操作(この操作)で手動送信できます。

3 相手に受信の操作をしてもらいます。

● 相手が操作すると「ピーヒョロヒョロ」という音が聞こえます。

4 [スタート/コピー]を押し、受話器を戻します。

● 送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

送信中

▼

送信中　P01

▼

通信終了

!

● **原稿は自動的に排出されます。一時的に止まることがありますが、無理に引き抜かないでください。**

● **こちらが先に[スタート／コピー]ボタンを押しても、相手が受信の操作をすれば送信できます。**

?

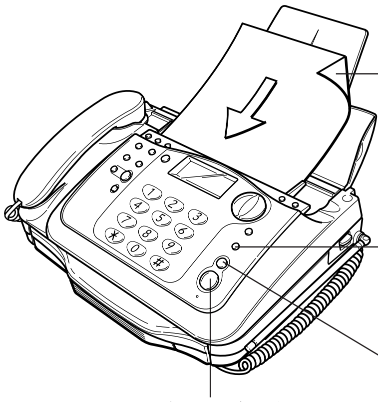
● **途中で送信をやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。

● **ファクスを送ったあとも相手と話をしたいとき…**受話器を戻さないでください(相手も)。

メモリに読み込んでから送る（おまかせ送信）

セットした原稿を一旦読み取ってメモリに記憶してから送ることができます。

● メモリには、画質モード（→P.60）が「小さい」のときA4判（700字程度）原稿を約10枚記憶できます。



1 原稿をセットします。（→P.59）

ふつう

画質モード

● 画質モードが表示されます。（→P.60）

2 相手先の番号をダイヤルします。

0120200940_

● 受話器を置いたままダイヤルします。
● おまかせ送信ではリダイヤルできません。
● 電話帳を使って相手先を選ぶこともできます。（→P.62）

3 おまかせ送信 を押します。

● 自動的に原稿を読み取ります。
● 読み取りが終了すると自動的に送信します。
● 送信が終わると、「ピーッ」という音がします。

原稿読取中　P01
▼
発呼待ち
▼
0120200940
ダイヤル中
▼
メモリ送信中　P01
▼
通信終了

● **相手が話中のとき…**1分間隔で5回まで自動的にかけなおします**（オートリダイヤル）**。送信できないときは不達レポートがプリントされます。（→下記）

● **途中で送信をやめるとき…**［ストップ］ボタンを押してください。

原稿の読み取り中にメモリがいっぱいになったとき

①「ピーピーピー…」という音がして、「メモリフル」と読み取り中のページが表示されます。
② 5秒後（または［ストップ］ボタンを2回押すと）、読み取りが終わったページまでを送信する旨が表示されます。
③ 読み取りが終わったページまでを送信するときは、［スタート／コピー］ボタンを押してください。

送信をやめるときは、［ストップ］ボタンを押してください。
何もしないまま60秒経つと自動的に送信します。読み取れなかった原稿は、原稿挿入口に残ったままです。原稿を排出するときは、送信が終了してから［ストップ］ボタンを押してください。

送信できなかったときは

● 自動的に不達レポートがプリントされます。

不達レポートのプリント例

不達　レポート
1999年10月　1日　19時　5分
NEC

通信開始日時	通信　時間	相手先	モード	枚数	通信結果
10月　1日　18時55分		0120200940	G3	0	話し中

話し中：
・相手先が話中
・回線が混み合っている

呼び出し：
・相手先から通話予約などで呼び出しを受けている
・相手先の記録紙がなくなっているか、つまっている

中断：
・通信中に相手先が受信を中断した
・通信中に相手先の記録紙がなくなったか、つまった

無応答：
・相手先が受信できない状態になっている
・相手先が電話に出ない
・電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線しているおそれがある

××（2桁の英数字）：エラーコード（→P.140）

ファクスを受ける

ファクスを自動で受ける（ファクス／電話自動切替）

電話がかかってきたときにだれも電話に出ないと、本機が回線を自動的に接続して相手が電話かファクスかを判別し、ファクスならば自動的に受信します。相手が電話ならば、呼出ベルが鳴ります。

- **ご注意**
  回線が接続されると、電話に出なくても相手に通話料金がかかります。
- 自動切替のしかたやベルの鳴りかたは、設定によって変えることができます。
- 留守設定にしたときやおやすみモードにしたときは、接続のしかたやベルの鳴りかたが異なります。
- **お買い上げのとき…**ファクス／電話自動切替をするように設定されています。

ファクス／電話自動切替のしくみ

相手から電話やファクスがかかってきます。

↓

着信ベルが6回鳴ります。

- 着信ベルの回数は変更できます。（→P.68）
- ベルを鳴らさずに回線を接続できます（無鳴動着信）。（→P.69）

↓

回線が自動的に接続されます。

- 本機側で電話にでなくても、ここから相手側に通話料金がかかります。

ファクス／電話自動切替

- 相手が自動送信のファクスのとき → **ファクスを受信します。**
- 相手が電話または手動送信のファクスのとき ↓

呼出ベルが10回鳴ります。

- 呼出ベルの回数は変更できます。（→P.68）

↓

メッセージと信号音を送ります*。

- 信号音の間に相手が手動でファクスの送信操作をすると、ファクスの受信が始まります。→ **ファクスを受信します。**

↓

自動的に電話が切れます。

ファクスを受信します。

↓

記録紙がないときはメモリ代行受信になります。（→P.67）

*『ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが後ほどおかけなおしください』というメッセージが流れ、そのあと「ピーヒョロヒョロ」という信号音を30～40秒送ります。

? **回線が接続されたことを相手に伝えたい…**音声メッセージを「流す」に設定すると、相手が電話の場合、回線が接続されたときに『お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください』とメッセージが流れます。（→P.69）

自動切替をやめるには

電話モードやファクス専用モードを「する」に設定すると、ファクス／電話自動切替が働かなくなります。

●いつでも必ず電話で受けたい（電話モードにする）

着信ベルの回数を「＊」に設定します。（→P.69）

・ファクスがかかってきたときも、着信ベルが鳴り続けます。
・相手がファクスのときは、手動で受信することができます。（着信ベル9回以内に電話に出てください。相手ファクスが切れてしまうことがあります。）
・ファクス専用モードの設定は無効になります。
・無鳴動着信を設定している場合は、無鳴動着信が優先され、電話モードにはなりません。

●いつでもファクスで受けたい（ファクス専用モードにする）

ファクス専用モードを「する」に設定します。（→P.70）

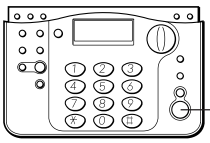
・着信ベルが設定した回数だけ鳴ると、ファクス受信を開始します。
・電話がかかってきたときもファクス受信に切り替わり、相手と話すことはできません。

ファクスを手動で受ける

電話に出たら「ポー・ポー・ポー･･･」という音が聞こえるときは、相手がファクスを送信しています。こんなときは手動で受信操作します。
お買い上げ時の状態では、ファクスかんたん受信が働き、「ポー・ポー・ポー･･･」のあと『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージが流れます。このときは自動でファクスを受信しますので、受話器を戻してください。
電話で話したあと、そのまま電話を切らずにファクスを受信したいときや、ファクスかんたん受信を「しない」に設定したとき(→P.70)は、以下の操作で受信してください。

● こちらから相手に電話をかけ、ファクスを送ってもらうこともできます。その場合は必ず以下の手順で受信してください。（ファクスかんたん受信はできません。）

親機で受ける



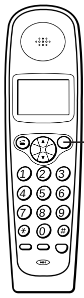
話をしたあとに受けたいときは、相手に送信の操作をしてもらいます。

「ポー･ポー･ポー･･･」という音が聞こえたら、[スタート/コピー]を押し、受話器を戻します。

受信中

● ファクスの受信が開始されます。
● 受信が終わると、「ピーッ」という音が聞こえます。

子機で受ける



話をしたあとに受けたいときは、相手に送信の操作をしてもらいます。

「ポー･ポー･ポー･･･」という音が聞こえたら、[グループ/ドアホン/内線]を押したあと[6]を押します。

● 親機でファクスの受信が開始されます。
● 子機は待機状態になります。充電器に戻してもそのままでもかまいません。

!

● **相手機種によっては「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえないことがあります。このときも上の手順でファクスを受信できます。**

● **子機の場合、ファクスかんたん受信を「する」に設定していると、[ワイワイトーク]ボタンを押して電話に出たときは「ポー・ポー・ポー…」という音のあとメッセージは流れず、無音になります。このあと自動的にファクスを受信します。**

?

● **こちらが先に[スタート／コピー]ボタン（または[グループ／ドアホン／内線]ボタンを押したあと[6]）を押したとき…**相手が送信の操作をすれば受信できます。

● **ファクスを受信したあとも相手と話をしたいとき…**受話器を戻さないでください（相手も）。ただし、子機ではもう一度話をすることはできません。

メモリ代行受信

記録紙がなくなっているときや紙づまりのときなどにファクスがかかってくると、メモリへ受信文書を記憶する機能です。メモリに記憶された文書は、あとで記録紙にプリントできます。

●こんなときにメモリ代行受信になります。

・記録紙が無いとき
・記録紙がつまっているとき
・カバーが開いているとき
・サーマルヘッドが加熱しているとき

●メモリ代行受信されると

ディスプレイは次のようになります。

カバー／記録紙確認
▼▲ 1秒おきに表示
メモリ受信文書あり

●記憶できる文書量

相手が画質モードを「ふつう」で送信したとき、A4（700文字程度）原稿を約30枚（最大10文書）記憶できます。ただし、原稿の内容によっては少なくなることがあります。

・留守設定のときに録音された用件が残っていると記憶できる枚数は少なくなります。

●記憶された文書のプリント

メモリに記憶された文書は、新しい記録紙をセットしたり、紙づまりをなおすと自動的にプリントされます。

・B4サイズのファクスをメモリ代行受信した場合、新しくセットする記録紙をA4サイズにするとプリントされません。B4サイズをセットするか、P.137を参照してください。

!

●新しい記録紙をセットするときは裏と表を間違えないでください。記録紙に写らなくても、一度プリントされた内容はメモリから消えてしまい、再びプリントすることはできません。（→P.136）

●メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、メモリ代行受信はできません。

いろいろな設定を変えて使う

着信ベル回数を変える

ファクス／電話自動切替（→P.65）で、自動的に回線を接続するまでに鳴らすベルの回数を設定できます（1～19回）。また、電話モードの設定もできます。

- 相手ファクスが自動送信の場合、10回以上に設定していると、受信できないことがあります。
- 無鳴動着信で使用していた場合は、まず「無鳴動着信しない」に設定してください（→P.69）。それから着信ベル回数を設定してください。
- DDI（第二電電）α-ALPHA5（→P.90）を利用する場合は、オンライン通信するために10回以下に設定してください。
- **お買い上げのとき…**「6回」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英・電話帳・変換の▼を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セットを押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 カナ/英・電話帳・変換の▼を2回押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

5 電話帳登録/セットを押します。

着信ベル回数
06 回
カーソル

6 着信ベルの回数を入力します。

- 1～9は頭に「0」を付けてください。
- [✱]を入力すると電話モードになります。

7 電話帳登録/セットを押します。

設定しました

8 ストップを押します。

? ● **手順6で回数を間違えたとき…**[保留／クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。

呼出ベル回数を変える

ファクス／電話自動切替（→P.65）で、自動的に回線を接続したあとに鳴らすベルの回数を設定できます（1～19回）。

- **お買い上げのとき…**「10回」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英・電話帳・変換の▼を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セットを押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 カナ/英・電話帳・変換の▼を3回押します。

呼出ベル回数
ファクス専用
ベル音・メロディ

5 電話帳登録/セットを押します。

呼出ベル回数
10 回
カーソル

6 呼出ベルの回数を入力します。

- 1～9は頭に「0」を付けてください。

7 電話帳登録/セットを押します。

設定しました

8 ストップを押します。

? ● **手順6で回数を間違えたとき…**[保留／クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。

ファクスの時はベルを鳴らさない(無鳴動着信)

相手先からファクスが送られてきた場合、着信ベルを鳴らさずにすぐにファクスを受信することを無鳴動着信といいます。

- 無鳴動着信に設定しても相手が電話の場合は、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴り始めます。
- 無鳴動着信に設定した場合でも、手動送信で送られてきたときは、呼出ベルが鳴ります。一度受話器をとって電話を受けてから、[スタート／コピー]ボタンを押して手動受信してください。
- **お買い上げのとき…**「無鳴動着信しない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、(機能)を押します。

2 (カナ/英 電話帳 変換)の▼を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 (電話帳登録/セット)を押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 (電話帳登録/セット)を押します。

無鳴動着信
○ ×
カーソル

5 (カナ/英 電話帳 変換)の<または>を押してカーソルを移動します。

○×：無鳴動着信する
○×：無鳴動着信しない

6 (電話帳登録/セット)を押します。

設定しました

7 (ストップ)を押します。

- 留守設定にすると、無鳴動着信の設定は無効になり、留守設定動作をします。(→P.73)

相手に音声メッセージを流す

ファクス／電話自動切替(→P.65)で、自動的に回線を接続した時、相手が電話のときは音声メッセージを流すことができます。

- 『お呼び出しいたしますのでしばらくお待ちください』と流れます。(これは変更できません)
- **お買い上げのとき…**「音声メッセージを流さない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、(機能)を押します。

2 (カナ/英 電話帳 変換)の▼を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 (電話帳登録/セット)を押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 (カナ/英 電話帳 変換)の▼を押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

5 (電話帳登録/セット)を押します。

音声メッセージ
○ ×
カーソル

6 (カナ/英 電話帳 変換)の<または>を押してカーソルを移動します。

○×：音声メッセージを流す
○×：音声メッセージを流さない

7 (電話帳登録/セット)を押します。

設定しました

8 (ストップ)を押します。

いつも電話で受ける(電話モード)

ファクス／電話自動切替(→P.65)をしたくない場合(ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なくても相手に通話料金がかかるのを防ぎたい場合)は、電話モードをご利用ください。電話モードにすると、普通の電話機と同じようになり、ファクスは手動で([スタート／コピー]ボタンを押して)受信できます。

「着信ベル回数を変える」(→P.68)の手順を行い、手順6で(＊)を入力します。

- 無鳴動着信で使用していた場合は、まず「無鳴動着信しない」に設定してください(→左記)。それから着信ベル回数を設定してください。
- 電話モードでも、留守設定時は自動的にファクスを受信します。ただし、「トールセイバしない」に設定しているときは留守番機能が働かず、自動受信もできません。(→P.84)

いつもファクスで受ける(ファクス専用モード)

着信ベルが設定した回数だけ鳴ると、自動的にファクス受信に切り替えることができます。
相手からかかってくるのが、ファクスだけであることがわかっているときにご利用ください。

- 着信ベルの回数は変更できます。(→P.68)
- 電話モードにしてあると、ファクス専用モードを「する」に設定しても電話モードが優先されファクス専用モードになりません。着信ベルの回数を1〜19回に設定して電話モードを解除してください。
- **お買い上げのとき…**「ファクス専用モードにしない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英・電話帳・変換の▼を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セットを押します。

無鳴動着信
音声メッセージ
着信ベル回数

4 カナ/英・電話帳・変換の▼を4回押します。

呼出ベル回数
ファクス専用
ベル音・メロディ

5 電話帳登録/セットを押します。

ファクス専用
○ ×

カーソル

6 カナ/英・電話帳・変換の<または>を押してカーソルを移動します。

○×:ファクス専用モードにする
○×:ファクス専用モードにしない

7 電話帳登録/セットを押します。

設定しました

8 ストップを押します。

- **相手が電話の場合は、設定した回数だけベルが鳴るとファクス受信動作になり、電話を受けることはできません。**
- **留守設定にするとファクス専用モードの設定は無効になり、留守設定動作をします。(→P.73)**
- **無鳴動着信を「する」に設定すると着信ベルが1回も鳴らずにファクス受信動作になります。(→P.69)**

ファクスかんたん受信の設定

お買い上げいただいたときは、「かんたん受信をする」(電話に出て相手がファクスの場合、自動で受信する)に設定されています。ただし、相手が電話の場合でも、声質や音によって、ファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合は、「ファクスかんたん受信をしない」に設定してください。
また、いたずらファクスでお困りのときなどは、「ファクスかんたん受信をしない」に設定してください。

- 「ファクスかんたん受信をしない」に設定した場合は、相手がファクスだったら[スタート/コピー]ボタン(親機)または[グループ/ドアホン/内線]を押したあと[6](子機)を押して受信してください。
- 「ファクスかんたん受信をする」に設定した場合の動作については、P.31をご覧ください。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英・電話帳・変換の▼を2回押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セットを押します。

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 カナ/英・電話帳・変換の▼を3回押します。

ファクスかんたん受信
保留メロディ
回線種別

5 電話帳登録/セットを押します。

ファクスかんたん受信
○ ×

カーソル

6 カナ/英・電話帳・変換の<または>を押してカーソルを移動します。

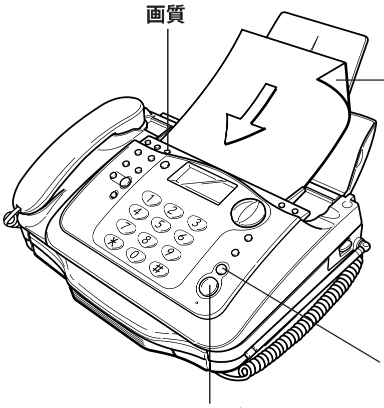
○×:ファクスかんたん受信をする
○×:ファクスかんたん受信をしない

7 電話帳登録/セットを押します。

設定しました

8 ストップを押します。

コピーをとる



1　原稿をセットします。（→P.59）

ふつう

画質モード

● 画質モードが表示されます。（→P.60）

2　原稿にあわせて、画質モードを選択します。

● [画質]ボタンを押して選びます。（→P.60）

3　スタート/コピー を押します。

コピー部数	：01

コピー部数

● ここでは常にコピー部数は「01」と表示されます。
● この状態で約5秒間何もしないでいると、自動的にコピーを開始します。

シングルコピー（1部コピーする）

4　スタート/コピー を押します。

コピー中	P01

● コピーが終わると「ピー」という音がします。

マルチコピー（複数部コピーする）

4　ダイヤルボタンを押して、コピー部数を入力します。

コピー部数	：03

コピー部数

● 2～99部まで入力できます。
● 2～9は頭に「0」を付けてください。
● この状態で約5秒何もしないでいると、自動的に原稿の読み取りを開始します。

5　スタート/コピー を押します。

原稿読取中	P01

▼

コピー中	P01

● コピーが終わると、「ピー」という音がします。

!

● 原稿は自動的に排出されます。無理に引き抜かないでください。
● A4サイズの記録紙をセットしている場合や記録紙のサイズをA4に設定している場合、B4サイズの原稿をコピーするとA4サイズに縮小されます。
● B4サイズの記録紙をセットしている場合、A4サイズの原稿をコピーすると等倍コピーされます。
● 記録紙スタッカに、コピーした記録紙を10枚（記録紙スタッカを折り曲げて使用時は5枚）以上ためないでください。記録紙づまりの原因となります。
● 記録紙スタッカを折り曲げて使用している場合はコピーした記録紙が落下することがあります。（→P.23）

?

● 白紙が出たとき
・原稿はコピーする面を下に向けてセットしましたか？
・記録紙のセットの向きは正しいですか（→P.136）？

● 途中でコピーをやめるとき…[ストップ]ボタンを押してください。「排出中」と表示され、原稿が排出されます。

● 拡大／縮小コピーするとき…ハンドスキャナをお使いください。拡大／縮小の設定はハンドスキャナ使用時のみできます。（→P.89）

● 写真や小さい文字の原稿、色がついた原稿などをコピーする場合…画質モードや読み取り濃度を設定してください。（→P.60、P.61）

● 縮小コピーされたとき
・B4の原稿をコピーする場合、記録紙のサイズがA4に設定されていると、縮小コピーされます。B4サイズの記録紙に交換するか、カバーを一旦開けてから閉め、記録紙サイズを「B4」にしてください。ただし、A4サイズの記録紙が入っている場合は、はみ出した部分はプリントされません。（→P.136）
・記録紙のサイズがA4に設定されていて、A4の原稿をコピーする場合、原稿セットガイドをB4にして原稿を左端にセットすると、縮小コピーされます。原稿セットガイドは正しく原稿の幅に合わせてください。（→P.59）

コピーしてはいけないもの

● 簡単にコピーがとれるからといって自由に何をコピーしてもよいという訳ではありません。例え個人で使用することが目的であっても、法律でコピーが禁止されているものもあります。
・**貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙**などは、外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。これらの中には、コピーしたものを持っているだけで法律に触れるものもあります。絶対にコピーしないでください。
・**書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真**の著作物は個人的に、または家庭内などの限られた範囲内で使用する場合など、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーすることが禁止されています。
・**パスポート**や**免許証、民間発行の有価証券**（**株券、手形、小切手など**）、**定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券**などのコピーも政府の指導により注意が呼びかけられています。

ファクス情報サービスを利用する

● ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

● **ポーリング受信について**
あらかじめ相手先に用意されている原稿を、こちら（受信側）から操作して受信する機能をポーリング受信といいます。

ポーリング方式のとき

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を7回押します。

アルファスタート
ファクスサービス

3 電話帳登録/セット を押します。

ファクス情報受信

3秒後に表示が変わります
▼

宛先指定して下さい

4 相手先の番号をダイヤルします。
●受話器は置いたままでダイヤルしてください。

5 スタート コピー を押します。

ダイヤル中

● **前回ファクス情報サービスを利用した相手先へダイヤルしたいとき…**手順4で[リダイヤル／ポーズ]ボタンを押します。

ガイダンス方式のとき

1 受話器をとります。

2 相手先の番号をダイヤルします。

3 ガイダンスに従って操作します。
● ガイダンス後の「ピー」という音のあとでコードを入力してください。
● ガイダンスがない場合は次の手順4へ進んでください。

4 スタート コピー を押します。

受信中

5 受話器を戻します。

● **ダイヤル回線をご使用のとき…**コードをトーン（プッシュ）信号で入力する必要があるときは、ダイヤルしたあとに[✱]（トーン）ボタンを押してください。以後のダイヤルはプッシュ信号が送出されます。（→P.35）
● **受話器を置いたまま操作したいとき…**手順1で[ワイワイトーク]ボタンを押してください。

留守セット／解除

留守設定にセットすると、電話に出られないときなどに相手の用件を録音することができます。相手がファクスのときは自動的に受信します。

- 録音できる時間は、1件につき最大3分、合計で約20分まで録音できます（自分で録音した応答メッセージの時間も含まれます）。用件を録音中に3分になると、相手に「ピー」という音が流れ、電話が切れます。なお、1件の録音時間が少ないときは、合計が20分を超えない限り最大30件録音できます。通話録音（→P.53）の時間と件数も含まれます。
- 留守設定時でも、電話をかけたり、受けたりすることができます。
- メモリ代行受信（→P.67）したデータや受信したEメールが残っていると録音できる時間は短くなります。
- **留守設定にセットすると…**無鳴動着信やファクス専用モードに設定していても、以下の「留守設定にセットすると」の動作となります。（→P.69、P.70）
- **電話モードでお使いの場合…**「トールセイバする」（→P.84）に設定してください。「トールセイバしない」に設定すると、留守番機能が働きません（留守番電話が応答しません）。

留守設定にセットすると

相手から電話やファクスがかかってきます。

↓

着信ベルが鳴ります。

トールセイバの設定によって鳴る回数が異なります。（→P.84）

- 「する」に設定すると（お買い上げ時）
  録音された用件があるとき：2回鳴ります。
  何も録音されていないとき：5回鳴ります。
- 「しない」に設定すると
  録音された用件の有無にかかわらず「着信ベル回数を変える」（→P.68）で設定してある回数だけ鳴ります。

↓

回線が接続され、相手に留守番電話の応答メッセージが流れます。
自作応答メッセージを流すこともできます。

相手がファクスのとき → **ファクスを受信します。**

↓（記録紙がないとき）

記録紙がないときはメモリ代行受信になります。（→P.67）

相手が電話のとき

- このとき、相手側がファクスの送信操作をするとファクスの受信が始まります。

↓

相手の用件が録音されます。

- モニタスピーカから相手の声が聞こえます。相手を確認してから電話に出ることもできます。（居留守モニタ）

↓

録音が終わると[留守]ボタンが点滅します。

応答メッセージについて

応答メッセージは、電話がかかってきたときの本機の状態によって異なります。

●通常

『ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方はそのまま送信してください』

※ 自分で応答メッセージを録音した場合は、そのメッセージが流れます。

●用件は録音できないが、ファクスは受信できるとき（用件がいっぱいのとき）*1

『ただいま留守にしております。ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしください』

●用件は録音できるが、ファクスは受信できないとき *1

『ただいま留守にしております。電話の方はピーという音のあとにお名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は恐れ入りますが、のちほどおかけなおしください』

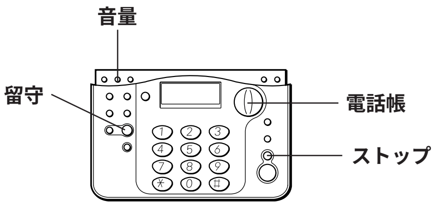
●用件の録音も、ファクスの受信もできないとき（メモリがいっぱいのとき）*1

『ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけなおしください』

*1 自分で自作応答メッセージを録音していても、これらの場合は本機の固定応答メッセージが流れます。

- 「リモート操作する」に設定すると、外出先から留守設定することもできます。（→P.78、P.79）
- 外出先から録音された用件を、再生したり消去したりできます。（→P.79）
- 録音された用件を、あらかじめ指定した先に転送することができます。（→P.80）
- ナンバー・ディスプレイを利用すると、相手に応じてベル音や応答メッセージを変えることができます。（→P.124、P.126）

留守設定のしかた



1 [留守]**を押します。**

応答メッセージ固定
▼
留守設定

- 応答メッセージが流れ、[留守]ボタンが点灯します。用件が残っているときは点滅します。
- 自分で2種類の応答メッセージを録音している場合、応答メッセージが流れている間に[<]または[>]を押して応答メッセージを選びます。

留守解除のしかた

用件が録音されているときは、[留守]ボタンが点滅しています。用件がないときは点灯しています。

10月 1日 (金) 12:00 用件 5件 留守設定

用件件数

1 [留守]**を押します。**

- [留守]ボタンが消灯します。
- 『用件は○○件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。用件がないときは『用件はありません』というメッセージが流れます。
- 1件再生されるごとに、用件が録音された月日と時間が流れます(この機能をタイムスタンプといいます)。
- 用件が全部再生されると、『用件は以上です』というメッセージが流れ、1秒ごとに「*」が増えていきます。
- 用件が全部再生されると、自動的に止まります。
再生を途中で止めたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

用件再生
▼
再生中 1/ 5
・ ・ ・
再生中 5/ 5
▼
再生終了***

再生中の用件

!

- **[留守]ボタンを押したときに応答メッセージが聞こえないときは、留守設定時の音量が「切」になっていることがあります。🔈が表示されているときに[音量]ボタンを押してください。(→P.55)**
- **ナンバー・ディスプレイご利用のときは、電話帳に登録されている相手から電話があったときは自作応答メッセージ、登録されていない相手のときは固定応答メッセージを流すことができます。(→P.126)**
また、用件再生時には、登録されている名前が表示されます。

?

- **応答メッセージを本機の固定応答メッセージにしたいとき…**自分で録音した自作応答メッセージを2種類とも消去してください。(→P.76)
- **留守設定をしようとして次のようなメッセージが流れたとき**
  - 『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください』
  …………… 留守設定ができません。
  - 『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』
  …………… すぐに用件がいっぱいになってしまいます。

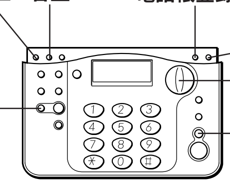
  いずれの場合も、不要な用件や受信したα-Eメールを消去してから留守設定をしてください。(→P.75、P.77、P.110)

用件の再生／消去

**録音された用件は消去しない限り残っていますので、何回でも聞くことができます。用件再生時には、通話録音した内容があるとそれも再生されます。
ただし、用件を残したままだと録音できる時間が短くなるので、用済みになった用件は消去してください。**

用件を再生する

● 留守設定をしている場合でも再生できます。
● 録音された用件を、通話中の相手に聞かせることができます。（→P.54）



1 ▶再生 **を押します。**

● 『用件は○○件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。用件が全部再生されると、『用件は以上です』というメッセージが流れます。
● 用件が全部再生されると自動的に止まります。

用件再生

▼

再生中　1/ 5

再生中の用件　用件件数

▼

再生終了***

● **モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。ご注意ください。[再生]ボタンを押しても用件が聞こえないときは、[音量]ボタンを押してください。****（→P.55）**

再生中のボタン操作について

ボタン	本機の動き
▶再生	高速で再生します。高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
◀◀ 1 あ @	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
▶▶ 3 さ DEF	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
ストップ	再生を止めます。（[ストップ]ボタンを押してから、もう一度[再生]ボタンを押すと1件目から再生します。）
消去	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。

特定の用件だけを消去する

1 **消去したい用件を再生します。**

再生中　5/ 5

2 消去 **を押します。**

再生中　4/ 4

● その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。続いて次の用件が再生されます。

3 ストップ **を押します。**

用件を聞いてから一度に消去する

1 **用件を再生します。**

● 『用件は以上です』というメッセージが流れ、1秒ごとにディスプレイに「＊」が増えていきます（6秒間）。

再生中　1/ 5
・ ・ ・
再生終了***

2 **「＊」が表示されている6秒以内に** 消去 **を押します。**

● 『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れます。

すべての用件を消去する（全用件消去）

1 機能 **を押します。**

2 カナ/英 電話帳 変換 **の▼を4回押します。**

登録モード 留守電機能 ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット **を押します。**

全用件消去 応答メッセージ録音 応答メッセージ消去

4 電話帳登録/セット **を押します。**

全用件消去

5 電話帳登録/セット **を押します。**

全用件消去 消去＜　取り消し

● 消去を取り消す場合、[＜]または[＞]を押して「＞取り消し」を選び、[電話帳登録／セット]ボタンを押します。

6 電話帳登録/セット **を押します。**

消去しました

● 『消去しました』というメッセージが流れます。

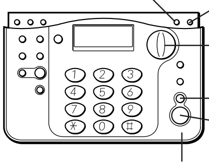
● **用件を聞いてから一度に消去する場合、早送りして一度も再生しなかった用件は消去されません。最後まで聞き終わらなくても、少しでも再生した用件は消去されます。**
● **全用件消去の場合、一度も再生していない用件もすべて消去されます。**

応答メッセージを録音／消去する

留守設定時(→P.73)に相手に流す応答メッセージを自分で録音／消去できます。

- ２種類の自作応答メッセージを録音できます。録音時間は、それぞれ最大20秒までです。
  録音したメッセージは、留守設定時に選択すれば相手に流すことができます。(→P.74)
- 自分で録音しない場合、本機の固定応答メッセージが流れます。(→P.73)
- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、電話帳に登録されている相手から電話があったときは自作応答メッセージ、登録されていないときは固定応答メッセージを流すことができます。(→P.126)
- マイクは人間の声の音域に合わせた設定になっています。自作応答メッセージといっしょに音楽を録音することはおすすめできません。
- 留守設定時でも自作応答メッセージを録音できます。

録音のしかた



1 機能 ボタンを押します。

2 電話帳 の▼を4回押します。

画面：登録モード／**留守電機能**／ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット ボタンを押します。

画面：**全用件消去**／応答メッセージ録音／応答メッセージ消去

4 電話帳 の▼を押します。

画面：全用件消去／**応答メッセージ録音**／応答メッセージ消去

5 電話帳登録/セット ボタンを押します。

画面：応答メッセージ録音／応答メッセージ１／＜＞で選択

応答メッセージ（1と2があります）

6 電話帳 の＜または＞を押して1、2のいずれかを選びます。

7 電話帳登録/セット ボタンを押します。

画面：録音開始／ｽﾀｰﾄを押して下さい

- 『応答メッセージを録音します。スタートボタンを押してください』というメッセージが流れます。

8 スタート/コピー を押してから応答メッセージをマイクに向かって吹き込みます。

画面：録音中　20秒

残り時間

- ほかの音を入れないようにして、マイクから20cm程度に近づいてお話しください。
- 録音の残り時間が" 0 "になると自動的に録音が止まります。この場合は、短いメッセージで録音しなおしてください。

9 終わったら ストップ を押します。

画面：応答メッセージ再生中

- 「ピー」という音がして録音が止まり、録音した自作応答メッセージが再生されます。再生が終わると、「ピー」という音がします。

?
- **録音中に電話がかかってきたとき…**録音が中断されます。もう一度はじめからやりなおしてください。
- **録音しなおすとき…**もう一度はじめからやりなおしてください。録音しなおすと、前に録音された自作応答メッセージは消去されます。
- **メモリがいっぱいのとき…**手順7で『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。』というメッセージが流れます。不要な用件を消去してから録音してください。(→前ページ)

消去のしかた

1 機能 ボタンを押します。

2 電話帳 の▼を4回押します。

画面：登録モード／**留守電機能**／ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット ボタンを押します。

画面：**全用件消去**／応答メッセージ録音／応答メッセージ消去

4 電話帳 の▼を2回押します。

画面：全用件消去／応答メッセージ録音／**応答メッセージ消去**

5 電話帳登録/セット ボタンを押します。

画面：応答メッセージ消去／応答メッセージ１／＜＞で選択

6 電話帳 の＜または＞を押して1、2のいずれかを選びます。

7 電話帳登録/セット ボタンを押します。

画面：応答メッセージ消去／応答メッセージ１／消去＜　取り消し

- 消去を取り消す場合、[＜]または[＞]を押して「＞取り消し」を選び、[電話帳登録／セット]ボタンを押します。

8 電話帳登録/セット ボタンを押します。

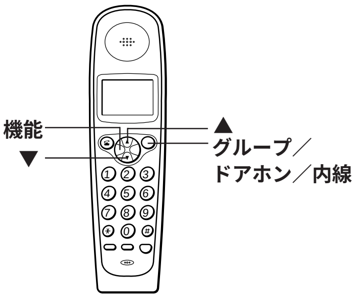
画面：消去しました

- 『消去しました』というメッセージが流れます。

!
- **本機の固定応答メッセージを消去することはできません。**

子機で留守番電話を操作する（留守番リモート）

留守セット／解除



待機中に操作します。

1 [機能]を押します。

2 [▲]を押して「リモコン　操作」を選びます。

リモコン　操作

3 [機能]を押します。

リモコン　中
用件再生 2

留守設定するには

4 [7]を押します。

リモコン　中
留守設定 7

- または[▲]／[▼]を押して「留守設定 7」を選び、[機能]ボタンを押します。
- 20秒以内に押してください。
- 受話口から『留守設定をしました』というメッセージが流れます。応答メッセージは再生されません（応答メッセージの選択はできません）。

5 [グループ/ドアホン/内線]を押します。
（または充電器に戻します。）

留守解除するには

4 [9]を押します。

リモコン　中
留守解除 9

- または[▲]／[▼]を押して「留守解除 9」を選び、[機能]ボタンを押します。
- 20秒以内に押してください。
- 受話口から『留守設定を解除しました』というメッセージが流れます。

5 [グループ/ドアホン/内線]を押します。
（または充電器に戻します。）

?
- **『用件がいっぱいです…』というメッセージが流れたとき…**留守設定ができません。用件を消去してから留守設定をしてください。
- **『メモリ残量が少なくなっています…』というメッセージが流れたとき…**すぐに用件がいっぱいになってしまいます。用件を消去してから留守設定をしてください。

用件の再生／消去

用件の再生

待機中に操作します。

1 [機能]を押します。

2 [▲]を押して「リモコン　操作」を選びます。

3 [機能]を押します。

4 [2]を押します。（または[機能]を押します。）

リモコン　中
用件再生 2

- 20秒以内に押してください。
- 受話口から用件が再生されます。[ワイワイトーク]ボタンを押すとモニタスピーカから再生されます。親機のモニタスピーカからは聞こえません。

5 [グループ/ドアホン/内線]を押します。
（または充電器に戻します。）

特定の用件だけを消去する

消去したい用件を再生中に[8]を押します。その用件の再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れ、その用件だけが消去されます。

用件を聞いてから一度に消去する

用件を再生し、『用件は以上です』というメッセージが流れたあと、「ピッピッピッ‥‥」という音が6秒間聞こえます。この間に[8]を押すと、『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れ、再生済みの用件がすべて消去されます。

再生中のボタン操作について

ボタン	本機の動き
1	1回押すと、再生中の用件を初めから再生します。 続けて2回押すと、ひとつ前の用件を再生します。
2	高速で再生します。高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
3	1回押すと、次の用件を再生します。 続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
8	再生中の用件を消去します。 その用件を再生終了後、『消去しました』というメッセージが流れます。
#	再生を止めます。（[#]を押してから、もう一度[2]を押すと1件目から再生します。）

外出先で留守番電話を操作する（外線リモート）

リモート操作の設定とリモートパスワードの登録

留守設定中に録音された用件を、外出先で聞くことができます。そのために、あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録をします。
※パスワードは大切な番号ですので他人に知られないようにしてください。

- トールセイバを設定しておくと、外出先から用件の有無がわかります。（→P.84）
- リモートパスワードは4桁の数字を登録します。
- **お買い上げのとき…**「リモート操作しない」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を3回押します。

登録モード 留守電機能 ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット を押します。

自分の電話番号 発信元 おやすみタイマ切替

4 カナ/英 電話帳 変換 の▼を3回押します。

リモート操作 用件転送 ダイヤルイン

5 電話帳登録/セット を押します。

リモート操作 ○ ×

6 カナ/英 電話帳 変換 の＜または＞を押してカーソルを移動します。

○×：リモート操作する
○×：リモート操作しない
- 「リモート操作しない」にしたときは手順9へ進んでください。

7 電話帳登録/セット を押します。

リモートPW入力 _

8 リモートパスワード（4桁の数字）を入力します。

9 電話帳登録/セット を押します。

設定しました

10 ストップ を押します。

?
- **パスワードを間違えたとき…**［保留／クリア］ボタンを押して入力しなおしてください。
- **すでにパスワードが登録されているとき…**新しいパスワードを入力すると前のパスワードは消去されます。

外出先で留守番電話の用件を聞く

- あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。（→P.78）
- 外出する前に、[留守]ボタンを押して、留守設定にしておきます。
- プッシュ信号（ピッポッパ）が出せる電話機で操作してください。

1 外出先から電話をかけます。

- 電話がつながると応答メッセージが流れます。

2 [#]を押します。

- 応答メッセージが流れている間か、メッセージのあとに押してください。
- 応答メッセージが止まります。止まらないときは、もう一度[＃]を押してください。

3 リモートパスワード（4桁の数字）を入れ、最後に[#]を押します。

- 『パスワードが一致しました。用件は○件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

4 用件を聞きます。

- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は、用件の後に相手の番号を音声で流します。
- 再生中に早送りや巻き戻しを行いたいときは、リモート操作コードを押してください。

5 受話器を戻します。

- **用件再生終了後何もしないで20秒経つと電話が自動的に切れます。**
- **リモート操作で用件を聞いても、留守番電話の用件は消去されません。**

- **手順3で『パスワードを入れなおしてください』というメッセージが流れたとき…**[#][パスワード][#]と入れなおしてください。3回間違えると電話が切れます。
- **再生以外の操作をしたいとき…**手順3で[パスワード][#][リモート操作コード]と押してください。

留守設定をしないで外出したときは

電話をかけて呼出音の音色が高くなったら（ファクス／電話自動切替によって回線が接続されたら）、[#][パスワード][#]と押してください。
『留守設定をしました』というメッセージが流れ、留守設定になります。

・電話モード設定時は、外出先から留守設定することはできません。
・ダイヤルインをご利用の場合は、ファクス用の番号に電話をかけて上記の操作をしてください。

リモート操作コード表

項目	リモート操作コード	本機の動き
巻き戻し	＃1＃	再生中に押すとひとつ前の用件を再生します。 （先頭の用件を再生中の場合は、再生中の用件を再生します。）
用件再生	＃2＃	用件を先頭から再生します。 再生中に押すと高速で再生します。 高速再生中に押すと通常の再生速度になります。
早送り	＃3＃	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	＃61＃	用件転送を設定します。『用件転送を設定しました。転送先は×××です』というメッセージが流れます。転送先が登録されていないときは、『用件転送は使用できません』というメッセージが流れます。
用件転送解除	＃62＃	用件転送を解除します。『用件転送を解除しました』というメッセージが流れます。
留守設定	＃7＃	留守設定をします。『留守設定をしました』というメッセージが流れます。
用件消去	＃8＃	再生中に押すと、再生中の用件が消去され、『消去しました』というメッセージが流れます。 用件を再生し、『用件は以上です』というメッセージが流れたあと、「ピッピッピッ‥‥」という音がしている間（約6秒間）に押すと、『再生済みの用件を消去しました』というメッセージが流れ、再生済みの用件がすべて消去されます。
留守設定解除	＃9＃	留守設定を解除します。『留守設定を解除しました』というメッセージが流れます。

- リモート操作コード表を持ち歩きたいときは、P.161の「外線リモート（外出先の電話機）」の表をハンドスキャナでコピーしてご活用ください。

留守番電話が入ったら外出先へ通知する(用件転送)

留守設定中に用件を録音したら、あらかじめ登録した携帯電話やポケベル、外出先の電話機へ通知することができます。

用件転送先の登録

- 用件転送先は1ヵ所だけ登録できます。
- あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。(→P.78)
- プッシュ信号(ピッポッパ)が出せる電話機やファクスを用件転送先としてください。
- **お買い上げのとき…**「用件転送しない」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、[機能]を押します。**

2 **[カナ/英・電話帳・変換]の▼を3回押します。**

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 **[電話帳登録/セット]を押します。**

自分の電話番号
発信元
おやすみタイマ切替

4 **[カナ/英・電話帳・変換]の▼を4回押します。**

リモート操作
用件転送
ダイヤルイン

5 **[電話帳登録/セット]を押します。**

用件転送
○　×

6 **[カナ/英・電話帳・変換]の<または>を押してカーソルを移動します。**

○×：用件転送する
○×：用件転送しない
- 「用件転送しない」にしたときは手順9へ進みます。

7 **[電話帳登録/セット]を押します。**

転送先番号入力
_

8 **用件転送先の電話番号を入力します。**

- 最大40桁までです。
- ポケベルにメッセージを表示させたいときは、「ポケベルにメッセージを表示させるには」(下記)を参照してください。

9 **[電話帳登録/セット]を押します。**

設定しました

10 **[ストップ]を押します。**

?
- **手順8で番号を間違えたとき…**[<]または[>]でカーソルを移動するか、[保留／クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。
- **登録した電話番号を修正したいとき…**同じ手順で登録しなおしてください。

ポケベルにメッセージを表示させるには

ポケベルのディスプレイにメッセージを表示させたいときは、手順8で次のように入力してください。

ポケベル番号 ➡ **ポーズ*1** ➡ **(✱)*2** **メッセージ番号** **# #**

終了記号

＊1. NTTDoCoMoの場合は、[リダイヤル／ポーズ]ボタンを4回〜5回、テレメッセージの場合は、[リダイヤル／ポーズ]ボタンを3回押します。

＊2. ダイヤル回線をご使用の場合は[✱]を押してください。以後がプッシュ信号に切り替わります。プッシュ回線をご使用の場合は[✱]を押す必要はありません。

●ご注意

- ポーズ(待ち時間)は、ポケベルのサービス会社につながった時に流れる音声メッセージが終わるまでの待ち時間を作るために必要です。音声メッセージの長さは、お使いのポケベルのサービス会社へお問い合わせください。なお、[リダイヤル／ポーズ]ボタンを1回押すと約3秒間のポーズが入力できます。
- メッセージ番号については、ポケベルの説明書をご覧ください。
- 登録できる番号は、ポケベル番号、ポーズ、メッセージ番号の合計が40桁までです。なお、ポーズは[リダイヤル／ポーズ]ボタンを1回で1桁に数えます。

用件転送の使いかた

「用件転送先の登録」をすると、留守セット／解除と同時に用件転送がセット／解除されます。

● あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です。（→P.78）

用件転送のセット

1 留守（ボタン）**を押します。**

留守設定＆転送

用件転送を表しています

用件転送の解除

1 留守（ボタン）**を押します。**

用件転送先での受けかた

1 ベルが鳴ったら受話器をとります。

● 『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが繰り返し流れます。（メッセージが途中から聞こえることがあります。）
● メッセージが5回流れてもパスワードが入力されないと、自動的に電話が切れます。

2 [#] を押します。

● 『用件転送をします。パスワードを入れてください』というメッセージが流れている間か、メッセージのあと3秒以内に押してください。
● メッセージが止まります。止まらないときは、もう一度[#]を押してください。

3 リモートパスワード（4桁の数字）を入れ、最後に [#] を押します。

● 『パスワードが一致しました。用件は○件です』というメッセージが流れ、用件が再生されます。

4 用件を聞きます。

5 受話器を戻します。

!

● **用件転送先がPHSの場合、電波が届く範囲が狭いために用件転送できないことがあります。**
● **録音した用件が6秒未満のときは、用件転送されません。**
● **おやすみモードになっているときは、用件転送されません。**
● **用件が録音されてから用件転送するまでの間に、停電等で本機の電源が切れた場合は、用件転送されません。**
● **用件転送を受ける際、パスワードを入れる前に電話を切った場合、回線によってはその後も繰り返し用件転送されることがあります。このときは、「用件転送先での受けかた」の手順を最後まで行ってください。**

?

● **手順3で『パスワードを入れなおしてください』というメッセージが流れたとき…**[#][パスワード][#]と入れなおしてください。3回間違えると電話が切れます。
● **再生中に早送りや巻き戻しを行いたいとき…**リモート操作コードを押してください。（→P.79）
● **再生以外の操作をしたいとき…**手順3で[パスワード][#][リモート操作コード]と押してください。（→P.79）
● **用件転送先が話中のときやだれも電話に出なかったとき…**1分間隔で5回、それでもつながらないときは、更に30分間隔で5回まで自動的にかけなおします。10回かけなおしてもつながらなかったときは、用件転送されません。
また、用件転送先が話中で、自動的にかけなおそうとして待機している間に別の用件を録音したときは、最初に録音した用件の残りの回数分だけかけなおします。

おやすみモード

電話やファクスが入った時のベルを鳴らしたくないときや、ファクスの動作音が気になるときは、おやすみモードをご利用ください。

- おやすみモードにすると、留守設定時の動作になります。なお、ベルは鳴りません。ファクスを受信するとプリントされずにメモリに記憶されます。
- おやすみモードのときは、ベル音、留守電着信時のモニタ音、ファクス受信終了時の「ピー」という音は出ません。
- おやすみモードにする時間帯をあらかじめ設定しておくと、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます。(→P.83)

おやすみモードのセット／解除

おやすみモードにすると

相手から電話やファクスがかかってきます。

↓

着信ベルは鳴らず、[おやすみ] ボタンが点滅します。

- **ナンバー・ディスプレイを利用すると、特定の相手からかかってきたときにだけ着信ベルを鳴らすことができます。(→P.125)**

↓

回線が接続され、相手に留守番電話の応答メッセージが流れます。

相手がファクスのとき

↓

受信内容はプリントされずメモリに記憶されます。

- **受信終了時の「ピー」という音は聞こえません。**
- **おやすみモードを解除すると、受信内容がプリントされます。**

相手が電話のとき

- **このとき、相手側がファクスの送信操作をするとファクスの受信が始まります。**

↓

相手の用件が録音されます。

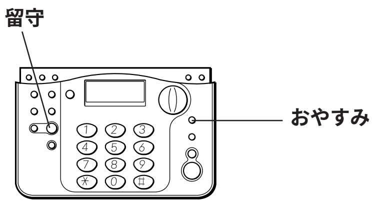
- **留守設定のときと異なり、相手の声はモニタスピーカから聞こえません。**

↓

録音が終わると[留守]ボタンが点滅します。

- **メモリが残り少ないときに、メモリ残量を超える量の文書が送られてくると、受信できないことがあります。**
- **おやすみモードにセットしても、子機優先着信が設定されている場合、子機の着信ベルが5回だけ鳴ります。(→P.57)**

おやすみモードの設定のしかた



1 おやすみ **を押します。**

留守設定

- [おやすみ]ボタンと[留守]ボタンが点灯します。

おやすみモードの解除のしかた

用件が録音されているときやファクスの受信文書があるときは、[留守]ボタンが点滅しています。

1 おやすみ **を押します。**

- [おやすみ]ボタンと[留守]ボタンが消灯します。用件が録音されているときは用件が再生されます。ファクスを受信しているときはプリントされます。

?

- **留守設定をしたあとに、おやすみモードにしたとき…** おやすみモードを解除しても、留守設定は解除されません。[留守]ボタンを押すと、おやすみモードと留守設定の両方が解除されます。
- **おやすみモードにしようとして、『用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れたとき…** すでに用件が30件入っているか、残りの録音時間が20秒以内なので、不要な用件を消去してからおやすみモードにしてください。(→P.75)
- **おやすみモードにしようとして、『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』というメッセージが流れたとき…** すでに用件が27件〜29件入っているか、録音できる時間が21秒〜2分なので、不要な用件を消去してからおやすみモードにしてください。(→P.75)

おやすみモードのタイマ切替

おやすみモードにする時間帯を設定しておくと、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます。

- ●おやすみモード開始時刻と終了時刻は別々に設定します。
- ・設定した開始時刻と終了時刻になると、自動的におやすみモードを設定／解除します。
- ・開始時刻だけ設定すると、自動的におやすみモードを設定します。解除は手動で行います。
- ・終了時刻だけを設定すると、自動的におやすみモードを解除します。設定は手動で行います。
- ●留守録の用件がいっぱい（メモリフル）のときはおやすみモードに切り替わりません。不要な用件を消去してください。（→P.75）
- ●次の場合は、おやすみモードを自動的に解除した時、留守設定になります。
- ・留守設定してからおやすみモードにしたとき
- ・用件が録音されているとき
- ●**お買い上げのとき…**おやすみモードのタイマ切替は設定されていません。

1 ダストカバーを開け、機能 を押します。

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を3回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット を押します。

自分の電話番号
発信元
おやすみタイマ切替

4 カナ/英 電話帳 変換 の▼を2回押します。

自分の電話番号
発信元
おやすみタイマ切替

5 電話帳登録/セット を押します。

おやすみ開始タイマ
○ ×

6 カナ/英 電話帳 変換 の<または>を押してカーソルを移動します。

○×：開始時刻を登録する
○×：開始時刻を登録しない
●「開始時刻を登録しない」にしたときは手順9へ進みます。

7 電話帳登録/セット を押します。

おやすみ開始時刻入力
00:00

8 開始時刻を入力します。

● 24時間制。0～9は頭に「0」を付けてください。

9 電話帳登録/セット を押します。

おやすみ終了タイマ
○ ×

10 カナ/英 電話帳 変換 の<または>を押してカーソルを移動します。

○×：終了時刻を登録する
○×：終了時刻を登録しない
●「終了時刻を登録しない」にしたときは手順13へ進みます。

11 電話帳登録/セット を押します。

おやすみ終了時刻入力
00:00

12 終了時刻を入力します。

● 24時間制。0～9は頭に「0」を付けてください。

13 電話帳登録/セット を押します。

設定しました

14 ストップ を押します。

? ●**時刻を間違えて入力したとき…**[保留／クリア]ボタンを押して入力しなおしてください。

トールセイバの設定

トールセイバとは、留守番電話が応答するまでのベルの回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になる機能です。トールセイバを利用すると、留守設定時(→P.73)に外出先から用件の有無を簡単に確かめることができます。用件が録音されていないときは、呼出音を3回聞き終わってから電話を切れば、通話料金がかかりません。

- 一度聞いた用件でも残っていると(消去しない限り)、トールセイバが働きます。
- 電話モード(→P.69)でお使いの場合で、留守番機能を使用するときは、「トールセイバする」に設定してください。「トールセイバしない」に設定すると、留守設定しても留守番機能が働きません(留守番電話が応答しません)。
- 用件の有無によって着信ベル回数を変えたくないときは「トールセイバしない」に設定してください。留守番電話が応答するまでのベルの回数は設定された着信ベル回数(→P.68)と同じになります。
- **お買い上げのとき…**「トールセイバする」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、[機能]を押します。**

2 **[カナ/英 電話帳 変換]の▼を4回押します。**

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 **[電話帳登録/セット]を押します。**

全用件消去
応答メッセージ録音
応答メッセージ消去

4 **[カナ/英 電話帳 変換]の▼を3回押します。**

トールセイバ

5 **[電話帳登録/セット]を押します。**

トールセイバ
○　×

6 **[カナ/英 電話帳 変換]の＜または＞を押してカーソルを移動します。**

○×：トールセイバする
○×：トールセイバしない

7 **[電話帳登録/セット]を押します。**

設定しました

8 **[ストップ]を押します。**

ハンドスキャナご使用の前に

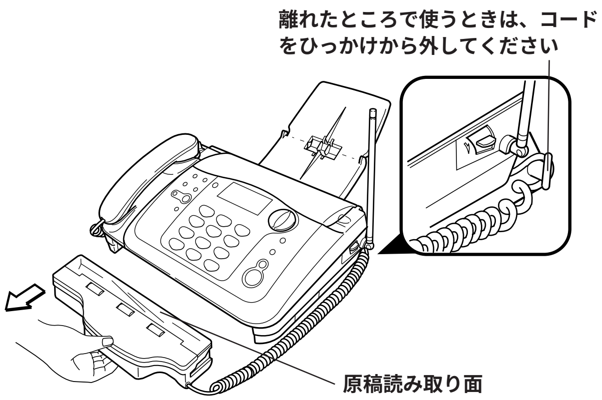
本などの綴じられた原稿や、厚すぎて原稿挿入口にセットできない原稿でも、ハンドスキャナを使ってコピーしたりファクス送信ができます。また、拡大や縮小もすることができます。

ハンドスキャナの取り外しと取り付け

- ハンドスキャナは、本体の原稿読み取り面としても働きます。使用した後は、必ず本体に戻してください。本体に戻すときは、ハンドスキャナのコードをはさまないように注意してください。断線の原因となります。
- ハンドスキャナを落としたり、固いものにぶつけたりしないようにご注意ください。
- 原稿読み取り面は汚さないでください。汚れたら清掃してください。（→P.148）

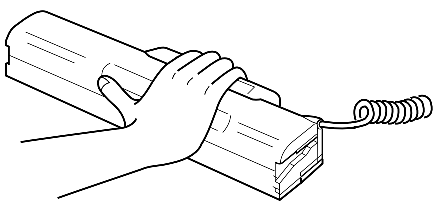
取り外しかた

1 ハンドスキャナを矢印方向に引き抜きます。



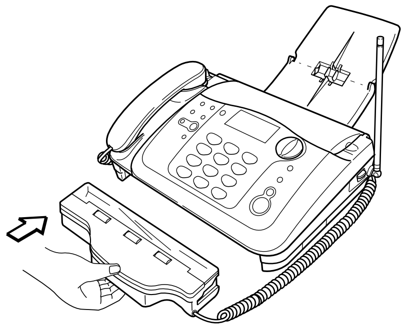
- 原稿読み取り面には手を触れないでください。

2 裏返して原稿読み取り面を下にして、原稿にのせます。



取り付けかた

原稿読み取り面を上に向けて、本体に押し込みます。



ハンドスキャナを使った原稿の読み取りについて

- ハンドスキャナを使って原稿を読み取る時、ハンドスキャナを動かすスピードをあらわすメロディ音が流れます（流さないようにすることもできます）。（→P.89）
- コピーしてはいけないものがあります。P.71をご覧ください。

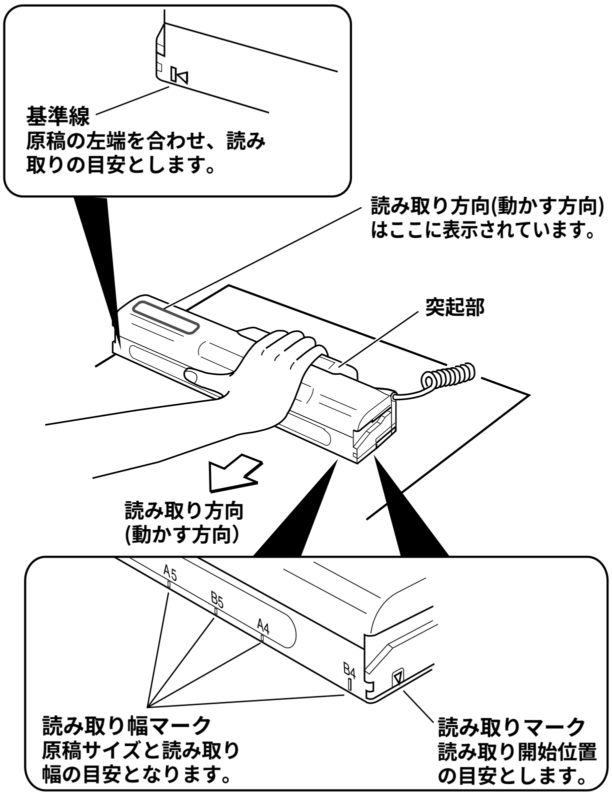
読み取り幅と読み取り長さについて

	コピーするとき	ファクスを送信するとき
最大読み取り幅	250 mm（B4サイズ）	250 mm（B4サイズ）
最大読み取り長さ	無制限（記録紙がなくなるまで）	無制限 * （メモリがいっぱいになるまで）

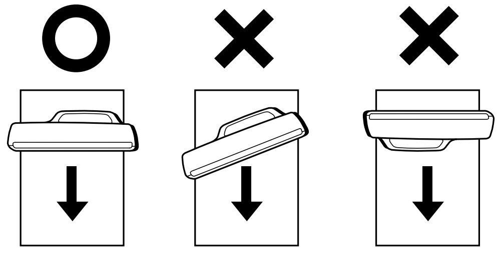
＊原稿の色や文字の量、画質モードの設定によって変わります。

原稿の読み取りかたについて

- 原稿の左端にハンドスキャナの基準線を合わせ、上端に読み取りマークを合わせます。

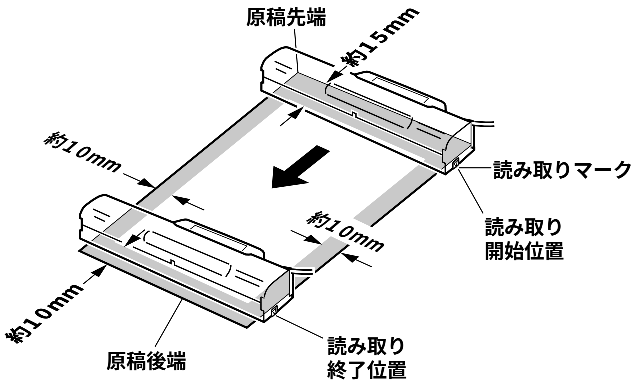


- ハンドスキャナは読み取り方向にまっすぐ動かしてください。斜めや逆に動かすとうまく読み取れません。



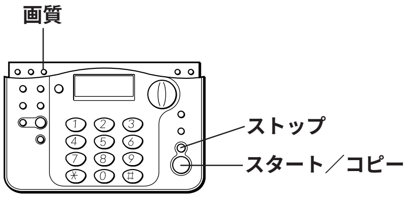
原稿の読み取り制限について

- 読み取りマークを原稿の先端に合わせて読み取りをしても、図の　　部分は読み取れないことがあります。
  端の部分に読み取りたい文字などがあるときは、その分外側に合わせてください。



- **色がついた原稿や文字がうすい原稿などの場合は、ハンドスキャナを外す前に読み取り濃度を設定してください。（→P.61）**
- **次のような原稿には使わないでください。読み取り結果や装置に不具合が発生することがあります。**
  - **表面に凹凸のある原稿**
  - **コーティングなどで表面が滑りやすい原稿**
  - **表面が汚れている原稿**
  - **インクや修正液、ノリなどが乾いていない原稿**
- **フィルムやトレーシングペーパーのように透明な原稿は、原稿を白い紙の上に置くか、別売のキャリアシート（→P.59、P.154）に入れてから読み取るようにしてください。**

ハンドスキャナでコピーする



1 ハンドスキャナを外して裏返します。(→P.85)

`スキャナ　B4 小さい`

● 拡大／縮小するときは、P.89をご覧ください。

2 読み取る原稿にあわせて画質を切り替えます。(→P.60)

●「小さい」または「写真」を選びます。

3 ハンドスキャナを原稿の上に置きます。

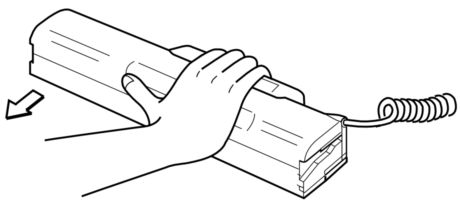
4 [スタート/コピー] を押します。

`コピー中　B4 小さい`

● ハンドスキャナの原稿読み取り面のランプが点灯します。

5 ハンドスキャナを読み取り方向に動かします。

● 動かすと、メロディ(→本ページ右)が流れます。



6 読み取りが終わったら [ストップ] を押します。

● プリントが終わるまでしばらくお待ちください。ハンドスキャナの原稿読み取り面のランプが消灯したあと、プリントが終わります。

7 ハンドスキャナを戻します。(→P.85)

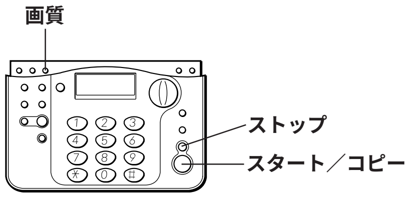
● 原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。

!
- **ブザーが鳴り、「メモリフル」と表示された時は読み取りができません。しばらくするとコピーが可能となります。**
- **ハンドスキャナを30秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。**
- **[ストップ]ボタンを押さずにハンドスキャナを戻すと、ハンドスキャナのローラが回り、記録紙の後端に原稿と異なるものをプリントする場合があります。**
- **ハンドスキャナ使用後は必ず本体に戻してください。コピー、送信等の機能が使えなくなります。**

メロディについて

- **ふつうの速さのメロディの時…**正常に読みとれます。もっと速くハンドスキャナを動かせます。
- **速いメロディの時…**正常に読み取れます。これ以上速くハンドスキャナを動かすと、正常に読み取れなくなります。
- **「ピッピッピッ…」という音の時…**正常に読み取れず、画像が欠落したり、線が入ったりすることがあります。
- **メロディを流したくないとき…**P.89の設定をしてください。

ハンドスキャナで送信する



1 ハンドスキャナを外して裏返します。(→P.85)

スキャナ　B4　小さい

2 読み取る原稿にあわせて画質を切り替えます。(→P.60)

- 「小さい」または「写真」を選びます。

3 相手先の番号をダイヤルします。

- 受話器を置いたままダイヤルします。
- 電話帳を使って相手先を指定することもできます。

4 ハンドスキャナを原稿の上に置きます。

5 [スタート／コピー] を押します。

コピー中　B4　小さい

6 ハンドスキャナを読み取り方向に動かします。

- 動かすと、メロディが流れます。(→P.87)
- 読み取った原稿は、メモリに記憶しながら同時にプリントされます。
- 「ピー、ピー、ピー・・・」という音がした時はメモリがいっぱいです。読み取ったところまでプリントされます。

7 読み取りが終わったら [ストップ] を押します。

1:送信　2:消去

- ハンドスキャナの原稿読み取り面が消灯したあと、プリントが終わります。プリントが終わるまでしばらくお待ちください。

8 プリント内容を確認します。

- もう一度読み取りなおしたいときは、[2](消去)を押し、「消去しました」→「読取待ち　B4　小さい」と表示されたら、手順4からやりなおしてください。
- 送信をやめたいときは、[ストップ]ボタンを押してください。

9 [1] を押します。

- 送信を開始します。

ダイヤル中

▼

メモリ送信中

▼

メモリ送信中 P01

10 ハンドスキャナを戻します。(→P.85)

- 原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。ハンドスキャナを戻しても送信は中断されません。

!

- **ハンドスキャナを30秒以上動かさずにいると、読み取りを中断します。**
- **送信が終わるとメモリの内容は消去されます。**
- **ハンドスキャナを使う場合、電話で話をしたあと、続けて送ることはできません。**
- **送信中に通信異常のアラームが表示された場合、メモリの内容は消去されます。**
- **相手機がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送るとA4サイズには縮小されません。左寄せでA4サイズ分を切り出して送信されます。**
- **ハンドスキャナ使用後は必ず本体に戻してください。他の機能が使えない場合があります。**

?

- **読み取り中のメロディを流したくないとき…**P.89をご覧ください。
- **相手先が話中のとき…**1分間隔で5回まで自動的にかけなおします(**オートリダイヤル**)。
  5回かけなおしても送信できなかったときは、読み取った原稿が消去され、不達レポートがプリントされます。(→P.64)
- **途中で送信をやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。

原稿を拡大／縮小する

ハンドスキャナを使って送信やコピーをするときに、読み取り幅とプリント(記録)幅を設定すると、原稿を拡大や縮小して送信やコピーができます。

1 ハンドスキャナを外します。(→P.85)

スキャナ　B4 小さい
読み取り幅　画質モード

2 ダストカバーを開け、機能を押します。

読み取り記録幅
メロディスキャナ

3 電話帳登録/セットを押します。

読み取り記録幅
B4→B4
<>で選択

4 カナ/英・電話帳・変換の<または>を押して倍率を選択します。

B4→B4：等倍
B4→A4：82%縮小
A4→A4：等倍
A4→B4：122%拡大
B5→B5：等倍
B5→A4：115%拡大
B5→B4：141%拡大＊

＊記録紙がA4時は
A5→A4：141%拡大

5 電話帳登録/セットを押します。

● 「設定しました」と表示され、約2秒後に手順2の画面に戻ります。

6 ストップを押します。

● 設定した倍率で、送信やコピーをすることができます。

記録幅とプリント

プリント結果は、手順4で選んだ記録幅とセットされている記録紙サイズにより、次の表のようになります。

記録幅	本機の記録紙（コピー時）		相手先の記録紙（送信時）	
	A4	B4	A4	B4
A4	A4 幅	A4 幅	A4 幅	A4 幅
B4	A4 幅＊1	B4 幅	A4 幅＊1	A4/B4 幅＊2
B5	B5 幅	B5 幅	B5 幅	B5 幅

＊1　記録幅をB4に設定したとき、A4サイズの記録紙がセットされていると、はみ出す部分(原稿の右側)はプリントできません。
＊2　本機の記録紙がA4のときはA4幅、B4のときはB4幅でプリントされます。記録幅をB4に設定したとき、相手先でのプリントは本機の記録紙サイズと同じです。本機でコピーした内容が相手先にプリントされます。

メロディハンドスキャナの設定

原稿を読み取る時、読み取る速さに合わせてメロディ音が流れます。

● メロディ音が流れている時に[音量]ボタンを押すと、音量の調整ができます。
● メロディの音量はモニタスピーカ音量(→P.55)と同じ設定になります。この音量を「切」にするとメロディ音も鳴らなくなります。
● **お買い上げのとき…**「メロディ音を流す」に設定されています。

1 ハンドスキャナを外します。(→P.85)

スキャナ　B4 小さい

2 ダストカバーを開け、機能を押します。

3 カナ/英・電話帳・変換の▼を押します。

読み取り記録幅
メロディスキャナ

4 電話帳登録/セットを押します。

メロディスキャナ
○　×

5 カナ/英・電話帳・変換の<または>を押してカーソルを移動します。

○×：メロディ音を流す
○×：メロディ音を流さない

6 電話帳登録/セットを押します。

● 「設定しました」と表示され、約2秒後に手順3の画面に戻ります。

7 ストップを押します。

α-ALPHA5（アルファファイブ）について

DDI（第二電電）のα-ALPHA5（アルファファイブ）に加入（無料）すると、DDIが提供するさまざまな機能を利用できるようになります。おトクな市外回線を自動で選ぶDDI市外電話自動選択機能のほかに、料金表示、メッセージの送受信、ディスプレイ表示に従っての情報取り出し、おトクな海外ファクスなどの機能を利用できます。

● α-ALPHA5には次のようなサービスが用意されています。
- **α-NEWS（アルファニュース）…**便利で役立つ情報を簡単な操作で取り出せます。（→P.97）
  着信メロディを取り込むこともできます。（→P.98）
- **α-MAIL（アルファメール）…**文字メッセージを送受信できます。（→P.99、P.100）
- **α-FAX（アルファファクス）…**インターネットなどを利用して海外へより安く送信できます。（→P.101）
- **α-DIAL（アルファダイヤル）…**DDIテレホンサービス「Talkin'ダイヤル」の電話番号や、お住まいの地域の「公共施設」の電話番号が本機に自動的に登録されます。（→P.102）

利用申し込みにあたって

●「α-ALPHA5」の各機能をご利用いただくには、DDI（第二電電株式会社）へのα-ALPHA5のご利用申し込みと、DDI市外電話サービスのご利用が必要です。なお、「α-FAX」サービスをご利用いただくには、DDIおよびDDIE（DDIエンジニアリング株式会社）への加入申し込みが必要です。（登録料、基本料はいずれも無料です。）

利用料金の請求および支払いについて

● DDIを利用した通話については、DDIから通話料金が請求されます。
● 窓口振り込み（コンビニ等を含む）か、口座振替が利用できます。
口座振替は手続きが必要となりますので、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
● α-FAXサービスの利用料金の請求は、DDIがDDIエンジニアリングより債権譲渡を受け、DDIから請求されます。
● NTT東日本またはNTT西日本を利用した通話料は、従来通りNTT東日本またはNTT西日本から請求されます。

● 次のようなときはDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。
- **すでにDDIをご利用の場合**
- **他の電話会社とご契約されている場合**
- **NTT東日本またはNTT西日本や他の電話会社の料金割引サービスをご利用されている場合**

利用するときの制限事項

● **他の電話機をブランチ（並列）接続したとき…**DDIからのデータを受信できない場合があります。
DDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。

● **ISDN回線を利用されている場合**
- ターミナルアダプタの種類によってはDDIからのデータが受けられない場合があります。
- ターミナルアダプタの桁間タイマの設定時間が短いと電話をかけられない場合があります。

申し込みと登録のしかた

申し込みからご利用までの流れ

α-ALPHA5ランプが赤色に点灯しているとき

（本機に電話番号が登録されていないとき：お買い上げ時）

1　アルファスタートします。**（→P.92）**

2　「α-ALPHA5ご利用申込書」を送付します。

● 「DDI割引サービス」、「α-FAXサービス」に同時にお申し込みいただけます。

3　α-ALPHA5ランプが緑色に点灯後、α-ALPHA5がご利用になれます。

● α-FAXサービスは、DDI側でお申込書の手続き処理が終了後、約24時間後に利用可能となります。

α-ALPHA5ランプが消灯または緑色に点灯しているとき

（移転などで本機に登録されている電話番号が変更になるとき）

1　自宅の電話番号を登録します。**（→P.93）**

2　DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。

フリーコール
DDIカスタマサービスセンター
0077－772（無料）
受付時間　9：00～21：00
（土日祝も受付）

アルファスタート、自宅電話番号登録について

α-ALPHA5をご利用いただくためには、下記のどちらかの操作が必要です。

● **アルファスタート****（→P.92）**
この操作で、DDIへのα-ALPHA5利用の申し込みとなります。この操作後、約1時間後にご利用可能となります。（「α-FAX」その他、割引サービスなどへの申し込みは除きます。）

● **自宅の電話番号を登録する****（→P.93）**
α-ALPHA5利用のDDIへの利用準備操作です。

この操作後、本機が自動的にDDIに電話をかけます（この時、お客様の電話番号がDDIへ通知されます）。
その後、DDIから本機にお客様がお使いになる地域の料金・地域データなどが送信されます。
この通信が正常終了すると、α-ALPHA5ランプが緑色に点灯し、α-ALPHA5機能がご利用開始となります。

※ これらの操作は、お客様が本機をお使いになる地域の料金・地域データなどを受け取るために必要な操作であり、他の目的に利用するものではありません。

「α-ALPHA5ご利用申込書」の送付について

本機に添付の「α-ALPHA5ご利用申込書」に必要事項を記入し、DDIにファクスします。

● 店頭でお申し込み済みの場合、本申込書の送付は不要です。

● この申込書で、「DDI割引サービス」、「α-FAXサービス」も同時にお申し込みいただけます。
（α-FAXは、DDIエンジニアリング株式会社の提供するサービスです。）

ファクス送付先
フリーコール
DDI（第二電電株式会社）
0077-2322-9555（無料）
（24時間受付中）

ご利用にあたって

● α-ALPHA5ご利用の際DDIより提供されるサービスは、DDI電話サービス契約約款によります。

● アルファスタートの操作を行うことで、α-ALPHA5利用のDDIへのお申し込みとなります。
ご移転等に伴い本機に登録されている電話番号を変更される際は、アルファスタートはご利用できません。この場合は、ご利用準備として「自宅の電話番号を登録する」操作を行った後、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。

● 通話料金の請求のため、必要に応じてお客様の電話番号、住所、氏名等について、DDIはNTT東日本またはNTT西日本より情報の提供を受けることがあります。

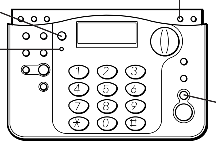
● α-FAXサービスをご利用いただくには、別途DDIおよびDDIエンジニアリング株式会社への申し込みが必要となります。（→P.101）なお、店頭にて申込書をすでにご記入の場合、手続き完了後にα-FAXサービスがご利用可能となります。

● ピンク電話・共同電話・着信専用電話等はご利用になれません。

アルファスタートする

α-ALPHA5を利用するための申し込み操作です。

- アルファスタートはα-ALPHA5ランプが赤色に点灯しているときのみ操作可能です。
- この登録操作をされた場合も必ず利用申込書をファクスしてください。
- 申し込みのときの通信料は無料です。
- すでにDDIの電話サービスをご利用の場合は、この登録操作によって、α-ALPHA5のサービス（DDIEが提供するα-FAXも含む）の利用申し込みが登録されます。



1 （α5/αEメールボタン）を押します。

アルファスタート 1：する 2：しない

- 次に[2]（しない）を押すと「自宅の電話番号を登録する」（→P.93）の手順3に移ります。この操作をやめたい場合は、[ストップ]ボタンを押します。

2 （1ボタン）を押します。

郵便番号 _ －

3 7桁の郵便番号を登録します。

- この郵便番号に基づき「公共施設」の電話番号が自動登録されます。
- 郵便番号がご不明などで、この登録操作をしない場合は、お客様が利用申込書に記入されたご住所から郵便番号を判断し、「公共施設」の電話番号を本機に自動登録します。

4 （電話帳登録/セットボタン）を押します。

設定しました

▼ 約1時間後

オンライン通信中

- 本機が自動的にDDIに電話をかけ登録を行います。（無料）
- 郵便番号が7桁未満の場合、「郵便番号エラー」と表示されます。正しい郵便番号を登録しなおしてください。
- ここで、[ストップ]ボタンを押すと、約1時間後にオンライン通信が始まります。
- α-ALPHA5ランプは次のように変化します。
  - ・本登録を行う前 ……「赤点灯」
  - ・本登録が終わりデータ送信が行われるまで ……「消灯」
  - ・本機へのデータ送信正常終了後 ……「緑点灯」
- α-ALPHA5ランプが緑色に点灯すると、α-ALPHA5はすぐご利用いただけます。

!

- **アルファスタートを行うと、本機が自動的にDDIに電話をかけます。この際、NTT東日本またはNTT西日本のナンバー・ディスプレイによりお客様の電話番号がDDIへ通知されます。**
  この場合、「通常非通知（回線ごと非通知）」でNTT東日本またはNTT西日本とご契約されているお客様の電話番号も「186」が付加されDDIへ通知されますので、ご了承ください。
  （その後オンライン通信が行われます。）
- **ダイヤルイン追加番号に本機を設置した場合は、アルファスタートできません。手順2で[2]を押し、電話番号を登録してください。（→P.93）また、DDIカスタマサービスセンター（→P.91）にご連絡ください。契約者回線番号とダイヤルイン追加番号については、NTT東日本またはNTT西日本にお問い合わせください。（→P.131）**
- **登録後、DDIから利用準備または確認の連絡が入ることがあります。**

郵便番号について

- 郵便番号をご登録いただく場合は必ず7桁にて入力してください。
- 大口事業所の個別郵便番号は入力できません。

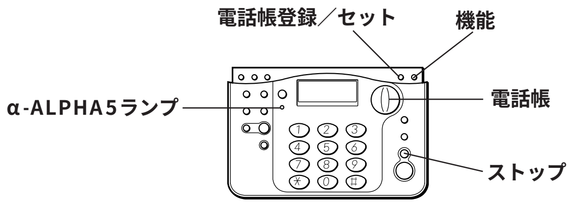
※郵便番号がご不明等で入力されない場合、「公共施設」の電話番号は自動登録されません。
ただし、お申込書をご提出いただいている場合は、お客様のお申し込み住所の郵便番号に基づき「公共施設」の電話番号を本機に登録いたします。

自宅の電話番号を登録する

本機にすでに登録されている電話番号を変更する場合、またはダイヤルイン子番号に本機を設置した場合には、下記の方法で利用準備操作をしてください。

- α-ALPHA5ランプが消灯または緑点灯のときに操作できます。
- 「アルファスタートする」(→P.92)の手順2で[2]を押すと、下記の手順3と同じ表示となります。
- 電話番号、郵便番号が変更になった場合は、最初から登録をやり直してください。登録済みの内容が自動的に書き換えられます。
- 自宅の電話番号登録後、DDIカスタマサービスセンターへ連絡してください。

フリーコール
DDIカスタマサービスセンター
0077－772(無料)
受付時間　9：00～21：00
（土日祝も受付）



1 機能 を押します。

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を6回押します。

アルファ設定
ファクスサービス

3 電話帳登録/セット を押します。

電話・郵便番号
アルファ SW
料金表示

4 電話帳登録/セット を押します。

自分の電話番号
_

5 **自宅の電話番号を登録します。**

- 電話番号は市外局番から登録してください。
- [✱]や[＃]は使えません。
- 携帯電話、PHSの電話番号は登録しないでください。
- 電話番号のみ登録し、郵便番号を登録せずにここで、[ストップ]ボタンを押すと、約1時間後にオンライン通信が始まります。

6 電話帳登録/セット を押します。

郵便番号
_ －

- 「電話番号エラー」と表示される場合は、手順5に戻ります。正しい電話番号を登録しなおしてください。

7 **7桁の郵便番号を登録します。**

- この郵便番号に基づき「公共施設」の電話番号が自動登録されます。
- 郵便番号がご不明などで、この登録操作をしない場合は、お客様が利用申込書に記入されたご住所から郵便番号を判断し、「公共施設」の電話番号を本機に自動登録します。

8 電話帳登録/セット を押します。

設定しました

▼ 約1時間後

オンライン通信中

- 本機が自動的にDDIに電話をかけ登録を行います。(無料)
- 郵便番号が7桁未満の場合、「郵便番号エラー」と表示され、手順6に戻ります。正しい郵便番号を登録しなおしてください。
- α-ALPHA5ランプは次のように変化します。
  - ・本登録を行う前 ……「赤点灯」
  - ・本登録が終わり後日データ送信が行われるまで ……「消灯」
  - ・本機へのデータ送信正常終了後 ……「緑点灯」

!

- **移転等により本機にすでに登録されている電話番号を変更する際に上記操作を行っていただけない場合、α-ALPHA5機能が正しく作動しない場合があります。**
- **移転等に伴い、電話番号の変更が生じる場合は、この操作を行った後、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。**
- **自宅の電話番号を登録後、オンライン通信が行われるまで、約2～3日かかる場合があります。α-ALPHA5ランプが緑色に点灯しない場合は、DDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。**
- **登録後、DDIから利用準備または確認の連絡が入ることがあります。**

オンライン通信について

オンライン通信とは、お客様がα機能をご利用いただくための料金・地域データ等がDDIから電話回線を通じて本機に送られてくることをいいます。（通信料無料）

● やりとりされるデータには次のようなものがあります。
・ α-ALPHA5の機能をご利用いただくときの料金データ
・ 公共施設の電話番号情報を得るための地域データ（郵便番号の登録を行った場合）（→P.92、P.93）
● α-ALPHA5ランプ緑点灯時に停電が36時間以上続いた場合などで時計情報が初期状態に戻ったときは、電源が復旧した後約1分後に本機が自動的にDDIに電話をかけ、その後データ送信が行われます。

自宅の電話番号の登録操作後や上記のような場合、DDIから電話回線を通じてデータが送られてきます。（オンライン通信）

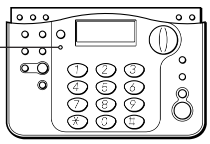
● オンライン通信は自動的に行われます。
α-ALPHA5ランプが消灯し、次のような表示になります。

オンライン通信中

● **受話器をとったとき…**「ピポピポ…」という音のあとに『こちらはDDIです。ただいまからデータを送信します。ありがとうございました』とメッセージが聞こえます。受話器を戻して「オンライン通信中」の表示が消えるまでお待ちください（約4分間）。

α-ALPHA5ランプが消灯から緑点灯に変わり、α-ALPHA5が利用できるようになります。

α-ALPHA5ランプ



● **次のようなときは、オンライン通信の電話を受けられません（「ピポピポ・・・」という音が数回聞こえ電話が切れます）。このようなときは、DDIカスタマサービスセンターより確認の連絡が入ることがあります。**
  ・ **本機と同じ電話回線に並列に接続した他の電話機で電話をとったとき**
  ・ **登録中やコピー中などに電話をとったとき**
● **本機の時刻を合わせていなくても、オンライン通信が終了すると、自動的にDDIの標準時刻が登録されます。**
● **受話器周辺に雑音等があると、オンライン通信できないことがあります。**
● **オンライン通信中は電話をかけられません。**
● **自動的にオンライン通信をするために、ファクス／電話自動切替での着信ベルの回数を10回以下に設定してください。****（→P.68）**

α-ALPHA5の利用を一時中止する

α-ALPHA5の利用を中止すると、α-ALPHA5ランプが消灯します。料金も表示されません。

1 **ダストカバーを開け、機能 ○ を押します。**

2 **カナ/英 電話帳 変換 の▼を6回押します。**

アルファ設定
ファクスサービス

3 **電話帳登録/セット を押します。**

電話・郵便番号
アルファ SW
料金表示

4 **カナ/英 電話帳 変換 の▼を押します。**

電話・郵便番号
アルファ SW
料金表示

5 **電話帳登録/セット を押します。**

アルファ SW
○ ×

6 **カナ/英 電話帳 変換 の＜または＞を押してカーソルを「×」の下に移動します。**

7 **電話帳登録/セット を押します。**

設定しました

8 **ストップ を押します。**
● 緑点灯していたα-ALPHA5ランプが消灯します。

● **「α-Eメール」サービスにご登録の場合、α-ALPHA5の利用を一時中止すると、α-Eメールも利用できなくなります。ただし、α-Eメールサービスの解約は別途DDIカスタマサービスセンターへのご連絡が必要です。**

α-ALPHA5の利用を再開する

1 **上記手順の1～5を操作したのち、手順6でカーソルを「○」の下に移動します。**

2 **電話帳登録/セット を押します。**

3 **ストップ を押します。**
● 消灯していたα-ALPHA5ランプが緑点灯し、α-ALPHA5が利用できることを知らせます。

おトクな市外回線を利用する（DDI市外電話自動選択機能）

α-ALPHA5を利用すると、曜日、時間帯、かけた先の場所を自動判定し、DDIとNTTの通常通話料金を比較しておトクな市外回線を自動的に選び、通話料金を節約することができます。

1 市外へ電話やファクスをします。

2 DDIが選ばれるとα-ALPHA5ランプが約5秒間点滅します。

3 回線が接続されている間、通話料金を確認できます。

10分35秒　　250円

- 通話料金を表示させない設定にすることもできます。（→次ページ）
- ファクス送信のときは、送信終了後に約5秒間料金が表示されます。

4 受話器を戻すと回線が切れます。

- ワイワイトークのときは[ワイワイトーク]ボタンを押します。

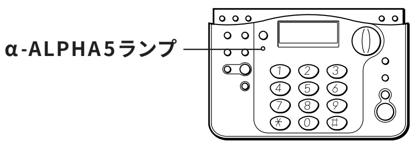
!

- **DDIの通話料とNTT東日本またはNTT西日本の通話料が同額の場合、α-ALPHA5はDDIを選択します。**
- **緑点灯していたα-ALPHA5ランプが赤点灯に変わったときは、DDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。**
- **本機に間違った日付・時刻を登録したときや、登録した日付・時刻に誤差が生じた場合は、α-ALPHA5が正しく働かないことがあります。正しい時刻を登録してください。また、月に一回程度は時刻を確認してください。**
- **ブランチ接続している場合、本機から電話をかけたときのみα-ALPHA5機能が働きます。**
- **NTT東日本またはNTT西日本や他電話会社の料金割引サービス等を利用する場合は、DDIカスタマサービスセンター（→P.91）へご連絡ください。**

?

- **α-ALPHA5を一時的に働かせたくないとき…**市外のNTT東日本またはNTT西日本回線で市外電話をかけるときは、相手先の番号の前に「0000」をダイヤルしてください。なお、市内に電話をかけるときは必要ありません。

α-ALPHA5ランプの見かた



赤点灯　α-ALPHA5は利用できません。
- α-ALPHA5の登録（電話番号の登録）がされていないとき
- データが正常に入っていないとき

緑点灯　α-ALPHA5を利用できます。

緑点滅　DDIを選択しました（約5秒間点滅します）。

消灯
- オンライン通信中
- α-ALPHA5登録から利用できるようになるまでの期間中
- α-ALPHA5を利用しないに設定しているとき

料金表示を設定する

本機にておトクな市外回線を自動で選んで電話やファクスをしたとき、また国際電話（DDI）を利用したときの通話料金をディスプレイに表示させることができます。また、子機で通話したときの通話料金を親機のディスプレイに表示させることもできます。

● **お買い上げのとき…**「料金表示をしない」に設定されています。ただしα-ALPHA5が利用できるようになった時点で、自動的に「料金表示をする」に設定が変更されます。料金を表示したくない場合は以下の設定をしてください。

● 表示される通話料金は、おおよその目安です。各電話会社からの請求金額との差異等、表示内容に係わる異議が生じた場合、当社ではその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

● DDIの国際電話サービスについての詳細は、DDIカスタマサービスセンター（→P.91）へご連絡ください。

1　ダストカバーを開け、機能を押します。

2　カナ/英 電話帳 変換 の▼を6回押します。

アルファ設定
ファクスサービス

3　電話帳登録/セット を押します。

電話・郵便番号
アルファ SW
料金表示

4　カナ/英 電話帳 変換 の▼を2回押します。

電話・郵便番号
アルファ SW
料金表示

5　電話帳登録/セット を押します。

料金表示
○　×

カーソル

6　カナ/英 電話帳 変換 の＜または＞を押してカーソルを移動します。

○×：料金表示をする
○×：料金表示をしない

● 「料金表示をしない」にしたときは手順9へ進んでください。
● 「料金表示をする」とした時点で、子機でかけた場合は子機に料金表示をします。子機の料金表示は通話終了後になります。

7　電話帳登録/セット を押します。

● 現在の設定が表示されます。

料金表示
親機
<>で選択

8　カナ/英 電話帳 変換 の＜または＞を押して選択します。

親機　　　：親機でかけたときのみ親機に料金表示をする
親機＋子機：親機でかけたときも子機でかけたときも親機に料金表示をする

9　電話帳登録/セット を押します。

設定しました

10　ストップ を押します。

● 料金が50,000円以上になると、「＊＊＊＊＊円」と表示されます。
● ISDN回線を利用している場合は、お使いのターミナルアダプタによっては料金表示できないことがあります。
● 料金表示をしているときにキャッチホンを受けた場合、はじめに話していた相手が電話を切っても料金表示はそのまま継続します。
● 子機の通話料金表示は通話終了後になります。

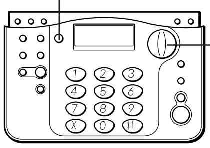
次のときは通話料金が表示されません

● 通常の加入者局番（市内、市外）以外への通話料金（以下は例）
・フリーダイヤル（０１２０）、携帯電話／ＰＨＳ（０９０、０７０）、ダイヤルQ2（０９９０）、伝言ダイヤル、ナビダイヤル（０５７０）
・１１７、１０４、１１０などの1から始まる3桁番号
・かかってきた電話
・α-NEWS利用料
・α-FAX利用料
・Talkin 'ダイヤル
・E-メールセンタ　α-Eメール利用料
・その他、エンジェルノート（0190）などの特殊電話サービス

各種サービスを利用する

メニューを表示する

本機で利用できるα-ALPHA5のサービスメニューを確認できます。



1 **を押します。**

```
1：αＥメール
2：アルファファクス
                 ▼
```

2 **の▼または▲を押してメニューを確認します。**

```
3：アルファニュース
4：アルファメール
                 ▲
```

- メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

- **手順1で「アルファ機能使用不可」と表示されたときは、利用を再開する設定をしてください(→P.94)。**

α-NEWSの情報を利用する

便利で生活に役立つ情報をファクスや表示を使って知ることができます。

- メニュー内容は予告なく変更される場合があります。
- ご利用には東京国分寺(042)までのDDI通話料がかかります。(1999年12月現在)

1 **を押します。**

```
1：αＥメール
2：アルファファクス
                 ▼
```

2 **「アルファニュース」のメニュー番号を押します。**

```
アルファニュース
1.えらんでﾒﾛﾃﾞｨ
                 ▼
```

- この例では[3]を押します。
- しばらくの間DDIとの通信状態が表示されます(「接続中」など)。
- ここから通話料がかかります。

3 **の▲または▼を押してメニューを確認します。**

```
2.トラベル
3.グルメ
               ▲▼
```

- メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

4 **希望する項目のメニュー番号を押します。**

5 **ディスプレイ表示に従って操作します。**

- 情報がファクスで送られてきたり、ディスプレイに表示されたりします。

情報をファクスで取り出すとき

手順4で選んだメニューの情報をファクスで取り出すときは次のメニューが表示され、ファクス受信後の本機の動作を選択することができます。

```
FAX受信後
1.メインメニュー
                 ▼
```

▲▼（の▲または▼を押します）

```
2.継続
0.終了
                 ▲
```

- [1]を押すとファクス受信後、「アルファニュース」のメニューに戻ります。
- [2]を押すとファクス受信後、同じメニューを継続します。
- [0]を押すとファクス受信後、α-NEWSを終了します。
- DDIのご利用明細書には、「0077-3-XXXX」(例：0077-3-7788)と記載されます。

- **途中で操作を中断するとき…**[ストップ]ボタンを押します。この場合、メニュー内容によっては通話料金がかかることがあります。(記録紙がない場合の受信中(メモリ受信中)に[ストップ]ボタンを押しても受信は中断されません。)

着信メロディを取り込む（えらんでメロディ♪）

α-NEWSサービスから着信メロディを取り込みます。（えらんでメロディ♪）

- 取り込んだメロディは、「ベルの音色／メロディを変える」(→P.56)、「着信鳴り分けの設定」(→P.124)で着信メロディとして使用することができます。
着信メロディの選択時に、「6.(えらんでメロディで取り込んだ曲)」が選択可能となり、これを選択すると、着信メロディとして利用できるようになります。

1 を押します。

```
1：αＥメール
2：アルファファクス
                ▼
```

2 「アルファニュース」のメニュー番号を押します。

- この例では[3]を押します。
- しばらくの間DDIとの通信状態が表示されます(「接続中」など)。
- ここから通話料がかかります。

```
接続中
```

▼

```
アルファニュース
1. メニューイチラン
                ▼
```

3 の▲または▼を押してメニューを確認します。

- メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

```
2. えらんでﾒﾛﾃﾞｨ
0. 終了
                ▲
```

4 「えらんでメロディ」のメニュー番号を押します。

- この例では[2]を押します。

```
検索中
しばらくお待ち下さい
```

▼

```
えらんでﾒﾛﾃﾞｨ
01. メロディ（1） ▼
```

5 の▲または▼を押して検索し、取り込みたいメロディの番号(2桁)をダイヤルボタンで入力します。

- メロディが再生され、再生が終了すると曲が登録されます。

```
検索中
しばらくお待ち下さい
```

▼

```
メロディ再生中
```

▼

```
えらんでﾒﾛﾃﾞｨ
01. メロディ（1） ▼
```

6 操作を終了するときはダイヤルボタンで[00]と入力します。

!
- **曲の内容等は予告なく変更される場合があります。**
- **取り込める着信メロディは1曲です。**
  新たに取り込みを行うと、新しい着信メロディが上書きされ、古い着信メロディは消去されます。
- **ご利用にはDDI通話料がかかります。**
- **手順2以降は、約3分間何も操作しないと自動的に回線を切断し、待機状態に戻ります。**

α-MAILを送信する

トーン信号を送出できる電話機（一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS）から本機へ、アルファベット、数字、カタカナによる文字メッセージを最大60文字まで送ることができます。この機能は「α-Eメール」（→P.103）とは異なります。

- 文字メッセージを送信すると、利用した時間に相当する通話料がかかります。
- α-MAILは回線状況によって正しく送受信できないことがあります。
- α-MAILはトーン信号が送出できる電話機（一般電話、公衆電話、携帯電話、PHS）から本機に送信できます。

1 本機へ電話をかけます。

2 本機応答後10秒以内に、トーン信号送出の状態で[＊][#][＊][#]を押します。

- ダイヤル回線のときトーン信号に切り替えてください。（→P.35）
- ファクス専用のダイヤルイン番号にかけた場合、または本機がファクス専用モードの場合、応答後20秒以内に、最初の信号音の後の本機が無音状態の時に操作します。
- 留守設定時、応答メッセージ再生中に、ファクス／電話自動切替が働いて回線が接続された時は、呼出音の音色が高くなった時に操作します。この時は最初の[＊]入力で、応答メッセージや呼出音が止ります。止まらない時はもう一度[＊]を押してください。

3 「ピポ」と聞こえたら、10秒以内にメッセージの入力を開始します。

- 右表を参考にしてメッセージを入力します。
- 1ケタ入力してから10秒以内に次の1ケタを入力しないと電話が切れます。

4 メッセージの入力が終わったら[#]を2回押します。

- この操作がメッセージ終了の合図になります。

5 「ピポ」と聞こえたら電話を切ります。

● 次の場合α-MAILを送信することはできません。
- **本機がコピー等の動作中のとき**
- **番号リクエストまたは着信拒否が設定されているとき（→P.125、P.127）**

● 入力を間違えたとき…[＊]を2回押し、「ピポ」と聞こえた後入力を最初からやりなおします。

■ 定型文リスト

コード番号	メッセージ
#01	ＴＥＬシテクダサイ
#02	ＦＡＸシテクダサイ
#03	ケイタイニＴＥＬシテクダサイ
#04	サキニイキマス
#05	サキニイッテテクダサイ
#06	スグニイキマス
#07	オクレマス
#08	アリガトウ！
#09	チュウシニナリマシタ
#10	リョウカイシマシタ

■ 文字コードリスト

- 表中の各文字の下にあるコード番号をダイヤルボタンで入力します。
  （例）「ユ」を入力するときは[8]、[3]と押す
- 表中の太枠で囲まれた文字を本機から送信しても、相手の電話機では表示されなかったり別の文字が表示されることがあります。

	1	2 ABC	3 DEF	4 GHI	5 JKL	6 MNO	7 PQRS	8 TUV	9 WXYZ	0
1	ア 11	イ 12	ウ 13	エ 14	オ 15	A 16	B 17	C 18	D 19	E 10
2	カ 21	キ 22	ク 23	ケ 24	コ 25	F 26	G 27	H 28	I 29	J 20
3	サ 31	シ 32	ス 33	セ 34	ソ 35	K 36	L 37	M 38	N 39	O 30
4	タ 41	チ 42	ツ 43	テ 44	ト 45	P 46	Q 47	R 48	S 49	T 40
5	ナ 51	ニ 52	ヌ 53	ネ 54	ノ 55	U 56	V 57	W 58	X 59	Y 50
6	ハ 61	ヒ 62	フ 63	ヘ 64	ホ 65	Z 66	? 67	! 68	— 69	／ 60
7	マ 71	ミ 72	ム 73	メ 74	モ 75	空白 76	& 77	空白 78	空白 79	空白 70
8	ヤ 81	(82	ユ 83	) 84	ヨ 85	＊ 86	# 87	空白 88	空白 89	空白 80
9	ラ 91	リ 92	ル 93	レ 94	ロ 95	1 96	2 97	3 98	4 99	5 90
0	ワ 01	ヲ 02	ン 03	゛ 04	゜ 05	6 06	7 07	8 08	9 09	0 00

入力例

●「アリガトウ！　キクオ」 と入力する場合
[#][0][8][8][8][2][2][2][3][1][5]
[#][0][8]：定型文「アリガトウ！」
[8][8]：空白
[2][2][2][3][1][5]：キクオ

受信したα-MAILを見る

本機が受信した文字メッセージはメモリに記憶され、表示させたりプリントしたりできます。

● α-ALPHA5に対応した機種、PHS、公衆電話などトーン信号が出せる機器からのメッセージを受信できます。

● 文字メッセージは60文字×5件まで記憶されます。5件記憶されている状態では受信できませんので、確認後は消去してください。

表示する

α-MAILを受信すると、次のように点滅表示されます。

αメール 2件
件数

1 [αEメール] を押します。

1：αEメール
2：アルファファクス ▼

2 [電話帳]の▼または▲を押してメニューを確認します。

3：アルファニュース
4：アルファメール ▲

● メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

3 「アルファメール」のメニュー番号を押します。

1) 10/ 1 13:30
レンラククダ゛サイ ▼

● この例では[4]を押すと、メッセージが表示されます。
● メッセージがないときは「受信メールありません」と表示され手順２の表示に戻ります。

4 [電話帳]の▼または▲を押して、別のメッセージを確認します。

2) 10/ 1 15:00
0123456ニ TELシテ ▲▼

● 1件のメッセージを一度に表示できない場合は、続く行のメッセージが表示されます。

5 待機状態に戻るときは [ストップ] を押します。

プリントする

記憶されているメッセージを記録紙へプリントすることができます。

1 「表示する」の手順1～4に従ってメッセージを表示させます。

1) 10/ 1 13:30
レンラククダ゛サイ ▼

2 [スタート/コピー] を押します。

● 受信されたすべてのメッセージがプリントされます。
● 正常にプリントされたメッセージは自動的に消去されます。

消去する

不要になったメッセージを消去することができます。

1 「表示する」の手順1～4に従って消去したいメッセージを表示させます。

1) 10/ 1 13:30
レンラククダ゛サイ ▼

2 [保留/クリア] を押します。

消去しました
▼ 2秒後
1：αEメール
2：アルファファクス ▼

● 表示されているメッセージが消去されます。

3 待機状態に戻るときは [ストップ] を押します。

● 定型文(→P.99)を受信した場合、表示される文字とプリントされる文字が若干異なる場合があります。

α-FAXを利用する

α-FAXを利用すると、海外へファクスするときにインターネット網を利用します。

● α-FAXサービスのお申し込みについて

- α-FAXはDDIエンジニアリング株式会社(以下DDIE)が提供するサービスです。ご利用にはDDIおよびDDIEへのお申し込みが必要です。(登録料、基本料は無料です。)
- すでにDDIの電話サービスをご利用されているお客様は、「α-ALPHA5ご利用申込書」、「アルファスタートする」または「自宅の電話番号を登録する」の操作で、α-FAXサービス契約がDDIおよびDDIEに登録されます。
- α-FAXの契約は同梱されている「α-FAXサービス契約約款」によります。ただし、契約約款の内容は予告なく変更することがあります。

●ご利用料金について

- α-FAXのご利用料金はDDIがDDIEから債権を譲り受けて請求します。
- ご利用料金請求書とDDI通話明細書は別送になることがあります。
- α-FAXのご利用料金はDDI電話サービスの利用代金と合算して請求されます。ただし、お支払い方法などによっては合算請求にならない場合があります。
- 毎月の料金計算の締め切り日は、DDI電話サービスと異なることがあります。
- 利用料金の内容は、同梱の料金表を参照してください。

●ご利用のときの注意

- 「アルファスタートする」の操作を行っただけではα-FAXはご利用いただけません。必ず「α-ALPHA5ご利用申込書」をファクスしてください。(店頭での申し込みがお済みの場合は申込書は不要です)α-FAXサービスは、DDI側での申し込み手続き処理が終了後、約24時間後に利用可能となります。
- 料金、利用可能国地域は変更されることがあります。詳しくはDDIカスタマサービスセンターへお問い合わせいただくか、α-NEWSの「DDIトピックス」内の料金表を参照してください。
- 料金表示を「する」に設定していても料金は表示されません。
- 通話明細書は発行されません。

●ご利用を中止するときの注意

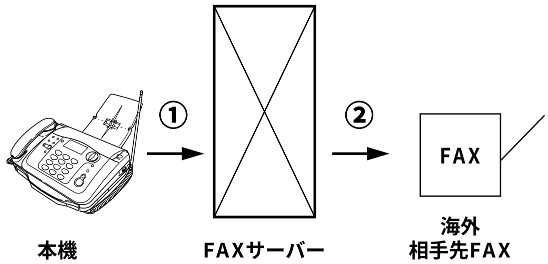
次のときは必ずDDIカスタマサービスセンターにご連絡ください。

- 本機を譲渡、貸与、処分するとき
- 本機を移転などにより取り外すとき
- 本機を紛失、または盗難にあったとき

(DDIにてご登録のデータを消去または変更する必要があります。ご連絡のない場合、本機を他の回線に接続して利用した料金が、ご登録されているお客様に請求されることがあります。)

ファクス送信のしくみ

α-FAXではFAXサーバーを経由して相手先にファクス送信をします。



●何らかの理由でFAX送信できないとき

- 図中①の区間で送信できなかったときは、本機が1分間隔で5回までかけ直します。**(オートリダイヤル)**
- 図中②の区間で送信できなかったときは、FAXサーバーが約60分の間に間隔をおいて4回までかけ直します。4回かけ直してもファクス送信できないときは、本機に不達通知が送られます。詳しくは、DDIカスタマサービスセンターまでお問い合わせください。
- 相手先までファクス送信できなかったときは、通話料金はかかりません。

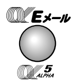
α-FAXで海外へファクスを送る

原稿をセットしたのち、メニューから「アルファファクス」を選んで送信します。

1 原稿をセットします。
(→P.59)

ふつう

画質モード

2  **を押します。**

- ●メニューが表示される順番や内容は変わることがあります。

1:αEメール 2:アルファファクス ▼

3 「アルファファクス」のメニュー番号を押します。

- ●この例では[2]を押します。

国+電話番号

4 相手先の電話番号を国番号からダイヤルします。

- ●例:アメリカの場合

1	2121234567
国番号	電話番号

国+電話番号 12121234567_

5  **を押します。**

- ●ファクスの送信が始まります。
- ●送信が終わると待機状態に戻ります。

送信中

?

- **●番号を間違えたとき…**[保留/クリア]ボタンを押して最初からダイヤルしなおしてください。
- **●途中で送信をやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。もう一度押すと原稿が排出されます。排出されないときは、もう一度押してください。

α-DIALを利用する

DDIに登録すると、本機の電話帳とは別にDDIのテレホンサービス「Talkin ’ダイヤル」などや地域の公共施設の電話番号が自動的に登録されます（各10件ずつ）。登録された電話番号は、電話帳と同じように利用できます。

● Talkin ’ダイヤル

・通話料だけで利用できるDDIのテレホンサービスです。音楽ダイヤル、占いダイヤルなどがあり、一部のダイヤルではファクスによる取り出しもできます。
・通話料は東京（03）までのDDI料金がかかります。
・このサービスは24時間利用できます。
・ダイヤル内容は予告なく変更、または終了する場合があります。

● 公共施設の電話番号

・アルファスタート（→P.92）または自宅の電話番号を登録する（→P.93）ときに、郵便番号の登録が必要です。
・登録された7桁の郵便番号に基づき、その地域の都道府県庁、水道局、電気の窓口などの公共施設の電話番号が自動登録されます。
・自動登録されるダイヤル内容は予告なく変更されることがあります。

Talkin ’ダイヤルを利用する

1 カナ/英 電話帳 変換 **の▼または▲を押して「Talkin ’ダイヤル」を表示させます。**

Talkin ’ﾀﾞｲﾔﾙ
▲▼で選択

2 **ダストカバーを開け、** 電話帳登録/セット **を押します。**

3 カナ/英 電話帳 変換 **の▼または▲を押して利用したいサービスを表示させます。**

タロット占い
00771234567
▲▼で選択

● 表示される内容や順番は変わることがあります。

4 **受話器を取ります。**

● ダイヤルが始まります。

タロット占い
00771234567
ダイヤル中

5 **音声ガイドに従って操作します。**

● ダイヤル回線のときは[＊]を押してトーン信号に切り替えます。

6 **サービスが終了したら受話器を戻します。**

「公共施設」にダイヤルする

1 カナ/英 電話帳 変換 **の▼または▲を押して「公共施設」を表示させます。**

公共施設
▲▼で選択

2 **ダストカバーを開け、** 電話帳登録/セット **を押します。**

区役所
0000111122
▲▼で選択

3 カナ/英 電話帳 変換 **の▼または▲を押して利用したい公共施設を表示させます。**

保健所
0000111133
▲▼で選択

● 表示される内容や順番は変わることがあります。

4 **受話器を取ります。**

● ダイヤルが始まります。

保健所
0387654321
ダイヤル中

5 **話が終わったら受話器を戻します。**

!

● 公共施設の電話番号が予告なく変更された場合、登録された電話番号をダイヤルしてもつながらないことがあります。DDIカスタマサービスセンター（→P.91）へ連絡してください。
● Talkin ’ダイヤルおよび公共施設のダイヤル内容をお客様が変更／消去することはできません。
● Talkin ’ダイヤルおよび公共施設のダイヤル内容は子機へ電話帳転送することはできません。

α-Eメールについて

α-Eメール(アルファEメール)を利用すると、パソコンがなくても本機でインターネット上のパソコンなどとEメール(電子メール)の送受信ができます。

α-Eメールには次のようなサービスが用意されています。

- **メール送信…**ダイヤルボタンで入力した文字をEメール送信することができます。また、手書きメッセージなどのファクス文書もEメールの添付ファイルとして送信することができます。
- **メール受信…**受信したEメールをプリントすることができます。
  また、Eメールに添付されたファイルは、ファクス文書として受信することができます。
- 本機1台(加入した1つの電話番号)につき、メールアドレスを3つまで所有することができます。(1つのメールアドレス毎に月額料がかかります。)
- **着信通知…**センターに自分のアドレス宛のメールが届くと、センターから本機にメールで着信を知らせるサービスです。(無料)(→P.117) サービス開始時は「着信通知：ON」に設定されています。
- **メール自動受信…**センターに自分のアドレス宛のメールが届くと、自動的にセンターから本機にメール本文・添付ファイルを送信するサービスです。(→P.117)
- **ユーザ設定機能…**本機を使って、着信通知やメール自動受信の設定、ニックネーム(メールアドレス)の変更などを行うことができます。(→P.117)

利用申し込みにあたって

- **α-EメールはDDIが提供するサービスです。α-Eメールをご利用いただくには、DDIへのα-ALPHA5とα-Eメールのお申し込みが必要です。**
- **α-Eメールはα-ALPHA5ランプが緑色に点灯しているときのみご利用できます。**
  事前にDDIへのα-ALPHA5のご利用お申し込みを行ってください。(→P.91)
- **α-Eメールのご利用には、月額料・接続料がかかります(登録料は無料です)。('99年12月1日現在)**
  詳しくは、DDIカスタマサービスセンターにお問い合わせいただくか、本機に添付の案内書をご覧ください。

利用料金の請求について

- **α-Eメールサービスを申し込む申込者と、その電話番号ですでにDDI電話サービスを契約されているご契約者が異なる場合、当サービスにかかる料金はDDIご契約者に請求されます。**
- **α-Eメールサービスのご利用料金はDDI電話サービスのご利用料金と合算して請求されます。**
  ただし、お支払いの方法などにより合算請求とならない場合があります。
- **毎月の料金計算の締め切り日は、DDI電話サービスと異なる場合があります。**

お問い合わせ先

フリーコール

DDIカスタマサービスセンター【α-Eメール係】

電話番号： **0077-23-110096(無料)** (イイメールオクロウ)

受付時間： 9:00～21:00(土日祝も受付)

お客様サポートアドレス

e-mail： support@ae2.dion.ne.jp

- **次のようなときは、必ずDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。**
  - **すでにDDI電話サービスをご利用の場合**
  - **移転などによりご利用の電話番号が変更になる場合**
  - **本機をダイヤルイン子番号に設置してご利用の場合**
  - **本機をブランチ接続してご利用になる場合**
  - **本機を取り外したり機種変更する場合**
  - **本サービスを解約する場合**
  - **複数のメールアドレスを利用していて、アドレスを一部変更／削除する場合**

α-Eメールご利用にあたって

- α-Eメールの契約はDDIの「総合オープン通信網サービス契約約款」によります。なお、約款の内容は予告なく変更することがあります。
- 当サービスはDDIとα-ALPHA5契約している電話番号でのみご利用可能となります。
- α-Eメールサービス(メールの送受信等)をご利用中は、本機から電話をかけたりすることはできません。
- 移転などによりα-ALPHA5に登録している電話番号が変更になる場合、DDIでのデータ変更などの処理が必要となります。そのままではα-Eメールのご利用はできなくなりますので、必ずDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。
- α-ALPHA5の利用を一時中止するとα-Eメールも利用できなくなります。ただし、α-Eメールサービスの解約は別途DDIカスタマサービスセンターへのご連絡が必要です。
- ダイヤルインサービス、二重電話番号サービスをご利用の場合は、本機を主番号(契約者回線番号)にてご利用ください。

申し込みと登録のしかた

- お申し込みの前に、α-ALPHA5ランプが緑色に点灯していることを確認してください。
- α-Eメールをご利用いただくには、DDIへのα-ALPHA5機能の利用登録が必要です。
α-ALPHA5の機能と申し込み方法については、P.90、P.91をご覧ください。

1 「α-ALPHA5・α-Eメールご利用申込書」を送付します。

2 オンライン通信により、メールセンターから本機にメールアドレスが自動登録されます。その後、本機に開通メールが届きます（この際の通信料は無料です）。

- オンライン通信時には、本機の着信ベルが鳴ります。
- 本機にメールアドレスが自動登録されると、α-ALPHA5のサービスメニューで「αEメール」を選択したときにお客様のメールアドレスが表示されます。（→P.109）
- 「α-ALPHA5・α-Eメールご利用申込書」送付後、約2〜3週間かかることがあります。

!
- **オンライン通信のデータを自動的に受信するためには、「ファクス／電話自動切替」の着信ベルの回数を10回以下に設定してください。（→P.68）**
- **本機へメールアドレスが自動登録されても、回線の状態などにより、開通メールが正常に届かないことがあります。この場合、センターのお客様のメールボックスに「開通メール」が保存されます。メールアドレスが登録されていることをご確認のうえ、α-Eメールの受信操作を行ってください（この場合、接続料がかかります）。（→P.109）**

メールアドレスについて

郵便物を受け取るには住所が必要なように、Eメールを受け取るにも同様にお客様の住所（メールアドレス）が必要となります。α-Eメールに加入登録すると、メールセンターから自動的にお客様のメールアドレスが提供されます。

● Eメールアドレスの例

XXXXXXXXXXXXXX@ae2. dion. ne. jp

ユーザ名
（お客様専用の番号またはニックネーム）

ドメイン名
（この部分は、当サービスにご登録いただいたお客様にDDIから自動設定されます。）

メールアドレスのユーザ名には、設定方法が2つあります。
①お客様の電話番号をもとに、DDIで自動設定する電話番号アドレス

0312345678aaa@ae2. dion. ne. jp

お客様のご契約電話番号＋3文字のアルファベット小文字

②お客様ご自身で設定するニックネームアドレス

funky−yamamoto@ae2. dion. ne. jp

アルファベット小文字（数字を含む）4〜15文字

※ 記号は「＿（アンダーバー）」または「－（ハイフン）」のみ、上記内で合計2回まで使用できます。
ユーザ名の1文字目は必ずアルファベット（小文字）としてください。

※ 初めてα-Eメールに加入登録したときは、電話番号アドレス（①）が提供されます。このアドレスは、1回に限りニックネームアドレス（②）に変更することができます。（→P.115）

- 本機1台（加入登録した1つの電話番号）につき3つまでメールアドレスを所有することができます。（1つのメールアドレスごとに月額料がかかります。）
- 2つめ以降のメールアドレスの追加は、本機からセンターに電話をかけてオンラインで登録（サインアップ）することができます。（→P.116）

ご利用を中止するときは

- α-Eメールサービスのご利用を中止するときは、必ずDDIカスタマサービスセンター【α-Eメール係】へご連絡ください。（→P.103）
・本機を操作してサービスを解約することはできません。
・DDIにご連絡いただけない場合は、引き続き月額料がかかってしまう場合がありますのでご注意ください。
- 次のような場合も、必ずDDIカスタマサービスセンター【α-Eメール係】へご連絡ください。（→P.103）
・本機を譲渡・貸与・処分するとき
・移転などにより本機を取り外すとき
・本機を紛失したとき、本機が盗難などにあったとき

α-Eメールを送信する

相手先のメールアドレスを指定して、漢字のメールまたは半角アルファベットのメールを送ることができます(接続料がかかります)。また、ファクス文書を添付ファイルとして同時に送信することができます。

- 1メール文書あたり漢字等の全角で約1000文字、半角アルファベットで約2000文字まで送信することができます。
- 宛先および同報先は、合わせて10アドレスまで指定できます。
- ファクス文書は最大10枚まで添付できます。あらかじめ原稿をセットしてください。(→P.59) 添付ファイルがある場合は、以下の手順21の後にメールに添付して送信されます。
- 添付ファイルはTIFFイメージファイル(非圧縮タイプ)として送られます。このTIFFファイルはイメージビューアソフト等で表示することができます。
  ＊パソコン側でのTIFFファイルの表示方法については、DDIカスタマサービスセンター【α-Eメール係】(→P.103)にお問い合わせください。
- 入力したメール文は、記録紙にプリントすることができます。

1 [αEメール] を押します。

1：αEメール
2：アルファファクス ▼

2 [電話帳] の▲または▼を押して「αEメール」を表示させます。

3 「αEメール」のメニュー番号を押します。

1：(アドレス)
2：サインアップ

- 利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。
- 1：(アドレス)の部分には、ユーザ登録されているメールアドレスが表示されます。

4 メールを送るメールアドレスの番号を押します。

1：Eメール通信
2：受信メール検索
3：登録

- ユーザ登録されている番号を押してください。

5 [1] を押します。

1：送信
2：受信
3：ユーザ設定

6 [1] を押します。

漢字モード？
1：YES
2：NO

7 送るメールの文字種を選びます。

宛先 (To:) ？

- 漢字のメールを送る場合は[1]を、アルファベットのメールを送る場合は[2]を押します。

8 宛先のメールアドレスを入力します。

- 文字入力の方法は、P.107を参照してください。
- アドレス帳を使って宛先を選択することもできます。[▲]または[▼]を押して、アドレスを入力します。

9 ダストカバーを開け、[電話帳登録/セット] を押します。

(To:) 01
ccccc@abc.

10 複数の宛先に送るときは手順8に戻り、2件目以降の宛先を入力します。

11 [電話帳登録/セット] を押します。

同報宛先 (Cc:) ？

12 同報先のメールアドレスを入力します。

- 同報先を指定しない場合は[電話帳登録／セット]ボタンを押します。(手順15へ進みます。)
- アドレス帳を使って同報先を選択することもできます。[▲]または[▼]を押して、アドレスを入力します。

13 [電話帳登録/セット] を押します。

(Cc:) 02
ddddd@abc.

14 複数の同報先に送るときは手順12に戻り、2件目以降の同報先を入力します。

15 [電話帳登録/セット] を押します。

題名(Subject:)?

16 メールの題名を入力します。

- 文字入力の方法は、P.107、P.108を参照してください。
- 漢字モードの場合は10文字まで、アルファベットの場合は20文字まで入力できます。
- 題名を入力しない場合は、[電話帳登録／セット]ボタンを押します。(手順17へ進みます。)

17 [電話帳登録/セット] を押します。

本文を入力して下さい

18 メールの本文を入力します。

- 文字入力の方法は、P.107、P.108を参照してください。
- 自由定型文(→P.114)を登録してある場合は、本文の前に登録した定型文が挿入されます。(漢字モードのみ)
- 本文を入力しない場合は、[電話帳登録／セット]ボタンを押します。(手順19へ進みます。)

19 [電話帳登録/セット] を押します。

プリントしますか？
1：YES
2：NO

20 入力したメールを確認したい場合は、[1] を押します。

1：送信開始
2：修正
3：送信キャンセル

- 入力したメールの本文がプリントされます。
- プリントの必要がない場合は[2]を押します。
- 子機で通話中のときは、通話を終了してから[1]を押します。

21 [1] を押してメールを送信します。

接続中

- 宛先、本文などを修正したい場合は[2]を押してください。(詳細はP.106を参照してください。)
- 送信をキャンセルする場合は、[3]を押します。
- センターに接続できなかった場合は、1分間隔で5回まで再発呼します。送信できなかった場合は、Eメール不達レポートをプリントします。(→P.108)

送信するα-Eメールを修正する

- 送信する前に、「宛先(To:、Cc:)」、「題名(Subject:)」、「本文」を修正することができます。
- 「宛先(To:、Cc:)」を追加することもできます。(宛先および同報先は、合わせて10アドレスまで指定できます。)

1 「α-Eメールを送信する」(→P.105)の手順21で、[2 か ABC]を押します。

(To:) 01
CCCCC@abc.

2 宛先(To:)を修正するときは、[カナ/英 電話帳 変換]の<または>を押して修正したい宛先を選択し、[保留/クリア]を押します。

- 宛先を修正する必要がないときは、手順5へ進みます。
- 宛先を追加したいときは、[保留／クリア]ボタンを押さずに手順3へ進みます。
- 1つしか入力していない宛先を修正するときは、[保留／クリア]ボタンだけを押します。
- 表示されている宛先が削除されます。

3 新しい宛先を入力します。

- 文字入力の方法は、P.107を参照してください。
- アドレス帳を使って宛先を選択することもできます。

4 [電話帳登録/セット]を押します。

- 宛先を追加したいときは、手順3に戻り追加したいアドレスを入力します。

5 [電話帳登録/セット]を押します。

同報宛先(Cc:)?

6 [電話帳登録/セット]を押します。

(Cc:) 02
ddddd@abc.

- 同報先を追加したいときは、手順8へ進みます。

7 同報先(Cc:)を修正するときは、[カナ/英 電話帳 変換]の<または>を押して修正したい同報先を選択し、[保留/クリア]を押します。

- 同報先を修正する必要がないときは、手順10へ進みます。

8 新しい同報先を入力します。

- 文字入力の方法は、P.107を参照してください。
- アドレス帳を使って同報先を選択することもできます。

9 [電話帳登録/セット]を押します。

- 同報先を追加したいときは、手順8に戻り追加したいアドレスを入力します。

10 [電話帳登録/セット]を押します。

題名(Subject:)?

11 [電話帳登録/セット]を押します。

クリスマスパーティー
>
かな

12 題名を修正するときは、[カナ/英 電話帳 変換]の<または>を押して修正したい文字にカーソルを移動し、[保留/クリア]を押します。

- 題名を修正する必要がないときは、手順14へ進みます。

13 修正する文字を入力します。

- 文字入力の方法は、P.107、P.108を参照してください。
- 他の文字も修正するときは、手順12～13を繰り返します。

14 [電話帳登録/セット]を押します。

本文を入力して下さい

15 [電話帳登録/セット]を押します。

明日の打合わせ
>
かな

16 本文を修正するときは、[カナ/英 電話帳 変換]の<または>を押して修正したい文字にカーソルを移動し、[保留/クリア]を押します。

- 本文を修正する必要がないときは、手順18へ進みます。

17 修正する文字を入力します。

- 文字入力の方法は、P.107、P.108を参照してください。
- 他の文字も修正するときは、手順16～17を繰り返します。

18 [電話帳登録/セット]を押します。

プリントしますか？
1:YES
2:NO

19 修正したメールを確認したい場合は、[1 あ @._]を押します。

1:送信開始
2:修正
3:送信キャンセル

- 修正した本文がプリントされます。
- プリントの必要がない場合は[2]を押します。

20 [1 あ @._]を押して修正したメールを送信します。

接続中

- 再度修正したいときは、[2]を押して手順2から繰り返します。
- 送信をキャンセルする場合は、[3]を押します。

α-Eメールの文字入力のしかた

α-Eメール使用時の文字入力では、入力項目によって文字入力表が異なります。
各項目の文字入力表に従って操作してください。

●α-Eメールアドレス（英数字）および全角文字の題名、本文、自由定型文文字入力表

［カナ／英］ボタン（電話帳の▲）を押すごとに入力モードが「かな」、「カナ」、「英数字」に切り替わります。

ダイヤルボタン／押す回数	1 あ @._			2 か ABC			3 さ DEF			4 た GHI			5 な JKL			6 は MNO			7 ま PQRS			8 や TUV			9 ら WXYZ			0 わ 記号			＊ ゛゜	
1回	あ	ア	1	か	カ	a	さ	サ	d	た	タ	g	な	ナ	j	は	ハ	m	ま	マ	p	や	ヤ	t	ら	ラ	w	わ	ワ	0	゛	゛
2回	い	イ	@	き	キ	b	し	シ	e	ち	チ	h	に	ニ	k	ひ	ヒ	n	み	ミ	q	ゆ	ユ	u	り	リ	x	を	ヲ	※1	゜	゜
3回	う	ウ	.	く	ク	c	す	ス	f	つ	ツ	i	ぬ	ヌ	l	ふ	フ	o	む	ム	r	よ	ヨ	v	る	ル	y	ん	ン	(		
4回	え	エ	,	け	ケ	A	せ	セ	D	て	テ	G	ね	ネ	J	へ	ヘ	M	め	メ	s	ゃ	ャ	T	れ	レ	z	。	。	)		
5回	お	オ	_	こ	コ	B	そ	ソ	E	と	ト	H	の	ノ	K	ほ	ホ	N	も	モ	P	ゅ	ュ	U	ろ	ロ	W	、	、	*		
6回	ぁ	ァ	-			C			F	っ	ッ	I			L			O			Q	ょ	ョ	V			X	ー	ー	#		
7回	ぃ	ィ	&			2			3			4			5			6			R			8			Y	(	(	;		
8回	ぅ	ゥ	^																		S						Z	)	)	:		
9回	ぇ	ェ	$																		7						9	?	?	／		
10回	ぉ	ォ	%																									!	!	?		
11回			‾																									「	「	!		
12回																												」	」	¥		
13回																														+		
14回																														=		
15回																														｜		
16回																														[		
17回																														]		
18回																														”		
19回																														’		
20回																														<		
21回																														>		
22回																														{		
23回																														}		

※1：スペース（空白）
　　アドレス入力時には使えません。

注1 本文入力時は［#］を押すと改行できます。
注2 アドレス入力時、実際のデータは半角で入力されますが、表示は全角になります。

か カ a
- か：かなモードのとき
- カ：カナモードのとき
- a：英数字モードのとき

●入力例

漢字変換のしかたはP.30を参照してください。

入力例：チケット予約

① ［カナ／英］（▲）を押して［カナ］モードに切り替え、［4］を2回押します。

チ
＞
カナ

② ［2］を4回押します。

チケ
＞
カナ

③ ［4］を6回押して［電話帳］の［▷］を押します。

チケッ_
＞
カナ

④ ［4］を5回押します。

チケット
＞
カナ

⑤ ［カナ／英］（▲）を2回押して［かな］モードに切り替え、［8］を3回押して［電話帳］の［▷］を押します。

チケット
＞よ_
かな

⑥ ［8］を押します。

チケット
＞よや
かな

⑦ ［2］を3回押します。

チケット
＞よやく
かな

⑧ ［変換］（▼）を押します。

チケット
＞予約
かな　　1/　1

⑨ ［電話帳登録／セット］ボタンを押します。

チケット予約_
＞
かな

ご使用の前に
設置
電話
ファクス／コピー
留守番
ハンドスキャナ
α・ALPHA5
α・Eメール
ナンバー・ディスプレイ
キャッチホン／Fネット／ダイヤルイン
こんなときは

●半角文字の題名、本文文字入力表

ダイヤルボタン／押す回数	1 あ @._	2 か ABC	3 さ DEF	4 た GHI	5 な JKL	6 は MNO	7 ま PQRS	8 や TUV	9 ら WXYZ	0 わ 記号
1回	1	a	d	g	j	m	p	t	w	0 \
2回	@	b	e	h	k	n	q	u	x	※1
3回	.	c	f	i	l	o	r	v	y	(
4回	,	A	D	G	J	M	s	T	z	)
5回	_	B	E	H	K	N	P	U	W	*
6回	–	C	F	I	L	O	Q	V	X	#
7回	&	2	3	4	5	6	R	8	Y	;
8回	^						S		Z	:
9回							7		9	/
10回										?
11回										!

※1：スペース（空白）

注　本文入力時は［#］を押すと改行できます。

α-Eメールが送信できなかったとき

α-Eメール送信時には、1分間隔で5回までセンターへの接続を試みます。それでも送信できなかった場合は、次のような「Eメール不達レポート」がプリントされます。

●Eメール不達レポートの例

Eメール不達レポート

１９９９年１２月２０日　１３時４３分

文書作成日時	題名
１２月２０日　１３時３５分	クリスマスパーティー

α-Eメールを受信する

**相手から届いたEメールは、センターのお客様のメールボックスに保存されています。
本機からセンターに接続して、このメールを本機に受信することができます。**

- 受信したメールは、30件以内(3アドレス合計)で本機のメモリに蓄積可能な容量まで保存しておくことができます。
- メモリ代行受信(→P.67)した文書や留守設定時に録音された用件が残っていると、蓄積できる件数は少なくなります。
- 受信したメールは、次ページの「メールをプリントする」の手順で記録紙にプリントすることができます。
- 「着信通知」や「メール自動受信」など、「ユーザ設定」による便利な機能があります。(→P.117)
- メール自動受信(接続料がかかります)を利用すると、自動的にセンターから自分宛のメールを本機に送信してもらうことができます。(→P.117)
- メールにファイルが添付されていたときは、メールセンターからメールを受信したときに自動的にその添付ファイルがプリントされます(添付ファイルはメモリ内に蓄積されません)。添付ファイルを受信しないようにすることもできます。(→P.114)
- 複数のメールアドレスが登録してある場合、ディスプレイに表示されるEメール件数は、全てのメールアドレス宛のメールの全件数を示します。

α-Eメールを受信する

1 [αEメール]を押します。

1：αＥメール
2：アルファファクス
▼

2 [カナ/英・電話帳・変換]の▼または▲を押して「αEメール」を表示させせます。

3 「αEメール」のメニュー番号を押します。

1：(アドレス) ☆
2：サインアップ

- 利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。
- 「着信通知」(→P.117)を利用している場合は、着信通知が届いているメールアドレスの右側に☆が表示されます。

4 メールを受信するメールアドレスの番号を押します。

1：Ｅメール通信
2：受信メール検索
3：登録

- ご自分がお使いになっているアドレスの番号を押してください。

5 [1]を押します。

1：送信
2：受信
3：ユーザ設定

6 [2]を押します。

接続中

- センターに接続します。
- メールの着信があると、そのメールを受信します。
- 受信したメールに添付文書があると、記録紙にプリントされます。

!

- **センターに受信したメールは、30日を過ぎると本機に受信しなくても自動的に消去されます。**
- **センターに接続した際に受信メールがなかった場合も、センターまでの接続料がかかります。**
- **センターのメールボックスの容量が一杯になると、新規のメールを受信できないことがあります。なるべくこまめにセンターから本機へメールを受信してください。**
- **本機のメモリに蓄積可能な容量を越えてメールを受信することはできません。**
- **添付ファイルのファイル形式によっては、記録紙にプリントできないことがあります。その場合、記録紙にはプリントできない旨のメッセージがプリントされます。**
- **送信相手の状況(海外からのメール等)によっては正確に表示できない場合があります。**

添付ファイルについて

α-Eメールで添付ファイルとして受信できるファイルの形式は、下記の通りです。ただし、ファイルのデータサイズやメールボックスの空き容量により受信できない場合もあります。

- ・ビットマップイメージファイル(＊.bmp)
- ・JPEGイメージファイル(＊.jpgまたは＊.jpeg)
- ・TIFFイメージファイル(＊.tifまたは＊.tiff)　※非圧縮タイプに限ります。LZW圧縮タイプは利用できません。
- ・MS-WORD文書ファイル(＊.doc)　※「Microsoft® Word for Windows® 98」で読込／印刷可能なものに限ります。
- ・MS-EXCELワークシートファイル(＊.xls)　※「Microsoft® Excel for Windows® 97」で読込／印刷可能なものに限ります。
- ・PDFファイル(＊.pdf)　※「Adbe® Acrobat® Reader3.0J」で読込／印刷可能なものに限ります。

- 上記のファイル形式以外の添付ファイルは受信できません。
- テキスト形式(＊.txt)のファイルも添付ファイルとして利用できますが、この場合、添付ファイル内の文字もメール本文として受信します。
- 左記のファイル形式の添付ファイルであっても、回線の状態などによっては受信できない場合があります。
- 添付ファイルがA4サイズより大きな用紙サイズで作成されている場合、印刷イメージが異なってプリントされることがあります。
- 添付ファイルを受信の際は、センターにて送信側の添付ファイルをFAX用データに変換するため、解像度が落ちる場合があります。そのため、細い線等が抜けてしまったり、絵や文字が薄く見える場合があります。

受信したα-Eメールを見る／プリントする／消去する

本機に保存されたメールを検索し、メールをプリントしたり不要になったメールを消去します。

- メモリがいっぱいになると次のメールが受信できなくなります。内容を確認したメールは、なるべく消去するようにしてください。
- 受信したメールの本文はプリントアウトしてご覧ください。（ディスプレイに表示させることはできません。）

1 **を押します。**

1：αＥメール
2：アルファファクス
▼

2 **の▼または▲を押して「αＥメール」を表示させます。**

3 **「αＥメール」のメニュー番号を押します。**

1：(アドレス)
2：サインアップ

- 利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。
  ここでは、[1]を押します。

4 **メールを検索するメールアドレスの番号を押します。**

1：Ｅメール通信
2：受信メール検索
3：登録

5 **を押します。**

1：検索
0：全メール消去

6 **を押します。**

01)Fri.1 Oct ☆
aaaaa＠abc.
LECTURE
▼
02)Fri.1 Oct
bbbbb＠aaa.
こんにちは
▼
・
・
・

- メモリ内に保存されている受信メールの、「受信日」、「発信元アドレス」、「題名」が表示されます。本文を見る場合は、プリント（手順7以降）します。
- [▼]を押すと、次のメールが表示されます。
- まだプリントされていないメールは、右上に「☆」が表示されます。
- 検索を終了するときは、[ストップ]ボタンを押してください。

メールをプリントする

7 **の▼または▲を押してプリントしたいメールを表示させます。**

8 **ダストカバーを開け、を押します。**

1：プリント
2：返信
3：消去

9 **を押します。**

Ｅメールプリント中

- メールの内容が記録紙にプリントされます。
- プリント終了後、手順5の表示に戻ります。

メールを消去する

7 **の▼または▲を押して消去したいメールを表示させます。**

8 **ダストカバーを開け、を押します。**

1：プリント
2：返信
3：消去

9 **を押します。**

消去しました

- 選択したメールが消去されます。

!
- **受信メールがないときは、手順5のあとで「受信メールありません」と表示されます。**
- **一部の記号（<、>、$、%、\、"、+、=、[、]等）が発信元アドレスや題名に含まれる場合、その文字は表示されません。（プリントアウトは正常にされます。）**

?
- **全てのメールを消去したいとき…**手順6で[0]を押します。「消去しました」と表示され、そのアドレス宛の全てのメールが消去されます。

α-Eメールを返信する

Eメールを送ってきた相手に対して、返信のメールを送ります。メモリ内に保存されたメールを検索して返信することができます。

1 メールを検索して、返信したいメールを表示させます。

● 前ページの手順1～6の操作をします。

```
02)Fri.1 Oct
bbbbb@aaa.
こんにちは
```

2 ダストカバーを開け、電話帳登録/セット を押します。

```
1:プリント
2:返信
3:消去
```

3 2(か ABC) を押します。

```
漢字モード?
1:YES
2:NO
```

4 送るメールの文字種を選びます。

● 漢字のメールを送る場合は[1]を、アルファベットのメールを送る場合は[2]を押します。
● 相手先のメールアドレスが表示されます。

```
(To:)         01
bbbbb@aaa.
```

5 「α-Eメールを送信する」(→P.105)の手順10以降と同じ操作手順でメールを送信します。

● 返信時に引用されるのは発信元アドレスのみです。題名、本文の引用は行いません。

α-Eメールのアドレス帳に登録する

頻繁にEメールを送る相手先をアドレス帳に登録すると、電話帳と同様に、メール送信時に簡単に相手を指定することができます。

- アドレス帳には、最大20アドレスまで登録することができます。
- アドレス帳は3アドレス（ユーザ）に共通です。
- 相手先の名前も登録できますので、メール送信時に相手名でメールアドレスを指定できます。

登録する

1 [αEメール] を押します。

1：αＥメール
2：アルファファクス ▼

2 [カナ/英 電話帳 変換] の▼または▲を押して「αＥメール」を表示させます。

3 「αＥメール」のメニュー番号を押します。

1：(アドレス)
2：サインアップ

- 利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。

4 自分のメールアドレスの番号を押します。

1：Ｅメール通信
2：受信メール検索
3：登録

5 [3 DEF さ] を押します。

1：アドレス帳
2：自由定型文
3：添付ファクス受信

6 [1 @ あ] を押します。

1：登録
2：編集
3：登録リスト出力

7 [1 @ あ] を押します。

名前？
>
かな

8 登録する相手の名前を入力します。

- 文字入力の方法は、P.30を参照してください。

9 ダストカバーを開け、[電話帳登録/セット] を押します。

アドレス？
_

10 登録する相手のメールアドレスを入力します。

- 文字入力の方法は、P.107を参照してください。

11 [電話帳登録/セット] を押します。

登録しました

▼

名前？
>
かな

- 「登録しました」と表示され、手順7の表示に戻ります。
  続けてアドレスを登録する場合は、手順8から11を繰り返します。

12 登録を終了するときは [ストップ] を押します。

登録を編集(消去/変更)する

1 「登録する」の手順1から6を操作します。

1:登録
2:編集
3:登録リスト出力

2 2 を押します。
● 何も登録されていないときは「未登録です」と表示されます。

日本電気
aaaaa@nec.

3 カナ/英 電話帳 変換 の▼または▲を押して編集したいアドレス登録を表示させます。

4 ダストカバーを開け、電話帳登録/セット を押します。

1:消去
2:変更

5 消去する場合は 1 を、変更する場合は 2 を押します。
● [1]を押した場合は、「消去しました」と表示され、手順1に戻ります。
● [2]を押した場合は、ディスプレイに登録名とカーソルが表示されます。

日本電気
>
かな

6 登録名を変更します。
● 変更しない場合は、手順7へ進みます。

7 電話帳登録/セット を押します。

アドレス?
aaaaa@nec.

8 アドレスを変更します。
● 変更しない場合は、手順9へ進みます。

9 電話帳登録/セット を押します。
●「変更しました」と表示され、手順1に戻ります。

変更しました

10 編集を終了するときは ストップ を押します。

登録リストをプリントする

1 「登録する」の手順1から6を操作します。

1:登録
2:編集
3:登録リスト出力

2 3 を押します。

10月1日(金)12:00
Eメール 2件 用件 0件
レポートプリント中

登録リストのプリント例

Eメール登録リスト
1999年10月　1日　19時59分
NEC

相手先	アドレス
伊藤	ito@abc2.defg.co.jp
加藤	kato@abc3.defg.co.jp
田中	tanaka@abc4.defg.co.jp

ユーザ名	自由定型文	添付ファクス受信
0312345678aaa@ae2.dion.ne.jp	お世話になります。	する
hiroshi@ae2.dion.ne.jp	ごきげんいかがですか?	しない
takako@ae2.dion.ne.jp	お返事ください。	する

● 登録リストは3アドレス(ユーザ)共通になります。
● 本リストには各アドレス(ユーザ)の自由定型文と添付ファイル設定もプリントされます。

自由定型文の登録／添付ファイル自動受信の設定

自由定型文を登録しておくと、メールの本文入力時に自動的に先頭に挿入されます(漢字モード時のみ)。また、メールにファイルが添付されているとき、添付ファイルを自動受信しないように設定することができます。

自由定型文を登録する

● 自由定型文は、漢字で20文字まで登録できます。
● ご自分のメールアドレス、住所、電話番号などを登録しておくと、毎回入力する手間がはぶけます。

1 [αEメール] を押します。

1：αＥメール
2：アルファファクス ▼

2 [電話帳] の▼または▲を押して「αＥメール」を表示させます。

3 「αＥメール」のメニュー番号を押します。

1：(アドレス名)
2：サインアップ

● 利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。

4 自分のメールアドレスの番号を押します。

1：Ｅメール通信
2：受信メール検索
3：登録

● ユーザ登録されている番号を押してください。

5 [3] を押します。

1：アドレス帳
2：自由定型文
3：添付ファクス受信

6 [2] を押します。

>
かな

● 文字入力表示になります。

7 定型文を入力します。

● 文字入力の方法は、P.107、P.108を参照してください。

8 ダストカバーを開け、[電話帳登録/セット] を押します。

登録しました
▼
1：アドレス帳
2：自由定型文
3：添付ファクス受信

9 登録を終了するときは [ストップ] を押します。

添付ファイル自動受信を設定する

● お買い上げのとき…「添付ファイル自動受信をする」に設定されています。

1 [αEメール] を押します。

1：αＥメール
2：アルファファクス ▼

2 [電話帳] の▼または▲を押して「αＥメール」を表示させます。

3 「αＥメール」のメニュー番号を押します。

1：(アドレス名)
2：サインアップ

● 利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。

4 自分のメールアドレスの番号を押します。

1：Ｅメール通信
2：受信メール検索
3：登録

● ユーザ登録されている番号を押してください。

5 [3] を押します。

1：アドレス帳
2：自由定型文
3：添付ファクス受信

6 [3] を押します。

添付ファクス受信
○ ×

7 [電話帳] の＜または＞を押して選びます。

○×：添付ファイル自動受信をする
○×：添付ファイル受信をしない
●「×」を指定すると、添付ファイルを見ることはできません。この場合、センターからメールを受信した際に添付ファイルは削除されます。

8 ダストカバーを開け、[電話帳登録/セット] を押します。

設定しました
▼
1：アドレス帳
2：自由定型文
3：添付ファクス受信

9 操作を終了するときは [ストップ] を押します。

メールアドレスを変更する

オンラインで、α-Eメール申し込み時にDDIから提供されたメールアドレス(電話番号アドレス)をお客様が指定するメールアドレス(ニックネームアドレス)に変更します。

- メールアドレス変更は、電話番号アドレスからニックネームアドレスへ1回だけ変更することができます。
変更したニックネームアドレスを再度変更することはできません。
- 既に他のお客様が設定しているニックネームアドレスは登録できません。ディスプレイの表示に従って、再度別のアドレスを登録してください。

1 Eメール を押します。

1：αEメール
2：アルファファクス
▼

2 カナ/英・電話帳・変換 の▼または▲を押して「αEメール」を表示させます。

3 「αEメール」のメニュー番号を押します。

1：(アドレス)
2：サインアップ

- 利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。

4 1 を押します。

1：Eメール通信
2：受信メール検索
3：登録

5 1 を押します。

1：送信
2：受信
3：ユーザ設定

6 3 を押します。

接続中

7 ディスプレイの表示にしたがって、ユーザ名を変更します。

- 文字、数字を入力する際には、次ページの文字入力表にしたがってダイヤルボタンを押してください。
- ニックネームアドレスは、アルファベット小文字(数字を含む)で4～15文字としてください。
記号は「＿(アンダーバー)」または「－(ハイフン)」のみ、合計2回まで使用できます。
ニックネームアドレスの1文字目は必ずアルファベット(小文字)としてください。
- 入力を確定するときは[電話帳登録／セット]ボタンを押します。

!

- **この操作にはDDIのセンターまでの接続料がかかります。**
- **アドレスの追加登録はP.116を参照してください。アドレスの変更とは操作が異なります。**
- **次のようなときは、必ずDDIカスタマサービスセンターへご連絡ください。**
  - **本サービスを解約する場合**
  - **複数のメールアドレスを利用していて、アドレスを一部変更／削除する場合**

メールアドレスを追加登録する(サインアップ)

本機からセンターに接続(オンラインといいます)して、追加メールアドレスを登録します。(サインアップといいます。接続料は無料です。)

- α-Eメールのメールアドレスは、本機1台(DDIに登録した1つの電話番号)で3つまで登録できます。
- 追加メールアドレスは、サインアップ時に自由なニックネームアドレスを指定することができます。ただし、指定できるのはメールアドレスの「ユーザ名」です。「ドメイン名」はセンターから提供されます。(→P.104)
- サインアップで追加し登録したメールアドレスは、即時に使用可能となります。

1 [αEメール]を押します。

1：αEメール
2：アルファファクス
▼

2 [カナ/英・電話帳・変換]の▼または▲を押して「αEメール」を表示させます。

3 「αEメール」のメニュー番号を押します。

1：(アドレス)
2：サインアップ

- 利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。ここでは、[1]を押します。
- サインアップが可能なユーザに対して「サインアップ」と表示されます。

4 [2 か ABC]を押します。

サインアップ
1：する
2：しない

- アドレスが表示されていない番号を押します。

5 [1 あ @._]を押します。

接続中

6 ディスプレイの表示にしたがって、サインアップを行います。

- 文字、数字を入力する際には、右の文字入力表にしたがってダイヤルボタンを押してください。
- ニックネームアドレスは、アルファベット小文字(数字を含む)で4〜15文字としてください。
  記号は「_(アンダーバー)」または「ー(ハイフン)」のみ、合計2回まで使用できます。
  ニックネームアドレスの1文字目は必ずアルファベット(小文字)としてください。
- 入力を確定するときは[電話帳登録／セット]ボタンを押します。

■ 文字入力表

ダイヤルボタン／押す回数	1 あ @._	2 か ABC	3 さ DEF	4 た GHI	5 な JKL	6 は MNO	7 ま PQRS	8 や TUV	9 ら WXYZ	0 わ 記号	* ゛゜
1回	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	゛
2回	ア	a	d	g	j	m	p	t	w	ワ	゜
3回	イ	b	e	h	k	n	q	u	x	ヲ	
4回	ウ	c	f	i	l	o	r	v	y	ン	
5回	エ	A	D	G	J	M	s	T	z	空白	
6回	オ	B	E	H	K	N	P	U	W	(	
7回	@	C	F	I	L	O	Q	V	X	)	
8回	.	カ	サ	タ	ナ	ハ	R	ヤ	Y	*	
9回	,	キ	シ	チ	ニ	ヒ	S	ユ	Z	#	
10回	_	ク	ス	ツ	ヌ	フ	マ	ヨ	ラ	;	
11回	―	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	ミ		リ	:	
12回	&	コ	ソ	ト	ノ	ホ	ム		ル	／	
13回	^						メ		レ	?	
14回							モ		ロ	!	

!
- **メールアドレスを追加登録すると、メールアドレスごとに月額料がかかります。メールアドレスが追加されると開通メールがEメールで届きます。**
- **他のお客様が既に設定しているニックネームアドレスはご登録いただけません。ディスプレイの表示に従って、再度別のアドレスを登録してください。**
- **サインアップによってニックネームアドレスを取得した場合、ユーザ設定(→P.117)によるアドレスの変更はできません。**

α-Eメールの各種機能を設定する

本機からセンターに接続して、α-Eメールの各種機能を設定することができます。
（「ユーザ設定」といいます。）

● ユーザ設定では、以下のサービスおよび機能を設定できます。

- **着信通知**
  センターのお客様のメールボックスにメールが残っていない状態で、新たにセンターにメールを着信した場合、その旨をお知らせするサービスです（無料）。α-Eメールサービス開始時には「ON」に設定されています。
- **メール自動受信**
  センターに着信したメールを、本機が自動的に受信するサービスです。
- **着信拒否時間設定**
  「着信通知」または「メール自動受信」をご利用の場合に、センターからの通知を拒否する時間帯を設定します。夜間などの特定の時間帯にはメールの着信通知や自動受信を受けたくない場合に設定してください。
  「着信拒否時間」で設定した時間内にセンターに着信したメールは、次回のメール着信時に着信通知または自動受信されます。
- **拒否メールアドレス**
  受信したくない相手のメールアドレスを最大10件まで登録することができます。
  相手のメールアドレス（例えば、funky-yamamoto@ae2.dion.ne.jp）を設定すると、そのメールアドレスからの着信を拒否します。
  「*」とドメイン名（例えば *@ae2.dion.ne.jp）を設定すると、そのドメイン名が付いた全てのメールアドレスからの着信を拒否します。
  なお、着信拒否した相手には、受信できない旨のメールをセンターから自動的に返信します。
- **メール転送**
  お客様のメールボックスに着信したメールの転送先メールアドレスを1箇所設定することができます。
- **メールアドレス変更**
  本機に登録されている電話番号アドレスをニックネームアドレスに変更します。（→P.115）
- **パスワード変更**
  4桁の数字のパスワードの設定変更を行います。
- **現在の設定確認**
  現在設定されているユーザ設定の内容をディスプレイに一覧表示します。

● 着信通知を受ける際には本機の着信ベルが鳴ります。
● メール自動受信をする際には本機の着信ベルが鳴ります。
● 以下の場合は、正常に「着信通知」または「メール自動受信」を受けることができません。この場合、次回のメール着信時に着信通知または自動受信されます。
- 話し中などで本機が応対できなかった場合
- 本機に接続した停電時用電話機で応対した場合（→P.138）

● 「着信通知」と「メール自動受信」を同時に利用することはできません。

1 [αEメール]を押します。

> 1：α Eメール
> 2：アルファファクス ▼

2 [カナ/英・電話帳・変換]の▼または▲を押して「αEメール」を表示させます。

3 「αEメール」のメニュー番号を押します。

> 1：（アドレス）
> 2：サインアップ

● 利用しているサービスの数によりメニュー番号が異なります。
ここでは、[1]を押します。

4 設定するメールアドレスの番号を押します。

> 1：Eメール通信
> 2：受信メール検索
> 3：登録

5 [1 あ @._]を押します。

> 1：送信
> 2：受信
> 3：ユーザ設定

6 [3 さ DEF]を押します。

> 接続中

7 ディスプレイの表示にしたがって設定を変更します。

● 入力を確定するときは[電話帳登録／セット]ボタンを押します。

!
● 「ユーザ設定」で設定できる機能の内容は、予告なく追加・変更されることがあります。
● 「ユーザ設定」には接続料がかかります。詳しくはDDIカスタマサービスセンター【α-Eメール係】にお問い合わせください。

フリーコール
DDIカスタマサービスセンター【α-Eメール係】
電話番号：0077-23-110096（無料）（イイメールオクロウ）
受付時間：9:00〜21:00（土日祝も受付）

ナンバー・ディスプレイについて

NTT東日本またはNTT西日本とナンバー・ディスプレイを契約(有料)することによって、相手の電話番号を電話に出る前にディスプレイに表示させることができます。さらに本機では、かけてきた相手を電話帳に登録したり、かけてきた相手によって応答のしかたを変えたりといった使いかたができます。

● NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。(有料)
次の契約とは重複して契約できません。
転送でんわ(ボイスワープを除く)、ダイヤルQ2(情報提供側)、テレドーム(情報提供側)、ノーリンギング通信サービス(センター回線)

● ナンバー・ディスプレイを契約しても次の場合は相手の電話番号は表示されません。
・国際通話
・オペレーター扱いの通話(100番、106番)
・相手が番号非通知にしたとき
・相手が公衆電話からかけてきたとき
・電話回線の雑音などでデータを正常に受信できなかったとき

● **ISDN回線をご利用のとき…**接続されているターミナルアダプタの機種によっては、ナンバー・ディスプレイを利用できないことがあります。ナンバー・ディスプレイ対応のアナログポートがあるターミナルアダプタなどを接続してください。

● **お買い上げのとき…**ナンバー・ディスプレイは「利用する」に設定されています。「利用しない」に設定するとナンバー・ディスプレイを利用できません。設定方法についてはP.26をご覧ください。

お問い合わせ先

● **NTT東日本またはNTT西日本**
ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター

フリーダイヤル:0120−848521
受付時間:9:00〜17:00(月曜〜土曜)

ナンバー・ディスプレイでできること

ナンバー・ディスプレイを利用すると相手番号を表示する以外にも、次のようなことができます。

● **相手の名前も知りたい…**電話帳に登録されている相手のときは、番号とともに相手の名前も表示します。

● **キャッチホンの相手も表示したい…**キャッチホンとキャッチホン・ディスプレイ(有料)に加入し、キャッチホン・ディスプレイの設定(→P.126)を「利用する」にすれば、通話中に入ったキャッチホンの相手の電話番号も表示します。

● **着信データを利用する…**本機はかけてきた相手の番号(着信データ)を記憶しています。簡単な操作でその番号へ電話をかけることができます。(→P.121)

● **相手によって親機と子機を鳴り分けしたい…**プライベートコールを設定します。電話帳に登録してある相手に限り親機や子機を個別に鳴らすことができます。(→P.124)

● **相手によってベルの音を変えたい…**着信鳴り分けを設定します。電話帳に登録してある相手に限りベルやメロディを鳴り分けることができます。(→P.124)

● **おやすみ中も特定の人からのベルを鳴らしたい…**とくていコールを「する」にします。電話帳に登録されている相手のときは、おやすみモードのときでもベルを鳴らします。(→P.125)

● **非通知の相手からのときは出たくない…**番号リクエストを「する」にします。相手が非通知のときはメッセージを流してから電話が切れます。(→P.125)

● **特定の人には自作応答メッセージを流したい…**応答メッセージ選択を「する」にします。電話帳に登録されている相手のときは自作応答メッセージを流し、登録されていない相手には固定応答メッセージを流します。(→P.126)

● **特定の相手のときは出たくない…**着信拒否を「する」にします。着信拒否に登録されている相手に限り、メッセージを流してから電話を切ります(→P.127)。

キャッチホン・ディスプレイについて

通話中にキャッチホンが入ったら、かけてきた相手の電話番号を表示させることができます。

● このサービスは、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。(有料)

● このサービスを契約した場合、本機のナンバー・ディスプレイ設定メニューにある「キャッチホン」を「○(利用する)」に設定する必要があります。(→P.126)

※'99年11月サービス開始予定です。詳しくは、上記「NTT東日本またはNTT西日本　ナンバー・ディスプレイ　カスタマーサービスセンター」へお問い合わせください。

! ● 「キャッチホン・ディスプレイ」は、NTT東日本またはNTT西日本のサービス開始後にご利用になれます。ただし、本機はNTT東日本またはNTT西日本発行の調査用資料「電話網における情報通信系サービスのインタフェース」(1997年8月)に準拠していますが、NTT東日本またはNTT西日本側でインタフェース方式が変更された場合にはご利用になれないことがあります。

● ダイヤルインサービスを同時に使用する場合は、それまでのダイヤルインサービスをモデムダイヤルインサービスに変更する必要があります。上記の「ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター」または最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

● ブランチ接続をしている場合は本機のナンバー・ディスプレイ機能を利用できません。

● NTT東日本またはNTT西日本の「転送でんわ」を契約している方は、必ずナンバー・ディスプレイを「利用しない」に設定してください。「利用する」のままご利用になると本機はベルを鳴らさずに回線を切ってしまいます。

ナンバー・ディスプレイ表示の見かた

ナンバー・ディスプレイを利用すると、電話に出る前に相手を確認できます。

1 電話やファクスがかかってきます。

2 相手の電話番号が表示されます。

表示	
0312345678	親機の表示
ﾍﾞﾙ 着信 0312345678	子機の表示

・電話帳に登録してある相手からのときは相手の名前が表示されます。

表示	
日本電気 0312345678	親機の表示
ﾍﾞﾙ 着信 日本電気 0312345678	子機の表示

・相手が非通知のときは「非通知」と表示されます。

表示	
非通知	親機の表示
ﾍﾞﾙ 着信 非通知	子機の表示

・相手が公衆電話のときは「公衆電話」と表示されます。

表示	
公衆電話	親機の表示
ﾍﾞﾙ 着信 公衆電話	子機の表示

・一時的な電話回線の雑音などによりデータが正常に受信できなかったときや、ドアホン通話中に電話がかかってきたときは「受信エラー」と表示されます。

表示	
受信エラー	親機の表示
ﾍﾞﾙ 着信 受信 ｴﾗｰ	子機の表示

・海外からの通信など、相手がサービス地域以外からかけてきたときは「表示圏外」と表示されます。

表示	
表示圏外	親機の表示
ﾍﾞﾙ 着信 表示圏外	子機の表示

! ●**同じ電話番号を親機、子機で各々異なる名前で登録した場合は、各々の登録した名前を表示します。**

着信データをプリントする

●親機に記憶された着信データは、記録紙にプリントできます。（→P.141）

●子機に記憶された着信データの内容は、プリントできません。

キャッチホン・ディスプレイをご利用のとき

通話中にキャッチホン(→P.129)の着信があると、親機、子機ともにキャッチホンの相手の電話番号が約30秒間表示されます。

●表示のしかたは、左のナンバー・ディスプレイ表示と同じです。

●電話帳に登録してある相手の場合は、相手の名前が表示されます。

●着信拒否リストに登録されている電話番号の場合でも、キャッチホン着信してその番号が表示されます。

●番号リクエストの設定が「する」に設定されていても、非通知の相手もキャッチホン着信して「非通知」が表示されます。

●プライベートコールに指定されている番号の場合も表示されます。

!

●**キャッチホンの相手の表示は、約30秒間表示されます。**

●**キャッチホンに応答する前に相手が電話を切っても、約30秒間表示されます。**

●**キャッチホンに応答したときは、その時点で通話時間表示に戻ります。応答しなくても約30秒経過したときは通話時間表示に戻ります。**

●**キャッチホンが着信すると、キャッチホン着信音「プルルー・プップッ」の後に「ピポ」という音が聞こえ、相手の電話番号を受信する間(約1秒間)通話が途切れます。**

●**子機で通話中の場合、親機から電話番号情報を転送する間「ザッ」というノイズが聞こえます。**

●**次の場合、キャッチホンが着信しても相手の番号が表示されないことがあります。**

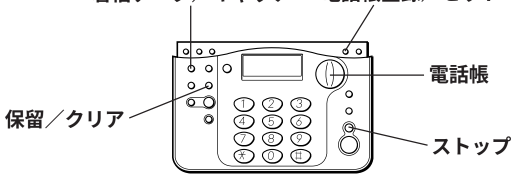
- **通話録音中または通話再生中**
- **親機を使用中(コピー中、登録操作中)**
- **大声で通話したとき**
- **周囲の雑音が大きいとき**
- **NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき**

着信データを見る／消す

電話にかかってきた日時と相手の情報は、親機と子機それぞれに着信データとして自動的に記憶されます。着信データは親機に20件、子機に10件まで記憶され、これらの件数を超えると古いものから消されていきます。待機状態であれば着信データを見たり消したりできます。

- 親機にかかってきた場合は、すべて着信データとして記憶されます。
- 子機にかかってきた場合は、電話番号等が表示されたときに、着信データとして記憶されます。（子機が電波の届かない場所に置かれていると、着信データは記憶されません。）

親機の着信データを見る／消す



1 着信データ/キャッチ **を押します。**

- 最新の着信データが表示されます。
- 着信データがないときは「データはありません」と表示されます。

着信した順番（新しい順）　着信した日時

01）10月 1日　23:59
日本電気
▲▼で選択

2 カナ/英・電話帳・変換 **の▼または▲を押して着信データを見ます。**

- 相手先を早送りしたい場合は、[▼]または[▲]を押し続けてください。
- 着信データの消去をしない場合は手順5へ進みます。

02）9月30日　21:24
0312345678

・
・
・

20）9月28日　20:14
公衆電話

3 保留/クリア **を押します。**

- 消去を取りやめる場合は[<]または[>]を押して「>取り消し」を選びます。（手順2に戻ります。）

20）9月28日　20:14
公衆電話
消去<　取り消し

4 電話帳登録/セット **を押します。**

- 2秒後に次の着信データが表示されます。

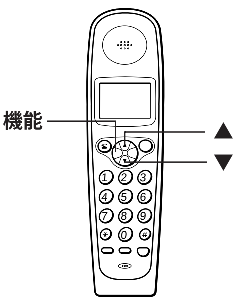
消去しました

5 ストップ **を押します。**

! ● **電話やファクスを使用しているときは着信データを見ることはできません。**

子機の着信データを見る

待機中に操作します。



1 ▲ **を数回押します。**

- 最後にかけた相手の電話番号（リダイヤル）がまず表示され、そのあと[▲]を押すたびに着信データが表示されます。
- [▼]を押すと、前のデータの表示に戻ります。

ﾘﾀﾞｲﾔﾙ
0120200940

▲▼

着信ﾃﾞｰﾀ　1
鈴木正幸
0312345678

▲▼

着信ﾃﾞｰﾀ　2
鈴木正広
0323456789

・
・
・

2 **充電器に戻すと表示が消えます。**

! ● **手順1の後、20秒間何もしなかった場合、「ピーピーピー」という音が鳴り、待機状態に戻ります。**

子機の着信データを消す

子機に記憶されている着信データをすべて消去します。

待機中に操作します。

1 機能 **を押します。**

2 変換 **（または** ▲ **）を押して「電話帳　消去」を選びます。**

電話帳　消去
現在　20件

3 機能 **を押します。**

- 電話帳が表示されます。

日本電気
0120200940

4 変換 **（または** ▲ **）を押して「着信データ消去」を選びます。**

着信ﾃﾞｰﾀ消去

5 機能 **を押します。**

- 消去確認のメッセージが表示されます。
- 消去をやめたいときは、[▲]／[▼]を押し、「中止しますか」と表示されたところで[機能]ボタンを押します。

消去しますか

6 機能 **を押します。**

- 子機の着信データがすべて消去されます。

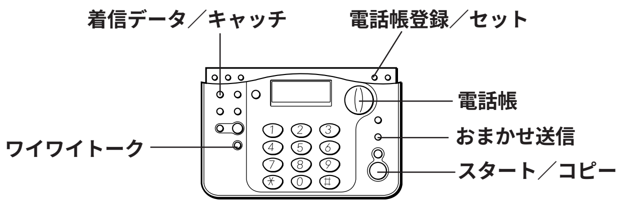
消去しました

! ● **子機の着信データは1件ずつ消去することはできません。**

着信データの相手へ電話をかける(コールバック)

着信データに電話番号が含まれている場合、その相手に電話をかけることができます。

親機からかける



1 着信データ/キャッチ を押します。

- 最新の着信データが表示されます。
- 着信データがないときは「データはありません」と表示されます。

```
01) 10月 1日 23:59
日本電気
      ▲▼で選択
```

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼または▲を押して、かけたい相手を選びます。

- 相手を早送りしたいときは、[▼]または[▲]を押し続けてください。

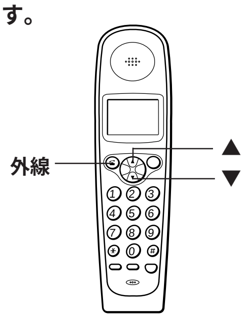
3 かけたい相手が表示されている時に受話器をとります。(または、ワイワイトーク を押します。)

```
鈴木正幸
0312345678
      ダイヤル中
```

4 話が終わったら受話器を戻します。(または、ワイワイトーク を押します。)

子機からかける

待機中に操作します。



1 変換(または▲)を数回押してかけたい相手を選びます。

```
着信ﾃﾞｰﾀ  1
鈴木正幸
0312345678
```

2 かけたい相手が表示されているときに充電器からとります。(充電器に置いていないときは 外線 を押します。)

```
       0'04
0312345678
```

3 話が終わったら充電器に戻します。(または、外線 を押します。)

ファクスを送信するときは

- **おまかせ送信…**手順3のとき、[おまかせ送信]ボタンを押します。あらかじめ原稿はセットしておく必要があります。
- **自動送信…**手順3のとき、受話器をとる代わりに[スタート／コピー]ボタンを押します。あらかじめ原稿はセットしておく必要があります。

着信データを登録する（かんたん登録）

電話番号が含まれている着信データは、電話帳や着信拒否に登録できます。
子機の着信データは、子機の電話帳に登録できます。

親機の着信データを電話帳に登録する

1 [着信データ/キャッチ] を押します。
● 最新の着信データが表示されます。
● 着信データがないときは「データはありません」と表示されます。

01) 10月 1日 23:59
0312345678
▲▼で選択

2 [カナ/英・電話帳・変換] の▼ または▲を押して登録する相手を表示します。
● 相手を早送りしたいときは、[▼]または[▲]を押し続けてください。

3 ダストカバーを開け、[電話帳登録/セット] を押します。

登録先は？
電話帳＜ 着信拒否

4 [カナ/英・電話帳・変換] の＜または＞を押して「電話帳＜」を選びます。

5 [電話帳登録/セット] を押します。

登録：名前？
＞
かな

6 相手の名前を入力します。（→P.37）

7 [電話帳登録/セット] を押します。

読み仮名：？
ニッポ゜ンデ゛ンキ
カナ

8 読み仮名を修正します。
● [＜]または[＞]を押して、修正したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
● [保留／クリア]ボタンを押すと、カーソルのある文字が１文字クリアされます。
● 読み仮名を修正しないときは、手順9へ進んでください。

9 [電話帳登録/セット] を押します。

登録しました

▼ 2秒後

01) 10月 1日 23:59
日本電気
▲▼で選択

10 [ストップ] を押します。

着信拒否に登録する

手順4で「着信拒否」を選択して[電話帳登録／セット]ボタンを押すと、手順2で選択した相手の電話番号は着信拒否に登録されます。
着信拒否に登録する場合は、相手の名前は入力できません。
着信拒否に登録した相手から電話がかかってきた場合、ベルを鳴らさずにメッセージだけを流して電話を切ることができます。（→P.127）

? ● **「全て登録済みです」が表示されたとき…**電話帳または着信拒否から不要な電話番号を消去してください。（→P.38、P.128）

子機の着信データを電話帳に登録する

待機中に操作します。

1 [変換]（または[▲]）を数回押して登録したい着信データを表示させます。

着信ﾃﾞｰﾀ 1
0312345678

2 [機能] を押します。
● 名前が入力できる状態になります。

漢
＞
かな

3 相手先の名前を入力します。（→P.40）

4 [機能] を押します。

ｶﾅ
読み仮名？
ｱﾍﾞ ﾀﾛｳ
カナ

5 読み仮名を修正します。
● [＊]または[#]を押して、修正したい文字の下にカーソルを移動させ、新しい文字を入力します。
● [削除／保留]ボタンを押すと、カーソルのある文字が一文字クリアされます。（カーソルが右端の文字の右側にある場合は、右端の文字がクリアされます。）
● 読み仮名を修正しないときは、手順6へ進んでください。

6 [機能] を押します。
● 相手先名と着信データの電話番号が表示されます。
● [グループ／ドアホン／内線]ボタンを押して、グループ登録することもできます。（→P.39）

阿部太郎
電話番号？
0312345678

カーソル（点滅）

7 [機能] を押します。
● 登録した名前と残り件数（あと何件登録できるか）が表示されます。

阿部太郎
登録しました
残り 85件

! ● 子機の着信データは着信拒否に登録できません。

? ● **「登録不可」と表示されたとき…**電話帳から不要な電話番号を消去してください。（→P.41）

iD 留守録着信データを確認する

留守設定中に電話がかかってきたときは留守録着信データが記憶されます。留守録着信データにより、親機や子機で用件を再生するときに相手番号を確認できます。

● いったん回線がつながった相手であれば、たとえ応答メッセージが流れている間に相手が電話を切っても留守録着信データは記憶されます。
● 留守録着信データには次のような制限があります。
・用件が消去されると留守録着信データも同時に失われます。
・留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。
・電話帳や着信拒否に登録できません。

親機で留守録着信データを確認する

[留守]または[再生]ボタンを押して録音されている用件を再生すると、ディスプレイに留守録着信データが表示されます。

● 電話帳に登録されている相手からのときは登録されている名前が表示されます。

```
日本電気
     再生中        1/ 5
```

● 電話帳に登録されていない相手からのときは電話番号が表示されます。

```
0312345678
     再生中        1/ 5
```

子機で留守録着信データを確認する

次の手順で録音された用件を再生すると、録音された用件のあと、時間と相手の電話番号が音声で流れます。

① [機能]ボタンを押します。
② [▲]または[▼]を押して「リモコン　操作」を選びます。
③ [機能]ボタンを押します。
④ [2]を押します。(または、[▲]または[▼]を押して「用件再生　2」を選び、[機能]ボタンを押します。)

・相手が用件を録音していないときは用件の代わりにビジートーン(話中音)を流し、そのあと時間と相手の電話番号を音声で流します。
また、相手の電話番号が通知されない場合は、その理由を音声で流します。

!

● 留守設定時にかかってきた電話の着信データは通常と同様に本機に記憶されます。電話帳や着信拒否への登録および、かけてきた相手に電話をかける際には着信データを使用してください。
(→P.121、P.122)
● 留守録の用件を消去すると留守録着信データは消去されますが、着信データは残ります。(→P.120)
● 子機のディスプレイには留守録着信データは表示されません。
● 外線リモート(→P.78)で用件を聞いたときは電話番号を音声で流します。

設定による使い分け

プライベートコールと着信鳴り分けの設定

電話をかけてきた相手が電話帳に登録してあるときは、親機だけを呼び出したり、子機だけを呼び出したりすることができます(プライベートコール)。また、ベルの音色／メロディを変えることができます(着信鳴り分け)。

● **お買い上げのとき…**プライベートコールは「全て」に設定されています。着信鳴り分けは「ベル(標準)」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、機能を押します。**

2 **カナ/英 電話帳 変換 の▼を5回押します。**

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 **電話帳登録/セット を押します。**

● このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ナンバーディスプレイ
○ ×

4 **電話帳登録/セット を押します。**

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
とくていコール
番号リクエスト

5 **電話帳登録/セット を押します。**

● 電話帳に何も登録されていないと「電話番号が登録されていません」と表示されます。

日本電気
0312345678
▲▼で選択

6 **カナ/英 電話帳 変換 の▼ または▲を押してプライベートコールに設定したい相手を電話帳の中から選びます。**

7 **電話帳登録/セット を押します。**

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
全て
<>で選択

8 **カナ/英 電話帳 変換 の<または>を押してベルを鳴らす電話機を選びます。**

・ 全て
・ 内線1(親機)
・ 内線2(子機)

● 子機を増設すると「内線3(子機)」〜「内線5(子機)」まで表示されます。

9 **電話帳登録/セット を押します。**

着信鳴り分け指定
1. ベル (標準)
<>で選択

10 **カナ/英 電話帳 変換 の<または>を押してベルの音色／メロディの種類を選びます。**

1. ベル(標準):通常の音色
2. ベル(鳴り分け):「標準」とは違う音色
3. アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
4. 春
5. トルコ行進曲
6. (えらんでメロディで取り込んだ曲)(→P.98)

● α-ALPHA5サービスにより着信メロディを取り込んでいないときは、6.(えらんでメロディで取り込んだ曲)は表示されません。

11 **電話帳登録/セット を押します。**

● 設定を続ける場合は、[<]または[>]を押して「>継続」を選び、[電話帳登録／セット]ボタンを押して手順6へ戻ります。

設定しました
▼
設定を続けますか?
終了< 継続

12 **カナ/英 電話帳 変換 の<または>を押して「終了<」を選びます。**

13 **電話帳登録/セット を押します。**

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
とくていコール
番号リクエスト

14 **ストップ を押します。**

● ドアホン通話中の場合、「受信エラー」と表示され、着信鳴り分けの設定ではなく、「ベルの音色／メロディを変える」(→P.56)で設定した音が鳴ります。

とくていコールの設定

おやすみモードにしたときは電話がかかってきてもベルが鳴りません。(→P.82)これを、電話帳に登録してある相手からかかってきたときはベルを鳴らすように設定できます。

● 電話帳に登録してある人からの電話だけ受けたい、知らない人からの電話には出たくない、などというときにご利用ください。
● **お買い上げのとき…**とくていコールは「する」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、（機能）を押します。**

2 **（カナ/英・電話帳・変換）の▼を5回押します。**

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 **（電話帳登録/セット）を押します。**
● このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ナンバーディスプレイ
○ ×

4 **（電話帳登録/セット）を押します。**

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
とくていコール
番号リクエスト

5 **（カナ/英・電話帳・変換）の▼を押します。**

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
とくていコール
番号リクエスト

6 **（電話帳登録/セット）を押します。**

とくていコール
○ ×

7 **（カナ/英・電話帳・変換）の＜または＞を押してカーソルを移動します。**
○×：とくていコールをする
○×：とくていコールをしない

8 **（電話帳登録/セット）を押します。**

設定しました

9 **（ストップ）を押します。**

番号リクエストの設定

非通知の相手からかかってきたときに、ベルを鳴らさずに『おかけなおしください』という内容のメッセージを流してから自動的に電話を切ることができます。

● **非通知の相手に流すメッセージ…**『番号を通知しておかけなおしください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけなおしください』(固定)
● **お買い上げのとき…**番号リクエストは「しない」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、（機能）を押します。**

2 **（カナ/英・電話帳・変換）の▼を5回押します。**

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 **（電話帳登録/セット）を押します。**
● このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ナンバーディスプレイ
○ ×

4 **（電話帳登録/セット）を押します。**

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
とくていコール
番号リクエスト

5 **（カナ/英・電話帳・変換）の▼を2回押します。**

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
とくていコール
番号リクエスト

6 **（電話帳登録/セット）を押します。**

番号リクエスト
○ ×

7 **（カナ/英・電話帳・変換）の＜または＞を押してカーソルを移動します。**
○×：番号リクエストをする
○×：番号リクエストをしない

8 **（電話帳登録/セット）を押します。**

設定しました

9 **（ストップ）を押します。**

! ● **番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定時には非通知の相手からの電話は留守録音もファクス受信もできません。**

応答メッセージの選択設定

**留守設定時、電話帳に登録してある相手にだけ自作応答メッセージを流し、それ以外は固定応答メッセージを流すようにできます。
知っている人には自分の声で、知らない人には機械の声で応答メッセージが流れます。**

- **相手に流す自作応答メッセージ…**留守設定のときと同じメッセージです。(→P.76)
- **お買い上げのとき…**「すべての相手に自作応答メッセージを流す」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、(機能)を押します。

2 (カナ/英 電話帳 変換)の▼を5回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 (電話帳登録/セット)を押します。

- このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ナンバーディスプレイ
○　×

4 (電話帳登録/セット)を押します。

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
とくていコール
番号リクエスト

5 (カナ/英 電話帳 変換)の▼を4回押します。

着信拒否
応答メッセージ選択
キャッチホン

6 (電話帳登録/セット)を押します。

応答メッセージ選択
○　×

7 (カナ/英 電話帳 変換)の<または>を押してカーソルを移動します。

○×：電話帳登録者にのみ自作応答メッセージを流す
○×：すべての相手に自作応答メッセージを流す

8 (電話帳登録/セット)を押します。

設定しました

9 (ストップ)を押します。

- **自作応答メッセージを録音していない場合は、留守設定のとき流れるのは固定応答メッセージになります。**

キャッチホン・ディスプレイの設定

NTT東日本またはNTT西日本のキャッチホン・ディスプレイを契約したときに設定します。キャッチホンの相手の電話番号も表示できるようになります。

- **お買い上げのとき…**「キャッチホン・ディスプレイを利用しない」に設定されています。
- 「キャッチホン・ディスプレイを利用する」と設定する場合は必ず「ナンバー・ディスプレイを利用する」(→P.26)に設定します。
(後で「ナンバー・ディスプレイを利用しない」に設定しても本設定は変更されません。)

1 ダストカバーを開け、(機能)を押します。

2 (カナ/英 電話帳 変換)の▼を5回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 (電話帳登録/セット)を押します。

- このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ナンバーディスプレイ
○　×

4 (電話帳登録/セット)を押します。

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
とくていコール
番号リクエスト

5 (カナ/英 電話帳 変換)の▼を5回押します。

着信拒否
応答メッセージ選択
キャッチホン

6 (電話帳登録/セット)を押します。

キャッチホン
○　×

7 (カナ/英 電話帳 変換)の<または>を押してカーソルを移動します。

○×：キャッチホン・ディスプレイを利用する
○×：キャッチホン・ディスプレイを利用しない

8 (電話帳登録/セット)を押します。

設定しました

9 (ストップ)を押します。

- **周囲の雑音が大きいとき、または話をしている状態によっては相手の電話番号を表示できない場合があります。**

着信拒否の設定

着信拒否に登録してある電話の相手からかかってきたときに、ベルを鳴らさずにメッセージだけを流して電話を切ることができます。

- **着信拒否の相手に流すメッセージ…**『申し訳ありませんがお取り次ぎできません』(固定)
- **着信拒否に登録するには…**P.122またはP.128を参照してください。
- **お買い上げのとき…**着信拒否は「する」に設定されています。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英 電話帳 変換の▼を5回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セットを押します。
- このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ナンバーディスプレイ
○ ×

4 電話帳登録/セットを押します。

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
とくていコール
番号リクエスト

5 カナ/英 電話帳 変換の▼を3回押します。

着信拒否
応答メッセージ選択
キャッチホン

6 電話帳登録/セットを押します。

着信拒否
○ ×

7 カナ/英 電話帳 変換の<または>を押してカーソルを移動します。

○×：着信拒否をする
○×：着信拒否をしない

8 電話帳登録/セットを押します。

設定しました

9 ストップを押します。

! ● 着信拒否を「する」に設定すると、留守設定時には着信拒否に登録されている相手からの電話は留守録音もファクス受信もできません。

着信拒否の登録／変更／消去

**着信拒否したい相手の電話番号は、相手からかかってくる前に着信拒否へ登録しておくことができます（10件まで）。
また、着信拒否に登録されている電話番号は変更および消去できます。**

● **かかってきた相手を着信拒否に登録するには…**P.122を参照してください。

● **着信拒否を利用するには…**前ページの手順により「着信拒否をする」に設定してください。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を5回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット を押します。

● このとき「○」の下にカーソルがあること確認してください。

ナンバーディスプレイ
○　×

4 電話帳登録/セット を押します。

ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定
とくていコール
番号リクエスト

5 カナ/英 電話帳 変換 の▼を6回押します。

着信拒否リスト編集

6 電話帳登録/セット を押します。

着信拒否リスト
登録＜　編集

登録する

7 カナ/英 電話帳 変換 の＜または＞を押して「登録＜」を選択します。

8 電話帳登録/セット を押します。

● すでに着信拒否に10件登録されているときは、「全て登録済みです」と表示されたあと、上記手順6の表示になります。

着信拒否リスト登録
01)
_

9 相手の電話番号を入力します。

● 市外局番から入力してください。

10 電話帳登録/セット を押します。

登録しました

11 ストップ を押します。

変更／消去する

7 カナ/英 電話帳 変換 の＜または＞を押して「＞編集」を選択します。

8 電話帳登録/セット を押します。

● 着信拒否リストに1件も登録されていないときは、「着信拒否リスト未登録」と表示されたあと、手順6の表示に戻ります。

着信拒否リスト
01)
0312345678

9 カナ/英 電話帳 変換 の▼または▲を押して消去／変更する相手を表示します。

10 電話帳登録/セット を押します。

着信拒否リスト
消去＜　変更

11 カナ/英 電話帳 変換 の＜または＞を押して「消去＜」または「＞変更」を選択します。

12 電話帳登録/セット を押します。

● 「消去＜」を選択選択した場合は、約2秒間「消去しました」が表示されます。手順15へ進んでください。

着信拒否リスト
消去　＞変更

● 「＞変更」を選択選択した場合は、変更する電話番号とカーソルが表示されます。

着信拒否リスト変更
01)
0312345678

13 電話番号を変更します。

14 電話帳登録/セット を押します。

変更しました

15 ストップ を押します。

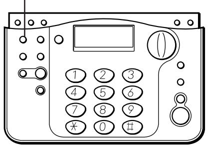
! ● **着信拒否に登録する場合、既に登録されているリストの番号の次の番号に登録されます。**

キャッチホンを利用する

キャッチホンサービス（通話中着信サービス）はNTT東日本またはNTT西日本のサービスです。通話中に別の人から電話があると、音で通知され、その電話に出ることができます。

● キャッチホンを利用するにはNTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です（有料）。

親機で利用する



1 通話中です。

2 キャッチホンの着信音「プルルー・プップッ」が聞こえます。

3 [着信データ/キャッチ] を押します。

● あとからかけてきた人と話ができます。はじめに話していた人との電話は保留になります。

もう一度はじめの人と話をする

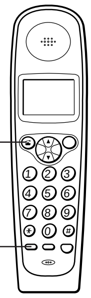
4 [着信データ/キャッチ] を押します。

● はじめに話していた人と話ができます。あとからかけてきた人との電話は保留になります。

両方の話が終わったら

5 受話器を戻します。

子機で利用する



1 通話中です。

2 キャッチホンの着信音「プルルー・プップッ」が聞こえます。

3 [キャッチ] を押します。

● あとからかけてきた人と話ができます。はじめに話していた人との電話は保留になります。

もう一度はじめの人と話をする

4 [キャッチ] を押します。

● はじめに話していた人と話ができます。あとからかけてきた人との電話は保留になります。

両方の話が終わったら

5 充電器に戻します。

（または [外線] を押します。）

● ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。

● キャッチホンが入っていないときに［着信データ／キャッチ］（親機）または［キャッチ］（子機）ボタンを押すと電話が切れてしまいます。

● **キャッチホン・ディスプレイを利用している場合…**
キャッチホンが着信すると、ディスプレイに相手の電話番号が表示されます。（→P.119）

● **通話中にキャッチホンサービスにより割り込まれた相手がファクスの場合…**「ポー・ポー・…」という音が聞こえているときに、［スタート／コピー］ボタン（子機の場合は、［内線］ボタンを押したあと［6］）を押すと、ファクスの受信が開始されます。なお、この場合は、最初に通話していた相手には電話を切ってもらうことをおすすめします。また、［スタート／コピー］ボタン（子機の場合は、［内線］ボタンを押したあと［6］）を押すタイミングによっては、ファクスを受信できない場合もあります。

Fネットを利用する（ファクシミリ通信網）

Fネットは、NTTコミュニケーションズのファクシミリ通信網のことです。遠くの相手とひんぱんに通信をする場合に経済的です。
Fネットを利用する場合は、NTTコミュニケーションズとの契約が必要です。
契約したあと以下の手順で本機の設定が必要です。

- Fネットには次のようなサービスがあります。詳しくは、NTTコミュニケーションズにお問い合わせください。
  - ・一斉同報通信
  - ・自動再送信
  - ・無鳴動自動受信
  - ・発信者電話番号などの自動記載
  - ・再コール
  - ・送達通知
  - ・不達通知
  - ・ファクシミリ案内サービス
  - ・ファクシミリボックス
  - ・短縮ダイヤル
  - ・親展通信
  - ・閉域接続
  - ・着信課金
- 契約の際は「G3サービス」、「無鳴動自動受信（1300Hz）」と指定してください。なお、ISDN回線で（ターミナルアダプタに本機を接続して）ご使用の場合は、「無鳴動自動受信（1300Hz）」は指定できません。
- Fネットに加入してファクス送信すると、相手機にIDが表示されます。ID表示は自分の電話番号の前に「81」が付いたものになります。
  例：電話番号が ０３－１２３４－５６７８のとき
  表示 「８１　３１２３４　５６７８」
- **お買い上げのとき…**「Fネットを利用しない」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、[機能]を押します。**

2 **[カナ/英 電話帳 変換]の▼を2回押します。**

リストプリント
受信設定
設定モード

3 **[電話帳登録/セット]を押します。**

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 **[カナ/英 電話帳 変換]の▼を6回押します。**

Fネット
ドアホン接続
ボイスコール

5 **[電話帳登録/セット]を押します。**

Fネット
○　×

6 **[カナ/英 電話帳 変換]の＜または＞を押してカーソルを移動します。**

○×：Fネットを利用する
○×：Fネットを利用しない

7 **[電話帳登録/セット]を押します。**

設定しました

8 **[ストップ]を押します。**

ダイヤルインサービスを利用する

ダイヤルインサービスについて

NTT東日本またはNTT西日本とダイヤルインサービスを契約(有料)することによって、1つの回線で2つ以上の電話番号を使うことができます。増えた電話番号は、登録設定によって本機専用、ファクス専用、子機専用などに使い分けて利用できます。

- **NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。(有料)**
  ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると、電話が使えなくなります。
- **お買い上げのとき…**「ダイヤルインを利用しない」に設定されています。

ダイヤルインサービスを契約するとき

契約時に次の内容をNTT東日本またはNTT西日本へ連絡してください。　窓口：１１６(無料)

- 電話番号は下4桁と指定
  「電話番号(送出番号)は下4桁」とご指定ください。下4桁を指定しないと現在お使いの電話番号が変わることがあります。また、サービスの開始日時も確認してください。
- 契約番号の指定
  電話専用番号または親機専用番号は、必ず電話を取り付けたときNTT東日本またはNTT西日本と契約した番号(契約番号)を指定してください。契約番号の指定が適切でないと、Fネットサービスやα-ALPHA5などの機能が働きません。

ダイヤルインを契約すると

- 今までお使いの電話番号が変わることがあります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスを利用できない場合があります。詳しくは、NTT東日本またはNTT西日本の窓口等へお問い合わせください。
- ダイヤルインサービスを契約すると、次のNTT東日本またはNTT西日本のサービスは利用できません。
  ・キャッチホン、トリオホン、転送電話、電話会議、トーキー案内

ナンバーディスプレイを同時に利用するときは

- ナンバー・ディスプレイを契約したときは**必ずナンバー・ディスプレイを「利用する」に設定し**(→P.26)、ダイヤルインはモデム方式を利用したモデムダイヤルインサービスをご契約ください。
- **電話帳に登録してある相手からかかってくると…**プライベートコールの設定が優先されます。かけてきた相手が望む親機または子機のベルが鳴らないことがあります。(→P.124)

ダイヤルイン利用時の注意事項

- **モデムダイヤルインではないとき…**必ず「ナンバー・ディスプレイを利用しない」に設定してください。(→P.26)お買い上げ時は「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定されています。
- **モデムダイヤルインのみを契約したとき…**必ず「ナンバー・ディスプレイを利用する」に設定してください。
- **複数の電話番号は同時に使えません…**使用する電話回線は1本です。同時に2つ以上の電話番号にかけることはできません。
- **ブランチ接続では使えません…**ダイヤルインが正しく動作しません。
- **電話用の番号にファクスが送られたとき(「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえた時)…**[スタート／コピー]ボタン(子機では[グループ／ドアホン／内線]ボタンを押してから[6])を押してください。
- **ファクス用の番号に電話がかかってきたとき…**自動的に受信動作を開始しますので通話できません。着信ベルも鳴りません。
- **停電のとき…**電話もファクスも使用できません。停電時用電話機を接続すれば、電話をかけることはできますが、受けることはできません。
- **ISDN回線を利用しているとき…**ターミナルアダプタの取扱説明書に従って設定してください。ターミナルアダプタの機種または設定によっては本機でのダイヤルインが使用できない場合があります。(→P.146)その場合は本機を「ダイヤルインを利用しない」と設定してください。(→P.133)

留守設定時の注意事項

- **電話用の番号にかかってきたとき…**留守番動作をします(用件録音、ファクス受信とも可)。(→P.73)
- **ファクス用の番号にかかってきたとき…**ベルを鳴らさずに自動的に受信します(用件録音は不可)。
- **子機用の番号にかかってきたとき…**子機もベルが鳴り、親機が用件を録音します。

ダイヤルインの利用例

ダイヤルインサービス契約と本機の登録設定の組み合わせによって、いろいろな使い分けができます。ここでは、AさんとBさんを例に、2つ以上の番号を利用する際の使用方法を説明をします。

Aさんの場合

電話とファクスを別々の番号にしたい。
電話用の番号は1つで親機／子機共通にしたい。

Bさんの場合

子機を1台増設して親機と子機2台を全て別の番号にしたい。
ファクス専用の番号は特に必要ない。

1 NTT東日本またはNTT西日本とダイヤルインサービスの契約をします。

Aさんの契約例

XXX-aaaa 契約者回線番号
（これを電話番号とします）

XXX-bbbb ダイヤルイン追加番号1
（これをファクス番号とします）

Bさんの契約例

XXX-cccc 契約者回線番号
（これを親機の番号とします）

XXX-dddd ダイヤルイン追加番号1
（これを付属の子機の番号とします）

XXX-eeee ダイヤルイン追加番号2
（これを増設した子機の番号とします）

2 サービスが始まってから、本機の登録設定をします。（→P.133）

Aさんの登録例

ダイヤルイン＝**○（利用する）**
ファクス専用＝**○（登録する）**
ファクス番号＝**bbbb**
内線番号：内線1＝**aaaa**
共通鳴動＝**○（する）**
※親機に電話がかかってきたときに、子機のベルを鳴らす

Bさんの登録例

ダイヤルイン＝**○（利用する）**
ファクス専用＝**×（登録しない）**
内線番号：内線1＝**cccc**
共通鳴動＝**×（しない）**
※親機に電話がかかってきたときに、子機のベルを鳴らさない

内線番号：内線2＝**dddd**
内線番号：内線3＝**eeee**

3 ダイヤルイン番号で電話やファクスを受けます。

●上記契約と登録を行った結果、AさんとBさんはそれぞれ下記の番号になります。

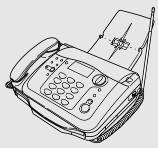
Aさん

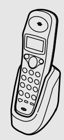
電話番号	**XXX-aaaa**
ファクス番号	**XXX-bbbb**

Bさん

親機の番号	**XXX-cccc**
付属の子機の番号	**XXX-dddd**
増設した子機の番号	**XXX-eeee**

相手は目的に合わせてダイヤルイン番号を使い分けます。





		親機	子機
ケース1	**Aさんへファクス** **XXX-bbbb** をダイヤル **※ファクスの場合は必ずこの番号へ送ってもらいます。**	ベルは鳴りません。自動的にファクスを受信します。	ベルは鳴りません。
ケース2	**Aさんへ電話** **XXX-aaaa** をダイヤル	ベルが鳴ります。	ベルが鳴ります。
ケース3	**Bさんへファクス** **XXX-cccc** をダイヤル	ベルが鳴ったあとファクスを受信します。（ファクス／電話自動切替）	ベルは鳴りません。
ケース4	**Bさんの親機へ電話** **XXX-cccc** をダイヤル	ベルが鳴ります。	ベルは鳴りません。
ケース5	**Bさんの付属の子機へ電話** **XXX-dddd** をダイヤル	ベルは鳴りません。	付属の子機のベルが鳴ります。 増設した子機は鳴りません。
ケース6	**Bさんの増設した子機へ電話** **XXX-eeee** をダイヤル	ベルは鳴りません。	付属の子機は鳴りません。 増設した子機のベルが鳴ります。

※電話がかかってきたとき、ベルの鳴っていない親機や子機でも電話に出ることができます。

ダイヤルインの登録

ダイヤルインサービスが開始されたことを確認した後、ファクス用の電話番号と電話用の電話番号の登録をします。

- サービス開始前に登録を行うと(「ダイヤルインを利用する」に設定すると)、電話がつながらなくなります。
- α-ALPHA5をご利用の場合は、ファクス用の電話番号は契約番号を登録されることをおすすめします。オンライン通信ができます(→P.94)。契約番号については、NTT東日本またはNTT西日本にお問い合わせください。

1 ダストカバーを開け、機能を押します。

2 カナ/英 電話帳 変換 の▼を3回押します。

登録モード
留守電機能
ナンバーディスプレイ

3 電話帳登録/セット を押します。

自分の電話番号
発信元
おやすみタイマ切替

4 カナ/英 電話帳 変換 の▼を5回押します。

リモート操作
用件転送
ダイヤルイン

5 電話帳登録/セット を押します。

ダイヤルイン
○ ×̲

6 カナ/英 電話帳 変換 の<または>を押してカーソルを移動します。

○̲×:ダイヤルインを利用する
○×̲:ダイヤルインを利用しない
- 「利用しない」にしたときは手順17へ進んでください。

7 電話帳登録/セット を押します。

ファクス専用
○̲ ×

8 カナ/英 電話帳 変換 の<または>を押してカーソルを移動します。

○̲×:ファクス専用番号を登録する
○×̲:ファクス専用番号を登録しない
- 「登録しない」にしたときは手順11へ進んでください。

9 電話帳登録/セット を押します。

ファクス番号入力
_

10 ファクス用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。

11 電話帳登録/セット を押します。
- 「内線1」は親機です。

内線番号入力
内線1 = _

12 親機に対して電話用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。
- ご契約時の電話番号を入力してください。

13 電話帳登録/セット を押します。

共通鳴動
○ ×̲

14 カナ/英 電話帳 変換 の<または>を押してカーソルを移動します。

○̲×: 共通鳴動する
(親機に電話がかかってきた場合、子機のベルを鳴らす)
○×̲: 共通鳴動しない
(親機に電話がかかってきた場合、子機のベルを鳴らさない)

15 電話帳登録/セット を押します。
- 「内線2」は子機です。

内線番号入力
内線2 = _

16 子機に対して電話用の電話番号(局番なしの下4桁)を入力します。

17 電話帳登録/セット を押します。
- 増設子機使用時は次の子機の電話番号登録の表示になります。手順16から登録を続けられます。

設定しました

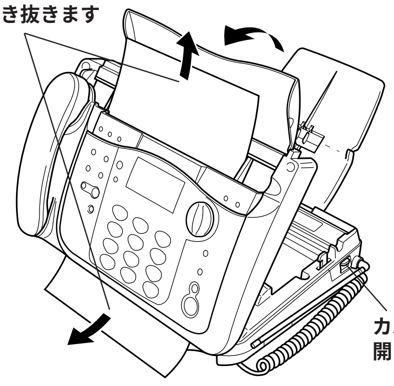
18 ストップ を押します。

? ● **電話番号を変更したいとき…**同じ手順で登録しなおしてください。

? 原稿がつまったとき

コピーやファクス送信中に原稿がつまったら、「原稿確認」の表示が出ます。

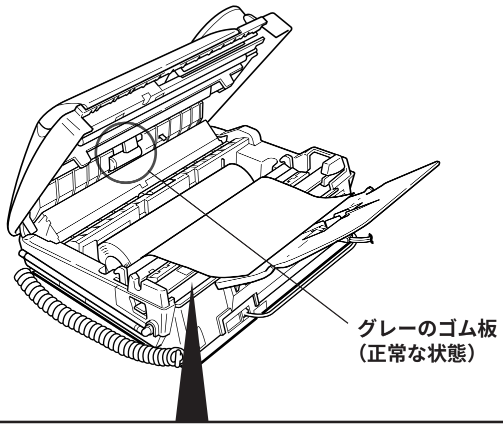
1 **カバー開レバーを下に押してカバーを開けます。**



2 **原稿を取り除きます。**

3 **原稿を、セットする側から取り除いたときは、内部のグレーのゴム板の状態を確認します。**

● 原稿を排出する側から抜いたときは手順4へ進んでください。

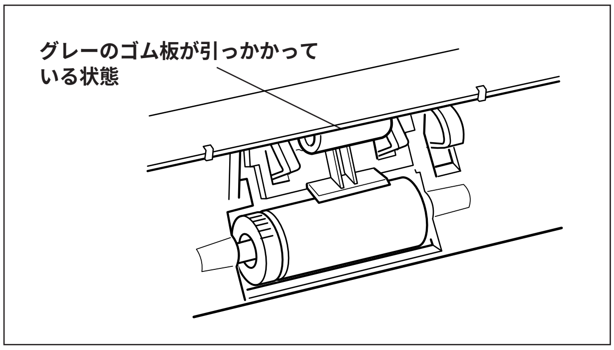


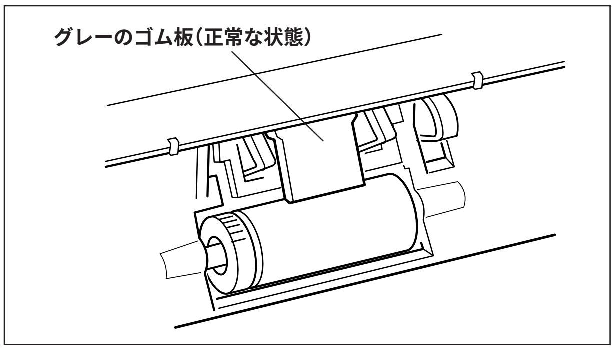
⚠注意

● 手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。

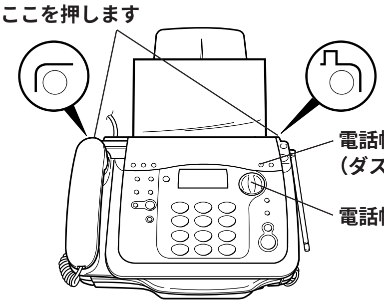
● サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

● 図のように引っかかっていたら、グレーのゴム板に指を引っかけて戻してください。





4 **記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。**



5 

の＜または＞を押して記録紙のサイズを選びます。

記録紙は？ B4＜　A4

(B4を選択したときの表示)

6 

を押します。

● 約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

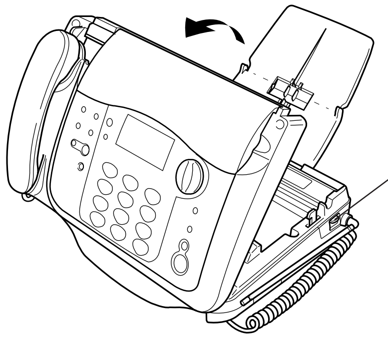
記録紙サイズ B4にしました
▼
しばらくお待ち下さい

? ● **「原稿確認」と「ローラを清掃して下さい」が交互に表示されたとき…** P.148を参照の上、ローラを清掃してください。

? 記録紙がつまったとき

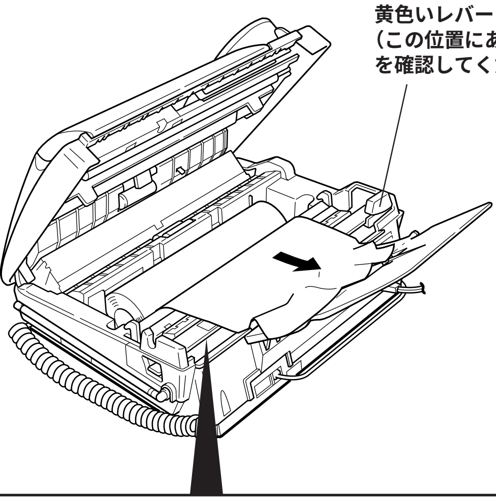
コピーやファクス送信中に記録紙がつまったら、「カバー／記録紙確認」の表示が出ます。

1 カバー開レバーを下に押してカバーを開けます。



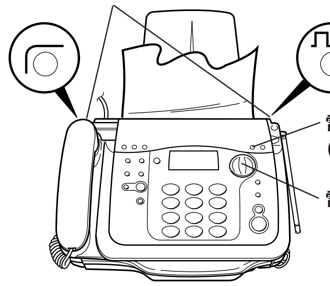
2 記録紙を引き出します。

● 記録紙のしわになった部分から、10cmくらい長く引き出します。
● 黄色いレバーが図の位置にないときは、手で押して図の位置に戻してください。レバーが正しい位置にない状態でカバーを閉めると、記録紙づまりの原因となります。



⚠注意
● 手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。
● サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

3 記録紙をはさむようにしてカバーを閉めます。



4 (カナ/英 ＜電話帳＞ 変換) の＜または＞を押して記録紙のサイズを選びます。

記録紙は？ B4＜　A4

(B4を選択したときの表示)

5 (電話帳登録/セット) を押します。

● 約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

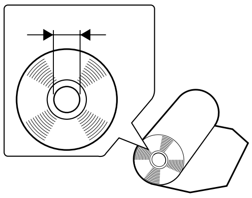
記録紙サイズ B4にしました

▼

しばらくお待ち下さい

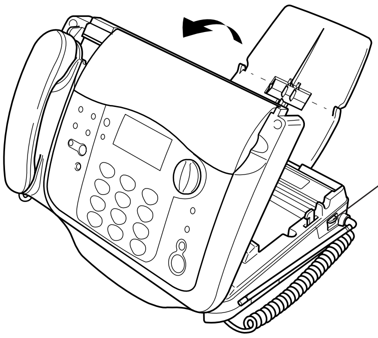
? 記録紙を交換するとき

記録紙は巻き芯内径が1インチ(25.4mm)のものを使用してください。



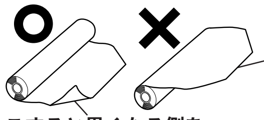
記録紙が無くなると「カバー／記録紙確認」の表示が出ます。

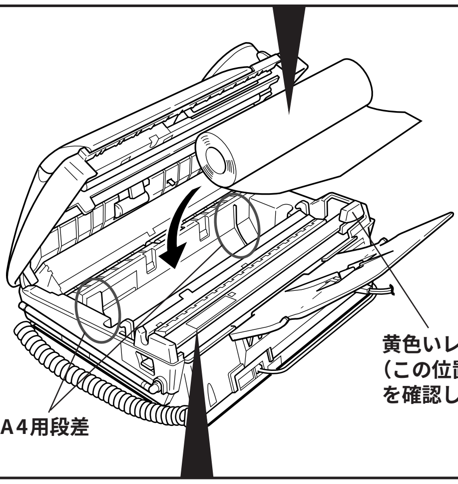
1 カバー開レバーを下に押してカバーを開けます。



2 古い記録紙の芯を取り出してから、新しい記録紙を入れます。

● A4サイズのときは段差の中に入れてください。

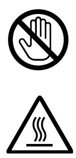




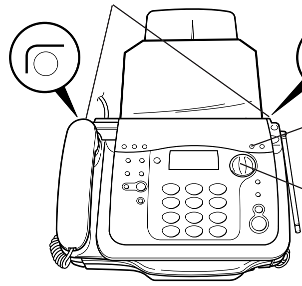
⚠注意

● 手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。

● サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。



3 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。



4 (カナ/英 ＜電話帳＞ 変換) の＜または＞を押して記録紙のサイズを選びます。

記録紙は？
B4＜　A4

(B4を選択したときの表示)

5 (電話帳登録/セット) を押します。

● 約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

記録紙サイズ
B4にしました

▼

しばらくお待ち下さい

! ● セットした記録紙サイズと設定値によって、受信した原稿は次のようにプリントされます。

記録紙サイズ	設定値	受信した原稿	
		A4	B4
A4	A4	A4幅	A4に縮小
	B4	A4幅*	A4幅原寸*
B4	A4	A4幅	A4に縮小
	B4	A4幅	B4幅原寸

*はみ出した部分はプリントされません。

● 記録紙の購入については、P.154をご覧ください。

？ メモリ受信したファクスがプリントされないとき

記録紙がないときなどにファクスが送られてくるとメモリ代行受信になり、受信文書はメモリに記憶されます。メモリ内にB4サイズの受信文書が記憶されているときに、A4の記録紙をセットしてもその文書はプリントされません。
- そのような場合はB4の記録紙をセットしてください。
- B4の記録紙がない場合は、以下の手順でプリントできます。（この場合、記録紙からはみ出した部分はプリントされません。）

「B4記録紙入れて下さい」の表示が出ます。

1 カバーを一旦開けて、閉めます。

● カバーを開けて記録紙を引き出してからカバーを閉めます。

2  **の＜または＞を押して記録紙のサイズB4を選びます。**

記録紙は？ B4＜　A4

（B4を選択したときの表示）

3 ダストカバーを開け、  **を押します。**

● 約5秒後、自動的に記録紙がカットされたあと、メモリ内の文書がプリントされます。

記録紙サイズ B4にしました

▼

しばらくお待ち下さい

▼

プリント中

!
- ●メモリ内の受信文書をプリントしたら、もう一度カバーを開け、記録紙を引き出してからカバーを閉め、記録紙サイズを「A4」に設定しなおしてください。
- ●メモリ内の受信文書は消すことができません。必ずプリントしてください。プリントすると、メモリから消去されます。

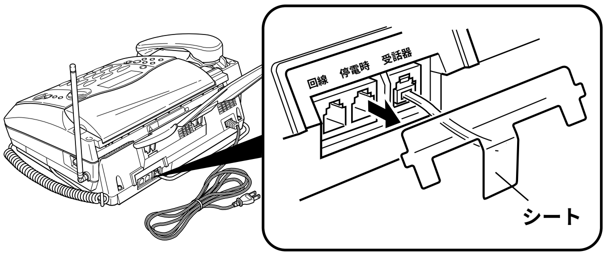
? 停電したとき

停電したときや電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機、子機ともに使用できません。
停電時は本機に停電時用電話機を接続すれば、電話をかける／受けることができます（停電対応できる電話機<コードレスタイプでないなど>の場合）。

停電時用電話機の接続

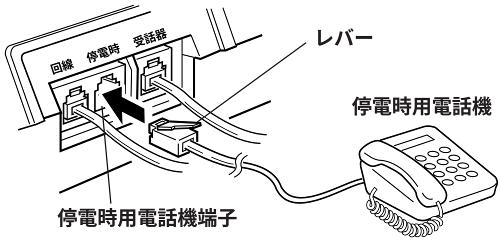
● 停電時でも使用可能な電話機を停電時用電話機端子に接続してご使用ください。
● 停電が復旧したら停電時用電話機は必ずとりはずしてください。誤動作の原因となります。
● ダイヤルインサービスをご利用の場合、停電時用電話機は使用できません。

1 停電時用電話機端子のシートをはずします。



2 接続する電話機の電話回線接続コードを本機背面の停電時用電話機端子に接続します。

● カチッと音がするまで差し込んでください。
（抜くときはレバーを押さえて引き抜きます。）



3 電話機の回線種別を設定します。

● ダイヤル回線（10pps、20pps）、プッシュ回線の設定です。詳しくは、その電話機の説明書をご覧ください。

停電時、消えてしまう情報と消えない情報があります。

消えてしまう情報	・おまかせ送信時のメモリに記憶されている文書（→P.64） ・ハンドスキャナ送信時のメモリに記憶されている文書（→P.88） ・リダイヤルに記憶されている電話番号（→P.34） ・時計のデータ（停電が36時間以上続いたとき）（→P.24、P.27） ・ナンバー・ディスプレイ利用時の着信データ（→P.120） ・（送信前の）α-Eメールの送信文書（→P.105）
消えない情報	・メモリ代行受信文書（→P.67） ・メモリ受信文書（おやすみモード設定時に受信した文書）（→P.82） ・留守番電話に録音した応答メッセージ（→P.76） ・留守番電話に録音された用件（→P.75） ・通話録音した内容（→P.53） ・登録した電話番号や各種の設定値 ・α-Eメールの受信文書（→P.109） ・α-MAILの受信文書（→P.100）

停電が復旧すると

● 停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。消えてしまった情報があるときは、停電が復旧した時にメモリクリアレポートが自動的に出力されます。
● 停電が36時間以上続いたときは、時計が初期化されます（1999年1月1日0時0分になります）。この場合は、時刻セット（→P.27）を行ってください。
● α-ALPHA5ランプ（→P.95）緑点灯時に停電が36時間以上続いたときは、電源復旧後1分後に本機が自動的にDDIに電話をかけ、その後データ送信が行われ使用可能となります。

メモリクリアレポートのプリント例

メモリクリア　　レポート

NEC

以下の内容が、停電により　クリアされました。

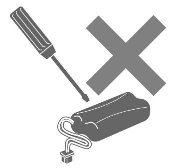
メモリ　送信文書

受け付け日時	通信　時間	相手先	モード	枚数	通信結果
10月 1日 18時48分	00秒	0120200940	ECM	18	停電

? 電池を交換するとき（子機）

⚠警告

- 電池パックのビニールカバー（チューブ）ははがさないでください。
- 電池パックは、水や火の中に入れたり、加熱や分解をしたりしないでください。
- 電池パックのコードはショートさせないように注意してください。
- 指定以外の電池パックを使用しないでください。
- 電池パックから液もれしたり異臭がしたりするときは、ただちに火気より遠ざけてください。
- 万一、電池パックが液もれして、液が目に入ったときは、こすらずにすぐにきれいな水でよく洗ったのち、ただちに医師の治療を受けてください。目に障害を与える恐れがあります。また、もれた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し使用を中止してください。

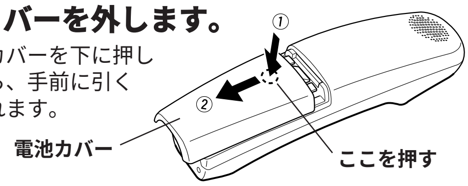


充電しても通話中にすぐに電池がなくなり、通話できないようになったら、新しい電池パックと交換してください。

- 電池パックの寿命は通常の使用で約2年です。
- 電池パックを交換しても電話帳に登録した電話番号は消去されません。
- **ご注意**
  電池パックを入れていない状態で、子機を充電器に置かないでください。

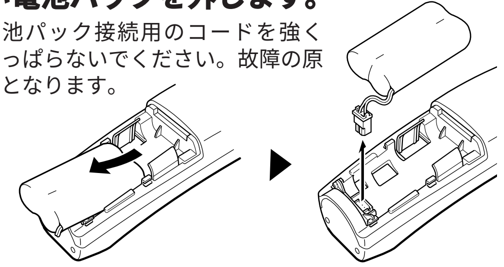
1 電池カバーを外します。

- 電池カバーを下に押しながら、手前に引くと外れます。

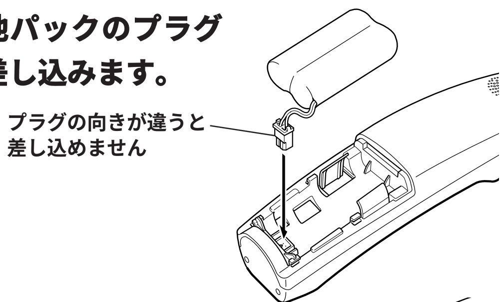


2 古い電池パックを外します。

- 電池パック接続用のコードを強く引っぱらないでください。故障の原因となります。

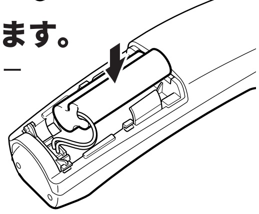


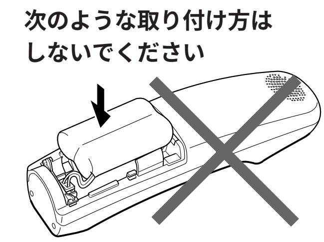
3 電池パックのプラグを差し込みます。



4 電池パックを取り付けます。

- 電池パックのビニールカバーは、はがさないでください。
- 電池パックを図のように斜めに差し込み、上から押して取り付けてください。



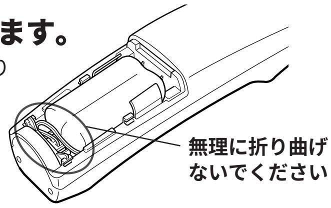


⚠注意

- **電池パックを上から無理に押し込まないでください。取り付け先のツメが壊れる原因となります。**

5 コードを収納します。

- コードを無理に折り曲げないように注意してください。

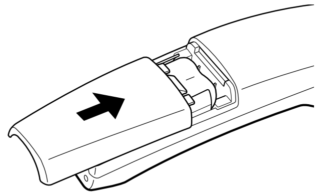


⚠注意

- **コードをきちんと収納してから電池カバーを取り付けてください。コードをはさんだまま電池カバーを取り付けるとコードが傷つき、断線・故障の原因となります。**
- **電池パックの取り付けは充電器に置いたままでは行わないでください。故障の原因となります。**

6 電池カバーを取り付けます。

- 電池カバーを子機の溝に合わせて奥に押し込み、取り付けてください。



⚠注意

- **電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないようにしてください。断線・故障の原因となります。**

子機の電池パックについて

- 電池パックは、必ず本機専用のもの（SP-N1）をお使いください。（→P.154）
- 電池パックの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 新しい電池パックは充電されていません。電池パックを交換したら、子機を充電器に置いて、9時間以上充電してください。
- 電池パックにはニカド電池を使用しています。ニカド電池は貴重な資源です。交換した電池パックはもちろん、本機を廃棄する際には電池パックを取り出し、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニカド電池リサイクル協力店」へお持ちください。

Ni-Cd

電池仕様：SP-N1、2.4V、600mAh、NEC

エラーコードが表示されたとき

ファクスの送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに「通信異常　××」と表示されたり、不達レポートに「××」とプリントされます。「××」はエラーコードで、その内容と対処方法を示します。

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
00	原稿が正しくセットされていないため、送信できませんでした。原稿を正しくセットして、もう一度送りなおしてください。	P.59
40	記録紙がなくなりました。記録紙を入れてください。	P.136
41	記録紙がつまりました。取り除いてください。	P.135
46	原稿がつまりました。セットしなおしてください。	P.134
47	カバーが開いています。カバーを閉めてください。	P.134
71	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。	–
74, 75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送りなおしてください。	–
77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手機の記録紙がなくなった、もしくは、記録紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	–
92, 97, 98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	–

● 70番以降のコードは、電話回線または相手機種関係の異常の場合です。再度送信してみてください。
● 上記以外のエラーコードについては、NECサービスステーションにお問い合わせください。(→P.155)

? 設定・登録内容を確認するとき

親機の電話帳の登録内容(電話番号リスト)、親機の着信データ(着信データリスト)、本機の設定状態(システムリスト)をプリントして確認することができます。

●電話番号リストをプリントするとき
- 登録されている相手先名がプリントされます。(プリントされる順番は、読み仮名で、空白+文字→数字→カナ(50音順)→アルファベット→記号→名前を登録していない電話番号の順です。)
- 電話番号リストは1ページに50件までプリントされます。51件以降は2ページ目以降にプリントされます。
- α-DIAL(→P.102)によってTalkin'ダイヤルと公共施設の電話番号を登録した場合、それもプリントされます。
- 子機の電話帳の登録内容はプリントできません。

●着信データをプリントするとき
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用していないときは、着信データは記憶されません。
- 子機に記憶された着信データはプリントできません。

1 ダストカバーを開け、機能 を押します。

リストプリント
受信設定
設定モード

2 電話帳登録/セット を押します。

電話番号リスト
着信データリスト
システムリスト

3 カナ/英 < 電話帳 > 変換 の▼を押してプリントするリストを選択します。

電話番号リスト
着信データリスト
システムリスト

▼

電話番号リスト
着信データリスト
システムリスト

▼

電話番号リスト
着信データリスト
システムリスト

4 電話帳登録/セット を押します。
- 選択したリストのプリントが開始されます。

レポートプリント中

?
- **電話帳に登録されていない場合…**ディスプレイに「電話番号が登録されていません」と表示され、プリントされません。
- **着信データが記憶されていない場合…**ディスプレイに「データはありません」と表示され、プリントされません。
- **途中でプリントをやめるとき…**[ストップ]ボタンを押してください。

リストプリント例

●電話番号リスト

（注）本リストはナンバー・ディスプレイ契約時の一例です。

電話番号　リスト（1）
１９９９年１０月　１日　１２時１０分
NEC

相手先	電話　番号	着信鳴り分け	プライベートコール
伊藤	０３１２３４５６７８	アイネ　クライネ　ナハト　ムジーク	内線２（子機）
加藤	０３８７６５４３２１	ベル（標準）	全て
佐藤	０６３３３３４４４４	アイネ　クライネ　ナハト　ムジーク	内線１（親機）
田中	０６５５５５６６６６	ベル（鳴り分け）	全て
山本	０３７７７７８８８８	ベル（標準）	全て
和田	０４５１１１２２２２	ベル（標準）	全て

●着信データリスト

着信データ　リスト
１９９９年１０月　１日　１７時３０分
NEC

No.	着信時刻	着信データ	相手先
1	9月30日　0時57分	0312345678	日本電気
2	9月30日　0時39分	非通知	
3	9月30日　0時15分	公衆電話	
4	9月28日 15時35分	表示圏外	
20	9月15日　12時36分	受信エラー	

●システムリスト

システム　リスト
１９９９年１０月　１日　１２時１０分
NEC

項　目	内　　容
記録紙サイズ	Ａ４
無鳴動着信	しない
音声メッセージ	流さない
着信ベル回数	６　回
呼出ベル回数	１０　回
ファクス専用	しない
ベル音・メロディ	アイネ　クライネ　ナハト　ムジーク
読み取り濃度	薄く
発信元記録	する
海外通信	しない
ファクスかんたん受信	する
保留メロディ	茶色の小瓶
回線種別	ＤＰ２０
Ｆネット	しない
ドアホン１ ドアホン２	なし なし
ボイスコール	する
子機の受話音量	大きい
子機の送話音量	標準
省エネルギー	する
自分の電話番号	０１２０２００９４０
発信元	ＮＥＣ
おやすみ　オン　時刻 おやすみ　オフ　時刻	２２：５９ ５：５８
リモート操作	する リモートパスワード　＝　００００
用件転送 転送先	する ０３１２３４５６７８
ダイヤルイン	する 内線指定番号（ファクス）＝　１２３４ 内線指定番号（内線１）　＝　５６７８ 共通鳴動　＝　する 内線指定番号（内線２）　＝　９０１２ 内線指定番号（内線３）　＝ 内線指定番号（内線４）　＝ 内線指定番号（内線５）　＝
トールセイバ	しない
ナンバーディスプレイ とくていコール 番号リクエスト 着信拒否 応答メッセージ選択 キャッチホン	する する しない する する しない
アルファ設定 自分の電話番号 郵便番号 アルファＳＷ 料金表示	 ０３４５６７８９０１ １０８－８００１ しない する　親機
内線２ 内線３ 内線４ 内線５	あり なし なし なし
ハンドスキャナ 読み取り記録幅 メロディハンドスキャナ	 Ｂ４　－－　Ｂ４ する

? ドアホンを使うとき

本機をドアホンと接続して、ドアホンと通話したり、ドアホンをモニタすることができます。

- ドアホンは2台まで接続できますが、2台と同時に通話することはできません。
- ドアホンの呼出音はドアホン１と２で異なります。
  - ・親機の場合
    ドアホン1：ピーンポーン、ピーンポーン
    ドアホン2：ピンポンピンポーン、ピンポンピンポーン
  - ・子機の場合
    ドアホン1：「ピポピポピポピ」が3回
    ドアホン2：「ピポピポピポピポピポピポピポピ」が3回
- 親機または子機からドアホンを呼び出すことはできません。
- ドアホンを接続するには、ドアホン線と電話回線の接続工事が必要です。接続工事には工事担任者資格が必要です。接続できるドアホンの種類と接続工事については、お近くのNECサービスステーションにご相談ください（→P.155）。（ドアホンとドアホンユニットをNTT東日本またはNTT西日本よりご購入していただく必要があります。）
- **お買い上げのとき…**「ドアホン接続なし」に設定されています。ご使用の際は必ず以下の操作で設定をしてください。

ドアホン接続の設定

ドアホンを利用するために、接続工事終了後、次の設定をします。

1 **ダストカバーを開け、機能 を押します。**

2 **カナ/英 電話帳 変換 の▼を2回押します。**

リストプリント
受信設定
設定モード

3 **電話帳登録/セット を押します。**

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 **カナ/英 電話帳 変換 の▼を7回押します。**

Ｆネット
ドアホン接続
ボイスコール

5 **電話帳登録/セット を押します。**

- それまでのドアホン接続状態が表示されます。

ドアホン接続
ドアホン接続なし
<>で選択

6 **カナ/英 電話帳 変換 の<または>を押して接続状態を選びます。**

ドアホン1接続	：ドアホン1接続のとき
ドアホン2接続	：ドアホン2接続のとき
ドアホン1＆2接続	：ドアホン1、2接続のとき
ドアホン接続なし	：ドアホン未接続のとき

7 **電話帳登録/セット を押します。**

設定しました

8 **ストップ を押します。**

ドアホンから呼び出しがあったとき

親機で応答する場合

1 **ドアホンの呼出音が鳴ります。** ドアホン1着信中

● [おやすみ]ボタンが約20秒間点滅します。

2 **受話器をとります。** ドアホン1と通話中

● [おやすみ]ボタンが点滅している間にとってください。

3 **ドアホンと話をします。**

4 **話が終わったら受話器を戻します。**

子機で応答する場合

1 **ドアホンの呼出音が鳴ります。** ﾄﾞｱﾎﾝ　着信

● [グループ／ドアホン／内線]ボタンが約20秒間点滅します。

2 **充電器からとります。** ﾄﾞｱﾎﾝ
(充電器に置いていないときは グループ/ドアホン/内線 を押します。)

● [グループ／ドアホン／内線]ボタンが点滅している間にとってください。

3 **ドアホンと話をします。**

4 **話が終わったら充電器に戻します。**
(または グループ/ドアホン/内線 を押します。)

!

- **ワイワイトークでドアホンと通話することはできません。**
- **ドアホン通話を[保留／クリア]ボタンを押して保留することはできません。**
- **ドアホン通話を転送することはできません。**
- **ドアホン通話中は内線通話はできません。**
- **ファクス通信中にはドアホンからの呼び出しに応答できません。**
- **留守設定中やおやすみモード中でもドアホンの呼出音が鳴ります。**
- **ドアホンの呼出音が鳴ってから20秒経つと、呼び出しに応答できません。**
- **ドアホン通話中に外線のベルが鳴ったら、ドアホンとの通話を終了してから外線に出てください。ただし、ダイヤルインサービスをご利用の場合は、ドアホンと通話中には外線を受けられません。**
- **親機のドアホンの呼出音の大きさは、ベル音量(→P.55)の設定に従います(ただし、「切」でも呼出音は鳴ります)。なお、おやすみモード中では、音量は「小」で鳴ります。子機は普通の音量で鳴ります。**

?

- **受話音量を調整したいとき…**[音量]ボタンを押してください。

通話中にドアホンから呼び出しがあったとき

外線通話中でも、ドアホンの呼び出しに応答することができます。
子機で外線通話中のときは、ドアホンの呼び出し音が受話口から聞こえます。

親機で応答する場合

外線通話中です。

1 ドアホンの呼出音が鳴ります。

● [おやすみ]ボタンが点滅します。

2 [内線/ドアホン] を押します。

ドアホン1と通話中♪

● 通話中の外線が保留になります。

3 ドアホンと話をします。

4 話が終わったら [内線/ドアホン] を押します。

● 保留していた外線と通話できます。

子機で応答する場合

外線通話中です。

1 ドアホンの呼出音が受話口から聞こえます。

ﾄﾞｱﾎﾝ　着信

● [グループ／ドアホン／内線]ボタンが点滅します。

2 [グループ/ドアホン/内線] を押します。

0 '45
ﾄﾞｱﾎﾝ

● 通話中の外線が保留になります。
● [外線]ボタンが点滅します。

3 ドアホンと話をします。

4 話が終わったら [グループ/ドアホン/内線] を押します。

● 保留していた外線と通話できます。

● 子機で外線通話中にドアホンの呼び出しがあった場合、親機の呼び出し音も鳴りますが、親機でドアホンに応答することはできません。

● 親機で外線通話中にドアホンの呼び出しがあった場合、子機呼び出し音は鳴りません。

● 内線通話中にドアホンから呼び出しがあったとき…
内線通話を切ってからドアホンに応答してください。内線通話を保留してドアホンに応答することはできません。

ドアホンでモニタする

ドアホン周辺の音を聞いたり、外の人と話をしたりできます。
子機ではモニタすることはできません。

1 次のボタンを押します。

ドアホン1： [内線/ドアホン] [8 や TUV]
ドアホン2： [内線/ドアホン] [9 ら WXYZ]

2 受話器をとってドアホン周辺の音を聞きます。

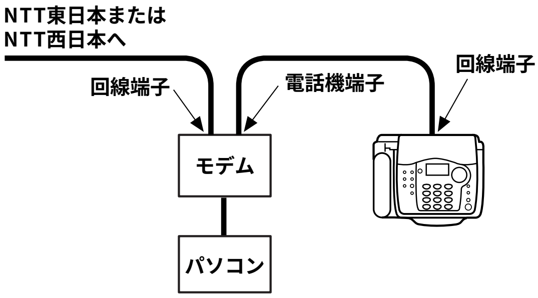
● 外の人と話をすることもできます。

3 受話器を戻します。

? いろいろな機器を接続するとき

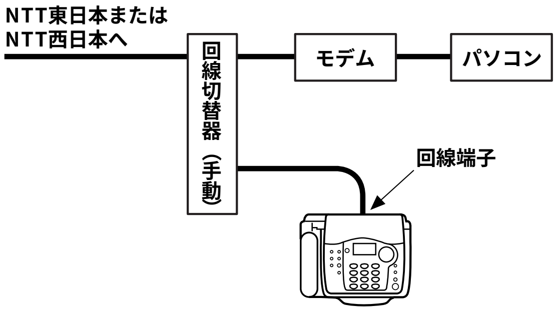
パソコンやモデムとの接続

モデムやモデム内蔵のパソコンで電話を受けるようにするときは、モデムの電話機端子に本機を接続します。このときモデムやモデム内蔵のパソコン側の設定を、ファクス／電話自動切替する（自動的に回線を接続する）前に着信するようにしてください。
モデムやモデム内蔵のパソコンの接続方法や設定方法の詳細については各々の説明書を参照してください。



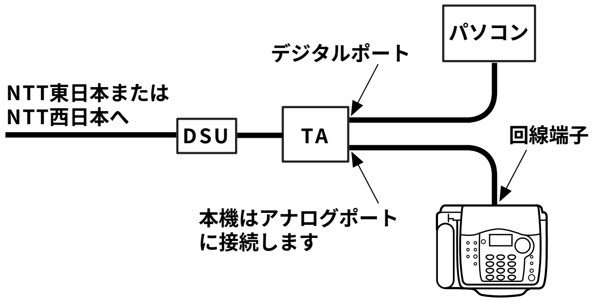
- モデムやモデム内蔵のパソコンと接続した場合、回線種別は手動で設定してください。（→P.27）
- モデムやモデム内蔵のパソコンで通信中は、本機を使用できません。
- 通話中やファクスの通信中にモデムやモデム内蔵のパソコンを操作すると、通話やファクスがただちに切断されます。本機が使用中でないことを確認してから、モデムなどを操作してください。

<参考：回線切替器を利用する場合>



ISDNターミナルアダプタ（TA）との接続

インターネットやパソコン通信にNTT東日本またはNTT西日本のISDN回線（INSネット64）を利用する場合は、ISDNターミナルアダプタ（以下TA）を用いて本機とパソコンの両方を接続することができます。
ISDN回線を利用するには、NTT東日本またはNTT西日本へ申し込みが必要です。



- ナンバー・ディスプレイを利用するときは、ナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用してください。
- TAとISDN回線間の接続には、デジタルサービスユニット（DSU）が必要です。あらかじめご用意ください。なお、TAによっては、DSUが内蔵されている機種もあります。詳しくはTAの説明書をご覧ください。
- 本機の回線種別はプッシュ回線（PB）に設定してください。（→P.27）
- 電話番号の前に0077などの番号を付けてかける場合、ターミナルアダプタの設定（桁間タイマ等）によっては電話がかけられない場合があります。
- ダイヤルインサービスをご利用の場合、TAの取扱説明書に従って設定してください。TAの機種または設定によっては本機でのダイヤルインが使用できない場合があります。その時は本機を「ダイヤルインを利用しない」と設定してください。（→P.133）

? 省エネルギーモードで使うとき

待機時（使用していない状態）の消費電力を少なくすることができます。

- 省エネルギーモードにすると、待機時の消費電力を約80%節約できます。（→P.157）
- **お買い上げのとき…**「省エネルギーモードにする」に設定されています。

1 **ダストカバーを開け、機能 を押します。**

2 カナ/英 電話帳 変換 **の▼を2回押します。**

リストプリント
受信設定
設定モード

3 電話帳登録/セット **を押します。**

読み取り濃度
発信元記録
海外通信

4 カナ/英 電話帳 変換 **の▼を11回押します。**

子機の受話音量
子機の送話音量
省エネルギー

5 電話帳登録/セット **を押します。**

省エネルギー
○　×

6 カナ/英 電話帳 変換 **の＜または＞を押してカーソルを移動します。**

○×：省エネルギーモードにする
○×：省エネルギーモードにしない

7 電話帳登録/セット **を押します。**

設定しました

8 ストップ **を押します。**

! ●**「Fネットを利用する」に設定した場合は、「省エネルギーモードにする」に設定しても省エネルギー機能は働きません。****（→P.130）**

お手入れのしかた

本体の清掃

装置表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤にひたした布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。
水拭きをする場合は布を固く絞ってから拭いてください。

● ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは、絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

ハンドスキャナの清掃

原稿を読み取る部分のガラス面が汚れると、コピーや相手の記録画に汚れが出てしまいます。原稿読み取り面は、定期的に（月に1回程度）清掃し、いつもきれいにしておいてください。

1 ハンドスキャナを外します。

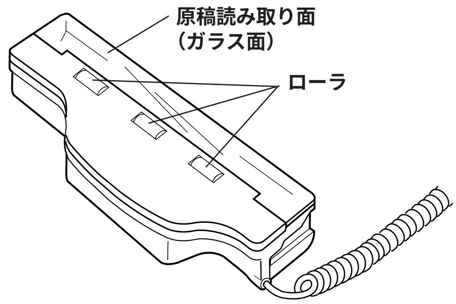
● 矢印の方向に引き抜きます。



2 ガラス面を柔らかい布で拭きます。

3 ローラを拭きます。

● 水にひたした布を固く絞って拭いてください。



4 ハンドスキャナを戻します。

● 原稿読み取り面を上に向けて本体に押し込みます。

ローラの清掃

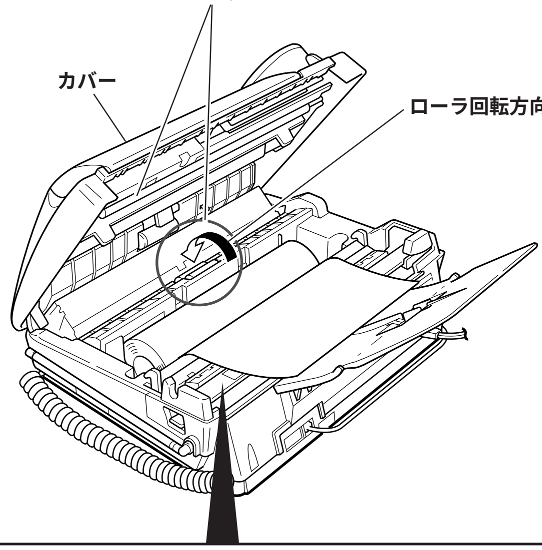
ローラが汚れると原稿づまりや記録異常の原因となります。ハンドスキャナの清掃といっしょにローラも清掃してください。

1 電源プラグを抜きます。

2 カバー開レバーを下に押してカバーを開けます。（→P.134）

3 ローラを拭きます。

● 水にひたした布を固く絞り、ローラを手で回しながら、ローラの表面全体を拭いてください。



⚠注意

● 手を触れないようにご注意ください。けがをする場合があります。
● サーマルヘッド周辺は高温になっている場合があります。手を触れないようにご注意ください。やけどをする場合があります。

4 電源プラグを差し込みます。

5 記録紙の先端を10cmくらい引き出し、はさむようにしてカバーを閉めます。（→P.134）

6 ダストカバーを開け、電話帳登録/セット を押します。

● 約5秒後、自動的に記録紙がカットされます。

? 困ったときは（Q＆A）

	こんなときは	内　容	参照ページ
待機中	ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？	P.23
	「カバー／記録紙確認」と表示が出た	・カバーが開いています。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	 P.135, 136
電話（親機／子機）	受話器から何も聞こえない	・電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ ・電話回線が接続されていますか？ ・受話器のコードは接続されていますか？	P.23 P.25 P.21
	電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？ ・ターミナルアダプタを使用していませんか？	P.27 P.146
	電話をかけることはできるが、受けることができない	・ナンバー・ディスプレイの設定を「利用しない」にしてください。 ・ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルインの設定をしている場合は、ダイヤルインの設定を「しない」にしてください。	P.26 P.133
	ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ ・おやすみモードになっていませんか？	P.55 P.82
	ベルの音が小さい（大きい）	・ベルの音量を調整してください。	P.55
	ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手がファクスかもしれません。［スタート／コピー］ボタン（子機では［グループ／ドアホン／内線］ボタンを押したあと［6］）を押してみてください。	P.31
	相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。	P.55
	ワイワイトークで相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。 ・装置の左側面のスピーカがふさがっていませんか？	P.55 P.14
	ワイワイトーク中に「ピー」、「キー」等の異常音（ハウリング音）が聞こえた	・P.45をご覧ください。	–
	［おやすみ］ボタンが点滅する	・電話がかかってくると、［おやすみ］ボタンは点滅します。故障ではありません。	P.33
	トーン（プッシュ）信号の送出のしかたは？	・P.35をご覧ください。	–
	着信ベル／呼出ベルの意味がわからない	・P.31をご覧ください。	–
	公衆電話で電話をかけた相手から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・P.31をご覧ください。	–
	電話をかけた時、相手に自分の電話番号が表示されるのか？	・相手がNTT東日本またはNTT西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 ・ファクス送信のときは、お客様が自分の電話番号を登録していたら、その番号が相手機に表示されます。	P.19 P.28
	海外に電話をかけるとき、ダイヤルボタンを押してダイヤルした時はつながるが、電話帳ではつながらない	・P.36をご覧ください。	–
	親機から子機を呼び出せない 親機に「電波使用中」と表示が出た 親機に「子機応答ありません」と表示が出た	・子機を親機に近づけてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 ・近くで別のコードレス電話機を使用していませんか？ ・子機の電池残量を確認してください。	P.7
電話（子機）	電話がかけられない（「ツー」という音が聞こえない）	・親機の電源プラグは電源コンセントに差し込んでありますか？ ・子機は充電されていますか？ ・電話回線が接続されていますか？ ・親機から離れすぎています。親機に近づいてください。	P.23 P.22 P.25 P.7
	電話をかけようとしたら「ピー・ピー・ピー」という音がした	・親機が通話中、またはファクスの送信／受信、コピーをしていませんか？	P.32
	ベル（呼出音）が鳴らない	・ベルの音量調整が「OFF」になっていませんか？ ・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・子機は充電されていますか？ ・おやすみモードになっていませんか？	P.55 P.7 P.22 P.82
	相手の声が聞き取りにくい	・音量調整をしてください。 ・いつも聞き取りにくいときは、受話音量を全体的に大きく設定してください。	P.55 P.58

	こんなときは	内　　容	参照ページ
電話(子機)	相手からこちらの声が聞き取りにくいと言われる	・送話音量を全体的に大きく設定してください。	P.58
	通話中に声がとぎれたり雑音が入る	・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 ・蛍光灯が近くにあったら離してみてください。 ・子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してみてください。	P.7
	通話中に「ピッピッピッピッピッピッピッピッ」という音が鳴り出した	・電池の充電残量が少なくなっています。充電をしてください。	P.22
	通話中にすぐに電池がなくなる	・電池パックを交換してください。	P.139
	充電器に置いたとき、[外線]ボタンと[内線]ボタンが点灯しない	・充電器に正しく置いてください。	P.22
	他のファクシミリの子機をspeax55CLの子機として使えるのか?	・使えません。子機を増設する場合は指定の増設コードレス電話機セットをお買い求めください。	P.154
	増設子機が使えない	・増設子機に対する識別番号(IDコード)の登録が必要です。お買い求めの販売店にご相談ください。	P.25
ファクス(コピー)	コピーが白紙になる	・コピーする面を下に向けて原稿をセットしましたか? ・記録紙の向き(表裏)は正しくセットされていますか?	P.59 P.136
	コピー中に「ピー」という音が鳴り続けた	・[ストップ]ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・原稿がつまっています。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	 P.134 P.135, 136
	コピーがかすれた コピーがうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度コピーをとってください。	P.61
	コピーが鮮明でない	・原稿読み取り面を清掃してください。 ・当社推奨の記録紙を使用してください。	P.148 P.154
ファクス(送信)	原稿をセットしたのに「原稿がありません」の表示が出た 原稿が送り込まれていかない	・原稿が自動的に引き込まれるまで軽く差し込んでください。 ・原稿が厚すぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。) ・原稿が薄すぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。) ・原稿が小さすぎます。(ハンドスキャナを使って送信してください。) ・装置カバーの内側にあるグレーのゴム板が原稿セット台に引っかかっていないか確認してください。引っかかっていたら戻してください。 ・ローラを清掃してください。	P.59 P.88 P.134 P.148
	原稿が斜めに入った	・原稿を取り除き、もう一度やりなおしてください。 ・原稿セットガイドを原稿の幅に合わせてください。 ・ローラを清掃してください。	P.59 P.148
	原稿の読み取り中に「ピー」という音がして止まってしまい、「原稿確認」と「ローラを清掃して下さい」という表示が交互に出た	・原稿を取り除き、もう一度やりなおしてください。 ・ローラを清掃してください。	P.59 P.148
	原稿が送られず、「相手先無応答」と表示が出た	・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけなおしてください。 ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。	–
	原稿が送られず、「相手先話し中」と表示が出た	・相手先が話中です。しばらくしてから、かけなおしてください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、かけなおしてください。	–
	何回送信しても「再発呼待ち」になる	・相手が話中です。 ・電話がかけられるかを確認してください。 ・手動で送信してみてください。(手動とは、電話をかけて話をして、その後に双方がファクスを送る/受ける操作をする方法です。)	P.64 P.32 P.63
	送信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手のファクスに記録紙切れ等が起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてください。	–
	「通信異常　××」と表示が出た(××は2桁の英数字)	・エラーコード表を参照して対処してください。	P.140
	送信に時間がかかる	・画質モードの設定が「細い」、「写真」のときは、「ふつう」や「小さい」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	P.60

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス（送信）	海外への送信ができない	・海外へ送信する時は、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です。（手動とは、受信信号「ピーヒョロヒョロ」と聞こえてから送る方法です。） ・電話帳を使う場合、例えば001の後にポーズを入れて交換機の待ち時間を作ってください。 ・海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	P.63 P.36 P.61
	送ったファクスが縮小された	・相手機（受信側）がA4サイズの記録紙を使用している場合、B4サイズの原稿を送ると自動的にA4サイズに縮小して送信されます。 ・A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの左側に合わせて送信すると縮小して送信されます。	P.59
	送受信でサイズが違う	・ファクスの場合は、送受信で若干の差がでます。原稿／記録紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。 ・1つ上の項目も参照してください。	–
	送信した原稿が相手先で白紙になる	・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？ 送る面を下に向けてセットして、もう一度送りなおしてください。 ・相手先の記録紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送りなおしてください。	P.59
	相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送りなおしてください。	P.61
	相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明でないときは、原稿読み取り部を清掃してください。コピーが鮮明なときは、回線または相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてください。 ・画質モードを変えて送ってみてください。	P.71 P.148 P.129 P.60
	相手先で受信した記録に黒いすじが入る	・本機でコピーをとってください。コピーにも黒いすじが入るときは、原稿読み取り面を清掃してください。コピーが正常なときは、相手側に原因があると思われます。もう一度送りなおしてください。	P.71 P.148
ファクス（受信）	「しばらくお待ち下さい」と表示が出たままになった	・電源プラグを入れたまま、しばらく使用を控えてください。	–
	「通信異常　××」と表示が出た（××は2桁の英数字）	・エラーコード表を参照して対処してください。	P.140
	「カバー／記録紙確認」と表示が出た	・カバーが開いています。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	P.135, 136
	ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・コピー中や登録中のときは、［ストップ］ボタンを押して、コピーや登録をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。 ・着信ベル回数が10回以上に設定されている場合、相手が自動送信のファクスのときは受信できません。 ・電話モードに設定しているときは自動受信できません。	P.68 P.69
	受信中に「ピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手のファクスに原稿づまり等が起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送りなおしてもらってください。	–
	受信中に「ピー」という音が鳴り続けた	・［ストップ］ボタンを押すと、「ピー」という音が止まります。 ・記録紙がつまったか、なくなっています。	P.135, 136
	受信した記録紙が白紙になる	・記録紙の向き（表裏）が正しくセットされていますか？ ・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	P.136
	受信した画像が鮮明でない	・通話中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送りなおしてもらってください。 ・本機でコピーをとってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送りなおしてもらってください。	P.129 P.71
	受信した記録紙に黒いすじが入る	・本機でコピーをとってください。コピーに黒いすじが入らないときは、回線または相手側に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送りなおしてもらってください。 ・コピーに黒いすじが入るときは、NECサービスステーションにご連絡ください。	P.71 P.155
	記録紙がひんぱんにつまる	・当社推奨の記録紙を使用してください。	P.154

	こんなときは	内　容	参照ページ
ファクス(受信)	ファクスの送信はできるが、受信ができない	・おやすみモードになっていて、メモリに受信していませんか？ ・同じ回線にモデムが接続されていませんか？モデムの電源をOFFにしてテストしてください。 ・メモリがいっぱいのときは受信できません。	P.82 P.146 P.67
	相手先から正常にファクスを送ったと言われたが、受信していない	・おやすみモードでメモリに受信していませんか？	P.82
	海外からの受信ができない	・国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 ・ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 ・コールバックサービスをご利用の時は、送受信の手順等が違う場合があります。サービス提供会社等にお問い合わせください。	–
	海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	・海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは関係ありません。	–
	コンビニエンスストアからのファクス受信ができない	・P.33をご覧ください。	–
	ファクスかんたん受信ができない	・「ファクスかんたん受信をする」に設定されていますか？ ・受話器から『ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください』というメッセージを聞いてから、受話器を戻してください。メッセージが流れる前に受話器を戻すと回線が切断されます。 ・周囲に騒音などがありませんか？ ・相手がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。[スタート／コピー]ボタンを押してください。	P.70
	A4の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	・相手先(送信側)で原稿の大きさにきちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。	–
	記録紙がなくなったときはどうなるのか？	・次の受信からメモリ代行受信します。	P.67
	受信でもコピーでも左端が欠ける	・記録紙は、正しくA4サイズの位置に合わせてセットしてください。 ・A4の記録紙を使用していて、記録紙サイズをB4に設定していませんか？ ・A4の原稿のとき、原稿セットガイドをB4の位置のままで、原稿をガイドの右側に合わせて送信／コピーをすると左側約2～3cmが欠けます。原稿セットガイドは必ず合わせてください。	P.59
	時々、10cm位白紙が切られることがある	・本機の近くに1300Hzに近いノイズを出す製品(環境による)があることが考えられます。ファクシミリ通信網による受信と判断して、ファクス受信状態となるために起こります。Fネットを利用しない場合は、「Fネットを利用しない」に設定してください。「Fネットを利用しない」に設定してもよくならない場合は、NECサービスステーションにご相談ください。	P.130
	ファクス専用モードにならない	・電話モードに設定されているとファクス専用モードの設定は無効になります。電話モードの設定を解除してください(着信ベル回数の設定を1～19回にしてください)。	P.69
	ファクス情報サービスの取り出しかたは？	・P.72をご覧ください。	–
	子機で出たときのファクスの受信方法は？	・P.66をご覧ください。	–
留守番電話	留守設定ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。	P.75
	『メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください』と聞こえた	・用件がすぐいっぱいになります。不要な用件を消去してください。	P.75
	留守設定しているのに留守番電話が応答しない	・「電話モード」でお使いの場合、「トールセイバしない」に設定すると、留守番電話が応答しません。「トールセイバする」に設定してください。	P.84
	留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・「トールセイバしない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。	P.84 P.68
	留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった(用件件数は表示されている)	・モニタスピーカ音量が「切」になっています。	P.55
	留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・着信ベル回数を10回以下に設定してください。	P.68
	留守設定にしているとファクスがメモリに入ってしまう	・記録紙がなくなっていませんか？ ・おやすみモードになっていませんか？	P.67 P.82
	外出先から操作(リモート操作)できない	・留守設定にしてありますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・「リモート操作する」に設定してありますか？	P.79 P.78 P.78

	こんなときは	内　　容	参照ページ
留守番電話	用件転送は6秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	P.81
	おやすみモードがタイマ切替で解除されても、留守設定の状態となる	・おやすみモードの間に用件を録音したときは、このことをお知らせするために[留守]ボタンを点滅させています。 ・留守設定にしてからおやすみモードにしていませんか？	P.83
	おやすみモードのタイマ切替を使用したときに入ったメモリの内容と用件はいつプリントまたは再生されるのか？	・メモリされた受信文書は、おやすみモードを解除した時にプリントされます。録音された用件は、[再生]ボタンを押した時、または留守設定を解除した時に再生されます。	P.74 P.75 P.82
ハンドスキャナ	「ハンドスキャナ確認」と表示が出た	・ハンドスキャナを取り外し、もう一度セットしてください。	P.85
	ハンドスキャナでコピーできない	・普通に原稿をセットしてコピーできますか？ ・凹凸のある原稿を読み取っていませんか？	P.71 P.86
	読み取り中に「ピッピッピッ」という音がした	・読み取りが速すぎます。ゆっくり動かしてください。	P.87
	記録位置がズレる	・原稿を基準線と読み取りマークに合わせてください。	P.86
	ハンドスキャナで読みとると、拡大または縮小コピーになる	・拡大／縮小の設定を確認してください。	P.89
いろいろなサービス	ポケベル呼び出しができない	・用件転送がセットされていますか？	P.81
	キャッチホンの操作は？ キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は？	・P.129をご覧ください。	–
	停電時にダイヤルイン機能は使用できるか？	・使えません。	P.131
	ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか？	・用件転送はできます。	–
	NTT東日本またはNTT西日本のボイスワープ(転送サービス)に加入したが、電話への転送ができるか？	・無鳴動着信に設定していると転送できません。着信ベル回数は、ボイスワープ(転送)するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ(転送)するようにしなければなりません。 ・ボイスワープに加入すると、相手が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	P.68 P.69
	ナンバー・ディスプレイに加入し、使用しているが、子機にかかってきた電話が子機の着信データとして記憶されない	・子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？子機を親機に近づけてみてください。	P.120
接続方法	パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	・P.146をご覧ください。	–
	パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	・パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。装置を離して置いてみてください。 ・パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。切替器により装置を分離してください。	P.146
その他	回線種別の設定のしかたは？	・P.27をご覧ください。	–
	発信元登録のしかたは？	・P.29をご覧ください。	–
	音量調整のしかたは？	・P.55をご覧ください。	–
	「原稿確認」と表示されるが、原稿が取れない	・カバーを開け、原稿をゆっくりと引き抜いてください。	P.134
	発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	・数字は文字表に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	P.30
	スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない	・親機の場合は、電源プラグを電源コンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 ・子機の場合は、電池パックをいったん取り外し、再度取り付けてください。	P.23 P.139
	停電時用電話機で電話がかけられない	・回線種別の設定が合っていますか？停電時用電話機の説明書をご覧ください。	–

?

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

仕　様

ファクシミリ

原稿サイズ	最大：257(幅)×1000(長さ) mm 最小：128(幅)×128(長さ) mm
記録紙サイズ	感熱記録紙：257 mm×30 mまたは210 mm×30 m (ロール紙：外径62 mm以下、巻き芯内径1インチ)
有効読取幅	250 mm (B4)　204 mm (A4)
有効記録幅	250 mm (B4)　203 mm (A4)
走査方法	送信：CCDによる原稿移動型平面走査またはハンドスキャナ移動による平面走査 受信：感熱記録ヘッドによる平面走査
走査線密度	主走査：8ドット/mm 副走査：15.4 line/mm (細かい) 7.7 line/mm (小さい) 3.85 line/mm (普通)
通信モード	G3/ECM
通信速度	14400/12000/9600/7200/4800/2400 bps
電送時間＊1	G3 約15秒、ECM 約6秒
記録方式	感熱記録
適用回線	一般電話回線 ファクシミリ通信網 (1300 Hz)(G3サービス) ダイヤルイン回線 NCC回線
自動受信	有 (ファクス/電話自動切替機能内蔵)
電　源	AC 100±10 V　50/60 Hz
消費電力	待機時：省エネルギーモードON時　約1.1 W 省エネルギーモードOFF時　約4.7 W 送信時：約15 W (標準的原稿) 受信時：約21 W (標準的原稿) コピー時：約25 W (標準的原稿) 最大時：約130 W
直流抵抗	96 Ω (20 mA)
外形寸法	約330(横幅)×270(奥行き)×123(高さ) mm (突起部を除く)
質　量	約4.0 kg (記録紙を除く)
使用環境	温度：5～35 ℃ 湿度：35～85 %

コードレス電話

使用可能距離	見通し距離約100 m
使用周波数帯	250 MHz/380 MHz帯
送信出力	10 mW (FM)
電波のチャネル数	89チャネル 通話：87チャネル 制御：2チャネル

〈子　機〉

電　源	DC 2.4 V (専用ニカド電池使用)
電池充電時間	約9時間
電池持続時間	連続待受時：約200時間＊2 連続通話時：約7時間
外形寸法	約48(横幅)×44(奥行き)×180(高さ) mm (突起部を除く)
質　量	約190 g (電池パックを含む)

〈子機充電器〉

外形寸法	約67(横幅)×108(奥行き)×102(高さ) mm
質　量	約130 g (子機充電器用ACアダプタを除く)
消費電力	4 VA (充電時)
電　源	AC 100 V　50/60 Hz (子機充電器用ACアダプタを使用)

留守番電話

録音方式	DSP方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約20分 (標準音声)
最大録音件数	30件
応答メッセージ	自作：2　固定：1

＊1 電送時間は、A4判700字程度の原稿を標準的画質(8×3.85 line/mm)で高速モード(14400 bps)で送ったときの速さです。
これは画像情報のみの電送速度で通信の制御時間は含まれておりません。なお、実際の通信時間は、原稿の内容、相手機種、回線の状態により異なります。
＊2 待受時とは、充電が完了した後子機を充電器から外して一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信してベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間は短くなります。

● 本機を設置する場所がNTT東日本またはNTT西日本の支店・営業所(交換機)から遠距離の場合、お使いになれないことがありますのでNECサービスステーションにご相談ください。
● 外観、仕様などは改良のため予告なく変更することがあります。

操作早わかりガイド

■親　機

：受話器をとる　：受話器を戻す　：ボタンを押す

電話	電話をかける	➡ 相手先の番号 ➡ 通話 ➡ ワイワイトーク ➡ 相手先の番号 ➡ ➡ 通話 ➡
	電話を受ける	着信音 ➡ ➡ 通話 ➡
	リダイヤルする	➡ リダイヤル/ポーズ ➡ 通話 ➡
	トーン(プッシュ)信号送出	電話をかける ➡ ＊（以後のダイヤルはトーン信号が送出される）
	電話帳を使って電話をかける	▲／▼ 相手先を選ぶ ➡
	ワイワイトーク（ハンズフリー通話）	ワイワイトーク ➡ 相手先の番号 ➡ 通話 ➡ ワイワイトーク
	保留する	通話中 ➡ 保留/クリア
	〈もう一度話す〉	保留中 ➡ 保留/クリア（または ）➡ 通話
	〈子機で話す〉	保留中 ➡（受話器を戻していないとき ）➡ 子機 （または 外線）➡ 通話
	転送（外線を子機へ転送する）	通話中 ➡ 内線/ドアホン ➡ 内線番号（注）➡（ボイスコール）➡ 子機と話す ➡ ※子機が出ないときは 内線/ドアホン を押す
	〈転送される側：子機〉	呼出音 ➡（メッセージを聞く）➡ （または グループ/ドアホン/内線）➡ 親機と話す ➡ 外線と通話
	内線通話（子機を呼ぶ）	内線/ドアホン ➡ 内線番号（注）➡（ボイスコール）➡ 通話（ ）➡ ワイワイトーク（ ）
	〈子機〉	呼出音 ➡（メッセージを聞く）➡ （または グループ/ドアホン/内線）➡ 通話 ➡ （または グループ/ドアホン/内線）
	通話録音（通話中の会話を録音する）	受話器で通話中 ➡ 留守 ➡ 録音 ➡ ストップ
	通話録音した内容を聞く	▶再生 ➡ 再生 ➡ ストップ
	留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる	受話器で通話中 ➡ ▶再生 ➡ 再生 ➡ ストップ
	音量調整　ベル音量	待機中 ➡ 音量　切→小→中→大
	音量調整　受話音量	受話器で通話中 ➡ 音量　小→中→大
	音量調整　ワイワイトーク音量	ワイワイトーク中 ➡ 音量　1→2→3→4→5→6
	音量調整　モニタスピーカ音量・留守番電話の再生音量	用件再生中 ➡ 音量　切→小→中→大
	キャッチホンの利用	通話中 ➡「プルルー・プップッ」➡ 着信データ/キャッチ ➡ あとの人と通話 ➡ 着信データ/キャッチ ➡ はじめの人と通話
	ドアホンとの通話	呼出音 ➡ ➡ 通話 ➡
	〈外線と通話中のとき〉	外線と通話中 ➡ 呼出音 ➡ 内線/ドアホン ➡ ドアホンと通話 ➡ 内線/ドアホン ➡ 外線と通話
	〈内線と通話中のとき〉	内線と通話中 ➡ 呼出音 ➡ ➡ ➡ ドアホンと通話 ➡
	〈ドアホンでモニタする〉	内線/ドアホン ➡ ドアホン番号 ➡ ➡ モニタ（通話）➡ （ドアホン１：［8］、ドアホン２：［9］）

（注）付属の子機（内線２）：2、増設子機（１台目）（内線３）：3、増設子機（２台目）（内線４）：4、増設子機（３台目）（内線５）：5、子機一斉：＊ →P.47

ハンドスキャナでコピーしてご活用ください

ファクス	画質モード	画質 → ふつう → 小さい → 細かい → 写真
	自動送信	原稿セット ➡ 相手先の番号 ➡ スタート/コピー
	電話帳で送信	原稿セット ➡ ▲／▼ 相手先を選ぶ ➡ スタート/コピー
	手動送信	原稿セット ➡ (受話器を上げる) ➡ 相手先の番号 ➡ 通話 ➡ 相手が受信操作 ➡ スタート/コピー ➡ (受話器を置く)
	おまかせ送信	原稿セット ➡ 相手先の番号 ➡ おまかせ送信
	ファクスを手動で受ける	(受話器を上げる) ➡ 「ポー・ポー・ポー…」➡『ファクシミリを受信します…』 ➡ (受話器を置く) (受話器を上げる) ➡ 「ポー・ポー・ポー…」➡ スタート/コピー ➡ (受話器を置く) 通話中 ➡ 相手が送信操作 ➡ スタート/コピー ➡ (受話器を置く)
コピー	〈シングルコピー〉	原稿セット ➡ スタート/コピー ➡ スタート/コピー
	〈マルチコピー〉	原稿セット ➡ スタート/コピー ➡ コピー部数入力 ➡ スタート/コピー
留守番	留守セット／解除	留守
	用件の再生	▶再生 ➡ 再生
	特定の用件だけを消去する	消去したい用件を再生中 ➡ 消去 ➡ ストップ
	用件を聞いてから一度に消去する	用件を再生 ➡『用件は以上です』➡「＊＊＊…」➡ 消去
	おやすみモードのセット／解除	おやすみ
ハンドスキャナ	ハンドスキャナでコピーする	ハンドスキャナを外す ➡ 画質選択 ➡ 原稿の上に置く ➡ スタート/コピー ➡ 原稿を読み取る ➡ ストップ ➡ ハンドスキャナを戻す
	ハンドスキャナで送信する	ハンドスキャナを外す ➡ 画質選択 ➡ 相手先の番号 ➡ 原稿の上に置く ➡ スタート/コピー ➡ 原稿を読み取る ➡ ストップ ➡ 1 ➡ ハンドスキャナを戻す

（注）ファクス自動受信→P.65、原稿／記録紙がつまったとき→P.134, P.135、記録紙の交換→P.136

■子　機

[とる]：充電器からとる　[戻す]：充電器に戻す　[ボタン]：ボタンを押す

電話	電話をかける	[とる] → 相手先の番号 → 通話 → [戻す] [外線] → 相手先の番号 → 通話 → [外線]
	電話を受ける	着信音 → [とる] → 通話 → [戻す] 着信音 → [外線] → 通話 → [外線]
	リダイヤルする	[とる] → [▲] → [外線] → 通話
	トーン（プッシュ）信号送出	電話をかける → [✱ ◀トーン] （以後のダイヤルはトーン信号が送出される）
	電話帳を使って電話をかける	[とる] → [外線] → [▲]／[▼変換] 相手先を選ぶ → [外線]
	〈グループで探して〉	[とる] → [外線] → [機能] → [グループ ドアホン 内線] グループを選ぶ → [▲]／[▼変換] 相手先を選ぶ → [外線]
	〈素早く探して〉	[とる] → [外線] → [機能] → 相手の頭文字のダイヤルボタン → [▲]／[▼変換] 相手先を選ぶ → [外線]
	ワイワイトーク（ハンズフリー通話）	[ワイワイトーク] → 相手先の番号 → 通話 → [外線]（または [戻す]）
	保留する	通話中 → [削除 ♫保留]
	〈もう一度話す〉	保留中 → [削除 ♫保留] （または [とる]）→ 通話
	〈親機で話す〉	保留中 → （充電器に戻していないとき[外線]）→ 親機 [とる] → 通話
	転送（外線を親機へ転送する）	通話中 → [グループ ドアホン 内線] → [1あ] → （ボイスコール）→ 親機と話す → [戻す]（または [外線]） ※親機が出ないときは [グループ ドアホン 内線] を押す
	〈転送される側：親機〉	呼出音 → （メッセージを聞く）→ [とる] → 子機と話す → 外線と通話
	（外線を他の子機へ転送する）	通話中 → [グループ ドアホン 内線] → 内線番号（注）→ メッセージを言う → [戻す]（または [外線]） ※子機が出ないときは [グループ ドアホン 内線] を押す
	〈転送される側〉	呼出音 → [とる]（または [グループ ドアホン 内線]）→ メッセージを聞く → 外線と通話
	内線通話（親機を呼ぶ）	[とる] → [外線] → [グループ ドアホン 内線] → [1あ] → （ボイスコール）→ 通話 → [戻す]（または [グループ ドアホン 内線]）
	〈親機〉	呼出音 → メッセージを聞く → 通話（呼出音 → [とる] → 通話 → [戻す]）
	通話録音（通話中の会話を録音する）	子機をとって通話中 → [機能] → [▲] ［リモコン　操作を選ぶ］ → [機能] → [5な JKL] → 録音 → [# 呼出音▶] → [グループ ドアホン 内線]
	通話録音した内容を聞く	待機中 → [機能] → [▲] ［リモコン　操作を選ぶ］ → [機能] → [2カ ABC] → 再生 → [グループ ドアホン 内線]（または [戻す]）

（注）付属の子機（内線２）：[2カ ABC]、増設子機（１台目）（内線３）：[3さ DEF]、増設子機（２台目）（内線４）：[4た GHI]、増設子機（３台目）（内線５）：[5な JKL]、子機一斉：[✱ ◀トーン] →P.47

ハンドスキャナでコピーしてご活用ください

電話	留守番電話に録音された用件や通話録音した内容を相手に聞かせる		子機をとって通話中 ➡ [機能] ➡ [▲]［リモコン　操作を選ぶ］ ➡ [機能] ➡ [2] ➡ 再生 ➡ [#] ➡ [内線]
	音量調整	受話音量	（または[外線]） ➡ [音量]［標準 ⟷ 大］ ➡ （または[外線]）
		ワイワイトーク音量	ワイワイトークで通話中 ➡ [音量]［標準 ⟷ 大］
		ベルのON/OFF	待機中 ➡ [#] を２秒以上押す［鳴る ⟷ 鳴らない］
	キャッチホンの利用		通話中 ➡「プルルー・プップッ」 ➡ [キャッチ] ➡ あとの人と通話 ➡ [キャッチ] ➡ はじめの人と通話
	ドアホンとの通話		呼出音 ➡ （または[内線]） ➡ 通話 ➡ （または[内線]）
	〈外線と通話中のとき〉		外線と通話中 ➡ 受話口から呼出音 ➡ [内線] ➡ ドアホンと通話 ➡ [内線] ➡ 外線と通話
ファクス	ファクスを手動で受ける		➡「ポー・ポー・ポー…」➡『ファクシミリを受信します…』 ➡ ➡「ポー・ポー・ポー…」➡ [内線] ➡ [6] 通話中 ➡ 相手が送信操作 ➡ [内線] ➡ [6]
留守番	留守セット		待機中 ➡ [機能] ➡ [▲]［リモコン　操作を選ぶ］ ➡ [機能] ➡ [7] ➡ [内線]（または ）
	留守解除		待機中 ➡ [機能] ➡ [▲]［リモコン　操作を選ぶ］ ➡ [機能] ➡ [9] ➡ [内線]（または ）
	用件の再生		待機中 ➡ [機能] ➡ [▲]［リモコン　操作を選ぶ］ ➡ [機能] ➡ [2] ➡ 再生 ➡ [内線]（または ）
	特定の用件だけを消去する		消去したい用件を再生中 ➡ [8]
	用件を聞いてから一度に消去する		用件を再生 ➡『用件は以上です』➡「ピッピッピッ…」➡ [8]

■ 外線リモート（外出先の電話機）

電話をかける ➡ [#] [パスワード] [#] ➡ 操作コード
（プッシュ信号）

巻き戻し	＃１＃
用件再生	＃２＃
早送り	＃３＃
用件転送設定	＃６１＃
用件転送解除	＃６２＃

留守設定	＃７＃
用件消去	＃８＃
留守設定解除	＃９＃

ハンドスキャナでコピーしてご活用ください

機能設定／登録早見表

●設定／登録の手順

機能 → ▲／▼でメインメニューから選択 → 電話帳登録/セット → ▲／▼で各メニューから選択 → 電話帳登録/セット → 設定／登録の操作

●メニューと設定／登録内容

設定／登録内容
（□は、お買い上げ時の状態です）

メインメニュー	サブメニュー	設定／登録内容	参照
リストプリント	**リストプリントメニュー**		
	電話番号リスト	電話帳のプリント	→ P.141
	着信データリスト	親機に記憶された着信データのプリント	→ P.141
	システムリスト	各種設定内容のプリント	→ P.141
受信設定	**受信設定メニュー**		
	無鳴動着信	○（する）、×（しない）	→ P.69
	音声メッセージ	○（流す）、×（流さない）	→ P.69
	着信ベル回数	1～19回、＊＊（無制限）、6回	→ P.68
	呼出ベル回数	1～19回、10回	→ P.68
	ファクス専用	○（する）、×（しない）	→ P.70
	ベル音・メロディ	1.ベル（標準）、2.ベル（鳴り分け）、メロディ（3.～5.）、えらんでメロディで取り込んだ曲（6）	→ P.56
設定モード	**設定モードメニュー**		
	読み取り濃度	■□□□□（薄く）～■■■■■（濃く）	→ P.61
	発信元記録	○（させる）、×（させない）	→ P.29
	海外通信	○（する）、×（しない）	→ P.61
	ファクスかんたん受信	○（する）、×（しない）	→ P.70
	保留メロディ	聖者の行進、茶色の小瓶	→ P.56
	回線種別	20P、10P、PB	→ P.27
	Ｆネット	○（する）、×（しない）	→ P.130
	ドアホン接続	ドアホン1、ドアホン2、ドアホン1＆2、ドアホンなし	→ P.143
	ボイスコール	○（する）、×（しない）	→ P.57
	子機の受話音量	標準、大きい	→ P.58
	子機の送話音量	標準、大きい	→ P.58
	省エネルギー	○（する）、×（しない）	→ P.147
登録モード	**登録モードメニュー**		
	自分の電話番号	自分の電話番号	→ P.28
	発信元	自分の名前	→ P.29
	おやすみタイマ切替	おやすみモードの開始／終了時刻	→ P.83
	リモート操作	○（する）、×（しない）、リモートパスワード	→ P.78
	用件転送	○（する）、×（しない）、用件転送先電話番号	→ P.80
	ダイヤルイン	○（する）、×（しない）、ファクシミリと電話の番号 共通鳴動　○（する）、×（しない）	→ P.133
	時刻設定	年月日、時刻	→ P.27
	電話帳転送	親機の電話帳を子機に転送する（一斉、個別）	→ P.42
留守電機能	**留守電機能メニュー**		
	全用件消去	全ての用件を消去する	→ P.75
	応答メッセージ録音	応答メッセージの録音（応答メッセージ1、応答メッセージ2）	→ P.76
	応答メッセージ消去	応答メッセージの消去（応答メッセージ1、応答メッセージ2）	→ P.76
	トールセイバ	○（する）、×（しない）	→ P.84
ナンバーディスプレイ	**ナンバーディスプレイメニュー**		
	ナンバーディスプレイ	○（する）、×（しない）	→ P.26
	ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ「する」の場合		
	プライベートコール指定	相手先指定、ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ指定（全て、内線番号）、着信鳴り分け指定（ベル（標準）、ベル（鳴り分け）、メロディ（3.～5.）、えらんでメロディで取り込んだ曲）	→ P.124
	とくていコール	○（する）、×（しない）	→ P.125
	番号リクエスト	○（する）、×（しない）	→ P.125
	着信拒否	○（する）、×（しない）	→ P.127
	応答メッセージ選択	○（する）、×（しない）	→ P.126
	キャッチホン	○（する）、×（しない）	→ P.126
	着信拒否リスト編集	着信拒否リストの登録／編集	→ P.128
アルファ設定 ＊α-ALPHA5ご利用の登録前は「アルファ スタート」と表示されます。	**アルファ設定メニュー**		
	電話・郵便番号	自分の電話番号、郵便番号、α-ALPHA5の登録	→ P.93
	アルファSW	○（する）、×（しない）	→ P.94
	料金表示	○（する）、×（しない）、（親機、親機＋子機）	→ P.96
ファクスサービス		ファクス情報サービスの利用（ポーリング受信）	→ P.72
ハンドスキャナを外したとき			
読み取り記録幅		B4→B4、B4→A4、A4→A4、A4→B4、B5→B5、B5→A4、B5→B4（A5→A4）	→ P.89
メロディスキャナ		○（流す）、×（流さない）	→ P.89

索　引

タ

ヤ

ラ

ワ

メ　モ

技術基準適合認定品

NEC

NEC パーソナルファクシミリ

スピークス
speax 55CL

取扱説明書



ご使用の前に

設置

電話

ファクス／コピー

留守番

ハンドスキャナ

α・ALPHA5

α・Eメール

ナンバー・ディスプレイ

キャッチホン／Fネット／ダイヤルイン

こんなときは

注意
●製品をご使用前に必ず本書をお読みください。
●本書はいつでも活用できるように大切に保管してください。

はじめに

このたびはコードレス留守番電話付きファクシミリ「speax（スピークス）55CL」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

●製品を安全に正しくお使いいただくための表示について
本書では製品を安全に正しくお使いいただくために、守っていただきたい事項を表示や図記号で示しています。表示や図記号の意味は次のとおりです。

⚠危険：	**人が死亡するまたは重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。**
⚠警告：	**人が死亡するまたは重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠注意：	**人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

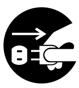
絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

●本製品の故障・誤動作、停電あるいは天災等によって本製品が使用できなくなった場合、それに付随して生じる損害（通信・録音等上に生じる機会損失等）に対しては、当社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

●本製品を改造しないでください。改造・回路変更等を行った場合、当社は一切責任を負いません。

●この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●ご使用にあたってのお願い
本品をご使用にあたって、NTT東日本またはNTT西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT東日本またはNTT西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116番（無料）へお問い合わせください。

●本製品の日本語かな漢字変換機能は日本電気ホームエレクトロニクス株式会社と使用契約を締結し、使用しているものです。

本製品には米国の輸出管理法の規制を受ける製品が含まれており、輸出する場合、輸出先によっては米国政府の許可が必要です。

This equipment contains the components regulated under "U.S.A. Export Administration Regulations". Therefore, U.S.Government approval is required when exported to stipulated areas.

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

This equipment (including the softwares) has the specifications to be used only in Japan.
Also our maintenance service and technical supports are not available overseas.

このマークはNECの定める環境基準を満たした製品に表示されるものです。お買い上げいただいた本製品はこの基準に適合した環境配慮型の製品です。この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。
http://www.nec.co.jp/kan/

故障のときはP.155のNECサービスステーションにご連絡ください。

●品番　speax 55CL　　年　月　日

●お買い上げ店

TEL　（　）

NG-086085-0C04
ND-22252（J）
2000年2月 第4版

日本電気株式会社
〒108-8001 東京都港区芝五丁目7番1号